

# 2019年度 スクーリングの手引（4月～7月）

## 東京スクーリング

5月期	第1期	4月30日(火)～5月2日(木),	} 通信教育部 1号館ほか
	第2期	5月3日(金)～5日(日)	
6月期		6月1日(土)・2日(日),	
		6月8日(土)・9日(日)	
7月期		6月29日(土)・30日(日),	
		7月6日(土)・7日(日)	

## 地方スクーリング

6月期	6月15日(土)～17日(月)	札幌・大阪
7月期	7月13日(土)～15日(月)	名古屋・福岡

## 夜間スクーリング

春期	5月13日(月)～7月5日(金)	通信教育部1号館
----	------------------	----------

## スクーリング受講手続日程

	受講申込み開始日 (ポータルサイト)	※1 併用履修登録 締切日(必着)	履修登録締切日(必着) 併用レポート提出締切日(必着) 受講申込締切日(必着)	受講資格 審査結果 通知予定日	振込用紙 発送予定日	受講辞退 手続期限(必着)	受講料 振込期限	結果通知 予定
東京スクーリング (5月期) 第1・2期	3/1(金)	2/28(木)【前期生】 3/15(金)【後期生】	3/15(金)	4/10(水)	4/10(水)	4/17(水)	4/24(水)	6月上旬
夜間スクーリング (春期)	3/22(金)	4/5(金)	4/5(金)	4/16(火)	4/16(火)	4/23(火)	5/8(水)	8月中旬
東京スクーリング (6月期)	4/12(金)	4/26(金)	4/26(金)	5/15(水)	5/15(水)	5/22(水)	5/29(水)	7月中旬
地方スクーリング (6月期) 【札幌・大阪】	4/12(金)	4/26(金)	4/26(金)	5/27(月)	5/27(月)	6/3(月)	6/10(月)	7月下旬
東京スクーリング (7月期)	5/10(金)	5/24(金)	5/24(金)	6/12(水)	6/12(水)	6/19(水)	6/26(水)	8月中旬
地方スクーリング (7月期) 【名古屋・福岡】	5/10(金)	5/24(金)	5/24(金)	6/24(月)	6/24(月)	7/1(月)	7/8(月)	8月中旬
<b>注意事項</b>	ポータルサイト【24:00まで】		ポータルサイトに掲載します	5日経過しても届かない場合は会計課までお問合せください	窓口【事務取扱時間内必着】 郵送【必着】	Ⅶ 受講料の納入を参照してください。	ポータルサイトに掲載します	

※1 東京スクーリング(5月期)第1・2期は、併用履修登録締切日が前期生と後期生で異なります。併用方式での申込みをしない場合は、受講申込締切日までに履修登録を行ってください。  
 ※2 2019年度新入生(4月生)は、上記手続日程と異なる場合があります。詳しくは「入学許可に伴う手続等案内」をご覧ください。  
 ※3 申込期限直前は、ポータルサイトにアクセスが集中します。余裕をもって登録を行ってください。

# はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』を必ず読み、その指示に従って受講してください。

## 【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位数を充足したことにはならず、**成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学修要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を必ず確認してください。

## 【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合があります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演習講座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 超過人数の状況により複数の講堂に「サテライト配信」を利用して授業を行う場合があります。（メインとなる授業講堂以外は、映像による配信となります。）
- 上記1・2・3の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

# 目次

<b>I 講座の選定</b>		<b>VIII 受講準備</b>	
1 受講講座の選定	2	1 使用教材の入手	162
2 「教職に関する科目」における新・旧科目について	3	2 「休暇依頼状(勸奨状)」と「出席証明書」の発行	164
3 「開講講座表」の見方	4	3 通学定期券の購入(通学証明書の発行)	164
		4 「学割証」の発行について (長距離区間乗車時の学生割引制度)	165
<b>II 東京スクーリング</b>		<b>IX 受講及び試験</b>	
1 開講日程	6	1 講座の受講	168
2 実施会場	6	2 試験の受験	168
3 「体育実技」について 【東京スクーリング(6月期)開講】	6	3 スクーリング結果の確認	169
◆開講講座表及び講座内容(シラバス)		<b>X 受講期間中の学生生活</b>	
・5月期第1期	8	1 受講にあたっての諸注意	170
・5月期第2期	28	2 「千代田区生活環境条例」について	171
・6月期	50	3 緊急時の避難行動の指示について	171
・7月期	68	<b>XI オープン受講</b>	172
		<b>XII 各種用紙</b>	
<b>III 地方スクーリング</b>		「為替」送付時の注意事項	174
1 開催地及び開講日程	84	履修届	175
2 実施会場	84	<受講届>	
◆開講講座表、会場案内及び講座内容(シラバス)		東京スクーリング(5月期)第1・2期	177
・6月期 札幌	85	東京スクーリング(6月期)	179
・6月期 大阪	89	東京スクーリング(7月期)	181
・7月期 名古屋	93	地方スクーリング(6月期)	183
・7月期 福岡	97	地方スクーリング(7月期)	185
		夜間スクーリング(春期)	187
<b>IV 夜間スクーリング</b>		オープン受講届(在学生用)	189
1 開講日程	102	オープン受講届(社会人等(卒業生用))	191
2 実施会場	102	スクーリング受講講座変更届	193
3 開講講座	103	<受講申込辞退願>	
◆開講講座表及び講座内容(シラバス)		東京スクーリング(5月期)第1・2期	195
・月曜日	104	東京スクーリング(6月期)	197
・火曜日	111	東京スクーリング(7月期)	199
・水曜日	120	地方スクーリング(6月期)	201
・木曜日	128	地方スクーリング(7月期)	203
・金曜日	135	夜間スクーリング(春期)	205
<b>V 講座の申込方法</b>		教材配本申請書	207
1 受講手続の流れ	144	教材購入用紙(丸沼書店用)	209
2 履修登録をする	145	教材購入願(通信教育教材用)	211
3 講座を申し込む	149	通学定期乗車券発行控	213
4 受講講座の変更・追加 (用紙で変更を行う場合)	153	学割証交付願	215
		証明書交付願	217
<b>VI 申込講座の許可と不許可</b>		教員免許状取得見込証明書用確認書	219
1 受講資格審査結果通知を確認する	154	休暇依頼状(勸奨状)申込書	221
2 講座振り分け及び受講不許可について	155	<b>付録</b>	
3 許可講座を辞退する	156	交通案内・校舎案内	223
<b>VII 受講料の納入</b>			
1 受講料	158		
2 振込用紙発送予定日	158		
3 納入期限	158		
4 納入方法	159		

# I 講座の選定

## 1 受講講座の選定

### ① 受講講座を選ぶ

東京・地方スクーリングともに各期から1講座、夜間スクーリングでは、月曜日から金曜日までの各曜日から1講座（最多5講座）を申込みできます。各自、入学時に配布された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

### ② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

#### （1） 配当学年による受講制限

##### ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

#### （2） 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

#### （3） シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合は、受講できません。

#### (4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があります。この場合、大学側で受講の調整を行います。

**調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。**

そのため、**必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください**（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届のみでの申込者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

#### ③ 他のスクーリングとの日程重複や会場移動に伴う講座受講に関する注意点について

以下のいずれかに該当する場合、講座の受講に支障がでる場合がございますので、ご自身で確認の上、受講申込を行ってください。

夜間スクーリング（春期）金曜日の授業と、地方スクーリングの授業を受講する場合

## 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

2011年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、平成23年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道徳教育の研究	T21300	道徳教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態	
	2011年度	1学年入学生	
	2012年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 科目履修生	
	2013年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生 科目履修生	
	2014年度以降	全入学生	

### 3 「開講講座表」の見方

#### 「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「×印」が記載されています。	
7	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

# MEMO

講座の  
選定

東京  
5月1期

東京  
5月2期

東京  
6月期

東京  
7月期

札幌  
6月期

大阪  
6月期

名古屋  
7月期

福岡  
7月期

夜間  
月曜日

夜間  
火曜日

夜間  
水曜日

夜間  
木曜日

夜間  
金曜日

講座の  
申込方法

申込講座の  
許可と許可

受講料の  
納入

受講準備

受講及び  
試験

受講期間中  
の学生生活

オープン  
受講

各種用紙

付録

# Ⅱ 東京スクーリング

## 1 開講日程

開講期		日程		授業時間
5月期	第1期	4月	30日(火)	9:30～18:30
		5月	1日(水)	9:00～18:30
			2日(木)	9:00～16:00 <試験も含む>
	第2期	5月	3日(金)	9:30～18:30
			4日(土)	9:00～18:30
			5日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>
6月期	6月	1日(土)	13:00～18:30	
		2日(日)	9:00～16:30	
		8日(土)	13:00～18:30	
		9日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>	
7月期	6月	29日(土)	13:00～18:30	
		30日(日)	9:00～16:30	
	7月	6日(土)	13:00～18:30	
		7日(日)	9:00～16:00 <試験も含む>	

- ※各期ごとに全日程の出席が必要です。
- ※授業時間内に休憩時間を設けます。
- ※各期から1講座のみ申込みできます。

## 2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎及びその周辺の本学校舎で行います。ただし、東京スクーリング（5月期）及び「体育実技」は世田谷キャンパスの文理学部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館及び本学校舎周辺
所 在 地	通信教育部 東京都千代田区九段南4-8-28
交通案内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。

## 3 「体育実技」について【東京スクーリング（6月期）開講】

「体育実技」は、他の講座と異なり文理学部総合体育館及び百周年記念館で受講します。以下の事項をよく確認してください。

### a 開講日程【雨天決行】

日程	授業時間
6月 1日(土)	18:00～21:30
6月 2日(日)	9:00～17:00
6月 8日(土)	18:00～21:30
6月 9日(日)	9:00～17:00

※東京スクーリング（6月期）の他講座と授業時間及び会場が異なります。

### b 実施会場

日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館（後掲「文理学部案内図」参照）



**c 持参物**

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引

**d 「体育実技」の集合場所・集合時間**

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

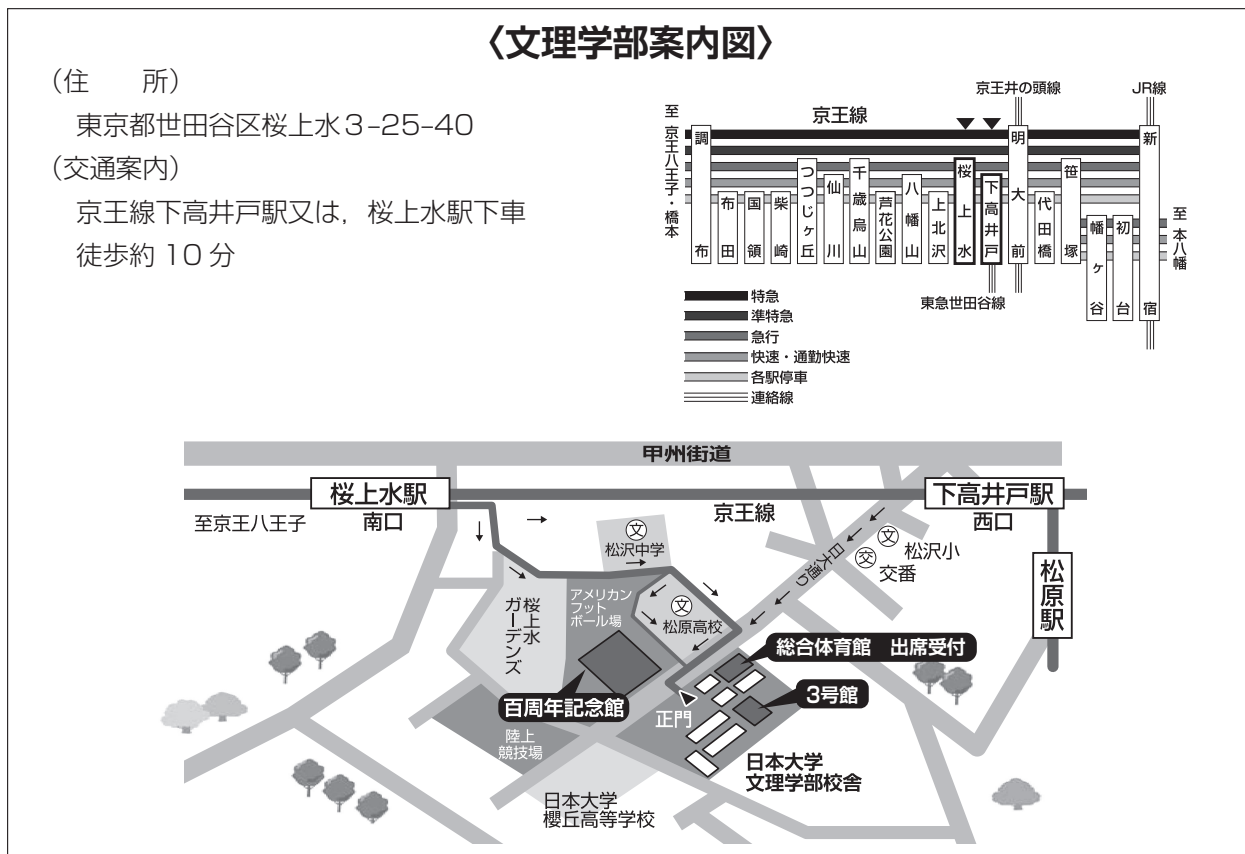
※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

**e 受講について**

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体障害の理由で実技自体の参加が困難であると思われる方は、受講申込前（「受講届」提出前）に教務課に連絡してください（TEL 03-5275-8911）。

**f 注意事項**

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、文理学部総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。ロッカーの利用はできません。
- ・2日及び9日の昼食は、周辺に飲食店が少ないため各自が持参することを強く勧めます。



## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京 5月期 第1期

日	程	授業時間	備考
4月30日	火	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
5月1日	水	9:00～18:30	
5月2日	木	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第1期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講	
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年		受 講 条 件
D8A1	総合科目 A	根岸 良征	2	B101S0	総合科目 I	×	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I～VIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。</li> <li>・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。</li> </ul>	
				B102S0	総合科目 II				
				B103S0	総合科目 III				
				B104S0	総合科目 IV				
				B105S0	総合科目 V				
				B106S0	総合科目 VI				
D8A2	英語 A	天野 暁子	1	C10100	英語 I		1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。</li> </ul>	
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III				
				C10400	英語 IV				
D8A3	民法 IV	野中 貴弘	2	K30300	民法 IV		2年		
D8A4	税法	本村 大輔	2	K31500	税法		2年		
D8A5	法哲学	高須 則行	2	K318S0	法哲学	×	2年		
D8A6	行政学	山田 光矢	2	L30100	行政学		2年		
D8A7	国文学史 I	近藤 健史	2	M30100	国文学史 I		2年		
D8A8	英語文学概説/ 英米文学概説	野口 肇	2	N20400	英語文学概説		条件 参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記以外は2学年以上申込可。</li> <li>・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。</li> <li>・ 下記以外は2学年以上申込可。</li> <li>・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。</li> </ul>	×
				N20300	英米文学概説				
D8A9	イギリス文学史II	鈴木 ふさ子	2	N30100	イギリス文学史II		2年		

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 講 オ ー プ ン
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
D8AA	英 語 学 演 習 A	佐 藤 健 児	1	N401S0	英 語 学 演 習 I	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N402S0	英 語 学 演 習 II				
				N403S0	英 語 学 演 習 III				
D8AB	英 米 文 学 演 習 A	猪 野 恵 也	1	N404S0	英 米 文 学 演 習 I	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英 米 文 学 演 習 II				
				N406S0	英 米 文 学 演 習 III				
D8AC	哲 学 演 習 I ・ II	小 山 英 一	1	P401S0	哲 学 演 習 I	×	3 年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I、IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				P402S0	哲 学 演 習 II				
D8AD	古 文 書 学	渡 邊 浩 史	2	Q31700	古 文 書 学		2 年		
D8AE	貨 幣 経 済 論	藤 本 訓 利	2	R31900	貨 幣 経 済 論		2 年		×
D8AF	観 光 事 業 論	服 部 伊 人	2	S32000	観 光 事 業 論		2 年		×
D8AG	教 育 原 論 A / 教 育 の 思 想 A	宮 島 健 次	2	T10200	教 育 原 論	×	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				T10300	教 育 の 思 想				
D8AH	漢 字 書 法	鈴 木 晴 彦	2	T22400	漢 字 書 法	×	2 年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
D8AJ	生 涯 学 習 論	上 原 義 正	2	Y20100	生 涯 学 習 論	×	2 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

**注 意**

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔総合科目 A〕

根岸 良征

◆**授業概要** 最初のコンピュータから現代のパソコンまでの変遷を通して、コンピュータの仕組み、インターネットの仕組みを講義する。また、近年対策が強く求められている情報セキュリティの基礎知識を講義する。

◆**学修到達目標** 情報技術や情報セキュリティについて基礎的な知識を習得し、パソコンを有意義かつ安全に利用できるようになることを目標とする。講義を受講後、メディア授業を受講するためにはどのような機器を用意すればよいのかを自分自身で判断したり、インターネットを安全に利用できるようになってほしい。

◆**授業方法** 授業は適宜映像資料を用いながら、講義中心に行く。また、パソコンを操作してケーススタディも行う。毎回授業中に小課題を出題する。教科書は講義で利用するので必ず持参すること。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：パソコン開発史① 計算機の開発、電話網の開発とコンピュータ 事前学修：計算する道具はいつの時代から存在していたのかを調べる 事後学修：講義と資料の内容をノートにまとめ、年表を作成する
2 回	授業内容：パソコン開発史② 計算機から情報処理装置への変遷 事前学修：ホストコンピュータとはなにかを調べる 事後学修：講義と資料内容をノートにまとめ、年表を作成する
3 回	授業内容：パソコン開発史③ 電卓開発とマイクロコンピュータの登場 事前学修：真空管、トランジスタ、リレーについて調べる 事後学修：電卓の開発競争でなにか起きたのかをまとめる
4 回	授業内容：パソコン開発史④ パソコンの登場とインターネット 事前学修：1980 年ごろのパソコンについて調べる 事後学修：パソコンの普及のきっかけをまとめる
5 回	授業内容：コンピュータにおける情報表現、データの種類について 事前学修：パソコンで扱えるデータの種類について調べる 事後学修：文字、画像、音声のデータ表現についてまとめる
6 回	授業内容：パソコンのハードウェア（CPU、メモリ、補助記憶装置、入出力）の種類と役割 事前学修：自宅で利用しているパソコンのスペック（仕様）を調べる 事後学修：パソコンのハードウェアの種類と役割をノートに整理する
7 回	授業内容：ソフトウェアの種類と役割（OS、アプリケーションソフトウェア） 事前学修：自分で利用しているパソコンやスマートフォンの OS の名称を調べておく 事後学修：OS とアプリケーションの違いをわかりやすくノートにまとめる
8 回	授業内容：ファイル管理入門、フォルダを利用した分類、圧縮・伸張 事前学修：パソコンの基本的な操作（キーボード、マウス操作など）を習得しておく 事後学修：自分の PC に保存してあるファイルを整理する
9 回	授業内容：インターネットの仕組み（TCP/IP、ルータ）、インターネットの利用 事前学修：インターネットの始まりを調べる 事後学修：インターネットの発展と普及の流れを、インターネットのサービスとともにまとめる
10 回	授業内容：情報セキュリティ① 情報セキュリティとはなにか 事前学修：教科書第 1 章、第 2 章（p.2～24）を読む 事後学修：授業中に配布したプリント資料を完成させ、情報セキュリティの意味を理解する
11 回	授業内容：情報セキュリティ② 「様々な脅威」～ウイルス、標的型攻撃～ 事前学修：教科書第 3 章（p.26～62）を読む 事後学修：授業中に配布したプリント資料を完成させ、具体的なウイルスの種類を知る
12 回	授業内容：情報セキュリティ③ 「セキュリティ対策」～ウイルス対策、ファイアウォール～ 事前学修：教科書第 3 章（p.90～94）を読む 事後学修：授業中に配布したプリント資料を完成させ、具体的な対策法を知る
13 回	授業内容：情報セキュリティ④ 「スマートフォンのセキュリティ」「組織的な取り組み（ISMS）」 事前学修：教科書第 4 章（p.64～76）を読む 事後学修：授業中に配布したプリント資料を完成させ、組織としての対策を理解する
14 回	授業内容：情報技術についての総まとめとレポート作成 事前学修：第 1 回から第 9 回までの資料の内容を見直す 事後学修：情報の表現方法について確実に理解する
15 回	授業内容：情報セキュリティについての総まとめとレポート作成 事前学修：第 10 回から第 13 回までの資料の内容を見直す 事後学修：標的型攻撃の特徴と対策法について確実に理解する

◆**教科書** 丸沼『情報セキュリティ読本「IT 時代の危機管理入門」』五訂版 情報処理推進機構（IPA）著 実教出版（ISBN978-4407347753）648 円（税込）（送料 215 円）

〔当日資料配布〕スライドのハンドアウト資料や演習問題などの資料を配付する

◆**参考書** Web サイト ネットワークビギナーのための情報セキュリティハンドブック  
<https://www.nisc.go.jp/security-site/handbook/index.html>

◆**成績評価基準** 授業への参加度（各回の小課題の評価）による評価が 50%、最終課題の内容による評価が 50%。  
なお、最終課題を提出しない場合には評価をつけないので注意すること。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語 A】

天野 暁子

- ◆**授業概要** キャンパスライフを舞台にしたストーリーから、アルバイトや期末試験など、日々の生活の中で、密着した英語の表現を学びます。「音読」を取り入れて、基礎的な語彙や文法の確認をし、受信とともに発信する英語力を高めることを目指します。
- ◆**学修到達目標** 「音読」はリスニングやスピーキングにも有効となります。発音できる英単語句は聴きとることができるからです。発音の基礎と練習問題の文法項目を復習し、リーディングやライティングの基礎力を定着させて、学習した語彙や表現を用いたスピーキング能力の向上を目標とします。
- ◆**授業方法** 'Warm Up' は予習を前提とし、文法項目の確認をします。'Let's Listen' の対話を聴き、大意理解問題や空欄補充問題を行い、ロールプレイで対話発表をします。'Let's Read' でのグループワークや、各章毎の小テストも行います。音読発表など積極的に授業参加をしましょう。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: ガイダンス (進度は受講生の習熟度・要望により変更する場合があります)、発音学習 事前学修: 音声ファイルのダウンロード / ストリーミング、'Warm Up' の予習 事後学修: 発音練習、単語練習
2 回	授業内容: Unit 1 What's your major? - 1 スモールトーク (be 動詞) 話しかける / 自己紹介する 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習
3 回	授業内容: Unit 1 What's your major? - 2 スモールトーク (be 動詞)、発表 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習
4 回	授業内容: Unit 2 How do you like your new school? - 1 クラブ活動 (現在形) 人を誘う / 別れ際の挨拶 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習、小テスト準備
5 回	授業内容: Unit 2 How do you like your new school? - 2 クラブ活動 (現在形)、発表、小テスト 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習
6 回	授業内容: Unit 3 Let me introduce a new member to you. - 1 専攻 (過去形) 人を紹介する / 驚きを示す。 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習、小テスト準備
7 回	授業内容: Unit 3 Let me introduce a new member to you. - 2 専攻 (過去形)、発表、小テスト 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習
8 回	授業内容: Unit 4 How was your golden week? - 1 日本事象・休日 (未来形) 予定を述べる / 説明する 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習、小テスト準備
9 回	授業内容: Unit 4 How was your golden week? - 2 発表、小テスト 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習
10 回	授業内容: Unit 5 I'm looking for a part-time job. - 1 アルバイト (進行形) 詳細を尋ねる / 理由を述べる 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習、小テスト準備
11 回	授業内容: Unit 5 I'm looking for a part-time job. - 2 発表、小テスト 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習
12 回	授業内容: Unit 7 Have you been there? - 1 パーティ企画 (現在完了形) 経験を尋ねる / 提案する 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題の予習 事後学修: 対話文の暗唱、単語句練習、最終発表分担確認
13 回	授業内容: Unit 7 Have you been there? - 2、総まとめ① 最終発表練習① 事前学修: 対話文の暗唱、単語句練習 事後学修: 最終発表練習
14 回	授業内容: 総まとめ② 最終発表練習②、発表 事前学修: 単語句、リスニング、文法問題確認、最終発表練習 事後学修: 前回までの学習範囲内の語彙、音声、対話文の内容を確認しておく。
15 回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 前回までの学習範囲内の語彙、音声、対話文の内容を確認しておく。 事後学修: 学習した語彙の定着を図るため、繰り返し復習をする。

- ◆**教科書** 丸沼『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus!』角山照彦・Simon Capper 著 成美堂  
2,376 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の電子機器等 (スマホ、iPad、PC 等) の使用は不可。その他は必要に応じて提示。
- ◆**成績評価基準** 発話活動・発表 (30%)、小テスト (20%)、試験 (50%) 無遅刻・無欠席を前提として総合的に評価します。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔民法Ⅳ〕

野中 貴弘

- ◆**授業概要** 我々の生活における各種の契約や不法行為による損害賠償の重要性は多言を要しない。本講義では、民法典の第3編「債権」のうち、契約・事務管理・不当利得・不法行為を対象とする。具体的には、各種の契約はいかにして成立するか、売買契約の売主の義務にはどのようなものがあるか、契約の解除はどのような場合に認められるか、不法行為による損害賠償請求はどのような場合にどういった損害について請求できるのか等を弁護士の実務経験をもとに授業を行い、学んでもらう。
- ◆**学修到達目標** 授業で扱った制度・論点について、自身で適宜具体例を挙げることができるレベルで理解をし、かつまたそれを他者に論理的に説明できるようになることを目的とする。また、事例問題の中から法的問題を発見できるようになることも目的とする。より具体的には、債権各論の分野に関しては、行政書士試験や公務員試験等の各種資格試験にも対応できるようになる。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式で行うが、定期的に行う演習（全4回を予定）の際には、数分の検討時間をとった後に、学生を指名して回答を求めるとして、学生の理解度を確認しながら進めていくこととする。なお、受講人数によっては、授業方法を変更することもある。
- ◆**履修条件** 民法Ⅰを履修済みであることが望ましい。
- ◆**授業計画** 【各90分】

1回	授業内容	民法の全体像（民法とは何か、民法の全体像、民法の基本概念）
	事前学修	レジュメあるいは参考書を見て、民法Ⅰ（民法総則）の復習しておくこと
2回	授業内容	契約総論①（契約の意義・分類、契約自由の原則、契約の成立時期、契約解釈）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 契約成立が認められる要件を整理したうえで、民法Ⅰ（民法総則）と民法Ⅳ（債権各論）との関係性を整理する。所有権の取得方法における承継取得の考え方を理解する。また、第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち今回学んだ部分の問題につき解いてみる。
3回	授業内容	契約総論②（契約締結上の過失、危険負担）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 危険負担における「債務者主義」とは何を意味しており、民法何条がこれを規定しているのが整理する。また、第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち今回学んだ部分の問題につき解いてみる。
4回	授業内容	契約総論③（同時履行の抗弁、事情変更の原則）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 同時履行の抗弁権の制度趣旨が、「訴訟の手間を回避し、相手方の資力の悪化に配慮するため」とされていることの意味を自分の言葉で説明できるようにする。また、第5回講義の際に扱う演習（第1回）の問題のうち今回学んだ部分の問題につき解いてみる。
5回	授業内容	契約総論④（解除の要件と効果）、演習（第1回）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 演習（第1回）の問題を全問検討しておくこと 民法541条及び542条がそれぞれ各号で規定しているのはどのようなケースであるのか具体例を挙げて説明できるようにする。演習問題の回答を整理する。
6回	授業内容	売買①（総論、売主の義務（契約不適合責任の構造））
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 民法562条以下の条文を素読し、契約不適合物が給付された買主の救済手段をまとめること。第7回講義の際に扱う演習（第2回）の問題のうち今回学んだ部分の問題につき解いてみる。
7回	授業内容	売買②（買主の義務、手付契約、契約後の果実や利得の取扱い等）、演習（第2回）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 手付解除するための要件について整理する。また、買主の受領遅滞があった場合にはどのような効果が生じるのか整理する。さらに、演習問題の回答を整理する。
8回	授業内容	質貸借①（総論、質貸人と質借人の義務）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 信頼関係破壊の法理とは何か及び敷金をめぐる紛争とその法的帰結を整理する。第10回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち今回学んだ部分の問題につき解いてみる。
9回	授業内容	質貸借②（契約の終了、借地借家法）、使用貸借
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 借地借家法ができた背景やその適用範囲等を中心に、レジュメを整理する。第10回講義の際に扱う演習（第3回）の問題のうち今回学んだ部分の問題につき解いてみる。
10回	授業内容	雇用・請負・委任・寄託・和解、演習（第3回）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 演習（第3回）の問題を全問検討しておくこと 4つの役務提供契約のそれぞれの特徴をおさえる。演習問題の回答を整理する。
11回	授業内容	不法行為①（不法行為の成立要件）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 民法709条の条文を見ただけで一般不法行為の要件を抽出でき、各要件で何が問題となるかがイメージできるように整理する。
12回	授業内容	不法行為②（不法行為の効果）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 交通事故に遭った場合を例に、どういった損害について賠償請求できるのかを整理したうえで、「被害者側の過失論」がどういったケースにおいてどのような理屈から登場してきた議論なのか整理する。
13回	授業内容	不法行為③（特別の不法行為）
	事後学修	レジュメあるいは参考書の該当箇所を予め読んでおくこと 民法714条および715条の条文を見ただけで各不法行為の要件を抽出でき、各要件で何が問題となるかがイメージできるように整理する。
14回	授業内容	総合演習（第4回）をしながら重要部分の復習
	事後学修	これまでのレジュメを見ながら、あらかじめ演習（第4回）の問題を全問検討しておくこと 演習問題の回答を整理する、分からない箇所をレジュメや参考書を参照しながら整理する。
15回	授業内容	質問受付け、授業内試験及び講評
	事後学修	これまでのレジュメを読み返し、理解していない箇所をあらかじめ明らかにしておくこと たとえば無効・取消しの効果と解除の効果の比較など、民法Ⅰなどの知識との関係性を意識して、再度民法Ⅳ全体を復習する。

- ◆**教科書** 【当日資料配布】初回講義時に全回分の講義レジュメ（演習問題を含む）を配付する。
- ◆**参考書** 丸沼『リーガルベイス民法入門〔第3版〕』道垣内弘人 日本経済新聞出版社 4,860円（税込）（送料500円）  
丸沼『有斐閣アルム 民法5 契約』山本豊・笠井修・北居尚 2,700円（税込）（送料300円）
- ◆**成績評価基準** 第15回に授業内試験を行って、基礎知識を前提とした問題発見能力・論理的思考力が身につけているかを判定する。試験問題としては、正誤問題と簡易記述式問題とを予定している。

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔税法〕

本村 大輔

- ◆ **授業概要** 昨今、我が国の税制は、経済の多様化とグローバル化により、めまぐるしく変化している。この変化は、毎年の税制改正として現れる。言い換えれば、我々納税義務者をとりまく環境は絶えず変化する。ただ、税法の基礎理論や納税者の権利は、いかに経済社会が複雑化しようとも変化することはない。そこで、本講義では、税法の基礎理論を学ぶことによって、複雑化した税制への理解の足掛かりを作る。
- ◆ **学習到達目標** 税法に関する具体的問題を考えながら、税法の基礎理論の修得を目指す。我々が生活する上で切っても切り離せないのが税です。ただ、税に関する法となると難解になってしまうのが実状です。そこで、講義においては、各人が税法に関する問題を理解し、判断できるだけの基本的知識および考え方の修得を目指します。
- ◆ **授業方法** 授業は、基本的に講義形式で行います。講義内容は、税に関する基礎知識の整理、税法をめぐる具体的問題について学習していきます。また、税法に関する法律用語は、自身で調べるのが原則ですが、短期間において学習して参りますので、重要な用語は適宜説明を加えながら講義を進めます。
- ◆ **履修条件** 北野弘久『納税者の権利』を一読しておくこと、講義内容の理解度が深まります。
- ◆ **授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス・現代社会と税法の接点－税法を学ぶ意味－ 我が国の税財政の課題を確認し、税法の解釈と適用の基本的考察法を検討する。 財務省の HP を確認し、我が国の税財政状況について事前に調べておくこと。 授業で配布した資料を復習しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	税法学の特質（1）－税法学と隣接法学－ 税法と隣接する近接する法領域すなわち行政法や民法ひいては財政学との関係を考察することにより、税法学の多角的検討の必要性を学ぶ。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 授業の内容を復習し、特に行政法学との関係を理解しておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	税法学の特質（2）－法認識論と法実践論－ 税法の基本的考え方である法認識論と法実践論の異同を確認する。 教科書の該当箇所（11～15 頁、24 頁）を熟読しておくこと。 法認識論と法実践論の違いをしっかりと理解した上で、税法学のあり方を考えること。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	「租税」の法的概念（1）理論的背景 我が国の基本的税法に「租税」を定義した規定は存在しない。そこで、「租税」の従来の定義と日本国憲法下における定義とに分け、「租税」の特質について検討する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 教科書を読みながら、「租税」の要素をまとめておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	「租税」の法的概念（2）事例研究 「租税」の定義に関わる裁判例を確認し、その定義づけの重要性を考察する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 最判平成 18 年 3 月 1 日民集 60 巻 2 号 587 頁の論点を確認し、判示内容を理解しておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	税法の体系－税法典の体系と構造－ 税法の理論的体系と実体法典の確認を行い、租税特別措置法の位置づけやその特質について検討を加える。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 税法の理論的体系と実体法典体系を概観し、租税特別措置法の意義を理解しておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	租税法律主義（1）－租税法律主義の憲法規定－ 明治憲法と日本国憲法との異同に触れつつ、租税法律主義が導かれる憲法上の根拠を確認する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 日本国憲法が何故に税に関する規定を二つ設けているのかを確認し、授業内容をノートにまとめておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	租税法律主義（2）－租税法律主義の法理とその基本的機能－ 租税法律主義における法理的要請について確認、検討を加えていく。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 租税法律主義の法理的要請は、税法の基本的問題を理解する上で極めて重要であるので教科書及び授業内容をしっかりとノートにまとめておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	租税法律主義（3）－基本的道具概念としての租税法律主義－ 人々の経済社会が多様化し、税制が複雑化する中で、租税法律主義はどのような役割を有するのか、租税法律主義の現代的展開を検討する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 租税法律主義の役割は、税法の基本的問題を理解する上で極めて重要であるので、前回の授業内容も含めて教科書及び授業内容をしっかりとノートにまとめておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	租税法律主義（4）事例研究－応用的法実践論－ 租税法規不遡及の原則にかかる裁判例の法的問題を検討する。 授業で配布した資料を熟読し、裁判例の論点を確認しておくこと。 裁判例の論点を再確認し、憲法 84 条の意義をしっかりと理解しておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	本来的租税条例主義－地方税の基礎原理とはなにか－ 地方自治体の課税権にかかる基本原理を確認し、地方税法をめぐる問題を考察する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。合わせて教科書の 21 章も読んでおくこと。 教科書の該当箇所を読み、ノートを整理しておくこと。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	実質課税の原則（1）－実質課税の原則とはなにか－ 実質課税の原則の意義及び背景を確認し、租税負担公平原則との関係を考察する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 教科書の該当箇所を読み、ノートを整理しておくこと。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	実質課税の原則（2）－実質課税の原則の指向とその虚構性－ 実質課税の原則を租税法律主義の観点から検討することにより、現行法下で成立しうるのかを確認する。 教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 教科書の該当箇所を読み、12 回の授業内容と合わせてノートを整理しておくこと。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	理解度の確認およびまとめ これまでの授業内容を復習し、各論点ごとのポイントをノートに整理しておくこと。 各論点と税法理論の結びつきを教科書とノートを使用し、再確認しておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 これまでの論点ごとのポイントを復習しておくこと。 税法理論と裁判例を相互的に復習し、税法に係る問題にどのようにアプローチするか考える。

- ◆ **教科書** 教材『税法 K31500』通信教育教材（教材コード 000410）5,150 円（送料込）※学修指導書付き。  
〈この教材は市販の『税法学原論』北野弘久・黒川功補訂（勁草書房）と同一です。書店で購入する場合は、学修指導書は付きません。〉
- ◆ **参考書** 丸沼『納税者の権利』北野弘久 岩波新書 1981 864 円（税込）（送料 215 円）  
丸沼『現代税法入門塾』石村耕治編 第 9 版 清文社 2018 年 4,104 円（税込）（送料 500 円）  
丸沼『租税判例百選』中里実ほか編 第 6 版 有斐閣 2016 年 2,808 円（税込）（送料 300 円）
- ◆ **成績評価基準** 主に、授業の最後に行う論述試験にて評価し、これに平常点を加味します。論述試験については、テキストのみ持ち込みを許可します。当然、電子機器等の持ち込みは認められません。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔法哲学〕

高須 則行

◆**授業概要** 法哲学とは、法（法解釈学）を対象として、全体的、根源的に考察するものとされる。今回の講義は、法哲学のひとつの研究領域である法的思考（法解釈学方法論）を対象として、それがどのような思考方法であるかを、いくつかの具体的事例を取り上げて解説しようとする。

- ◆**学修到達目標**
- ① 法的思考の構造を理解し、説明することができる。
  - ② 法的思考における法の種類を理解し、説明することができる。
  - ③ 様々な法解釈の方法の特徴と機能を、およびその相互関係を理解し、説明することができる。
  - ④ 法的決定を導くときの理由づけ（推論）の構造を理解し、説明することができる。

◆**授業方法** 講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けていきたいと思えます。受講者の人数にもよりますが、ゼミ形式で授業を進めることも考えています。

### ◆ 授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：法哲学へのいざない：法哲学と法解釈学 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容：法的三段論法 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容：法と社会規範 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容：制定法の種類 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容：法的三段論法 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容：言葉の構造 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容：解釈の意義 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容：文理解釈と拡張解釈 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容：文理解釈と縮小解釈 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容：文理解釈と反対解釈 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容：文理解釈と類推適用 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容：体系的解釈と法的文脈 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容：目的論的解釈 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容：法解釈の要請（1）：法的安定性と具体的妥当性との調和 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容：法解釈の要請（2）：法と正義 事前学修：資料の該当部分参照 事後学修：授業の内容をノートに整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。

◆**教科書** 特になし。レジュメを配布する。

◆**参考書** 丸沼『法哲学』平野仁彦・亀本洋・服部高宏 有斐閣アルマ 2002 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** ①試験結果（50%）②授業参加度（30%）③レポート（20%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (行政学)

山田 光矢

- ◆**授業概要** 人類社会の発展と変質がもたらした、国家や地方公共団体の役割の変化と、それに対して私たちがどのように対応すべきなのかを、ロストローの「take off の原理」を手がかりに、国家のその時代ごとの役割の変質と、国家の実態を考え、現在の国家や地方公共団体の役割や現状を分析し、行（財）政改革のあるべき方向性について解説する。
- ◆**学修到達目標** 日本の行（財）政が抱える問題を理解し、その原因やこれまでの対応策の適否などを分析し、受講生が考える日本の行（財）政改革のあるべき方向性を明確に出来るだけの知識を身につける。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、こちらからの質問にはきちんと答えてください。また質問などがある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で受講生の知識を高めるとともに、受講生の理解を深めていくことを目的に講義を進めていきます。そのためにも、積極的な講義への参加を求めながら講義を進めていきます。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 行政とはどのようなものなのかを、法律学 (三権分立) と政治学 (五権分立) から説明する 事前学修: 行政や国家や政治といったものがどのようなものなのかを考えてくる 事後学修: 行政学という行政の特徴について理解する
2 回	授業内容: 人類の歴史と文化や文明 事前学修: 教科書の第 1 章を読んでくる 事後学修: 人類の歴史と文化や文明について理解する
3 回	授業内容: 国家の誕生以後の政治・行政の変質 事前学修: W.W. ロストローの「take off の原理」について考えてくる (教科書第 1 章) 事後学修: 人類の歴史と時代ごとに異なる政治と行政の役割を理解する
4 回	授業内容: 国家の形態と政治および行政 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: イギリス、アメリカ、フランス、ドイツの国家と政治・行政の特徴を整理する
5 回	授業内容: 絶対主義王政下の政治と行政 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: イギリス、フランスの絶対主義の特質と、イギリスのエリザベス救貧法を理解する
6 回	授業内容: 行政学前史: 神聖ローマ帝国と三十年戦争と官房学・警察学 事前学修: 教科書第 1 章と配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: 三十年戦争の特質を理解し戦後復興策としての官房学・警察学を理解する
7 回	授業内容: 神聖ローマ帝国の崩壊後のドイツの政治とシュタイン行政学 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: シュタイン行政学の特徴を整理する
8 回	授業内容: アメリカ行政学誕生の背景: アメリカ建国とジャクソニアンデモクラシー 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: アメリカの独立革命後の歴史とアメリカ政治の特質を理解する
9 回	授業内容: アメリカ行政学の誕生と発展: W. ウィルソンとアメリカ行政学 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: W. ウィルソンの行政学の特質を整理する
10 回	授業内容: アメリカ行政学の展開: 官僚制擁護論と行政学 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: M. ウェーバー、フレイヨール、テラー、キューリックらの理論を整理する
11 回	授業内容: アメリカ行政学の変質: 行政管理論・ホーソン実験と人間関係論 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: ホーソン実験がアメリカ行政学やアメリカ社会に与えた影響を整理する
12 回	授業内容: 世界大恐慌とニューディール政策とケインズ革命 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: 修正資本主義が政治と行政の関係に与えた影響を整理する
13 回	授業内容: 戦後復興・経済成長・福祉国家の進展 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: 小さな政府と市場の失敗、多くの政府と政府の失敗の関係を整理する
14 回	授業内容: 行政国家と行政改革: 新自由主義・新保守主義 事前学修: 配布資料の関係する部分を読んでくる 事後学修: 行政改革の必要性和方向性を論じる
15 回	授業内容: これまでの講義内容の整理 事前学修: これまでの講義の内容を整理してくる 事後学修: 行政学と行政改革の関係を理解する

- ◆**教科書** 丸沼『政治学』第 2 版 吉野篤編・山田光矢他著 弘文堂 2,160 円 (税込) (送料 300 円)  
〔当日資料配布〕山田光矢著「行政改革の理論と実態」『政経研究』(41-1)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験を 60%、平常点を 20%、小テストやレポート等を 20%程度で評価する

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学史 I〕

近藤 健史

◆**授業概要** 上代から近現代までの文学の流れを概観したうえで、上代から近世における文学史、各時代の文学様式や作品の発生と展開について講義する。

◆**学修到達目標** 古典文学の流れ、特質、政治的・歴史的背景などを学修し、日本文学を理解する基礎的な知識を身につけ、日本文学史や作品の背景などを説明することができることを目標とする。

◆**授業方法** 基本的には、テキストに沿って、解説・補足しながら講義する。古典文学という特性から、写本、絵巻、建築や生活様式などについての映像を視聴して理解を深める。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：授業の進め方、文学史とは何か、日本文学史の概観について、講義する。 事前学修：テキストの「日本文学史年表」、和歌の各時代の「概説」を読んでおくこと。 事後学修：文学史を学ぶことの意味を確認しておくこと。
2 回	授業内容：文字との出会いと使用、日本文学の発生について講義する。 事前学修：漢字の伝来や平仮名の発生などについて調べておくこと。 事後学修：授業内容や配布資料などにより、日本文学の発生を確認しておくこと。
3 回	授業内容：上代文学の概観（作品の成立、時代背景、特質など）について講義する。 事前学修：テキストにある上代文学の「概説」を読んでおくこと。 事後学修：上代文学の範囲、作品、特質などについて、確認しておくこと。
4 回	授業内容：『古事記』『日本書紀』『万葉集』の作品を読む。 事前学修：テキストにある作品について、注釈書などを参考にして大意を把握しておくこと。 事後学修：作品の引用以外の部分も読んで、理解を深めておくこと。
5 回	授業内容：中古文学の概観（作品の成立、時代背景、特質など）について講義する。 事前学修：テキストにある中古文学の「概説」を読んでおくこと。 事後学修：中古文学の範囲、作品、特質などについて、確認しておくこと。
6 回	授業内容：中古における和歌の復興と作品について講義する。 事前学修：テキストの中古第 1 章を読んでおくこと。 事後学修：時代背景と文学作品の成立との関わりについて確認しておくこと。
7 回	授業内容：中古における物語の成立と展開について講義する。 事前学修：テキストの中古第 3 章を読んでおくこと。 事後学修：展開図を作成し、物語の流れを把握すること。
8 回	授業内容：中古における歴史物語、説話、日記の発生と展開について講義する。 事前学修：中古第 3・4・5 章を読み、各ジャンルにおける最初の作品の特質を把握しておくこと。 事後学修：各ジャンルについての展開図を作成し、流れを把握すること。
9 回	授業内容：中世文学の概観（作品の成立、時代背景、特質など）について講義する。 事前学修：テキストにある「概説」を読んでおくこと。 事後学修：中世文学の範囲、作品、特質などについて確認しておくこと。
10 回	授業内容：中世における伝統文学とその作品や特質について講義する。 事前学修：テキストの中世第 1・2・5 章を読んでおくこと。 事後学修：『新古今和歌集』の成立事情について把握しておくこと。
11 回	授業内容：中世における新興文学とその作品や特質について講義する。 事前学修：テキストの中世第 3・4・6 章を読んでおくこと。 事後学修：作品の生まれる政治的・社会的・文化的・風土的背景について把握しておくこと。
12 回	授業内容：近世文学の概観（作品の成立、時代背景、特質など）と俳諧について講義する。 事前学修：テキストにある近世文学の「概説」、近世第 2 章を読んでおくこと。 事後学修：作品の生まれる政治的・社会的・文化的・風土的背景について把握しておくこと。
13 回	授業内容：近世における小説について講義する。 事前学修：テキストの近世第 5 章を読んでおくこと。 事後学修：小説の展開と特質について把握しておくこと。
14 回	授業内容：近世における演劇・芸能について講義する。 事前学修：テキストの近世第 6 章を読んでおくこと。 事後学修：演劇・芸能の展開と特質について把握しておくこと。
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：授業内容や配布資料を確認して、試験に備えておくこと。 事後学修：付録の「日本文学史年表」で古典文学の流れを再確認しておくこと。

◆**教科書** 教材『国文学史 I・II M30100』通信教育教材（通教材コード 000553）3,100 円（送料込）※学修指導書付（この教材は市販の『日本文学史』久保田淳（おうふう）と同一です。書店で購入する場合は学修指導書は付きません。）

◆**参考書** 『岩波 日本古典文学史事典』久保田淳編 岩波書店（図書館を利用）  
『上代文学研究事典』小野寛・桜井満編 おうふう（図書館を利用）  
『平安時代史事典』古代文学学会編 角川書店（図書館を利用）

◆**成績評価基準** 試験 100%

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語文学概説 / 英米文学概説〕 オープン受講：不可

野口 肇

- ◆**授業概要** 19 世紀末から 20 世紀にかけて、ヨーロッパから世界各地に広まった近代劇の歴史を一瞥し、その代表的な作品を取り上げます。講義の後半では、アメリカの主な劇作家の代表的な作品を取り上げます。
- ◆**学修到達目標** 英米文学を学ぶ学生として、近代劇について最低限必要と思われる作家、時代背景・及びその作品等について学んで欲しいと思います。
- ◆**授業方法** 近代劇の歴史について講義し、その後、代表的な作家の作品を取り上げます。講義の後半では、アメリカ演劇について述べます。作品のいくつかは映像で観て、そのレポートを提出していただきます。
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：ガイダンス 近代劇について 事前学修：配布したプリントを読んでおくこと 事後学修：講義内容の復習
2 回	授業内容：近代劇の歴史 事前学修：近代劇に関する参考書を探して読んでおくこと 事後学修：講義の内容から近代劇の歴史をまとめておくこと
3 回	授業内容：ヘンリック・イブセンの人と作品（1） 事前学修：ヘンリック・イブセンについて、予め調べておくこと 事後学修：ヘンリック・イブセンの人となりをまとめておくこと
4 回	授業内容：ヘンリック・イブセンの人と作品（2） 事前学修：ヘンリック・イブセンについての作品を一つ読んでおくこと 事後学修：ヘンリック・イブセンの作品についてまとめておくこと
5 回	授業内容：イギリス演劇について（1） 事前学修：イギリス演劇について参考書を探して読んでおくこと 事後学修：イギリス演劇についてまとめておくこと
6 回	授業内容：イギリス演劇について（2） 事前学修：イギリス演劇の作品を一つ読んでおくこと 事後学修：イギリス演劇についてまとめておくこと
7 回	授業内容：アメリカ演劇について 事前学修：アメリカ演劇の歴史を調べておくこと 事後学修：アメリカ演劇について興味を持ったことをまとめておくこと
8 回	授業内容：ユージン・オニールの人と作品 事前学修：ユージン・オニールについて、予め調べておくこと 事後学修：ユージン・オニールの作品を一つ読むこと
9 回	授業内容：テネシー・ウィリアムズの人と作品（1） 事前学修：アメリカ演劇と南部の劇作家について、予め調べておくこと 事後学修：アメリカ演劇と、テネシー・ウィリアムズの関係について、考えておくこと
10 回	授業内容：テネシー・ウィリアムズの人と作品（2） 事前学修：テネシー・ウィリアムズについてまとめておくこと 事後学修：テネシー・ウィリアムズの作品を一つ読んでおくこと
11 回	授業内容：テネシー・ウィリアムズの人と作品（3） 事前学修：テネシー・ウィリアムズの作品に見られる南部女性のイメージについて、考えておくこと 事後学修：テネシー・ウィリアムズの世界についてまとめておくこと
12 回	授業内容：アーサー・ミラーの人と作品（1） 事前学修：アーサー・ミラーについて、予め調べておくこと 事後学修：アーサー・ミラーの作品を一つ読むこと
13 回	授業内容：アーサー・ミラーの人と作品（2） 事前学修：アーサー・ミラーとその時代について調べておくこと 事後学修：アーサー・ミラーとアメリカ演劇についてまとめておくこと
14 回	授業内容：アーサー・ミラーの人と作品（3） 事前学修：アーサー・ミラーの魅力について、予め調べておくこと 事後学修：アーサー・ミラーの現代性について、考えておくこと
15 回	授業内容：まとめ・筆記試験 事前学修： 事後学修：

- ◆**教科書** **事前資料送付** プリント配布
- ◆**参考書** 配布したプリントを参照。
- ◆**成績評価基準** 試験（70%）、レポート（30%）を総合的に判断します。3 日間の出席が条件です。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔イギリス文学史Ⅱ〕

鈴木 ふさ子

◆**授業概要** 文学とはその時代と社会を映し出す鏡である。この授業では 18 世紀後半から 20 世紀のイギリスの文学をイギリス史と社会との関係から概観する。具体的には指定したテキストの第 5 章から第 9 章までの各章における時代の特徴と社会について学び、各時代の文学を詩、小説、散文、戯曲のジャンルごとの代表的作家とその作品の内容を学び、イギリス文学を歴史の流れの中で広い視座から理解できる事を心がける。

◆**学習到達目標** 18 世紀後半から 20 世紀のイギリスの歴史・社会と文学の関連性を説明できるようになる事を目的とする。それぞれの時代や社会の特徴について学び、それらが文学にどのような影響を与えたのかを考察し、理解できるようになる事を目的とする。その過程でイギリス文学に必要な基礎知識 (代表的作家、代表的作品、文学用語など) を身につけ、文学を深く理解する土台を築く事を目的とする。

◆**授業方法** テキストに沿って第 5 章から第 9 章までの時代思潮と各ジャンル (詩、小説・散文、戯曲) の概説を学んだ上で、代表的な作家についての解説、代表作の内容についての解説を行う。重要な作品の原文を読む。詩は重要な作品を音声で聞き、発音してもらう場合もある。作品や時代を理解する一助として映像を使用する場合もある。作品についてのコメントを書いてもらうこともある。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス、オリエンテーション、授業の進め方、講義内容に記載されている成績評価方法等の確認、5 月期スクーリングで扱う作家や作品を紹介する。 自分が興味のある作家と作品を考えてくる。 5 月期に学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品があるのか調べる。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 5 章 (1) 新古典主義から想像力の詩へ 18 世紀後半のイギリスの社会について解説する。この時代の詩の特徴を解説し、代表的詩人 (James Thomson, Thomas Gray, Robert Burns, William Blake) を紹介し、代表作の概要を紹介する。 テキストの 118-132 頁を読み、18 世紀後半のイギリス社会について調べ、代表的詩人について調べる。 授業時にとったノートを復習し、18 世紀後半のイギリス社会とこの時代の代表的詩人についてまとめる。詩を朗読し、味わい、感想や批評を書く。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 5 章 (2) 近代小説の成立、伝記 18 世紀後半の小説・散文の特徴を解説し、代表的作家 (Samuel Richardson, Henry Fielding, Laurence Sterne, Samuel Johnson, James Boswell) の概要を紹介する。 テキストの 132-148 頁を読み、18 世紀後半の小説家、散文家について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、18 世紀後半のイギリス社会とこの時代の代表的作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 6 章 (1) 前期ロマン派の詩人 19 世紀初頭のイギリスの社会について解説する。この時代の詩の特徴を解説し、代表的詩人 (William Wordsworth, Samuel Taylor Coleridge) を紹介し、代表作を読む。 テキストの 150-159 頁を読み、19 世紀初頭のイギリス社会、この時代の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、19 世紀初頭のイギリス社会とこの時代の代表的詩人についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 6 章 (2) 後期ロマン派の詩人 19 世紀初頭の代表的詩人 (George Gordon Byron, Percy Bysshe Shelley, John Keats) を紹介し、代表作を読む。 テキストの 160-173 頁を読み、19 世紀初頭の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、19 世紀初頭の詩人についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 6 章 (3) 歴史小説、写実主義の小説、エッセイ 19 世紀初頭の小説とエッセイについて解説する。代表的作家 (Walter Scott, Jane Austen, Charles Lamb) を紹介し、代表的作品の概要を紹介する。 テキストの 173-182 頁を読み、19 世紀初頭の代表的作家について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、19 世紀初頭の代表的作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 7 章 (1) ヴィクトリア時代の詩人 19 世紀中期のイギリスの社会について解説する。この時代の詩を解説し、代表的詩人 (Alfred Tennyson, Robert Browning, Matthew Arnold, Dante Gabriel Rossetti) を紹介し、代表作を読む。 テキストの 184-196 頁を読み、19 世紀中期のイギリス社会、この時代の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、19 世紀中期のイギリス社会とこの時代の代表的詩人についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 7 章 (2) ヴィクトリア時代の小説家・批評家 19 世紀中期の小説・散文について解説する。この時代の代表的作家 (Charles Dickens, William Makepeace Thackeray, Charlotte Brontë, Emily Brontë, George Eliot, George Meredith, Lewis Carroll, Thomas Carlyle, John Ruskin) を紹介し、代表作を読む。 テキストの 196-223 頁を読み、19 世紀中期のイギリス社会、この時代の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、19 世紀中期の代表的作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 8 章 (1) 19 世紀後半の文学 19 世紀後半のイギリス社会について解説する。この時代の詩、小説、戯曲について解説する。代表的詩人 (Gerard Manley Hopkins)、代表的作家 (Samuel Butler, Thomas Hardy, Walter Pater)、代表的劇作家 (Oscar Wilde) を紹介し、その代表作の概要を紹介する。 テキストの 226-230、233-239、244-249 頁を読み、19 世紀後半のイギリス社会、この時代の代表的詩人、作家、劇作家について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、19 世紀後半のイギリス社会と時代思潮と芸術、この時代の代表的詩人、作家、劇作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 8 章 (2) 20 世紀初頭の文学 20 世紀初頭のイギリスの社会と時代思潮について解説する。その時代の詩、小説・散文、戯曲について解説する。代表的詩人 (William Butler Yeats)、代表的作家 (Joseph Conrad, John Galsworthy)、代表的劇作家 (George Bernard Shaw) を紹介し、その代表的作品の概要を紹介する。 テキストの 230-233、239-243、249-252 頁を読み、20 世紀初頭のイギリス社会、この時代の代表的詩人、作家、劇作家について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、20 世紀初頭のイギリス社会とこの時代の代表的詩人、作家、劇作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 9 章 (1) 20 世紀の詩 20 世紀のイギリス社会について解説する。その時代の代表的詩人 (Wystan Hugh Auden, T. S. Eliot) を紹介し、その作品を読む。 テキストの 254-261 頁を読み、20 世紀のイギリス社会、この時代の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、20 世紀のイギリス社会とこの時代の代表的詩人についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 9 章 (2) 20 世紀の小説・散文 20 世紀の小説・散文について解説し、代表的作家 (James Joyce, Virginia Woolf, D. H. Lawrence, Iris Murdoch) を紹介し、その作品の概要を紹介する。 テキストの 261-275 頁を読み、20 世紀のイギリス社会、この時代の代表的作家について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、20 世紀の代表的作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	テキスト第 9 章 (3) 20 世紀の戯曲 20 世紀の戯曲について解説し、代表的劇作家 (Samuel Beckett) を紹介し、その作品の概要を紹介する。 テキストの 276-281 頁を読み、20 世紀初頭のイギリス社会、この時代の代表的詩人について調べ、時代との関連性を考える。 授業時にとったノートを復習し、20 世紀のイギリス社会とこの時代の代表的劇作家についてまとめる。興味の沸いた作品を読んでみる。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	5 月期スクーリングの総まとめをし、現代の文学との関連性を解説する。 5 月期スクーリングで学んだことをまとめ、現代の文学との関連性を考えてくる。 5 月期スクーリングの総復習を行い、第 5 章から第 9 章まで学んだことをまとめ、時代ごとの流れをつかみ、それらが文学にどのような影響を及ぼしているのかについて考察する。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験とその解説を行う。 5 月期スクーリングで学んだことを総復習する。 5 月期に学んだこと、読んだ英文を復習する。

◆**教科書** 既述『はじめて学ぶイギリス文学史』 ミネルヴァ書房 3,024 円 (税込) (送料 350 円)

◆**参考書** 既述『英語文学事典』 ミネルヴァ書房 4,860 円 (税込) (送料 500 円)

既述『イギリス名詩選』 岩波文庫 993 円 (税込) (送料 215 円)

既述『映画で英詩入門』 平凡社 1,404 円 (税込) (送料 215 円)

※参考文獻は自習用であり、授業では使用しません。

◆**成績評価基準** コメントシート (30%)、試験 (70%) 授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語学演習 A】

佐藤 健児

- ◆**授業概要** G. N. Leech の *Meaning and the English Verb* の精読を通して、英語の現在形の世界を探求します。具体的には、Chapter 1 “Simple Present and Past Tenses” の § 6 (p.5) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書の「研究課題」、参考書に挙げた文献等を参照しながら、丁寧に（語彙や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、必ず「和訳」をしてから授業に臨むこと。
- ◆**学修到達目標** (1) 専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、(2) 現在形の様々な意味や用法を理解し、説明できるようになること、それを本演習の目標とします。
- ◆**授業方法** 輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 時 (Time) と時制 (Tense) について学ぶ。 事前学修 「英文法解説 一改訂三版」の §141～3 を読んでおく。 事後学修 時 (Time) と時制 (Tense) の定義と種類について、説明できるようにしておく。
2 回	授業内容 相 (Aspect) について学ぶ。 事前学修 「英文法解説 一改訂三版」の §141～3 を読んでおく。 事後学修 相 (Aspect) の定義と種類について、説明できるようにしておく。
3 回	授業内容 § 6 の精読 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
4 回	授業内容 § 7 の精読— Simple Present の ‘state use’ について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
5 回	授業内容 § 8 の精読— Simple Present の ‘state use’ について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
6 回	授業内容 § 9 の精読— Simple Present の ‘event use’ について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
7 回	授業内容 § 10 の精読— Simple Present の ‘event use’ について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
8 回	授業内容 § 11 の精読— Simple Present の ‘event use’ について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
9 回	授業内容 § 12 の精読— States and events について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
10 回	授業内容 § 13 の精読— Simple Present の habitual use について学ぶ。注の a は除く。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
11 回	授業内容 § 14 の精読— Simple Present referring to future について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
12 回	授業内容 § 15 の精読— Simple Present referring to past について学ぶ。 事前学修 上記の範囲を精読し、ノートに和訳をしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
13 回	授業内容 3 回から 12 回までの範囲を復習する。 事前学修 3 回から 12 回までの範囲を今一度精読し、不明な点を明らかにしておく。 事後学修 予習の段階で不明だった点を中心に、授業内容の復習をしておく。
14 回	授業内容 試験と解説 事前学修 1 回から 13 回までの範囲を復習し、和訳、説明できるようにしておく。 事後学修 試験内容の復習をしておく。
15 回	授業内容 授業の総括 事前学修 1 回から 14 回までの範囲を復習しておく。 事後学修 1 回から 14 回までの授業内容の復習をしておく。

- ◆**教科書** 丸沼『Meaning and the English Verb [Third Edition]』Geoffrey Leech 著 澤田治美注釈 ひつじ書房 2,592 円 (税込) (送料 300 円)  
丸沼『英文法解説 一改訂三版』江川泰一郎著 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 500 円)
- ◆**参考書** 丸沼『ことばの意味と使用 一日英語のダイナミズム』澤田治美・高見健一編 ひつじ書房 3,024 円 (税込) (送料 350 円)

- ◆**成績評価基準** 予習状況・授業への取り組み（発表等）・試験等により総合的に評価します。予習をしていない場合は、大幅に減点します。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英米文学演習 A〕

猪野 恵也

◆**授業概要** アイルランド出身で、英米文学のみならず世界文学に影響を与えた James Joyce による短編集 *Dubliners* の最後の中編 *The Dead* を読む。一見、簡単に見えるが、その言葉の一粒一粒を吟味しないと Joyce 文学の世界の深奥に達することは難しい。まずは James Joyce の履歴を辿りながら、作品紹介をする。そして *The Dead* を読む。

◆**学修到達目標**

1. 文法を駆使しながら英文を読むことができる。
2. 作品観賞ができるようになる。
3. James Joyce の文学世界に触れることができる。

◆**授業方法** 学生による和訳発表が中心。まず文法を駆使して読む。授業計画はおおよその目安である。進捗によっては授業計画通りに進まない場合がある。翻訳でよいので *Dubliners* 全編を読み、割り当て以外の個所も予習する。発表の割り当てをしたいので事前にメールを送ってください。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 : James Joyce の紹介 事前学修 : 文学史において James Joyce について学修する。 事後学修 : 授業内容をじゅうぶん時間をかけて復習する。
2 回	授業内容 : <i>Araby</i> 読解 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>Araby</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
3 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 175 頁から 180 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
4 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 181 頁から 185 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
5 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 186 頁から 190 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
6 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 191 頁から 195 頁及び映画視聴 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
7 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 196 頁から 200 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
8 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 201 頁から 205 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
9 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 206 頁から 210 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
10 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 211 頁から 215 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
11 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 216 頁から 220 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
12 回	授業内容 : <i>The Dead</i> 読解 221 頁から 225 頁 事前学修 : 予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修 : <i>The Dead</i> を再読する。意味の区切りに気をつけて音読もする。
13 回	授業内容 : <i>The Dead</i> について様々な解釈を考える。 事前学修 : 先行研究に頼らないで気づいたことを考えてみる。 事後学修 : 気づきを基に様々な解釈を発展させる。
14 回	授業内容 : 先行研究の紹介 事前学修 : 自分なりに解釈を考えておく。 事後学修 : 先行研究を読み直す。
15 回	授業内容 : 試験 事前学修 : 授業内容を文法事項を中心に時間をじゅうぶんかけて復習する。 事後学修 : <i>The Dead</i> を全体的に再読し、多様な解釈の可能性を考える。

◆**教科書** 事前資料送付 プリント配布

◆**参考書** 『ダブリンの市民』 結城英雄訳 岩波文庫（品切れのため図書館を利用してください）

◆**成績評価基準** 試験（50%）発表（30%）最終レポート（20%）短期間のスクーリングのため皆出席を前提とする。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学演習 I・II〕

小山 英一

- ◆**授業概要** ハイデガーの『存在と時間』は哲学を学ぶ者としてぜひ読んでおきたい著作である。現代哲学、現代思想の出発点、源流でもある。己の日常性、生と死を考える上でも重要である。しかしこの著作は難解で有名であるので、まず入門書から入ろう。演習を通じて、ハイデガーの独特の用語を理解していくこと。
- ◆**学修到達目標** 現代哲学の一つの大きな思潮であるハイデガーの考え方 (特に『存在と時間』の基本を理解し、身につけ、哲学的な思考をする際の道具の一つとすることができる。ハイデガーの用語を使って自分の人生、自分と他者のあり方を深く考えることができる。
- ◆**授業方法** 授業は演習形式。演習参加者に下記教科書の一部をあらかじめ割り振り、担当者を決める。担当者は、指定された箇所を読み、まとめ (レジュメ作成 (必須)) と説明 (発表) を行う。その後、意見交換を行う。(振込用紙を受け取ったら、下記のアドレスにアクセスしてください。担当箇所をお知らせします。なお、ネットにアクセス出来ない人は教務課に問い合わせること。担当箇所を指定されて発表しないと、単位は取得できません。)
  - ・メモを取り、下線を引きながら、テキスト全体を読んでおくこと。
  - ・担当部分については、「担当箇所を適宜音読→レジュメ (要旨と図解) →説明・解説→自分の意見の発表→自分が司会となって全体での意見交換」の流れを想定して学習しておくこと。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: 存在の意味について (序論) 事前学修: テキストの 26 頁～43 頁を読んでおくこと。 事後学修: ハイデガーでは伝統的な考え方に対して「ある」をどのように考えているか押さえておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
2 回	授業内容: 本来性と非本来性について (序論) 事前学修: テキストの 44 頁～73 頁を読んでおくこと。 事後学修: 本来性と非本来性が何を意味しているかを簡単に押さえておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
3 回	授業内容: 「存在の問い」とは何を問うのか (第 2 章) 事前学修: テキストの 116 頁～138 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「存在論的」「存在的」「現存在」「実存」の意味を押さえておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
4 回	授業内容: 「存在の問い」の 2 つの課題 (第 2 章) 事前学修: テキストの 138 頁～154 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「時間」「存在のテンポラリテート」「存在の歴史の破壊」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
5 回	授業内容: 現存在の存在の分析 (第 3 章) (1) 事前学修: テキストの 156 頁～180 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「開示性」「情態 (気分)」「被投性」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
6 回	授業内容: 現存在の存在の分析 (第 3 章) (2) 事前学修: テキストの 180 頁～201 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「恐れ」「了解」「企投」「被投」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
7 回	授業内容: 現存在の存在の分析 (第 3 章) (3) 事前学修: テキストの 201 頁～224 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「語り」「共存在」「不安」「頹落」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
8 回	授業内容: 現存在の存在の分析 (第 3 章) (4) 事前学修: テキストの 224 頁～236 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「不安と気遣いの構造」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
9 回	授業内容: 本来性と非本来性は何を意味するのか (第 4 章) (1) 事前学修: テキストの 238 頁～256 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「ひと」「他者」「疎隔状態」「標準性」「平板化」「世間」「迎合」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
10 回	授業内容: 本来性と非本来性は何を意味するのか (第 4 章) (2) 事前学修: テキストの 256 頁～272 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「ひと」のあり方、「おしゃべり」「好奇心」「曖昧さ」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
11 回	授業内容: 本来性と非本来性は何を意味するのか (第 4 章) (3) 事前学修: テキストの 272 頁～299 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「死への先駆」「日常による死の隠蔽」「死への本来的関わり方」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
12 回	授業内容: 本来性と非本来性は何を意味するのか (第 4 章) (4) 事前学修: テキストの 299 頁～331 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「負い目ある存在」「良心の呼び声」「覚悟」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
13 回	授業内容: 本来性と非本来性は何を意味するのか (第 4 章) (5) 事前学修: テキストの 331 頁～345 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「時間性」「将来・現在・現在」「時熟性と脱自性」の意味を理解しておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
14 回	授業内容: 「存在と時間」はなぜ未完に終わったのか (第 5 章) と結語 事前学修: テキストの 348 頁～423 頁を読んでおくこと。 事後学修: 「現前性の問題」「テンポラリテートの問題」を押さえておくこと。該当箇所の発表者の内容を整理しておくこと。自分の見解をまとめおくこと。
15 回	授業内容: 演習で行われた議論の理解度を測るための試験とその試験の解説をする。 事前学修: 1 回から 14 回までの演習内容を整理しておくこと。テキストと発表者の内容を整理しておくこと。全体について自分の見解をまとめおくこと。 事後学修: 試験を通じてハイデガーの考え方 (存在論) と演習の内容を再確認し深めること。

◆**教科書** 丸沼『ハイデガー『存在と時間』入門』轟孝夫 講談社現代新書 2437 1,080 円 (税込) (送料 215 円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験 (80%)、発表、レジュメ作成 (20%)、授業参画度 (20%) により総合的に評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔古文書学〕

渡邊 浩史

◆**授業概要** 歴史学において必要な広く史料論について講義した上で古文書の様式と機能について講義する。また web 上で利用できる古文書を使用して古文書の機能の実際を学ぶ。

◆**学修到達目標** 古文書の様式や機能を理解する事で、古文書読解の基礎力を習得する。また、複数の文書がどのように機能するかも学び、卒業論文作成の基本的な能力を身につける。

◆**授業方法** 講義方式で行う。テキストを指定するが、適宜テキストを理解するためのプリントや web 上で利用できる古文書のデジタルデータを利用する。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：はじめに 史料論 事前学修：プリントを読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
2 回	授業内容：史料論 事前学修：プリントを読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
3 回	授業内容：1、古文書の様式（1）様式の分類 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
4 回	授業内容：（2）公式様文書（詔書・勅旨を中心に） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
5 回	授業内容：（2）公式様文書（その他の公式様文書） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
6 回	授業内容：（3）公家様文書（宣旨・官宣旨を中心に） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
7 回	授業内容：（3）公家様文書（御教書を中心に） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
8 回	授業内容：（3）公家様文書（御教書を中心に） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
9 回	授業内容：（4）武家様文書（下文を中心に） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
10 回	授業内容：（4）武家様文書（下知状を中心に） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
11 回	授業内容：（4）武家様文書（その他の武家様文書） 事前学修：プリントとテキストの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
12 回	授業内容：2、古文書の実際 東寺百合文書に見る古文書の発給過程とその機能（矢野荘の伝来） 事前学修：プリントの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
13 回	授業内容：東寺百合文書に見る古文書の発給過程とその機能（矢野荘例名と別名） 事前学修：プリントの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
14 回	授業内容：東寺百合文書に見る古文書の発給過程とその機能（矢野荘の悪党事件） 事前学修：プリントの当該部分を読んでおくこと 事後学修：授業で学習したことを自分で整理しておくこと
15 回	授業内容：まとめと試験 事前学修：1～14 回の内容をよく復習すること 事後学修：試験の内容を含めてよく復習しておくこと

◆**教科書** 丸沼『古文書学入門』佐藤進一 法政大学出版会 3,564 円（税込）（送料 350 円）

◆**事前資料送付** プリント資料・史料

◆**参考書** 授業中に適宜指示する。

◆**成績評価基準** 平常点 20% 試験 80%

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【貨幣経済論】オープン受講：不可

藤本 訓利

- ◆**授業概要** 貨幣に関する基礎的な知識（貨幣の機能、貨幣の定義）を概説した上で、マネーサプライ（通貨供給量）とマクロ経済との関係に関する基礎理論を説明します。
- ◆**学修到達目標** 貨幣はどのように定義すれば良いのか、また貨幣（あるいは貨幣供給量・通貨供給量）がマクロ経済とどのような関係にあるのかについて知り、現実の経済の動きを貨幣面（貨幣経済論的な視点）から捉えることができるようになります。
- ◆**授業方法** テキストに沿って、必要に応じて統計資料等を配付し、板書で講義を進めます。また、テーマごとに練習問題を行い、理解度を深めるようにします。
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣経済論とはどのような学問か：貨幣経済論の研究テーマやケインズ経済学の特徴について簡単に説明します。 ネットで、ケインズ経済学の特徴や、貨幣の本質などについて調べておきましょう。 貨幣に関する静態的分析と動態的分析の違いについて理解しておきましょう。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の本質と貨幣経済①：貨幣の機能と貨幣の定義：貨幣の諸機能について説明したうえで、今日の貨幣を定義します。 テキストの35 - 43ページを予習しておきましょう。 貨幣の三大機能や貨幣学説について整理し、貨幣が学説に基づいて定義できるようにしておきましょう。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の本質と貨幣経済②：貨幣の本質と貨幣の歴史、貨幣経済の特徴について説明します。 テキストの43 - 49ページを予習しておきましょう。 貨幣の本質を貨幣経済の特徴をしっかりと理解しておきましょう。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の供給①：通貨の種類やマネーサプライの概念について説明します。 テキストの51 - 56ページを予習しておきましょう。 マネーサプライの概念を整理しておきましょう。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の供給②：ハイパワードマネーと貨幣乗数について説明します。 テキストの59 - 65ページを予習しておきましょう。 ハイパワードマネーとマネーサプライの違いを理解したうえで、貨幣乗数を理解しましょう。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の供給③金融政策が貨幣乗数を通じてマネーサプライを変化させるメカニズムについて説明します。 テキストの35 - 43ページを予習しておきましょう。 金融政策の伝統的手段の変更が貨幣乗数を通じてマネーサプライをどのように変化させるか理解しましょう。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣とマクロ経済①：第1次石油危機を事例として、マネーサプライと物価の関係について考察します。 テキストの56 - 59ページを予習しておきましょう。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣とマクロ経済②：古典派の貨幣数量説について説明します。 テキストの69 - 73ページを予習しておきましょう。 交換方程式と現金残高方程式について整理し、その違いを理解しましょう。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の需給と利子率①：ケインズの流動性選好説に基づいて、貨幣の保有動機と貨幣需要関数について説明します。 テキストの73 - 77ページを予習しておきましょう。 貨幣の3つの保有動機と貨幣の2つの需要関数について整理し、理解しておきましょう。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	貨幣の需給と利子率②：利子率の決定メカニズムについて説明します。 テキストの77 - 80ページを予習しておきましょう。 債券価格と利子率の関係、利子率の決定メカニズム（貨幣市場の均衡）について理解しましょう。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	ケインズの貨幣経済論①：有効需要の原理について説明します。 テキストの15 - 28ページを予習しておきましょう。 有効需要の原理（国民所得の決定理論）の骨組みを理解すると同時に、簡単な計算問題も解けるようにしておきましょう。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	ケインズの貨幣経済論②：過少雇用均衡と投資乗数について説明します。 テキストの30 - 33, 101 - 110, 113 - 114ページを予習しておきましょう。 公共投資の必要性和、その効果について理解するとともに、簡単な計算問題も解けるようにしておきましょう。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	ケインズの貨幣経済論③：ケインズの投資関数について説明します。 テキストの105 - 110ページを予習しておきましょう。 ケインズ型投資関数に関する重要な専門用語を整理し、理解しておきましょう。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	ケインズの貨幣経済論④：貨幣のトランスミッション・メカニズムを説明し、古典派の貨幣理論との違いについて説明します。 テキストの111 - 113ページを予習しておきましょう。 ケインズが『一般理論』で、古典派理論を批判し、何を言おうとしたのか整理しておきましょう。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	筆記試験 これまで学修した内容をノートとテキストを中心に復習しておきましょう。あわせて、簡単な計算問題も解けるようにしておきましょう。

- ◆**教科書** 丸沼『マクロ経済学と貨幣』 藤本訓利・関谷喜三郎 八千代出版 1,944円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 平常点（練習問題等30%）と筆記試験（70%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価します。詳細は、最初の講義時間に説明します。

## 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔観光事業論〕 オープン受講：不可

服部 伊人

- ◆**授業概要** 地域で展開される様々な観光事業は観光を通じた地域振興（産業振興や雇用の場の確保、所得の向上、道路や下水道・病院の整備などの生活基盤施設整備、伝統文化の継承、新たな文化の創造など）および地域の個性的な魅力を育てることで、住民にとってそれが地域への誇りと愛着となり、住みよい地域になる。そのような地域に旅行者も訪れたいとなるといった観光を通じたまちづくりを目指している。そのような観光事業について解説をする。
- ◆**学習到達目標** 地方創生政策として「観光を通じた地域振興」が注目されている。観光によって交流人口を増やし雇用の場、所得の向上による経済の拡大で地域に賑わいを創ることにいる。しかし観光者の個人化、多様化した志向、他観光地との競争の激化、情報環境の変化により情報提供の多様化する下で適切な対応が求められる。訪れたい地域として選択される個性的な魅力をもつまちづくりが求められる。そのための観光戦略が考えられるようにしたい。
- ◆**授業方法** 配布した資料をもとに、教材の内容も取り入れながら、さらに内容の理解を図るために具体的な事例を取り入れて解説をする。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光産業と観光事業 観光産業の定義と種類、観光ビジネスの特徴、観光のサービスの特質について解説し、観光事業の意味、観光事業を担う人や組織、観光事業の構造を解説 教材の 1～14 頁を読んでおくこと。 授業の内容、教材の該当部分と合わせて理解を進めておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光振興と地域の現状を捉える。観光振興として地域の目指す方向性や実施する施策を策定するには、まず地域の現状を正確に捉えることが必要であり、その現状把握の内容について解説する。 教材の 75～81 頁を読んでおくこと。 授業の内容と教材の該当部分とを合わせて理解をする。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光振興の策定と資金計画 観光計画の策定の目的や必要性、手順について解説、事業を進めるための資金、資金の一つである依存財源について解説する。 教材の 87～94 頁を読んでおくこと。 授業内容を整理し教材の該当部分と併せて理解をする。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光振興と資金計画 事業を進めるための資金、資金の一つである自主財源について事例をもとに解説する。 教材の 229～238 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分を併せて理解を進める。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光資源・観光施設の活用 観光による地域の活性化に大きな要因を持つのは観光資源・観光施設の存在である。観光行為の対象となる観光資源・観光施設について解説する。 教材の 59～62 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分を併せて理解を進める。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光資源・観光施設の保全 観光資源は一度手を加えると復元の長い時間や年月を要したり、復元が困難な場合もある。従って開発の最初から保全・保護に配慮が求められる。ここでは観光資源の活用と保全の両立について解説をする。 教材 97～105、121～135 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	観光立国と地方創生政策 観光立国を実現するために地方創生政策が策定された。地方における定住人口の減少に伴う問題を、観光は交流人口の増加による消費の拡大、雇用創出で補うと期待される。その観光がどのように機能するか解説する。 教材の 19～36 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	地域への誘客戦略 観光地の持続的な発展には観光客が継続して訪れてくれることが必要である。地域への誘客戦略として地域の伝統文化を観光資源にする新たな観光スタイルについて解説する 教材の 221～228 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	地域への誘客戦略 少子高齢化現象に伴い国内観光客の減少している。それに対して新たな市場として急速に増加しているのが訪日外国人観光客である。この訪日外国人観光客の受け入れについて解説をする。 教材の 20～28、113～114、242～244 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	訪日外国人観光客への対応 増加する訪日外国人観光客を地域経済の活性化につなげていくかなどを解説する。 マスコミなどで取り上げられる訪日外国人観光客の観光行動に関心を持つようにして下さい 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	訪日外国人観光客への対応 訪日外国人観光客の旅行形態の変化に対して受け入れ地域の対応について解説をする。 マスコミなどで取り上げられる訪日外国人観光客の観光行動に関心を持つようにして下さい 配布資料をもとに授業内容を整理し、教材の該当部分と併せて理解を進める。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	地方創生と滞在型観光 観光対象を観るのに、これまで一か所を短期間で済ませてきた観光者たちを、これからは連泊あるいは数か所を移動し滞在日時・期間を長期化させることが地域経済の活性化につながると政府は奨励する。この滞在型観光について解説する。 滞在型観光について記された書籍を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し理解をする。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	地方創生と着地型観光 国は滞在化に結び付けて地域独自の観光魅力を体験できる「体験型旅行」や地域でツアーの企画・造成・販売が完結する「着地型旅行」を推進する。この地域発プログラムによる着地型観光について解説する 教材の 229～238 頁を読んでおくこと。 配布資料をもとに授業内容を整理し理解を進める
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業全体を振り返り理解の確認をする 授業の流れに沿って配布資料をもとに授業内容をノートに整理しておくこと。 授業内容を整理したノートの内容を理解すること。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験および解説 配布資料をもとに、前回の授業で指摘したことを参考に授業内容を整理しておくこと。 試験の回答内容について授業ノートを参考に再確認し、内容の理解を深める。

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日配布資料  
**〔通材〕** 『観光事業論 S32000』 通信教育教材（教材コード 000417）2,350 円（送料込）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、テストなどにより総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔教育原論 A / 教育の思想 A〕

宮島 健次

- ◆**授業概要** 周知のとおり、2020 年の学習指導要領の改訂から、従来の「学校教育」が大きく変わります。しかし、そもそもなぜ、そのような変革が必要なのでしょう。本授業ではまずこのような問いから始め、現代教育にそのような変革が必要になった理由を、様々な学問的アプローチを使って考えていくと同時に、これからの教育のあり方をアクティブラーニングを使って考えていきます。
- ◆**学修到達目標** ①「教育」の本質及び目標を理解して説明することができる。②現代教育の系譜として近代教育思想を理解して説明することができる。③「教授」「学習」の本質的な意味を理解して説明することができる。④「近代教育制度」の成立やその意味、影響を理解して説明することができる。⑤以上 4 点をふまえて、現代教育が抱える問題の本質を理解して説明することができる。
- ◆**授業方法** 授業は 2 部構成とします。第 1 部では、基本的にテキストやサブノートを活用した講義形式で授業を進めていきます。第 2 部は、受講生を中心としたディスカッションやグループ発表形式で授業を進めていくつもりです。ただし、受講人数によっては、多少の変更があります。それぞれ、ひとまとまりの内容を終えた後は、内容理解を深めるために簡単なまとめレポートを課します。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 ガイダンス、授業のテーマ・内容・方法・評価について説明する。事前学習、事後学習、質問などがある場合の連絡方法など。
	事前学修 指定教科書の精読 (序章・1 章・2 章)
	事後学修 指定教科書の精読 (3 章・4 章・5 章)
2 回	授業内容 現代教育の課題と教育思想を学ぶ意味と課題
	事前学修 指定教科書の精読 (6 章・7 章・8 章)
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容 教育の思想や歴史から見た教育思想の系譜 (1) 古代を中心に
	事前学修 指定教科書の精読 (9 章・10 章・11 章)
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容 教育の思想や歴史から見た教育思想の系譜 (2) 中世を中心に
	事前学修 指定教科書の精読 (12 章・終章)
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容 教育の思想や歴史から見た教育思想の系譜 (3) 近代を中心に
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、授業で問いかけられた「問い」について自分なりの意見や見解をもっておくこと。
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容 現代教育の課題 (1) 近代子ども観の功罪
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、授業で問いかけられた「問い」について自分なりの意見や見解をもっておくこと。
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容 現代教育の課題 (2) 近代学校制度の功罪
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、授業で問いかけられた「問い」について自分なりの意見や見解をもっておくこと。
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容 現代教育の課題 (3) 知識基盤社会の功罪
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、授業で問いかけられた「問い」について自分なりの意見や見解をもっておくこと。
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、教科書の内容と配布資料をよく読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容 グループディスカッション—現代教育の課題を紐解く (1)
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、授業で問いかけられた「問い」について自分なりの意見や見解をもっておくこと。
	事後学修 グループディスカッションを通して得られた新たな気づきを整理し、課題解決のための方策について考え、必要に応じて調査しておくこと。
10 回	授業内容 グループディスカッション—現代教育の課題を紐解く (2)
	事前学修 これまでのグループディスカッションで得られたグループおよび個人としての知見を整理し、さらなるディスカッションのための準備をしておくこと。
	事後学修 グループディスカッションを通して得られた新たな気づきを整理し、課題解決のための方策について考え、必要に応じて調査しておくこと。
11 回	授業内容 グループディスカッション—現代教育の課題を紐解く (3)
	事前学修 これまでのグループディスカッションで得られたグループおよび個人としての知見を整理し、さらなるディスカッションのための準備をしておくこと。
	事後学修 グループディスカッションを通して得られた新たな気づきを整理し、課題解決のための方策について考え、必要に応じて調査しておくこと。
12 回	授業内容 グループディスカッション—現代教育の課題を紐解く (4)
	事前学修 これまでのグループディスカッションで得られたグループおよび個人としての知見を整理し、さらなるディスカッションのための準備をしておくこと。
	事後学修 グループディスカッションを通して得られた新たな気づきを整理し、課題解決のための方策について考え、必要に応じて調査しておくこと。
13 回	授業内容 グループディスカッション—現代教育の課題を紐解く (5) グループ発表
	事前学修 これまでのグループディスカッションで得られたグループおよび個人としての知見を整理し、クラスでの発表に備えておくこと。
	事後学修 クラス発表を通して得られた気づきをふりかえり、グループおよび個人としてのさらなる課題を理解すること。
14 回	授業内容 授業の総括 (1) 現代教育の課題と教育思想
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、グループ発表等を通じて得られた自分なりの意見や見解を整理しておくこと。
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、確認・理解しておくこと。
15 回	授業内容 授業の総括 (2) 現代教育の課題と教育思想
	事前学修 これまでに配布した資料を確認し、グループ発表等を通じて得られた自分なりの意見や見解を整理しておくこと。
	事後学修 授業内容を自分なりに整理し、確認・理解しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『教育思想のルーツを求めて—近代教育論の展開と課題』関川悦雄・北野秋男 啓明出版  
1,882 円 (税込) (送料 300 円)

- ◆**参考書** 授業内で紹介します。

- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み (発表等)、まとめレポートにより総合的に評価します。レポートの形式については、授業開始後、改めて受講生に伝えます。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」

※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔漢字書法〕

鈴木 晴彦

◆**授業概要** 漢字の造形美（書体）とその歴史的な背景について、下記の教科書や当日配付のプリント、さらにプロジェクターなどをとおして、理解を深めます。その上で、著名な古典書跡を丹念に臨書し、とりわけ楷書と行書を学びながら、さらに草書・篆書・隸書などの各書体について、発展的な技法の習得を目指します。

◆**学修到達目標** 中学校国語科「書写」に関する基本的な事項の理解とその技法の習得を目指しつつ、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くことを学びます。あわせて教科書と当日配布のプリントによって、中国・日本の各時代における漢字（書体）の変遷と歴史的背景について理解を深めます。

◆**授業方法** 実技が主体となります。したがって受講する際には、各自で「半紙」「中筆（4号筆程度）」「小筆」「墨（墨液で可）」「毛氈（書道用下敷）」「文鎮」などの書道用文房具を各自が持参しなければなりません。また、反故となった半紙のために「古新聞」も持参するとよいでしょう。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス（授業の概要説明および書道の用具用材について学ぶ） 事前学修：テキスト P98～P99（「用具・用材」）、P149（「中学校国語科書写」）を読んで理解して下さい。 事後学修：用具の点検と手入を行って下さい。
2 回	授業内容：楷書の基本点画①（字形を整えて硬筆と毛筆で書く） 事前学修：テキスト P100～P101（「姿勢・執筆法」）を読んで理解して下さい。 事後学修：姿勢・執筆法について、各自で技法を習得して下さい。
3 回	授業内容：楷書の基本点画②（文字の大小に注目して硬筆と毛筆で書く） 事前学修：テキスト P94～P95（「国語科書写の内容」）を読んで理解して下さい。 事後学修：文字の大小について、各自で技法を習得して下さい。
4 回	授業内容：楷書の基本古典①（整った字形を《九成宮醜泉銘》から学ぶ） 事前学修：テキスト P32（「九成宮醜泉銘」）を読んで理解して下さい。 事後学修：整った字形について、各自で技法を習得して下さい。
5 回	授業内容：楷書の基本古典②（文字の大小を《九成宮醜泉銘》から学ぶ） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《九成宮醜泉銘》における文字の大小について、各自で技法を習得して下さい。
6 回	授業内容：行書の書き方①（点画に注目して硬筆と毛筆で書く） 事前学修：テキスト P104（「行書の種類と書き方」）を読んで理解して下さい。 事後学修：行書の点画について、各自で技法を習得して下さい。
7 回	授業内容：行書の書き方②（筆脈に注目して硬筆と毛筆で書く） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：行書の筆脈について、各自で技法を習得して下さい。
8 回	授業内容：行書の基本古典①（点画の変化を《蘭亭序》から学ぶ） 事前学修：テキスト P41（「蘭亭序」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《蘭亭序》における行書の点画の変化について、各自で技法を習得して下さい。
9 回	授業内容：行書の基本古典②（筆脈と省略を《蘭亭序》から学ぶ） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《蘭亭序》における筆脈と省略について、各自で技法を習得して下さい。
10 回	授業内容：発展的書体の理解①（漢字の始源を甲骨文字から学ぶ） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《甲骨文字》について、各自でその技法を習得して下さい。
11 回	授業内容：発展的書体の理解②（篆書を金文および石鼓文から学ぶ） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《石鼓文》について、各自でその技法を習得して下さい。
12 回	授業内容：発展的書体の理解③（隸書を漢代隸書碑から学ぶ） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《漢代隸書碑》について、各自でその技法を習得して下さい。
13 回	授業内容：発展的書体の理解④（隸書を《曹全碑》から学ぶ） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：《曹全碑》について、各自でその技法を習得して下さい。
14 回	授業内容：総括①（実作の総括と問題解説） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：毛筆の実作について、理解及び総括して下さい。
15 回	授業内容：総括②（実作の総括と問題解説） 事前学修：テキスト P128～P134（「書の変遷・中国」）を読んで理解して下さい。 事後学修：毛筆の実作について、理解及び総括して下さい。

◆**教科書** 丸沼『書の古典と理論』全国大学書道学会編 光村図書 2014 年 第3刷 2,160 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 提出作品点（80%）と制作主旨点（20%）によって評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔生涯学習論〕

上原 義正

- ◆**授業概要** 国際社会において国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とグローバル社会の終焉を告げるアメリカ合衆国が掲げる国益（nation's interests）重視といった分断が最近色濃くなってきています。このような社会情勢の中で生涯学習論が一体何ができるのかを探ります。
- ◆**学修到達目標** 生涯学習論の概要と世界各国の情勢を学習しながら生涯学習のプランニングを法令や予算を参照にしながシミュレーションを実行します。STEAMの要素、すなわち、Science, Technology, Engineering, Art and Mathematicsをベースに深く学び（deep learning）から新しい知識のニューラルネットワークの形成を目標にします。
- ◆**授業方法** 授業の前半を講義・知識習得形式でなおかつ student-centered（学生主体）なテキストを用いたスタイルで行います。これを Phase 1 とします。残りの後半を最終日に実演するプレゼンテーションのディスカッションの時間およびレポート作成に割り当て、Phase 2 とします。Phase 1 と Phase 2 を組み合わせたものを1つの授業とします。5月1日 13:00～元展美術協会理事 画家 石川和賢先生をお迎えしてアートマネージメントの特別講義を実施します。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容 Phase 1：授業の進め方（含む自己紹介）を説明し、生涯学習とは何か？特に国際社会における生涯学習とは？についてテキストを踏まえながら解説する。 Phase 2：プレゼンテーションのためのグループを編成する。	事前学修 テキスト 第1章 生涯学習と社会教育をよく読むこと。この章についての質問を1つ提出すること	事後学修 テキストから得た知識と授業で気づいた内容の整理
2回	授業内容 Phase 1：生涯学習と社会教育の歴史 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポートの準備	事前学修 テキスト 第2章 生涯学習と社会教育の歴史を既読した状態で授業に臨むこと。この章についての質問事項を1つ提出すること	事後学修 授業とテキストの内容の整理
3回	授業内容 Phase 1：生涯教育の登場 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポートの準備	事前学修 テキスト 第3章 生涯教育の登場をよく読み時代背景を考察すること。この章についての質問を1つ提出すること。	事後学修 なぜ生涯教育が登場してきたのかを時代背景に照らし合わせながらノートを整理すること
4回	授業内容 Phase 1：生涯学習と学校教育 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションとレポートの準備	事前学修 テキスト 第4章 生涯学習と学校教育から質問事項を1つ準備して提出すること	事後学修 各種資格試験と生涯学習、学校教育について考察を深めること
5回	授業内容 Phase 1：生涯学習の方法と内容 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポートの準備	事前学修 テキスト 第5章 生涯学習と学校教育から質問事項1つ準備して提出すること	事後学修 授業と質問事項の整理
6回	授業内容 Phase 1：生涯学習と社会教育の計画 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポートの準備	事前学修 テキスト 第6章 生涯学習と社会教育の計画から質問事項を1つ提出すること	事後学修 授業の振り返り
7回	授業内容 Phase 1：学習プログラムの編成 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポート提出の準備	事前学修 テキスト 第7章 学習プログラムの編成から質問事項を1つ提出すること	事後学修 学習プログラムの企画と日常生活の企画を比較して要点を整理すること
8回	授業内容 Phase 1：生涯学習関連行政の仕組み Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポートの準備	事前学修 テキスト 第8章 生涯学習関連行政の仕組みについて質問事項を1つ提出すること	事後学修 各自自治体のホームページから生涯学習行政をサーチして理解を深めること
9回	授業内容 Phase 1：生涯学習と社会教育職員 Phase 2：グループディスカッションでのプレゼンテーションおよびレポートの準備	事前学修 テキスト 第9章 生涯学習と社会教育職員から質問事項を1つ提出すること	事後学修 生涯学習・社会教育施設の職員の役割について事例を調べること
10回	授業内容 10回から15回まではプレゼンテーションとレポート作成の時間とする。	事前学修 プレゼンテーションの準備	事後学修 各プレゼンテーションの講評
11回	授業内容 プレゼンテーション	事前学修 プレゼンテーションの準備	事後学修 各プレゼンテーションの講評
12回	授業内容 プレゼンテーション	事前学修 プレゼンテーションの準備	事後学修 プレゼンテーションの講評
13回	授業内容 レポートの作成、質疑応答	事前学修 レポート作成の遂行	事後学修 レポートの推敲
14回	授業内容 レポートの作成、質疑応答	事前学修 レポート作成の遂行	事後学修 レポートの推敲
15回	授業内容 レポート作成、質疑応答	事前学修 レポート作成の遂行	事後学修 まとめ

- ◆**教科書** 丸沼『生涯学習概論』佐藤晴雄 学陽書房 2,700円（税込）（送料300円）  
〔当日資料配布〕 当日配布資料（英文も含まれる資料もあるため、辞書を持参のこと）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** レポート（50%）、プレゼンテーション（30%）、授業参画度（20%）

## 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京 5月期 第2期

日	程	授業時間	備考
5月 3日	金	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
5月 4日	土	9:00～18:30	
5月 5日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	
D8B1	哲 学	長谷川 武雄	2	B10700	哲 学		1年	
D8B2	英 語 B	上 島 美 佳	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II		2年	
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
D8B3	英 語 C	桑 山 啓 子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II		2年	
				C10300	英 語 III			
				C10400	英 語 IV			
D8B4	商 法 III	金澤 大祐	2	K30700	商 法 III		2年	
D8B5	国 際 法	渡部 茂己	2	K31100	国 際 法		2年	
D8B6	外 交 史	信夫 隆司	2	L30700	外 交 史		2年	
D8B7	国 語 学 講 義	加藤 陽子	2	M30400	国 語 学 講 義		2年	
D8B8	アメリカ文学史A	鈴木 孝	2	N30200	アメリカ文学史		2年	
D8B9	英語学概説A	田中 竹史	2	N30700	英語学概説		2年	
D8BA	英語学特殊講義A	山岡 洋	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年	
D8BB	哲学概論A	齋藤 隆	2	P30300	哲学概論		2年	
D8BC	史学概論	古川 隆久	2	Q30100	史学概論		2年	
D8BD	考古学特講I	浜田 晋介	2	Q30600	考古学特講I		2年	
D8BE	日本経済論	飯島 正義	2	R31000	日本経済論		2年	
D8BF	経済地理学/ 経済地理	清水 和明	2	R32600	経済地理学		2年	・ 商学部のみ申込可。 ・ 法・文理・経済学部のみ申込可。
				S32200	経済地理			

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 講 オ ー プ ン
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
D8BG	証券市場論	佐藤 猛	2	S30800	証券市場論		2年		
D8BH	中小企業論	小林 世治	2	S32700	中小企業論		2年		
D8BJ	法学通論/ 法律学概論 (国際法を含む)	遠藤 清臣	2	T22600	法学通論		2年	・哲学専攻・史学専攻のみ申込可。	
			2	T22700	法律学概論 (国際法を含む)			・経済・商学部のみ申込可。	
D8BK	生徒指導・進路指導論	渡辺 典子	2	T30500	生徒指導・進路指導論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

## 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学〕

長谷川 武雄

- ◆**授業概要** <教養こそが「大局観」を磨く>とは教科書の「帯」に書かれていることばである。専門化（局所化）に目が向けられている昨今、この「大局」が見過ごされている。歴史的にみて「哲学」こそこの「大局」を直視した学問であり、多くの哲学者が考察してきた。この講義ではそうした「歴史」を踏まえて、日本における現状を分析し、私達はどのようにこの時代・状況の中で生活すべきか、それを再考する。
- ◆**学修到達目標** 日本は高齢化社会へ突入し、「終活」とうことばが聞かれる。哲学が「死とは何か」と同時に、「いかに生きるべきか」という主題について、何らかの「答え」を提示してきた。この講義では後者を主題とし、「実際の生活」における何らかの「助言」と同時に「忠告」を提示するものである。「知識」だけでも受け入れるならば、いつか（未定ではあるが）「実践」へと繋がるものと期待する。
- ◆**授業方法** 基本的に「講義」を中心とするが、「問う」という観点も加える。この点から講義の中では、様々な「問い・答え」の組合せ（いわゆる「対話」）方法を通して、「聞く」に加え「疑問（問い）」に対する「答え」を導き出す手順・流れを追いながら（どのように「考えるべきか」）進める。同時に受講者にはその流れを「記述（論述）」することにより、整理してもらう。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	・これからの講義について全体的説明（主に授業内容、講義方法、成績など）。 ・この授業における論述の書き方について。
	事前学修	シラバスの内容を確認しておく。
	事後学修	これからの自分の勉強方法（授業への臨み方）を再整理。
2 回	授業内容	「第一章」について：「教養」とは何か、そしてその必要性とはどこにあるか、筆者による再確認。
	事前学修	小学校から高校までの知識、大学での知識、そして社会生活の知識の相異点・共通点を比較してみる。
	事後学修	「教養」を筆者はどう捉えているか、整理し、自分の見解と比較してみる。
3 回	授業内容	「第一章」について：（続き）情報（知識）の取捨選択ができることが、自己確立の基本である。
	事前学修	身の回りの様々な情報（知識）の真偽、出所（誰・どこ）をどのように（方法）確認しているのか等、過去・現在を振り返ってみる。
	事後学修	個人的な範囲に留まることなく、社会における情報（知識）まで拡大して、再考してみる。
4 回	授業内容	「第二章」について：西欧における「歴史的教養」を概観する（ギリシャ、トルコ等）。
	事前学修	西欧史、特に古代ギリシャ時代から中世ヨーロッパの歴史を概観しておく。
	事後学修	歴史の中で「教養」というものがどのように育まれ、評価されてきたか、歴史的に（一つ流れとして）整理してみる。
5 回	授業内容	「第二章」について：（続き）西欧中世を経てルネサンス、そして近代へと展開する歴史の中での「教養」の開花を見る。
	事前学修	ルネサンス、近代の特に文化面を調べておく。
	事後学修	「ルネサンス」の意義を再確認する。
6 回	授業内容	「第三章」について：「教養」が結局衰退へと向かうその原因はどこにあったのか。
	事前学修	西欧の「教養（リベラルアーツ）の起源」とはどのような内容であったのか。
	事後学修	「リベラルアーツ」衰退の原因の整理。
7 回	授業内容	一章から三章までの整理と批判。
	事前学修	一章から三章まで整理し、疑問点を明らかにしておくこと。
	事後学修	全 3 章で筆者は何を主張したいのかが明らかにし、自分の見解と比較してみる。
8 回	授業内容	「第四章」について：19 世紀から 20 世紀における、特にドイツとフランスの関係から、ドイツの向かった方向を見る。
	事前学修	19 世紀から 20 世紀のヨーロッパの社会的動きを概観しておく。
	事後学修	国家と国家、その国民の意識がどのように反応するか、現在日本の場合を考えてみる。
9 回	授業内容	「第四章」について：（続き）19 世紀から 20 世紀における、ドイツとイギリスの支配者（教養者？）の市民への対応の相異を見る。
	事前学修	ドイツの支配者の意識、イギリスの支配者の意識、相異がどのようなものであったか、考えてみる。
	事後学修	理想的世界ではなく、現実的世界における「教養」の捉え方、その進む方向について、現在の日本の場合と比較してみる。
10 回	授業内容	「第五章」について：日本における「教養」への歴史的関わり方はどのようなものであったか。
	事前学修	幕末から戦後までの歴史を概観しておく。
	事後学修	明治以降における学問（大学の）と生活の関係はどのようなものであったか、比較してみる。
11 回	授業内容	「第五章」について：（続き）文化背景の異なる地域（日本）における「教養」の受容の困難さと、現実の受容はどのような過程を経ていたか。
	事前学修	日本の第二次大戦前・後の「大学」あるいは「知識者」の<行動・行為>を考えてみる。
	事後学修	現在の「大学・知識者」そして「支配者（為政者）」の方向性を確認してみる。
12 回	授業内容	第四章から第五章の整理と批判。
	事前学修	四章から五章まで整理し、疑問点を明らかにしておくこと。
	事後学修	全 2 章で筆者は何を主張したいのかが明らかにし、自分の見解と比較してみる。
13 回	授業内容	「第六章」について：西欧からの「輸入教養」ではなく日本「本来の教養」を見いだす。
	事前学修	日本は物資だけでなく、文化も輸入大国である。その一つである「大学」や「学問」そして「教養」が、どのように今日の日本人に捉えられているか、現状を把握してみる。
	事後学修	今、各自が勉強していることが、筆者の言う「教養」とどう関係しているか比較してみる。
14 回	授業内容	「第六章」について：（続き）今日の日本における「教養」の在り方とはどのようなものか、その「四本柱」を提示する。
	事前学修	漠然とした「教養」ではなく、自分なりの「教養」をまとめてみる。
	事後学修	筆者の主張する「教養」がどの程度「現実的」か、あるいは「普遍的（日本に限定して）」か、再度比較検討し、実践の可能性を考えてみる。
15 回	授業内容	試験及び解説。
	事前学修	日本と西洋（ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ）についての「教養」の捉え方を比較してみる。
	事後学修	今日の日本の「教養」と「知識（いわゆる専門知識）」の関係、それを保持した時、どのような「生活・生き様」が予想されるか、思考実験をしてみる。

- ◆**教科書** 丸沼『国家と教養』藤原正彦 新潮社（新潮新書 793）799 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**参考書** 丸沼『教養市民からナチズムへ』野田宜雄 名古屋大学出版会 5,940 円（税込）（送料 500 円）  
『日本型「教養」の運命』筒井清忠 岩波書店（岩波現代文庫）〈品切れのため、図書館等を利用してください。〉
- ◆**成績評価基準** 最終試験（60%）、授業時課題（主に論述）（30%）、授業時質疑応答・その他（10%）。最終的には、以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 B〕

上島 美佳

- ◆ **授業概要** チャールズ・ディケンズの代表的作品 David Copperfield を読みます。
- ◆ **学修到達目標** 原作は 800 ページ以上の大作なので、本授業では比較的優しい英語で書きなおされたテキストを使用します。確実に英文を理解する事、少しでも英語の文章を読めるようになる事を目標とします。
- ◆ **授業方法** ・ 演習形式で行います。該当箇所を音読し、和訳してもらいます。必要事項は逐次説明を加えていきます。また映像化された作品を鑑賞することによって、当時のイギリス社会及び文化を認識し、作品の理解を深めます。  
・ 受講者の様子を見ながら進行します。シラバスはあくまでも目安です。辞書とノートは必ず持参してください。
- ◆ **履修条件** 2017 年東京スクーリング 5 月期 (第 1 期)「英語」との積み重ね不可
- ◆ **授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: ガイダンス, 授業の進め方, テストについての説明, 事前プリント講読, 発表 事前学修: 事前プリントに目を通しておいてください。 事後学修: ノート作成
2 回	授業内容: 事前プリント講読, 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
3 回	授業内容: テキスト購読 (pp.1 ~ 3), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
4 回	授業内容: テキスト購読 (pp.4 ~ 5), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
5 回	授業内容: DVD 鑑賞『デヴィッド・コパフィールド (前)』 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
6 回	授業内容: テキスト購読 (pp.5 ~ 7), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
7 回	授業内容: テキスト購読 (pp.8 ~ 10), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
8 回	授業内容: テキスト購読 (pp.11 ~ 13), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
9 回	授業内容: DVD 鑑賞『デヴィッド・コパフィールド (後)』 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
10 回	授業内容: DVD 鑑賞『デヴィッド・コパフィールド (後)』 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
11 回	授業内容: テキスト講読 (pp.14 ~ 16), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
12 回	授業内容: テキスト講読 (pp.17 ~ 19), 発表 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
13 回	授業内容: テキスト講読 (pp.20 ~ 22), 発表 質疑応答 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
14 回	授業内容: 質疑応答 自習 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: ノート作成
15 回	授業内容: テスト 事前学修: 講読した範囲の復習 事後学修: 講読した範囲の復習

- ◆ **教科書** **事前資料送付** プリントを送付いたします。初日に使用しますので、分からない単語等は調べておいてください。  
**当日資料配布** 当日テキストを配布します。
- ◆ **参考書** 特になし
- ◆ **成績評価基準** 出席・発表・試験により、総合的に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語C】

桑山 啓子

- ◆**授業概要** 語学を学習する上で言語の4技能 (reading, listening, writing, speaking) 全ての力がバランスよく習得出来る語学力が向上するものである。この授業では4技能のうち Reading の力を付けることで小説、新聞、書類などを正確に読めるようにしていく。また英文を正確に読めるようになるために必要な文法事項も説明していく。
- ◆**学習到達目標** この授業では reading の力を伸ばすことを中心に進めていく。そのために英文を読むのに必要となる基礎的な文法事項も説明しながら英文全体の内容を捉えるのと同時に一文ずつを正確に読めるようになるのを目標とする。またテキストの Exercise を使って Writing と Listening の力も向上させる。
- ◆**授業方法** テキスト前半部分 (Introduction ~ Unit 6) を授業で読み終える。Exercise の答えを確認しながら本文の内容全体を確認する。その後で本文の英文を一文ずつ和訳する。本文の和訳と Exercise の答えは学生が発表して、間違えたところの訂正と説明を教師が行う。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス: 授業に関する説明 / Introduction: 本文の内容を確認、CD を聴いて枠の中の英文の①~⑩に語(句)を入れて本文の内容を確認する。Unit 1: 1 本文の内容の確認、Exercise の答え合わせ Introduction: ページ上半分の英文の和訳、四角の中の①~⑩に語を入れて英文の内容を要約する。Unit 1: 1 Exercise の問題を解きながら本文の内容を捉える。分からない語(句)を辞書で調べて本文を和訳する。 事前学修した内容を授業で確認して間違っていたところをもう一度見直す。本文の英文をもう一度読み、内容を確認したり、解釈を間違えたところを復習する。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 1: 2. 本文の内容の確認と Exercise の答え合わせ。重要な語(句)や英文の説明。CD を聴いて3の答え合わせ。Preparation for the next story! との答え合わせと英文の内容の確認 Unit 1: の英文全体の内容を把握してから Exercise を解く。Preparation for the next story! の英文の①~⑩に語群から選んだ語を入れて英文を完成させて英文を和訳する。Listening Script の下線部分に入る語(句)を予想する。英文の分からない語を辞書で調べる。 事前学修した内容を授業で確認して間違っていたところをもう一度見直す。本文、Preparation for the next story! と Listening Script の英文をもう一度読み直す。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 1 の復習、Listening Script: 音声を聴いて下線部分に語(句)を書き入れた後、答え合わせをして、英文の内容の確認。Unit 2: 1 の本文の内容の確認と和訳。Exercise: の英文の内容を確認して問題の答え合わせ。 Unit 2: 1 の本文を和訳する。Exercise: の英文の内容をまとめて問題を解く。 Unit 1: Listening Script: 音読練習して英文を復習する。事前学修した Unit 2: 1 の本文の和訳で間違えたところを復習。Exercise の英文ももう一度復習する。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 2: 2 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の答え合わせ。CD を聴いて p. 17 の3の答え合わせ。Preparation for the next story! との答え合わせと英文の内容の確認。 Unit 2: 2 の英文を和訳する。Exercise の問題を解く。Listening Script (p.19) の分からない単語を辞書で調べる。 Unit 2: 1 の復習 / 事前学修した Unit 2: 2 の英文の和訳で間違えたところの復習。Listening Script (p.19) の内容をもう一度復習して音読練習する。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 2: Listening Script: 音声を聴いて下線部分に語(句)を書き入れた後、答え合わせをして、英文の内容の確認。Unit 3: 1 の本文の内容の確認と和訳。Exercise: の英文の内容を確認して問題の答え合わせ Preparation for the next story! の英文の①~⑩に語群から選んだ語を入れて英文を完成させて、英文を和訳する。 Unit 2: Listening Script: 音読練習して英文を復習する。Unit 3 の本文で本日学んだところの復習。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 3: 2 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の答え合わせ。CD を聴いて p. 23 の3の答え合わせ。Preparation for the next story! との答え合わせと英文の内容の確認。 Unit 3: 2 の英文を和訳する。Exercise の英文を読み下線、①~⑩に入る語(句)を考えてみる。分からない語を辞書で調べる。 Unit 3: 2 の英文を事前学修で分からなかったところを中心にもう一度読み直す。Exercise の英文を復習する。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 3: Listening Script: 音声を聴いて下線部分に語(句)を書き入れた後、答え合わせをして、英文の内容の確認。Unit 4: 1 の本文の内容の確認と和訳。Exercise: の英文の内容を確認して問題の答え合わせ。 Unit 3: Listening Script の英文の分からない語を辞書で調べる。Unit 4: 1 の本文の分からない語を辞書で調べて英文を和訳する。Exercise の問題を解く。 Unit 3: Listening Script: 音読練習して英文を復習する。事前学修した Unit 4: 1 の本文の和訳で間違えたところを復習。Exercise の英文ももう一度復習する。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 4: 2 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の答え合わせ。CD を聴いて p. 17 の3の答え合わせ。Preparation for the next story! との答え合わせと英文の内容の確認。 Unit 4: 2 の本文の分からない語を辞書で調べて英文を和訳する。Preparation for the next story! の英文の①~⑩に語群から選んだ語を入れて英文を完成させて英文を和訳する。 Unit 4: 2 の英文を事前学修で分からなかったところを中心にもう一度読み直す。Exercise の英文を復習する。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 4: Listening Script: 音声を聴いて下線部分に語(句)を書き入れた後、答え合わせをして、英文の内容の確認。Unit 5: 1 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の英文の内容を確認して問題の答え合わせ Unit 4: Listening Script の下線部分に入る語(句)を予想する。英文の分からない語を辞書で調べる。Unit 5: 1 の本文の分からない語を辞書で調べる。英文の和訳。Exercise の問題を解く。 Unit 4: Listening Script: 音読練習して英文を復習する。事前学修した Unit 4: 1 の本文の和訳で間違えたところを復習。Exercise の英文ももう一度復習する。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 5: 2 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の答え合わせ。CD を聴いて3の答え合わせ。Preparation for the next story! との答え合わせと英文の内容の確認。 Unit 5: 2 の本文の分からない語を辞書で調べて英文を和訳する。Preparation for the next story! の英文の①~⑩に語群から選んだ語を入れて英文を完成させて英文を和訳する。 Unit 5: 2 の英文を事前学修で分からなかったところを中心にもう一度読み直す。Exercise の英文を復習する。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 5: Listening Script: 音声を聴いて下線部分に語(句)を書き入れた後、答え合わせをして、英文の内容の確認。Unit 6: 1 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の英文の内容を確認して問題の答え合わせ Unit 5: Listening Script の下線部分に入る語(句)を予想する。英文の分からない語を辞書で調べる。Unit 5: 1 の本文の分からない語を辞書で調べる。英文の和訳。Exercise の問題を解く。 Unit 5: Listening Script: 音読練習して英文を復習する。事前学修した Unit 4: 1 の本文の和訳で間違えたところを復習。Exercise の英文ももう一度復習する。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 6: 2 の本文の内容の確認と和訳。Exercise の答え合わせ。CD を聴いて3の答え合わせ。Preparation for the next story! との答え合わせと英文の内容の確認。 Unit 6: 2 の本文の分からない語を辞書で調べて英文を和訳する。Preparation for the next story! の英文の①~⑩に語群から選んだ語を入れて英文を完成させて英文を和訳する。 Unit 6: 2 の英文を事前学修で分からなかったところを中心にもう一度読み直す。Exercise の英文を復習する。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 6: Listening Script: 音声を聴いて下線部分に語(句)を書き入れた後、答え合わせをして、英文の内容の確認。シャーロックホームズ「赤毛連盟」の DVD を見てテキストで読んだ内容を確認する。 Unit 6: Listening Script の下線部分に入る語(句)を予想する。英文の分からない語を辞書で調べる。 Unit 6: Listening Script: 音読練習して英文を復習する。Unit 6 の総復習
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	1 回目~ 13 回目の復習。 Unit 1 ~ Unit 6 までの重要な英文、語(句)をピックアップして和訳する。 Unit 1 ~ Unit 6 までの授業で学んだことを復習する。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説。 Unit 1 ~ Unit 6 までの英文、Exercises, Preparation for the next story, Listening Script をよく復習する。 試験に出題された問題を中心にテキストを再度見直す。

◆**教科書** 丸沼『Mystery Tour with Sherlock Holmes』上村・山科共著 センゲージラーニング 1,836 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 丸沼『英文法解説』江川泰一郎著 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 500 円)

【総合英語 Forest】石黒昭博監修 桐原書店 <品切れのため、図書館等を利用してください。>

◆**成績評価基準** 3 日間出席することを前提に評価します。(評価内容: 授業への取り組みや授業時に行う予習確認や復習の小テスト等 20%, 授業時の発表状況 20%, 試験 60%)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔商法Ⅲ〕

金澤 大祐

◆**授業概要** 本講義においては、現金、手形、小切手等従来から利用されている決済手段のみならず、電子記録債権、電子マネー等に関する最新の法制度まで幅広く取り扱うことによって、広く決済法についての法的知識を得ることを目指す。また、多様な決済手段に関して生じた具体的な紛争についても取り上げることによって、より具体的に決済法について検討することとする。

◆**学修到達目標** 本講義では、多様な決済手段に関する法知識、具体的には、手形・小切手のみならず、電子記録債権、電子マネー等新しい決済手段に関する基本的な法知識を習得することを目指す。また、多様な決済手段に関して生じた具体的な紛争について、具体的な事実関係に即して、一定の結論を論理的に説明することができることも目標とする。

◆**授業方法** 本講義は、講義形式で行う。本講義においては、現金、手形、小切手等従来から利用されている決済手段のみならず、電子記録債権、電子マネー等に関する最新の法制度まで幅広く取り扱うこととする。その理解のためには、出席が必要不可欠である。また、漫然と講義に出席しているだけでは知識が身につかないため、講義時に、適宜質疑応答を行い、論述式の小テストを行い、受講生の理解度を高めることを目指す。

◆**履修条件** 民法を履修していることが望ましい。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容：決済システムの全体像と決済システムの必要性について学ぶ。 事前学修：教科書 1～19 頁を読んでおくこと。 事後学修：決済システムの概要と具体的な事例についてまとめる。
2 回	授業内容：電子マネーの意義とその仕組みについて学ぶ。小テストを行う。 事前学修：教科書 21～29 頁を読んでおくこと。 事後学修：電子マネーの概要と具体的な事例についてまとめること。
3 回	授業内容：仮想通貨の意義とその仕組みについて学ぶ。 事前学修：教科書 29～34 頁を読んでおくこと。 事後学修：仮想通貨の概要と具体的な事例についてまとめること。
4 回	授業内容：小切手、為替手形の意義と基本的な仕組みについて学ぶ。 事前学修：教科書 65～71 頁、92～95 頁を読んでおくこと。 事後学修：小切手、為替手形の概要を約束手形と比較してまとめること。
5 回	授業内容：約束手形の意義とその基本的な仕組みについて学ぶ。小テストを行う。 事前学修：教科書 98～107 頁を読んでおくこと。 事後学修：約束手形の概要を小切手、為替手形と比較してまとめること。
6 回	授業内容：約束手形の振出の意義と基本的な仕組みについて学ぶ。 事前学修：教科書 107～110 頁を読んでおくこと。 事後学修：約束手形の振出の概要と具体的な事例についてまとめること。
7 回	授業内容：約束手形の裏書の意義とその基本的な仕組みについて学ぶ。小テストを行う。 事前学修：教科書 111～117 頁、134～137 頁を読んでおくこと。 事後学修：約束手形の裏書の概要と具体的な事例についてまとめること。
8 回	授業内容：約束手形による請求の意義とその仕組みについて学ぶ。 事前学修：教科書 141～147 頁を読んでおくこと。 事後学修：約束手形による請求の概要と具体的な事例についてまとめること。
9 回	授業内容：担保責任と遡求について学ぶ。 事前学修：教科書 149～152 頁を読んでおくこと。 事後学修：担保責任と遡求の概要について具体的な事例とともにまとめること。
10 回	授業内容：手形行為独立の原則、善意取得及び人的抗弁の切断について学ぶ。小テストを行う。 事前学修：教科書 117～134 頁を読んでおくこと。 事後学修：手形取引の安全を図るシステムについて、具体的な事例とともにまとめること。
11 回	授業内容：公示催告と除権決定、手形保証及び白地手形について学ぶ。 事前学修：教科書 130～131 頁、201～203 頁を読んでおくこと。 事後学修：約束手形によるファイナンスにつき、具体的な事例とともにまとめること。
12 回	授業内容：電子記録債権の意義とその仕組みについて学ぶ。小テスト。 事前学修：教科書 160～178 頁を読んでおくこと。 事後学修：電子記録債権の仕組みについて約束手形と比較してまとめること。
13 回	授業内容：クレジットカードの意義とその仕組みについて学ぶ。 事前学修：教科書 179～191 頁を読んでおくこと。 事後学修：クレジットカードの概要と具体的な事例についてまとめること。
14 回	授業内容：銀行振込の意義とその仕組みについて学ぶ。 事前学修：教科書 36～63 頁を読んでおくこと。 事後学修：銀行振込の概要と具体的な事例についてまとめること。
15 回	授業内容：試験及び解説。 事前学修：事前に、講義で取り扱った事項について、まとめること。 事後学修：試験で十分に記述できなかった箇所について、教科書の該当部分をよく読むこと。

◆**教科書** 関沼『支払決済法〔第3版〕』小塚莊一郎＝森田果 商事法務 2,700 円（税込）（送料 300 円）六法（最新版が望ましい）

◆**参考書** 関沼『手形小切手判例百選〔第7版〕』神田秀樹＝神作裕之編 有斐閣 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 小テスト（25%）、試験（75%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔国際法〕

渡部 茂己

◆**授業概要** 「国際社会」を規律する法規範としての「国際法」は、どのような形で存在しているのか（法源）、どのようにして定立されるのか（立法）、もし守らない場合にはどのような制裁を受けるのか（適用・執行）、また、国際法主体としての国家や国際司法裁判所などの基本的な事項を学び、国内法や国際私法との違いを理解する。

◆**学修到達目標** 「国際法」はどのような形で存在しているか（法源）、だれがどのようにして定立するのか、また、国際法の適用や執行について説明できる。そして、国際法主体としての国家や国際社会の裁判所について要点を説明できる。

◆**授業方法** 教科書や配布プリント、パワーポイントを用いた講義を中心に、課題についての小論文作成、討議も併用する。視聴覚教材も用いることがある。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：国際法と国際私法、国際法の起源と国際私法の起源 事前学修：教科書第 1 章 5～7 頁を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
2 回	授業内容：国際法の意義・基本原理と諸分野、国際社会の特質、国内社会（の法）との違い 事前学修：教科書第 1 章 2～5 頁を読んで理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
3 回	授業内容：国際法の法源（形式的法源と実質的法源、条約と国際慣習法） 事前学修：教科書第 2 章を熟読する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
4 回	授業内容：国際法と国家 I（国家の成立、国家承認の理論と実際の事例） 事前学修：教科書第 3 章を精読する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
5 回	授業内容：国際法と国家 II（国家の国際交渉機関、国家の国際責任） 事前学修：教科書第 4 章、5 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
6 回	授業内容：国家の領域、海洋法 事前学修：教科書第 6 章、7 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
7 回	授業内容：国際公域（南極、深海底、宇宙） 事前学修：教科書第 8 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
8 回	授業内容：国際紛争の平和的解決 事前学修：教科書第 14 章を一読する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
9 回	授業内容：国際裁判法（国際司法裁判所）、視聴覚教材 事前学修：教科書第 14 章の 202 頁以降を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
10 回	授業内容：国際安全保障（人間の安全保障、国際人道法を含む） 事前学修：教科書第 15 章を一読する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
11 回	授業内容：国家以外の国際法主体、国際法と個人 事前学修：教科書第 1 章 9 頁、第 9 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
12 回	授業内容：基本的人権の国際的保護（国際人権法） 事前学修：教科書第 9 章に目を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
13 回	授業内容：国際法と地球環境（国際環境法） 事前学修：教科書第 10 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
14 回	授業内容：国際法と国際経済（国際経済法） 事前学修：教科書第 11 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。
15 回	授業内容：国際法と国際機構・国連（国際機構法と国際組織法）、条約の締結手続と効力（条約法） 事前学修：教科書第 12 章、13 章を読み理解する。 事後学修：同上の箇所およびその前後を復習する。

◆**教科書** 教材『国際法 第 2 版』通信教育教材（教材コード 000462）3,150 円（送料込）  
（市販の『国際法・第 3 版』渡部茂己・喜多義人編（弘文堂）と同じ。第 2 版でもかまいません。）

事前資料送付

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 授業内で作成する課題についての小論文や質疑を含む授業参画度（50%）、論述試験（50%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔外交史〕

信夫 隆司

◆**授業概要** 3日間の集中講義という特性を活かし、第二次世界大戦後の興味深い映像を参照しながら、戦後の外交の流れを理解する。同時に、日本の重要な外交案件も参照しつつ、その時々的重要な外交史上の事件について学ぶこととする。具体的には、第二次世界大戦、冷戦の始まり、朝鮮戦争、安保条約の改定、ベルリンの壁の構築、キューバ危機、ベトナム戦争、米中接近、ベルリンの壁の崩壊、ソ連邦の崩壊等を取り上げる予定である。

◆**学修到達目標** 高校での世界史あるいは日本史の授業では、現代史まで進まないことも多く、また、触れたとしても、きわめて簡潔な場合が多い。たとえば、1962 年 10 月にキューバ危機が発生したといったようにである。しかし、これではキューバ危機が起こった年号を覚えるだけである。この授業では、例として、キューバ危機はなぜ起こったのか、その意味はいかなるものであったのか、その影響とは何かといったところまで理解できるようにする。

◆**授業方法** 一方的な講義形式ではなく、外交史に関連する重要な映像を視聴しながら、学生参加型の講義とする。具体的には、映像を見て、なぜそのような出来事が起こったのか、その意味はいかなるものであったのか、その後の影響はどうだったのかといったことについて、学生同士で話し合いを行い、理解を深める。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容：授業の進め方について 事前学修：戦後の重要な外交上の事件を調べてみる。 事後学修：第 2 回以降の授業の内容を確認する。
2 回	授業内容：第二次世界大戦について（1） 事前学修：第二次世界大戦とはいかなるものであったのかを調べる。 事後学修：第二次世界大戦はなぜ起こったのか、また、その経緯を理解する。
3 回	授業内容：第二次世界大戦について（2） 事前学修：第二次世界大戦は、今日、どのような意味を有するかを考えてみる。 事後学修：第二次世界大戦について話し合い、レポートを作成する。
4 回	授業内容：冷戦の勃発・ヤルタ協定について（1） 事前学修：冷戦とはいかなるものであったのかを調べてみる。 事後学修：冷戦はなぜ起こったのか、さらには、その後の経緯を整理する。
5 回	授業内容：冷戦の勃発・ヤルタ協定について（2） 事前学修：冷戦を象徴する主要な出来事を整理する。 事後学修：冷戦について話し合い、レポートをまとめる。
6 回	授業内容：朝鮮戦争について 事前学修：朝鮮戦争とはいかなるものであったのかを調べてみる。 事後学修：朝鮮戦争と今日の朝鮮半島の分断について話し合ってみる。
7 回	授業内容：日米安保条約の改定について（1） 事前学修：日米安保条約が締結されたサンフランシスコ体制とはいかなるものであったのかを調べる。 事後学修：安保条約はどのように改定されたのかを整理する。
8 回	授業内容：日米安保条約の改定について（1） 事前学修：いわゆる安保闘争とは何であったかを調べてみる。 事後学修：日米安保条約について話し合い、レポートをまとめる。
9 回	授業内容：ベルリンの壁構築について 事前学修：ベルリンの壁は、どこにどのように、なぜ作られたのかを調べる。 事後学修：ベルリンの壁について話し合い、レポートをまとめる。
10 回	授業内容：キューバ危機について（1） 事前学修：キューバ危機とはいかなるものであったのかを調べる。 事後学修：キューバ危機の経緯について整理する。
11 回	授業内容：キューバ危機について（2） 事前学修：キューバ危機は、戦後の国際政治のなかでどのような意味をもっていたのかを調べる。 事後学修：キューバ危機について話し合い、レポートをまとめる。
12 回	授業内容：ベトナム戦争について 事前学修：ベトナム戦争とはいかなるものであったのかを調べてみる。 事後学修：ベトナム戦争は、とくにアメリカにとってどのような意味をもっていたのかを整理する。
13 回	授業内容：米中接近について 事前学修：米中接近とはいかなるものであったのかを調べてみる。 事後学修：ベトナム戦争と米中接近について話し合い、レポートをまとめる。
14 回	授業内容：ベルリンの壁崩壊・ソ連邦崩壊について（1） 事前学修：ベルリンの壁崩壊とはいかなるものであったのかを調べる。 事後学修：ベルリンの壁はなぜ崩壊したのかを整理する。
15 回	授業内容：ベルリンの壁崩壊・ソ連邦崩壊について（2） 事前学修：ソ連邦はなぜ崩壊したのかを調べる。 事後学修：ベルリンの壁崩壊・ソ連邦崩壊について話し合い、レポートをまとめる。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日、適宜、資料を配布する。

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 授業への積極的参加（30%）、学生同士の話し合い（30%）、小レポートの作成（40%）を総合的に評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国語学講義〕

加藤 陽子

◆**授業概要** 自己の思考を表現する手段として様々な方法があるが、「書くこと」もその一つである。書くことは、文字の練習に始まり、文から文章の作成へと続き、作文、意見文、卒業論文等の様々な種類の文章の執筆へと、教育の中で段階を追って継続的に鍛錬されている技能である。本講義では、受講者が書くことに関する指導の要点を理解し、学習者、あるいは自分自身の書いた文章を適切に添削、評価できるようにすることを目指す。そのために、書くことに関して持つべき知識を蓄え、添削、評価する観点を学ぶ。

◆**学修到達目標** 1. 学習者（外国語として日本語を学ぶ学習者を主とする）が書いた作文、論証文を適切に添削し、修正点を分析的に説明できるようにする。  
2. 一定の構成を備えた段落を書くことができるようになる。  
3. 文章を評価する基準が理解できる。

◆**授業方法** 講義のほかに、文章の作成、添削、評価などの活動を行う。ペア、あるいはグループでの話し合いも多く取り入れ、教師と学生、また、学生相互の双方向的なやり取りを重視する（ただし、受講生の人数により、講義と、話し合い等の活動との割合を適宜変更する）。教師の発問に対して自発的に回答や発言をすることを求める。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 オリエンテーション、ニーズ調査、「書く」ために必要なことは何か シラバスに沿って本講義の内容を確認する。また、受講生の背景やニーズを知るために簡単なアンケート調査を行う。次に、書くために必要な能力について考える。
	事前学修 シラバスをよく読んでおくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
2 回	授業内容 日本語の文字・表記 日本語を書くために使われている文字について基礎的な事項を解説し、表記法についても確認する。
	事前学修 書くことに関連した文字についての質問がある場合、授業で質問できるようまとめておくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
3 回	授業内容 作文（1）単文・複文 実際の学習者の作文を参照しながら、単文・複文レベルの修正点について概説する。 格助詞、呼称、時制（テンス）、相（アスペクト）などを取り上げる。
	事前学修 参考書（山田 2009）を通読し、特に第 4・7・1 章の内容を確認しておくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
4 回	授業内容 作文（2）単文・複文 実際の学習者の作文を参照しながら、単文・複文レベルの修正点について概説する。 複文による節の接続、接続詞、指示詞（コソア）、視点などを取り上げる。
	事前学修 参考書（山田 2009）を通読し、特に第 5 章の内容を確認しておくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
5 回	授業内容 作文（3）話し言葉と書き言葉の差異 書き言葉の特徴を話し言葉との比較により概観し、書き言葉の文体、語彙の改まり度や体系について解説する。
	事前学修 参考書とともに前回までの授業の資料をよく確認すること。
	事後学修 配布資料を見直し、かつ、授業で与えられた課題について意見文を書く準備をしておくこと。
6 回	授業内容 意見文（1）自分の文章を客観的に見つめる 意見文を実際に書き、ほかの学習者が書いた意見文と比較してみる。
	事前学修 前回までの授業の資料をよく確認すること。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
7 回	授業内容 意見文（2）文章の構成 パラグラフの構成について解説する。また、この構成に沿ってパラグラフを作成してみる。
	事前学修 参考書（田中・阿部 2014）の PART I（11-35 頁）を通読し、特に 26-35 頁の内容を確認しておくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
8 回	授業内容 意見文（3）文章の修正 パラグラフの観点から、学習者の書いた文章について話し合い、添削してみる。
	事前学修 配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修 参考書（田中・阿部 2014）の PART II の 115-124 頁の内容を確認しておくこと。
9 回	授業内容 リサーチペーパー（1）文章の構成 配布資料に基づき、一般的な論証文の構成について解説する。
	事前学修 参考書（田中・阿部 2014）の PART III（125-165 頁）を通読し、特に 126-128、142-150 頁の内容を確認しておくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
10 回	授業内容 リサーチペーパー（2）文章の修正 学習者の書いた文章について話し合い、添削してみる。
	事前学修 論証文の構成について書かれた資料をよく確認しておくこと。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
11 回	授業内容 書く能力の評価（1）様々な評価の観点 学習者の書いたものを評価する基準について受講生同士で話し合う。また、語学教育で使われている評価基準をいくつか紹介する。
	事前学修 自分の書いたものを修正する場合や学習者が書いたものを修正する場合に、どんな点に着目するかを内省し、修正する項目、評価する項目について発言できるよう準備すること。
	事後学修 配布資料をよく読んでおくこと。
12 回	授業内容 書く能力の評価（2）ルーブリック ルーブリックを使用した評価について概説する。
	事前学修 参考書（田中・阿部 2014）の 172-173 頁に目を通しておくこと。
	事後学修 今までの配布資料に目を通し、質問がある箇所を明らかにしておくこと。
13 回	授業内容 書く能力の評価（3）添削と評価 授業のまとめ 学習者の書いたものを添削する。また、ルーブリックを使用して評価を行う。
	事前学修 前回の授業の資料をよく確認すること。
	事後学修 試験の範囲をよく確認し、重要事項を再確認すること。
14 回	授業内容 試験 1 及び解説
	事前学修 今まで配布された資料を熟読し、重要な点を確認しておくこと。
	事後学修 試験に出た部分を中心に、重要事項を再確認すること。
15 回	授業内容 試験 2 及び解説
	事前学修 授業で扱った部分のうち、特に段落作成、添削と評価の部分を確認しておくこと。
	事後学修 授業内容全体を振り返り、参考書などで学びを深めること。

◆**教科書** 指定しない。授業用プリントを配付する。

◆**参考書** 〔丸〕『国語を教える文法の底力』山田敏弘著 くろしお出版 2009 年 1,512 円（税込）（送料 300 円）  
〔丸〕『Good Writing へのパスポート 読み手と構成を意識した日本語ライティング』田中真理・阿部新著 くろしお出版 2014 年 2,160 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 授業への積極的参加（25%）、試験 1（資料持ち込み可能 35%）、試験 2（資料持ち込み不可 40%）  
毎回出席すること、遅刻や早退をしないことを前提として評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔アメリカ文学史 A〕

鈴木 孝

- ◆**授業概要** アメリカ文学をより楽しむための基礎知識を養うために、16 世紀後半の植民地時代から 20 世紀初頭の Lost Generation までのアメリカ文学の歴史を、アンソロジー形式でまとめられたテキスト、事前配付の文学史メモ、および初日配付の参考資料を利用しながら概観し、その流れを的確に把握していくための講義・説明を中心とした授業を行っていく。
- ◆**学修到達目標** 1. 授業を通じて、卒論で扱えるような興味深い作家を探し当てることができる。  
2. アメリカ文学の様々な作品を読む際に、ただ内容を楽しむだけでなく、歴史的な視点から解釈する力、批判的に読解できる力を身につけられる。  
3. 様々な作品を読み、そこに描かれた外国文化に触れることで異文化に対する理解を深め、高い教養を身につけられる。
- ◆**授業方法** テキストで扱われているそれぞれの作家について、授業時に配付する資料も利用しながら、その生い立ちや作品の特徴、文学史的位 置・意味などに関する講義を行う。それぞれのおおまかな項目が終わった時点で、その項目に対する理解度を確認するための小テストを随時行う。テキストのしっかりした予習だけでなく、その読解から生まれる旺盛な好奇心を期待する。
- ◆**履修条件** 平成 30 年度東京スクーリング（5 月期）第 1 期「アメリカ文学史」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：* 植民地時代の文学（1） 2. [Captain] John Smith とポカホントス 事前学修：事前配付資料「メモ 1」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 1」、授業内配付資料を確認しておくこと
2 回	授業内容：* 植民地時代の文学（2） 3. W. Bradford と 4. A. Bradstreet 事前学修：事前配付資料「メモ 1」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 1」、授業内配付資料を確認しておくこと
3 回	授業内容：* 植民地時代の文学（3） 5. J. Edwards と 6. B. Franklin の宗教観の比較 事前学修：事前配付資料「メモ 1」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 1」、授業内配付資料を確認しておくこと
4 回	授業内容：* アメリカの独立と Nationalism Nationalism 作家 7. C. B. Brown, 8. W. Irving, 9. J. F. Cooper の特徴 事前学修：事前配付資料「メモ 1」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 1」、授業内配付資料を確認しておくこと
5 回	授業内容：* American Renaissance（1） 10. W. C. Bryant, 11. E. A. Poe の詩の特徴の比較 事前学修：事前配付資料「メモ 1」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 1」、授業内配付資料を確認しておくこと
6 回	授業内容：* American Renaissance（2） 12. R. W. Emerson と 13. H. D. Thoreau 事前学修：事前配付資料「メモ 1」、「メモ 2」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 1」、「メモ 2」、授業内配付資料を確認しておくこと
7 回	授業内容：* American Renaissance（3） 14. N. Hawthorne, 15. H. Melville の作品の特徴 事前学修：事前配付資料「メモ 2」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 2」、授業内配付資料を確認しておくこと
8 回	授業内容：* American Renaissance（4） 16. W. Whitman, 17. E. Dickinson の詩の特徴 事前学修：事前配付資料「メモ 2」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 2」、授業内配付資料を確認しておくこと
9 回	授業内容：* Realism（1） 18. M. Twain の Realism 事前学修：事前配付資料「メモ 2」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 2」、授業内配付資料を確認しておくこと
10 回	授業内容：* Realism（2） 19. H. James の心理的 Realism 事前学修：事前配付資料「メモ 2」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 2」、授業内配付資料を確認しておくこと
11 回	授業内容：* Naturalism 20. S. Crane, 21. T. Dreiser の Naturalism 事前学修：事前配付資料「メモ 2」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 2」、授業内配付資料を確認しておくこと
12 回	授業内容：* Chicago Renaissance 23. S. Anderson と 22. C. Sandburg の 事前学修：事前配付資料「メモ 2」、「メモ 3」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 2」、「メモ 3」、授業内配付資料を確認しておくこと
13 回	授業内容：* Modernism, Lost Generation 他（1） 3 人の詩人 24. R. Frost, 25. L. Hughes, 26. W. C. Williams の詩の特徴 事前学修：事前配付資料「メモ 3」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 3」、授業内配付資料を確認しておくこと
14 回	授業内容：* Modernism, Lost Generation 他（2） 27. F. S. Fitzgerald と 28. E. Hemingway 事前学修：事前配付資料「メモ 3」に前もって目を通しておくこと 事後学修：授業内容をまとめた「メモ 3」、授業内配付資料を確認しておくこと
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでの授業内容を理解し、復習しておくこと。 事後学修：試験結果を踏まえ、理解度の不足を補うよう振り返りをする。

- ◆**教科書** 丸沼『An Outline of American Literature（アメリカ文学概観）』井上謙治編著 南雲堂 1,296 円（税込）（送料 215 円）  
\* 『アメリカ文学史 0414』通信教育教材とは別の教科書なので注意すること。  
**事前資料送付** **当日資料配布** 別途、事前資料送付・当日配布資料あり。
- ◆**参考書** 教科書 47 ページ参照。その他授業中に紹介する。
- ◆**成績評価基準** 平常点（50%）、試験（50%）の総合評価とする。但し欠席、遅刻のない学生のみが対象となる。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語学概説 A〕

田中 竹史

- ◆**授業概要** 本講座では、英語学がどのような研究分野であるのかを学び、その上で、言語研究を行う上で必要な知識ならびにアプローチ方法がどのようなものがあるのかを学修する。扱う領域は、英語の文構造、音の構造（音韻論）、語の構造（形態論）、統語構造（統語論）、語や文の意味（意味論）、会話で生じる含意（語用論）、国際共通語と呼ばれるようになった英語の歴史の変遷、そして、近年の英語学研究の動向など多岐に渡る。最初の数回は、高等学校までに学修した英文法の知識を基に、「英語」（英語の習得）と「英語学」（英語の研究）の違いについて学ぶ。音韻についての講義では、日本語との違いに着目しながら、英語の音韻について学ぶ。語形成についての講義では、語を成り立たせている要素（形態素）に注目し、各形態素がどのような規則に基づき語を形成しているのかを学ぶ。統語構造について講義では、生成文法と機能的統語論の基礎を学ぶ。意味について講義では、語や文の多義性、形容詞や副詞の意味の考察に始まり、認知意味論の基礎を学ぶ。語用論についての講義では、グライスやサルンなどが提唱した語用論の基礎を学び、会話の含意が生じる仕組みについて考える。英語の歴史の変遷についての講義では、英語がどのように生じ、変化し、今日の国際共通語としての地位を確立するに至ったのかを、実例を通して学んでいく。なお、本講座では受講者の関心など必要に応じて取り上げる題材・項目に調整を行う。
- ◆**学修到達目標** 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する、英語学的見解を身に付ける。具体的には、英語の音韻、形態、統語、意味、語用、そして、歴史の変遷及び国際共通語としての英語についての基礎的知識を修得することを目標とする。これら広範囲に渡る内容を、特に日本語と比較しながら学ぶことで、両言語にみられる様々な言語現象の不思議とそこに秘められたことばの面白さを感じてもらいたい。
- ◆**授業方法** 講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：英語学とはなにか 事前学修：教科書や参考書を読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
2 回	授業内容：英語の構造：品詞とその働き（語彙範疇を中心に） 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
3 回	授業内容：英語の構造：品詞とその働き（機能範疇を中心に） 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
4 回	授業内容：英語音韻論入門（1）：閉音節言語と開音節言語、音節中心言語とモーラ中心言語 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
5 回	授業内容：英語音韻論入門（2）：音素と異音、強弱アクセントと高低アクセント 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
6 回	授業内容：英語形態論入門：語形成のメカニズム、複合語と派生語、接辞 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
7 回	授業内容：英語統語論入門（1）：言語の階層構造、深層構造と表層構造 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
8 回	授業内容：英語統語論入門（2）：省略現象と視点現象を機能的に考える 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
9 回	授業内容：英語意味論入門（1）：多義性、形容詞の意味 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
10 回	授業内容：英語意味論入門（2）：副詞の意味、認知意味論について 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
11 回	授業内容：英語語用論入門（1）：文脈における言語の使用について、グライスの会話の公理 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
12 回	授業内容：英語語用論入門（2）：推論の原理、間接的発話行為 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
13 回	授業内容：英語の歴史の変遷（1）：通時的研究の大切さ、冠詞の発達について 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
14 回	授業内容：英語の歴史の変遷（2）：English as a Lingua franca 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
15 回	授業内容：英語学研究の新たな可能性：言語獲得理論、コーパス言語学 事前学修：配布された資料や教科書などを読んでおくこと。 事後学修：授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。

- ◆**教科書** 事前資料送付 資料はオンラインストレージ経由で配布します。  
教材 『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード 000567）2,750 円（送料込）  
この教材は市販の『日英対照英語学の基礎』三原健一・高見健一編（くろしお出版）と同一です。）
- ◆**参考書** 丸沼 『探検！ことばの世界』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）  
丸沼 『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円（税込）（送料 300 円）  
丸沼 『日英対照による英語学概論』 西光義弘編 くろしお出版 2,700 円（税込）（送料 350 円）  
丸沼 『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三著 ひつじ書房 1,512 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、質疑応答や意見表明などの授業に対する取り組みと授業終了後に提出のレポートにより総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語学特殊講義 A〕

山岡 洋

- ◆**授業概要** 準動詞 (不定詞・分詞・動名詞) と関係詞 (関係代名詞・関係副詞) について、その基本的な用法や表す意味などを考えていく。不定詞・分詞・動名詞に共通する準動詞の性質は何か、それぞれの違いは何か、関係代名詞と関係副詞の違いは何か、準動詞と関係詞の共通点・相違点は何かなどを考えていく。今回は、教科書の第 6 章の内容を説明していく。
- ◆**学修到達目標** 準動詞 (不定詞・分詞・動名詞) と関係詞について、その基本的な用法や表す意味などを理解する。具体的には、不定詞・分詞・動名詞に共通する準動詞の性質やそれぞれの違い、関係代名詞と関係副詞の共通点と相違点、準動詞と関係詞の共通点・相違点を理解する。複文を構成する準品詞を理解することにより、複雑な英語の文構造が理解できるようになる。
- ◆**授業方法** 原則として、教員側からの講義の形式で行っていく。但し、教員側からできるだけ頻りに学生側に対して疑問を投げ掛け、極力「双方向的な」授業にしていく。質問は、授業中でもしてもらいたい。素朴な質問は、質問者本人だけでなく、他の受講生、ひいては担当教員のためにもなることが多い。なお、予めテキストには目を通しておくこと。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: Course Introduction: Types of Sentences, What Are "Verbals" and "Relatives" ? 事前学修: 教科書 pp. 65-87 と pp. 337-343 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 65-87 と pp. 337-343 を見ながら再確認する。
2 回	授業内容: Course Introduction: What Is a Part-of-Speech? 事前学修: 教科書 pp. 2-12 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 2-12 を見ながら再確認する。
3 回	授業内容: 準動詞を考える 事前学修: 教科書 pp. 344-346 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 344-346 を見ながら再確認する。
4 回	授業内容: 関係詞を考える 事前学修: 教科書 pp. 379-383 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 379-383 を見ながら再確認する。
5 回	授業内容: 不定詞の名詞的用法・形容詞的用法 事前学修: 教科書 pp. 346-349 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 346-349 を見ながら再確認する。
6 回	授業内容: 不定詞の副詞的用法 事前学修: 教科書 pp. 349-351 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 349-351 を見ながら再確認する。
7 回	授業内容: 分詞 (現在分詞と過去分詞) 事前学修: 教科書 pp. 2-12 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 357-360 を見ながら再確認する。
8 回	授業内容: Trial Quizzes とその解説 事前学修: 第 1 回目から 4 回目までの内容を復習し、Trial Quizzes に備える。 事後学修: Trial Quizzes で理解度を確認し、最終試験に備えて理解不十分な部分を修正する。
9 回	授業内容: 分詞 (形容詞的用法と分詞構文) 事前学修: 教科書 pp. 360-365 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 360-365 を見ながら再確認する。
10 回	授業内容: 動名詞 事前学修: 教科書 pp. 367-371 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 367-371 を見ながら再確認する。
11 回	授業内容: 関係代名詞 事前学修: 教科書 pp. 391-393 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 391-393 を見ながら再確認する。
12 回	授業内容: 関係副詞 事前学修: 教科書 pp. 393-394 を読んでおく 事後学修: 授業中にとったノートを、教科書 pp. 393-394 を見ながら再確認する。
13 回	授業内容: 理解度確認 事前学修: これまでの授業の内容を改めて見直し、特に例文の中での準動詞・関係詞を確認する。 事後学修: 試験に備えて、例文における準動詞・関係詞を確認する。
14 回	授業内容: 最終試験とその解説 事前学修: 前回の理解度確認を改めて読み直し、新たな英文で自分の理解度を再度確認する。 事後学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。
15 回	授業内容: 最終試験の解説 事前学修: 自分の試験の答案を確認し、教科書の該当箇所と照合する。 事後学修: 授業内容を確認して、自分の準動詞・関係詞に関する理解が適切かどうかを再確認する。

- ◆**教科書** 丸沼『新英文法概説』山岡洋 開拓社 3,780 円 (税込) (送料 500 円)  
[当日資料配布] 当日配付資料あり
- ◆**参考書** 丸沼『英文法解説』改訂三版 江川泰一郎 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 500 円)  
丸沼『ロイヤル英文法』改訂新版 綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン 旺文社 1,944 円 (税込) (送料 500 円)  
丸沼『ジーニアス総合英語』中邑光男・山岡憲史・柏野健次 大修館 1,620 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**成績評価基準** 積極的な授業参加を重視する。  
最終試験 (教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可) 80%  
授業参加度 20% (積極的な発言や質問を評価する。欠席については、半日欠席につき 10 点マイナス。遅刻は 5 点マイナス。)

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学概論 A〕

齋藤 隆

- ◆**授業概要** 古代・中世の哲学者たちの思想を、存在論を中心に分かりやすく解説する。
- ◆**学修到達目標** ミュートスからロゴスへの移行を理解し、ロゴス的思考の二つのあり方、科学と哲学の始まり、古代・中世哲学の展開を理解する。
- ◆**授業方法** テキストと印刷物を用いて、講義中心に授業をすすめる。  
質問は随時受けつける。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ミュートスからロゴスへ、日本神話 事前学修：事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
2 回	授業内容：哲学以前 事前学修：事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
3 回	授業内容：ソクラテス以前の哲学者たちの思想（1） 事前学修：テキストの P.13～18 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
4 回	授業内容：ソクラテス以前の哲学者たちの思想（2） 事前学修：テキストの P.19～23 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
5 回	授業内容：ソクラテスとソフィストの思想 事前学修：テキストの P.24, P.96～99 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
6 回	授業内容：プラトンの思想（1）イデア論 事前学修：テキストの P.25～31 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
7 回	授業内容：プラトンの思想（2）倫理想・理想国家論 事前学修：テキストの P.187～188 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
8 回	授業内容：アリストテレスの思想（1）存在論 事前学修：テキストの P.32～39 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
9 回	授業内容：アリストテレスの思想（2）学問の分類・倫理想 事前学修：テキストの P.100～102, P.189～190 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
10 回	授業内容：ヘレニズム期の哲学と新プラトン学派 事前学修：テキストの P.193～199 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
11 回	授業内容：キリスト教と前期教父の思想 事前学修：テキストの P.42～46, P.200～204 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
12 回	授業内容：アウグスティヌスの思想 事前学修：テキストの P.47～48, P.106～107 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
13 回	授業内容：前期スコラの哲学者たちの思想 事前学修：テキストの P.49～52 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
14 回	授業内容：トマス・アクィナスの思想 事前学修：テキストの P.53～56, P.108～109 を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。
15 回	授業内容：存在論・形而上学についての概論的説明 事前学修：事前送付の印刷物の当該箇所を 2～3 回読む。 事後学修：講義ノートを見ながら内容を確認する。

- ◆**教科書** **教材** 『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）※学修指導書付き。  
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齋藤隆著（北樹出版）と同一です。書店で購入する場合は、学修指導書は付きません。〉
- ◆**参考書** **事前資料送付** 事前送付の印刷物
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提にして、最終回に行なう試験によって判断する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔史学概論〕

古川 隆久

◆**授業概要** 中学や高校の日本史や世界史は暗記科目といわれる（本当は違うが）。では大学で学ぶ歴史学では何をするのか？歴史は何の役にも立たないという人もいえるが本当だろうか？大河ドラマや司馬遼太郎の小説は歴史を学ぶ手段になるのか？歴史学とは何か、歴史とは何かについて、様々な観点からの議論を通して考えていく。

◆**学修到達目標** 授業計画に示した 14 の問いについて受講者間で討論することによって、歴史学はどのような学問なのかについて理解できるようにする。準備レポートを用意してきてもらい、それを材料に討論を進める。教員の役割は討論の進行役と討論内容の整理、助言である。15 回目に論述形式のテストとテストについての解説を行なう。

◆**授業方法** 授業時の討論の材料として、授業計画に示した 14 の問いについて、教科書や参考書、その他自分で探した文献（インターネット情報は不可）を参考しつつ、自分の考えと、考えた理由を、それぞれの問いごとに 200 字前後で文章にまとめてくる（準備レポート）。個々の論点についての典拠もわかるように書くこと。準備レポートは各日授業終了後回収する（例：1 日目の分は 1 日目の授業終了後に回収）ので控えをとっておくこと（試験の際に困る）。

◆**履修条件** 史学概論という科目の特性上、具体的な事例は異なっても、全体の趣旨は前年度と同じであることに留意されたい。

◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容： 歴史という言葉の意味は何か？ 事前学修： 教科書、参考書、国語辞典を使って歴史という言葉の意味を 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
2 回	授業内容： 歴史学は何を明らかにする学問か？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
3 回	授業内容： 歴史学が扱う上限・下限はどこまでか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
4 回	授業内容： 研究材料は何か？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容（特に史料という用語）を整理して理解しておく。
5 回	授業内容： 研究テーマはどうやって決めるのか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
6 回	授業内容： どのように研究するのか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容（特に史料批判という用語）を整理して理解しておく。
7 回	授業内容： 歴史学はどのように変遷して来たか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
8 回	授業内容： 歴史学で真実はわかるか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
9 回	授業内容： なぜ義務教育に歴史の科目があるのか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
10 回	授業内容： 歴史の面白さとは何か？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
11 回	授業内容： 歴史学と他の学問の関係はどうなっているか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
12 回	授業内容： 歴史は社会の役に立つか？ 事前学修： 教科書、参考書、その他の文献で上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
13 回	授業内容： 歴史学とはどのような学問なのか？ 事前学修： 前回までの事前学修や授業をふまえ、上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
14 回	授業内容： 歴史学と歴史の関係は？ 事前学修： 前回までの事前学修や授業をふまえ、上記の問いについて 200 字程度で考えをまとめる。 事後学修： 授業での討論内容を整理して理解しておく。
15 回	授業内容： 試験とその解説。試験は電子機器以外持ち込み可の論述形式で行なう。 事前学修： 14 回目までの内容を復習しておく。 事後学修： 試験についての解説をもとに足りない部分を復習する。

◆**教科書** 通材『史学概論 Q30100』通信教育教材（教材コード 000574）1,550 円（送料込）  
 〈この教材は市販の『歴史学ってなんだ？』小田中直樹（PHP 新書）と同一です。〉  
 丸沼『歴史とは何か』E・H・カー（清水幾太郎訳）岩波新書 928 円（税込）（送料 215 円）

◆**参考書** 丸沼『『歴史とは何か』の歴史』楠家重敏 晃洋書房 2,376 円（税込）（送料 300 円）  
 丸沼『歴史を社会に活かす』歴史学研究会編 東京大学出版会 3,456 円（税込）（送料 350 円）  
 丸沼『近現代日本史と歴史学』成田龍一 中公新書 928 円（税込）（送料 215 円）

◆**成績評価基準** 準備レポート（14 問分）、授業参加度（自発的な発言の度合い）、テスト、各 100 点満点を合算（300 点満点）して 3 で割り、100 点満点に換算して評価する。毎回出席することを前提として評価する。

**注意**

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔考古学特講 I〕

浜田 晋介

◆**授業概要** 弥生時代の研究は、すでに 130 年以上の歴史がある。現在われわれが理解する弥生時代・弥生文化の概念は、さまざまな発見や研究方法によって、変化しながら形づけられてきたものである。例えば縄文時代のあとに弥生時代が存在するという現在の常識は、戦後になって一般化したものである。そうした研究の歴史を知ること、現在の弥生文化の内容を理解することができる。

◆**学修到達目標** 弥生文化・弥生時代のこれまでに研究をひもとくことで、弥生文化の特色や弥生時代の概念を理解し、現在理解されている弥生文化・弥生時代について、説明することができるようになる。また、考古資料や遺跡・遺構の解釈の方法について学ぶことができる。今回は、太平洋戦争以前の研究の成果を踏まえ、戦後の弥生文化研究を扱うこととする。

◆**授業方法** 教科書を使用しながら各章に沿って解説を加え、図・写真・概念図・要点指示などをスライドで映していく。また、必要に応じてプリントの配布も行う。毎回小テストを行う。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容：授業の概要と進め方 この講義での内容について説明する。 事前学修：教科書「1. 本書を読むにあたって」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
2 回	授業内容：弥生時代像 弥生文化研究の現在の到達点を説明する。 事前学修：教科書「2. 弥生文化研究の現在の到達点」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
3 回	授業内容：戦後の弥生時代の枠組み 戦前の研究を受けて、戦後の弥生文化・弥生時代の枠組みがどのように変化したのかを説明する。 事前学修：教科書「16. 戦後の弥生時代の枠組み」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
4 回	授業内容：弥生の民族論争と東漸論 縄文文化と弥生文化の民族のとらえ方が、戦後どのように変化したのかを、弥生文化東漸論と関連づけて説明する。 事前学修：教科書「17. 戦後の弥生民族論争」「18. 戦後の東漸論とその変化」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
5 回	授業内容：弥生時代の東西南北 現在考えられている、弥生時代の地域的特徴について説明する。また、第 1 回～第 5 回までの内容について小テストを行う。 事前学修：教科書「19. 弥生時代の東西南北」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
6 回	授業内容：戦後の研究方法の変化 戦前の皇国史観から唯物史観への変化と、プロセス考古学について解説する。 事前学修：教科書「20. 戦後の研究方法」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
7 回	授業内容：金属器について 弥生文化と金属器の関係について、戦前の考えを含め解説する。 事前学修：教科書「21. 金属器の在り方」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
8 回	授業内容：階級の形成 階級がどのように生まれるのか。戦前を含め代表的な階級形成論を解説する。 事前学修：教科書「22. 階級社会の形成論」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
9 回	授業内容：弥生農業の実像 弥生文化の農業が戦後どのように理解されてきたのか、を説明する。 事前学修：教科書「23. 弥生農業の実像」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
10 回	授業内容：争乱の時代 弥生時代は争乱の時代である、という根拠と批判について解説する。 事前学修：教科書「24. 高地性集落論」「25. 争乱の時代」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
11 回	授業内容：弥生時代の集落 弥生時代の集落に関する研究について解説する。また、第 6 回～第 11 回までの内容について小テストを行う。 事前学修：教科書「26. 大規模集落と小規模集落」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
12 回	授業内容：弥生墳墓から古墳へ 古墳の発生と弥生時代の墳墓の関係が、そのように理解されてきたのかを解説する。 事前学修：教科書「27. 墓制論」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
13 回	授業内容：古墳時代との境 弥生時代と古墳時代の境について、土器の変化からどのように研究されてきたのかを解説する。 事前学修：教科書「28. 古墳時代との境」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
14 回	授業内容：弥生時代の年代 弥生時代の実年代がどのように導き出されてきたのか、について解説する。 事前学修：教科書「29. 年代決定論」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。
15 回	授業内容：自然科学分析の適用と限界 考古学資料に対する自然科学分析の使用事例とその問題点について、脂肪酸分析や年輪年代測定法を取り上げて解説する。また、第 1 回～第 15 回までの内容についてまとめテストを行う。 事前学修：教科書「30. 自然科学分析の応用」を熟読しておくこと。 事後学修：授業の内容とノートを要約してまとめ、理解の足りなかった内容や用語について調べる。

◆**教科書** 丸沼『弥生文化読本』浜田晋介 六一書房 2018 年 2 月 28 日発行 3,240 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 2 回の小テスト（それぞれ 20%）と最後にまとめテスト（60%）を実施し、総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本経済論〕

飯島 正義

◆**授業概要** 1990 年代初めにバブル経済が崩壊し、その後日本経済は「失われた 20 年」といわれる長期低迷に陥った。近年ようやくデフレからの脱却が見通せる状況となってきたが、世界経済の流動性 (変化) により予断を許さない状況にある。授業では、1990 年代以降の日本経済の長期低迷について経済データ分析を含めて考えていく。

◆**学修到達目標** 1. 1990 年代以降の日本経済の長期低迷について考察することにより、それについて説明できるようになることを目的とする。  
2. 小泉改革、アベノミクスの背景や内容について知り、それを説明できるようになる。

◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に進めていくが、各内容の切れ目でポイントを提示するとともに、確認プリントを実施しその提出を求める。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 「失われた 20 年」、日本経済の長期低迷に対する見方について 事前学修: シラバスで全体の授業内容を確認しておく。 事後学修: 配布プリントの見直しと教材・参考図書等で授業内容の理解を深める。
2 回	授業内容: バブル経済の形成 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等でさらに授業内容の理解を深めておく。 事後学修: バブル経済はどのように発生したのかをまとめておく。
3 回	授業内容: バブル経済の崩壊 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等でさらに授業内容の理解を深めておく。 事後学修: バブル経済の崩壊要因をまとめておく。
4 回	授業内容: 1990 年代以降の日本経済の経済データを読む 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 1990 年代以降の経済データの特徴を確認し、まとめておく。
5 回	授業内容: 家計—消費の低迷 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: バブル崩壊以降の消費の低迷状況・要因についてまとめておく。
6 回	授業内容: 企業—3つの過剰 (過剰雇用・過剰投資・過剰債務) 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 3つの過剰が生じた背景・要因をまとめておく。
7 回	授業内容: 政府—不況対策 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 政府が長期不況に対してどのような対策をとってきたのかをまとめておく。
8 回	授業内容: 日銀—超低金利政策 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 日銀が長期不況に対してどのような対策をとってきたのかをまとめておく。
9 回	授業内容: 1990 年代後半以降のデフレ現象 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 1990 年代後半からのデフレ状況についてまとめておく。
10 回	授業内容: 少子高齢化の進行 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 日本の少子高齢化の現状・特徴についてまとめておく。
11 回	授業内容: 生産性の低迷 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 1990 年代以降の日本の生産性、競争力はどうかについてまとめておく。
12 回	授業内容: 小泉改革 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 小泉改革の課題と改革内容をまとめておく。
13 回	授業内容: アベノミクス (1) 第 1 ステージ 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 2013 年から 15 年までの第 1 ステージのアベノミクスの内容についてまとめておく。
14 回	授業内容: アベノミクス (2) 第 2 ステージ 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 2015 年以降の第 2 ステージのアベノミクスの展開とその内容についてまとめておく。
15 回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: これまでの各内容のポイントをまとめたものを再確認しておく。 事後学修: 設題に対して、重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうかを確認する。

◆**教科書** [当日資料配布] 授業時にプリント資料を配布します。

◆**参考書** **教材** 『日本経済論 R31000』 通信教育教材 (教材コード 000499) 3,400 円 (送料込)  
〈この教材は市販の『日本経済読本 (第 21 版)』 金森久雄・大守隆著 (東洋経済新報社) と同一です〉  
**図説** 『21 世紀の長期停滞論』 福田慎一 平凡社 (新書) 2018 年 864 円 (税込) (送料 215 円)

◆**成績評価基準** 確認プリントの提出 (40%)、試験 (60%)

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済地理学 / 経済地理〕

清水 和明

◆**授業概要** 経済地理学は、地表面上のあらゆる経済現象の地理的な拡がりを対象とする学問である。本授業では、経済地理学の研究領域の中でも産業立地に関する領域を扱う。とくに、古典的な立地論を取り上げ、その特徴について理解を深めるとともに、現実世界への適用可能性について検討していく。また、特定の産業や地域を事例に、経済現象の地理的な差異が生じる要因について解説する。

◆**学修到達目標** 経済地理学の研究領域について理解を深め、その学問的な意義を専門用語を駆使して説明できるようになる。古典的な立地論の特徴について、自らの言葉で説明できるようになる。産業立地に関わる理論を応用して、現実の産業立地の要因を考察できるようになる。

◆**授業方法** 教科書の内容に基づいて、講義形式で進める。パソコンのプレゼンテーションソフトを利用する。随時、受講者に質問を行うとともに、理解度を確認するための小テストを実施する。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	経済地理学とはどのような学問か 授業の進め方を説明する。近代地理学の歴史を説明し、経済地理学が登場した背景を解説する。合わせて、各時代の経済地理学の潮流についても解説する。
	事前学修	テキストを一読し、経済地理学が対象とする領域について大まかな知識を得ておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理するとともに、配布資料を読み直し、経済地理学が対象とする領域を理解しておくこと。
2 回	授業内容	農業立地の理論と実際（1）チューネンの農業立地論の概要 産業立地論の基礎をなすチューネンの農業立地論の概要について、「経済地代」の概念を中心に解説する。
	事前学修	テキストの該当箇所を読み、チューネンの農業立地論が登場する背景を把握しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料を利用して、チューネンの農業立地論の特徴を整理しておくこと。
3 回	授業内容	農業立地の理論と実際（2）チューネンの農業立地論の意義と応用 チューネンの農業立地論の学問的な意義について解説する。合わせて、現実の農業立地を理解するにあたっての有効性と限界についても説明する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認し、いわゆる「チューネン圏」の形成に関わる要点を整理しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料を利用して、農業立地に関する理論の長所と短所を整理しておくこと。
4 回	授業内容	農業立地の理論と実際（3）日本の農業の地域的な展開 第二次大戦後の日本農業がいかに展開してきたのか農業政策の変遷を踏まえて説明する。また、具体的な農産物産地を事例に、近年の動向および課題を解説する。
	事前学修	日本の農業に関わる最近の動向について情報収集しておくこと。
	事後学修	任意の農産物産地を対象に、その現状と課題を調べること。
5 回	授業内容	農業立地の理論と実際（4）アグリビジネスと地域（小テスト含む） アグリビジネスの特徴について説明する。その上で、特定の企業の行動が地域に及ぼす影響を与えたのか解説する。農業立地の理論および農産物産地に関する小テストを行う。
	事前学修	「食」や「農」に関わる企業について情報収集しておくこと。
	事後学修	任意のアグリビジネスを対象に、その地理的な展開を調べること。
6 回	授業内容	工業立地の理論と実際（1）ウェーバーの工業立地論の概要とその意義 ウェーバーの工業立地論について、「輸送費指向論」、「労働費指向論」、「工業集積論」を中心に解説する。
	事前学修	チューネンの農業立地論の概要を整理するとともに、農業と工業の違いを整理しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料を利用して、ウェーバーの工業立地論の特徴を整理しておくこと。
7 回	授業内容	工業立地の理論と実際（2）ウェーバーの工業立地論の適用事例 ウェーバーの工業立地論の現実への適用事例について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認し、ウェーバーの工業立地論の特徴を整理しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料を利用して、ウェーバーの工業立地論の長所と短所を整理しておくこと。
8 回	授業内容	工業立地の理論と実際（3）日本の工業立地の変化 第二次大戦後の日本工業がいかに展開してきたのか、具体的な工業地域を事例に解説する。
	事前学修	日本の主要な工業地域についてその位置および各地域の特徴的な部門を調べておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料を利用して、日本の主要な工業地域の特徴を整理しておくこと。
9 回	授業内容	工業立地の理論と実際（4）企業内地域間分業構造の展開 企業内の分業構造について解説した上で、地域への影響を具体的な事例を交えつつ説明する。
	事前学修	高度経済成長期を通じてみられた地域問題（都市・農村に関わる問題）について情報収集しておくこと。
	事後学修	大企業の工場が進出した任意の地域を対象に、工場の進出によって地域に表れた効果および問題を調べておくこと。
10 回	授業内容	産業立地に関する理論と実際（5）立地調整と地域（小テスト含む） 企業が事業展開を行って行く上で行う施設・機能の新設または再編がいかなる理由の下で展開しているのか、具体的な事例を踏まえて解説する。工業立地の理論と実際の立地に関する小テストを行う。
	事前学修	産業立地に関わる授業で取り上げた諸概念について整理しておくこと。
	事後学修	任意の企業を対象に、1980 年代から今日に至るまでの立地調整の展開を調べておくこと。
11 回	授業内容	中心地の立地理論とその応用（1）クリスタラーの中心地理論の概要とその意義 中心地理論の概要について「財の到達範囲」の概念を中心に解説する。都市の立地や階層性についても解説する。
	事前学修	テキストの該当箇所を読み、中心地理論に関するキーワードを整理しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料の内容を確認し、中心地理論の特徴を整理しておくこと。
12 回	授業内容	中心地の立地理論とその応用（2）中心地理論に関する実証的研究 中心地理論が現実の経済活動を説明できることを小売業・サービス業を事例に解説する。
	事前学修	中心地理論の重要なポイントをノートに要約しておくこと。
	事後学修	任意の小売業・サービス業を対象に、店舗立地の特徴を調べておくこと。
13 回	授業内容	オフィス立地の理論と実際 オフィス立地に関する理論について説明する。企業の本社立地が特定の地域に集中する理由について解説する。
	事前学修	テキストの該当箇所を読んでおくこと。授業の終了が近いので、これまでの授業内容を再確認しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料の内容を確認し、オフィス立地の特徴を整理しておくこと。
14 回	授業内容	理解度の確認
	事前学修	これまでの授業で扱った内容を熟読し、重要な点をノートに要約しておくこと。
	事後学修	テキストと配布資料を利用して、授業で扱った内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容	試験および解説
	事前学修	これまでの授業で扱った内容を熟読し、重要な点をノートに要約しておくこと。
	事後学修	授業の内容を確認・理解し、経済地理学とはどのような学問か、再確認すること。

◆**教科書** 丸沼『新版 地域と産業—経済地理学の基礎—』富田和暁著 原書房 2,160 円（税込）（送料 300 円）  
【当日資料配布】必要に応じて配布する。

◆**参考書** 丸沼『日本経済地理読本 第9版』竹内淳彦・小田宏信編著 東洋経済新報社 2,484 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『現代の立地論』松原宏編著 古今書院 3,024 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『新版 経済地理学入門—地域の経済発展—』山本健児著 原書房 3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 試験の結果（70%）、授業内を行う小テストの結果（30%）。毎時間出席することを前提として評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔証券市場論〕

佐藤 猛

- ◆**授業概要** 近代証券史に関してマクロ経済動向と人間の歴史史観が証券市場を動かすとの視点から授業を行う。同時にその時に利用された証券理論も併せて紹介する。これらは DVD を見てさらにリアルさを追体験する。
- ◆**学修到達目標** ①日経新聞の証券記事に関心を持つようになる。②証券史に関心を持つようになる。①と②について証券理論を通して理解する。
- ◆**授業方法** ①すべて PP で行う。②テキストと参考書を随時用いる。③関連 DVD を見てリアルに理論を感じる。④1日ごとで完結する授業である。⑤計算は基本的なモデルを全員で解く。
- ◆**履修条件** 平成 30 年東京スクーリング（10 月期）「証券市場論」との積み重ね不可
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容： <b>株価指数の理論と歴史（ダウ工業株価の歴史と株価理論の歴史）</b> 事前学修： 株価指数をあらかじめ調べておくこと 事後学修： 配布資料かノートに整理すること
2 回	授業内容： <b>個別株式ファンダメンタルズ理論</b> 事前学修： 当該箇所を教科書で読んでおくこと 事後学修： 与えられた問題を計算すること
3 回	授業内容： <b>ポートフォリオと CAPM</b> 事前学修： 当該箇所を参考書等で読んでおくこと 事後学修： 与えられた問題を計算すること
4 回	授業内容： <b>1920 年代の主要ダウ銘柄（DVD）</b> 事前学修： いまままでの配布プリントを読んでおくこと 事後学修： DVD の感想をまとめること
5 回	授業内容： <b>マクロ経済の動向</b> 事前学修： マクロ経済理論を一読しておくこと 事後学修： IS-LM 曲線の知識を整理すること
6 回	授業内容： <b>行動ファイナンス</b> 事前学修： 認知科学について調べておくこと 事後学修： 与えられた心理問題を解くこと
7 回	授業内容： <b>1929 年クラッシュと昭和恐慌（DVD）</b> 事前学修： 1930 年前後の世界史（日本を含め）を調べておくこと 事後学修： DVD の感想をまとめること
8 回	授業内容： <b>債券の格付け</b> 事前学修： 債券の投資についてテキストを一読しておくこと 事後学修： 実際の企業の格付けを調べること
9 回	授業内容： <b>証券化</b> 事前学修： 証券化について参考書等で調べておくこと 事後学修： 証券化による代表的な証券の特徴を整理すること
10 回	授業内容： <b>EU の国債問題（DVD）</b> 事前学修： 現在の EU の状況をネットで調べておくこと 事後学修： EU の問題点を整理すること
11 回	授業内容： <b>リーマンショック（DVD）</b> 事前学修： リーマンショックを参考書等で調べておくこと 事後学修： DVD で理解できない部分をまとめること
12 回	授業内容： <b>ケインズの投資理論</b> 事前学修： ケインズ経済学を一読しておくこと 事後学修： 投資理論の特徴をまとめること
13 回	授業内容： <b>ヘッジファンドの投資理論</b> 事前学修： ヘッジファンドの概念をあらかじめ調べておくこと 事後学修： DVD で理解できない部分をまとめること
14 回	授業内容： <b>現代投資理論</b> 事前学修： テキストでデリバティブの定義を一読しておくこと 事後学修： 投資理論の体系を整理すること
15 回	授業内容： <b>欲望と AI の証券市場（DVD）</b> 事前学修： いまままでの配布資料を一読しておくこと 事後学修： 指定された近未来の資本主義の DVD をみること

- ◆**教科書** **選材** 『証券市場論 0829』 通信教育教材（教材コード 000185）1,800 円（送料込）  
**当日資料配布** 当日配布資料あり

- ◆**参考書** **丸沼** 『証券理論の新体系』 税務経理協会 3,024 円（税込）（送料 300 円）（授業中には使用しない）

- ◆**成績評価基準** 授業内レポートによる総合評価

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔中小企業論〕

小林 世治

◆**授業概要** 中小企業の本質について、とくに大企業との対比や関係から、その構造的な位置づけや特徴を探り、日本においてどのような発展を示しているか、主として経済＝政策面からアプローチする。その中で経営的課題も明らかにする予定である。

◆**学修到達目標** 1. 中小企業を経済社会の身近で重要なアクターとして捉え、その発展について考えることができる。2. 日本の中小企業が抱えている課題を歴史的・構造的に理解し、解決の手がかりや新たな方向性に目配りできる。

◆**授業方法** 単元ごとに、「前半」はパワーポイント等を使って概要を説明し、「後半」は受講生との双方向的な質疑応答や、受講生どうしのディスカッションによって、理解を深めるよう努める。リアクション・ペーパー（質問等）の提出を求める。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：授業の概要：中小企業の定義と日本経済の全体に占める比重を確認する。 事前学修：教科書・序章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
2 回	授業内容：日本経済の歩みと中小企業：中小企業「問題」の根源を探り、今日的課題を概観する。 事前学修：教科書・第 1 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
3 回	授業内容：大企業と中小企業：大企業との比較また関係性によって中小企業の「構造的」特徴を掴む。 事前学修：教科書・第 2 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
4 回	授業内容：地域経済と中小企業：地域経済と強く結びつく中小企業の存在条件・意義を確認する。 事前学修：教科書・第 3 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
5 回	授業内容：地域社会とともに：狭義の「経済」に留まらない、地域・中小企業の役割を確認する。 事前学修：教科書・第 9 章をしっかりと読んでおくこと。前回の内容との区別を考えてみよう。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
6 回	授業内容：下請システム（1）：日本型生産システムの重要部分。その光と影を歴史的に追っていく。 事前学修：教科書・第 5 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
7 回	授業内容：下請システム（2）：下請からの「自立化」の、諸段階・ハードルを確認する。 事前学修：あらかじめ配布された資料を熟読し、質問を準備すること。 事後学修：自らの「回答」をノートに整理してみよう。
8 回	授業内容：集積とネットワーク：中小企業は地域で孤立した存在ではない。どのような相互の結びつきを発生させているか？事例とともに解説する。 事前学修：教科書・第 8 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
9 回	授業内容：国際化と中小企業：グローバル化の課題は海外進出だけではない。「内なる国際化」の課題を明らかにする。 事前学修：教科書・第 6 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
10 回	授業内容：ディスカッション：グローバル化のもと地域と中小企業はどのような対応が可能か？地域と中小企業の双方について、グローバル化の様々な課題があり、また一見するとそれに反する動きもあることを考えてみよう。 事前学修：これまで学んだ内容（とくに 4・8・9 回）を復習し、自分なりの考えをまとめること。 事後学修：授業内容をマトリックスに書いて整理してみよう。
11 回	授業内容：中小企業政策（1）：これまでとられた国の政策を概観する。 事前学修：教科書・第 11 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
12 回	授業内容：中小企業政策（2）：最近注目されるようになった自治体の取組みの意義と課題を解説する。 事前学修：教科書・第 12 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
13 回	授業内容：起業と経済活性化：なぜ日本の起業が進まないか背景を探る。 事前学修：教科書・第 13 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
14 回	授業内容：事業承継：今日改めて重視されるようになった経過を解説する。 事前学修：教科書・第 7 章をしっかりと読んでおくこと。 事後学修：キーワードを確認し、自ら理解した範囲で内容をノートにメモしておくこと。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回の授業内で指摘した重点項目の内容を整理しておくこと。 事後学修：今後学習・調査する課題を明らかにすること。

◆**教科書** 丸沼『中小企業・ベンチャー企業論（新版）』植田浩史ほか著 有斐閣 2,592 円（税込）（送料 300 円）  
〔当日資料配布〕適宜、資料配布します

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 発表（40%）・試験（60%）。毎回の出席を前提として評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔法学通論 / 法律学概論 (国際法を含む)〕

遠藤 清臣

◆**授業概要** 国際的に社会の価値観が激変するなか、少子高齢化の日本も他国の価値観との共存を迫られている。国内では憲法の解釈や改正の議論も盛んである。本講座は、法学の基本事項を概説したうえで、これを前提として憲法の考え方を探求する。

◆**学修到達目標** 授業概要に示した内容により、各受講者は法の本質や、法の時代による変化、なぜ法の解釈が重要かなどを理解し、そのうえで日本国憲法の現在の条文の意味や、将来の憲法のあり方について各自の考え方を構築してもらうことを目標としている。

◆**授業方法** 科目の性質上、講師が一方向的に講義する、いわゆる講義形式を採らざるを得ない。受講者の人数や、講義の進捗状況をみながら、可能な限り受講者を交えた意見交換や討論を行うつもりである。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 簡単なガイダンス、法の本質と性格、法における平等とは? 事前学修: シラバスで全体の授業内容を確認しておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
2 回	授業内容: 法の基礎にある社会正義、日本の法の沿革 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
3 回	授業内容: 日本国における近代憲法の成立 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
4 回	授業内容: 社会正義の変化と、成文法、不文法 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
5 回	授業内容: 法の解釈の役割、解釈方法 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認及び、配布する演習問題で本日の内容の総復習
6 回	授業内容: 国際法と国際私法 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
7 回	授業内容: 権利の意義とその制約 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
8 回	授業内容: 権利の社会的制限 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
9 回	授業内容: 権利の主体と客体 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
10 回	授業内容: 日本国憲法の基本的な人権の体系 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
11 回	授業内容: 日本国民とは、外国人の人権、社会権 (特に教育基本権) 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認及び配布する演習問題で本日の内容の総復習
12 回	授業内容: 議会制民主主義の課題と選挙制度、二院制 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
13 回	授業内容: 議院内閣制と大統領制の課題 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
14 回	授業内容: 現行裁判制度の概要とその問題点 事前学修: 配布プリントを中心に授業内容の理解を深めておく。 事後学修: プリントによる講義内容の復習、確認
15 回	授業内容: 筆記試験及び解説 事前学修: 14 回目までの内容を復習しておく。 事後学修: 試験についての解説をもとに足りない部分を復習する。

◆**教科書** 教科書は特に指定しない。  
(当日資料配布) 講義当日プリントを配布する (当日資料配布)

◆**参考書** 教材『法学 B11500』通信教育教材 (教材コード 000515) 3,400 円 (送料込)  
丸沼『現代法学入門』三浦隆・石川信編著 北樹出版 3,132 円 (税込) (送料 350 円)  
『ポケット六法』又は、その他の簡易な六法  
(上記の各参考書は、いずれも学習の過程で必要に応じて参照すればよく、事前に準備、持参する必要はない。)

◆**成績評価基準** 筆記試験の成績による。講義中の課題、応答内容を加えて総合的に評価する。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔生徒指導・進路指導論〕

渡辺 典子

◆**授業概要** 個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指し、学校の教育活動全体を通して行われる生徒指導と、生徒が将来の進路を選択・計画し能力を伸長するように長期的展望に沿った人間形成を目指す進路指導の理論と方法を中心に学ぶ。その際、子どもの個性を尊重することにつながるジェンダー視点をを用いることができるよう、ジェンダーに関する学習を取り入れる。

◆**学修到達目標** 生徒指導・進路指導の基礎的な知識を身につける。  
ジェンダーに関する基礎的な知識を身につける。  
指導の際に、ジェンダー視点をを用いることができる。

◆**授業方法** 主な授業方法は教科書に沿った講義形式であるが、できるだけ視聴覚教材を用い、またグループワークも取り入れる予定である。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：イントロダクション 事前学修：テキスト「はじめに」, p.11-12, 151-152 を読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し理解しておくこと。
2 回	授業内容：ジェンダー視点とは 事前学修：テキスト p.141-150 を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容：生徒指導の意義と原理 事前学修：テキスト p.13-23 を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容：進路指導の意義と原理 事前学修：テキスト p.69-76 の要点を把握しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容：生活指導と進路指導の法律と政策 事前学修：テキスト第 3 章を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容：ジェンダーと学校 事前学修：テキスト p.152-161 を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容：多文化と学校 事前学修：テキスト第 7 章の要点を把握しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容：児童及び生徒全体への指導 事前学修：「Ⅰ児童生徒全体への指導」「生徒指導提要」を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容：ガイダンスとしての指導 事前学修：「集団指導の方法原理」「生徒指導提要」を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容：カウンセリングとしての指導 事前学修：「個別指導の方法原理」「生徒指導提要」を読んでおくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容：個別の課題その 1 -不登校- 事前学修：テキスト第 4 章の要点を把握しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容：個別の課題その 2 -いじめ- 事前学修：テキスト第 5 章の要点を把握しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容：個別の課題その 3 -学級崩壊- 事前学修：テキスト第 8 章の要点を把握しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容：個別の課題を抱える児童及び生徒への指導 事前学修：11-13 回の授業内容を確認しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容：まとめ 事前学修：これまでの授業内容を確認しておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。

◆**教科書** 丸沼『新しい生活指導と進路指導』高橋陽一・伊東毅編 武蔵野美術出版局 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 『生徒指導提要』文部科学省  
授業中に適宜紹介する。

◆**成績評価基準** 試験（70%）、適宜課す感想文などの課題（30%）

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京

# 6月期

日	程	授業時間	備考
6月 1日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。 ※「体育実技」は授 業時間及び会場が 異なります。本誌 6ページを参照し てください。
6月 2日	日	9:00～16:30	
6月 8日	土	13:00～18:30	
6月 9日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の6月期開講の講座から1講座を選択してください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講	
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年		受 講 条 件
DB01	総合科目B	猪野 恵也	2	B101S0	総合科目Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅵのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してくだ さい。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				B102S0	総合科目Ⅱ				
				B103S0	総合科目Ⅲ				
				B104S0	総合科目Ⅳ				
				B105S0	総合科目Ⅴ				
				B106S0	総合科目Ⅵ				
DB02	法 学	水野 正	2	B11500	法 学		1年		
DB03	英 語 D	齊藤 雄介	1	C10100	英 語 Ⅰ		1年  2年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				C10200	英 語 Ⅱ				
				C10300	英 語 Ⅲ				
				C10400	英 語 Ⅳ				
DB04	体育実技Ⅰ・Ⅱ	高橋 正則	1	J101S0	体育実技Ⅰ	×	1年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				J102S0	体育実技Ⅱ				
DB05	民 法 V	矢田 尚子	2	K30400	民 法 V		2年		
DB06	国文学講義Ⅵ (現代)	竹田 志保	2	M31000	国文学講義Ⅵ (現代)		2年		
DB07	英 文 法 A	真野 一雄	2	N20200	英 文 法		条件 参照	・英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。	
DB08	英米事情Ⅰ	石川 勝	2	N31500	英米事情Ⅰ	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
DB09	英米文学演習B	野口 肇	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	×
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
DB0A	倫 理 学 概 論	江 川 晃	2	P30500	倫 理 学 概 論		2年		
DB0B	日 本 史 入 門	小 川 雄	2	Q20100	日 本 史 入 門		条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申 込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。	
DB0C	経 済 史 総 論	飯 島 正 義	2	R20200	経 済 史 総 論		条件 参照	・経済学部のみ1学年以上申 込可。 ・その他は2学年以上申 込可。	
DB0D	経 済 学 史 / 経 済 学 説 史	塚 本 隆 夫	2	R30100	経 済 学 史		2年	・文理・経済・商学部のみ申 込可。 ・法学部のみ申込可。	
				L31300	経 済 学 説 史				
DB0E	会 計 学 A	壹 岐 芳 弘	2	S32800	会 計 学		2年		×
DB0F	国語科教育法Ⅰ (新法)	野 澤 拓 夫	2	T23500	国語科教育法Ⅰ	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
DB0G	自然地理学概論	柴 原 俊 昭	2	T22300	自然地理学概論		2年	・法学部・史学専攻・経済学 部のみ申込可。	

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔総合科目 B〕

猪野 恵也

- ◆**授業概要** 「自主創造の基礎 1」では、大学生としての基本的な資質を育成することをねらいとしている。この授業科目は、いわゆる専門教育の前段となる基礎教育を担うためではなく、社会人として学修することの意義やその在り方について理解できるようになること、「学び続けていく力」をつけるためにある。日本大学では、それを「自主創造型パーソン」と呼称している。
- ◆**学修到達目標** ①学ぶ意味に気づくことができる、②主体的に学ぶ喜びを意識することができる、③積極的に参加する姿勢をもつことができる、④自身が学ぶ大学について説明することができる、の 4 つを到達目標とする。
- ◆**授業方法** この授業では、講義形式のほか、アクティブ・ラーニングの授業形態をとる。そのため、双方向かつ対話型で行う「学生参加型」の授業を実践する。基本的には、「個人ワーク」、「グループワーク」、「発表・共有」の繰り返しにより授業を展開する。「グループワーク」で課題解決にあたるため、チームワークが重要になる。欠席のないように注意すること。
- ◆**履修条件** 授業初日から出席すること。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：スタートアップ（この授業のねらい、展開、到達点） 事前学修：日本大学のホームページ等で「自主創造」に関する記事を検索し読んで参加する。 事後学修：Learning Guide の指定したページ（箇所）を読み、授業のねらいを理解する。
2 回	授業内容：コミュニケーションの基本要素 事前学修：Learning Guide で「コミュニケーションの重要性」の箇所を読み、メモを作成する。 事後学修：アクティブ・ラーニングを体験してその効果や機能についてまとめる。
3 回	授業内容：大学で学ぶ（学修に必要なこと） 事前学修：Learning Guide で「学修」「単位修得」の箇所を読み、メモを作成する。 事後学修：単位やカリキュラムツリーについて理解したことをまとめる。
4 回	授業内容：大学で学ぶ（通信教育部での学修方法） 事前学修：通信教育部での学び方について不安や不満、あるいはわからないことをノートに書く。 事後学修：学修を進める上での課題について、小レポートを記す（次回提出）。
5 回	授業内容：日本大学の歴史（メディア教材を使った反転授業） 事前学修：事前に指定する動画を視聴して、メモを作成する。 事後学修：日本大学の歴史について「説明文」を書けるよう自身のノートにまとめておく。
6 回	授業内容：日本大学通信教育部の歴史（70 年史） 事前学修：「70 年間」という時代の背景（戦後史）について調べ、メモを作成する。 事後学修：通信教育部のこれまでと、これからについて自身のノートにまとめておく。
7 回	授業内容：学修方法（情報の収集、整理、図書館の利用） 事前学修：事前に、地域や大学の図書館を訪ね、その特徴や利用方法について調べておく。 事後学修：文献や資料の整理・活用について、今後の学びと結びつけるための計画を立てる。
8 回	授業内容：情報の収集、整理、編集の実践 事前学修：web 上における検索サイトを試してみしてから授業に参加する。 事後学修：情報探索の技術をさらに磨くべく、具体的な課題を立ててその検索を実施する。
9 回	授業内容：論理的文章を書く 事前学修：文章の読解、要約、論理的文章の書き方について文献を読んでおく。 事後学修：読解・要約の技能を磨くべく、いくつか課題を設定して実践する。メモを作成する。
10 回	授業内容：レポートの作成 事前学修：互いに評価しあうために「日本大学と通信教育部」に関する小論文を書いて参加する。 事後学修：レポート（論述）を磨くために、自身で課題を設定して小論文を完成させる。
11 回	授業内容：プレゼンテーションの方法 事前学修：発表方法・表現方法で何が大切なのか、自身の考えをまとめておく。 事後学修：表現の方法について、重要と思うことをノートにまとめる。
12 回	授業内容：グループでのプレゼンテーション（練習） 事前学修：「大学での学修の課題」について発表する準備をして参加する。 事後学修：グループで話し合ったことをまとめる。
13 回	授業内容：グループワーク（テーマの決定） 事前学修：グループワークの「課題」として提案すべき事項とその理由をメモして参加する。 事後学修：グループで話し合ったことをまとめる。問題点や新たなアイデアをメモする。
14 回	授業内容：グループワーク（討論・準備） 事前学修：グループ活動に貢献するための資料等を準備する。 事後学修：グループで話し合ったことをまとめる。最終発表のためのシミュレーションをする。
15 回	授業内容：成果の発表、さらなる能力向上をめざして（評価） 事前学修：最終課題のための準備をして参加する。 事後学修：この講義で学んだこと、学修目標が達成されたかについて自己評価を行い、まとめる。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕資料は適宜配布する。
- ◆**参考書** 授業内において紹介する。
- ◆**成績評価基準** 課題設定、問題探究、グループ内における議論、成果のまとめなどを総合的に判断して評価を行う。各回における課題やプロダクト、レポートなどを成績評価の対象とする。（※全回出席を前提とする）

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔法学〕

水野 正

◆**授業概要** 人の社会生活上の問題を解決するための基礎となる基本的な価値観（＝法）を理解し、互いの権利を尊重し、義務を果たすことの重要性を学ぶ。

◆**学修到達目標** ある人々の間に生じた問題は、法律を基に互いの考えを示し、法律を基に相手の考えを理解し、互いが納得することにより解決される。そのような解決ができるよう、法律を正しく理解する為の方法を理解し、法律に基づいた自分の考えを示すことができるようになることを目標とする。また、インターネットに関する法律を知り、自己の権利を守り、相手の権利を侵害しないよう行動できるようにする事を目標とする。

◆**授業方法** いわゆる講義形式で行う。まず、テキストに沿った内容で広義の法律について、正しく解釈する為の規則や手段について説明します。その知識に基づいてコンピュータ、インターネットに関わる諸問題について、どのような問題点があるかを説明し、その解決を現行法でできるのか否かを考えていくことにします。

◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容: ガイダンス 法とは何かを考える。 事前学修: 法学を学ぶことの意味を考え、法という言葉から何を連想するかを確かめておくこと。 事後学修: 論理的思考と説明を理解し、法は社会生活を営む人により作られることを理解する。
2 回	授業内容: 日本の法制度 継受法 固有法 事前学修: 日本の法制度を日本史から考えてみる。 事後学修: 他国との関係から日本の法制度がどのように変化してきたかを理解する。
3 回	授業内容: 法と他の社会規範 1 法と道德の違い 事前学修: 人の生活を律する法以外のものは? テキスト「法と他の社会規範」部分を読むこと。 事後学修: 法と道德の区別ができるように理解すること。
4 回	授業内容: 法と他の社会規範 2 法と宗教、法と慣習（習俗）との違い 事前学修: 法と他の社会規範との違い。テキスト「法と他の社会規範」部分を読んでおくこと。 事後学修: 法と宗教、慣習（習俗）との区別ができるように理解すること。
5 回	授業内容: 法の目的 法と正義 事前学修: 法は何を実現しようとするのか。テキスト「法の目的」部分を読んでおくこと。 事後学修: 法のいうところの正義とはどのようなものかを理解すること。
6 回	授業内容: 法源 1 法源とは何か 成文法と不文法の特徴 成文法 事前学修: 法を知る手がかりとなるものは何であるか。テキスト「法源」部分を読んでおくこと。 事後学修: 現代は成文法が中心的役割を担っていること。成文法の種類と特徴を理解すること。
7 回	授業内容: 法源 2 法源としての不文法 事前学修: 不文法について、テキスト「不文法」部分を読んでおくこと。 事後学修: 裁判所の判決は、不文法であることを理解すること。
8 回	授業内容: 法の分類 普通法（一般法）と特別法、強行法と任意法、公法、私法、社会経済法 等 事前学修: 法の適用には順番があることを確認する。テキスト「法の分類」部分を読んでおくこと。 事後学修: 法の適用には順番があること、どの法（条文）が優先するのかを正しく理解する。
9 回	授業内容: 法の効力範囲 時間的効力範囲、地理的効力範囲、人的効力範囲 事前学修: 日本の法律の効力が及び範囲を考える。テキスト「法の効力範囲」部分を読んでおくこと。 事後学修: 国境のないインターネットの世界では、どこかの国の法律が適用されるのかを考えてみる。
10 回	授業内容: 法の解釈と適用 1 事実認定 推定、擬制 事前学修: 脳死と判定されたドナーの心臓にナイフを刺して心停止にすると何罪になるのか。 事後学修: どの条文が推定の規定か、犠牲の規定が確認しておく。
11 回	授業内容: 法の解釈と適用 2 有権解釈 学理解釈 論理解釈 事前学修: テキスト「法の解釈と適用」部分を読んでおくこと。 事後学修: 解釈のそれぞれの分類の意味を正しく理解すること。
12 回	授業内容: デジタル万引きと犯罪の成否（国土館法学は） 事前学修: 「いわゆるデジタル万引きと犯罪の成否」水野正 国土館法学 45 号を読んでおくこと。 事後学修: 法の解釈と適用について具体的に考え、様々な場合を考える。
13 回	授業内容: 不正アクセス行為とウイルスの作成と供用 事前学修: 「不正指令電磁的記録に関する罪の一考察」水野正 国土館法学 46 号を読んでおくこと。 事後学修: ネット社会を保護するための法律について、その解釈と適用の難しさを理解する。
14 回	授業内容: グーグルストリートビューとプライバシーの保護 事前学修: 「道路周辺映像サービスの問題点」水野正 日本法学 81 巻 2 号を読んでおくこと。 事後学修: 利便性とプライバシーの保護と公開される者の意思との関係を考えてみる。
15 回	授業内容: インターネットと忘れられる権利 事前学修: 「個人情報保護の為の検索結果に対する削除権」水野正 日本法学 82 巻 1 号を読む。 事後学修: 様々なシーンでの個人情報の保護の重要性を考えてみる。

◆**教科書** 教材『法学 B11500』通信教育教材（教材コード 000515）3,400 円（送料込）

◆**参考書** 凡例『インターネット法』松井他編 有斐閣 3,132 円（税込）（送料 300 円）  
小型の六法 但し、定額制でインターネットに接続できる機器（スマホやタブレット PC）を使用できる学生は、それらの機器を持参すれば六法は不要。  
授業計画記載の国土館法学は（<https://kokushikan.repo.nii.ac.jp>）日本法学は（<http://www.law.nihon-u.ac.jp/publication/law.thml>）を参照。

◆**成績評価基準** 論述式の筆記試験で評価する。問題は講義の範囲内から複数問出題し、その中から 1 問選択して回答する形式とする。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語D〕

齊藤 雄介

◆**授業概要** 本科目では、TOEIC の Reading Part を題材として基本的な英文法を学ぶことを目標とします。基本的な英文法を理解することは、英語の技能を全体的に向上させることにつながります。

◆**学修到達目標** 英語の基本的な文法や表現を習得することを目標とする。

◆**授業方法** 可能ならばテキストを事前に購入し、問題の答え及び各英文の意味を自分なりに考えてみてください。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：名詞 英語の名詞には可算名詞と不可算名詞があり、それらの差異について説明し、その区別について学びます。 事前学修：テキストの File 1 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
2 回	授業内容：代名詞 英語の代名詞を扱い、それらが文中の何を受けているのかを見分けることを学びます。 事前学修：テキストの File 2 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
3 回	授業内容：動詞 英語の動詞の時制について学びます。 事前学修：テキストの File 3 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
4 回	授業内容：動詞句 主に動詞を用いた熟語表現について学びます。固定表現を覚えましょう。 事前学修：テキストの File 4 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
5 回	授業内容：助動詞 一語の助動詞だけではなく 2 語以上のもも扱い、それぞれがどのような場合に使用されるのかを学びます。 事前学修：テキストの File 5 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
6 回	授業内容：時制 今回は英語の相について学びます。過去形と完了形の区別を中心に取り上げます。 事前学修：テキストの File 6 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
7 回	授業内容：冠詞 日本人には特に難関であると言われる冠詞について学びます。a と the の区別について考えましょう。 事前学修：テキストの File 7 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
8 回	授業内容：関係詞 英語の関係代名詞を扱い、先行詞と関係代名詞の格について学びます。 事前学修：テキストの File 8 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
9 回	授業内容：不定詞と動名詞 一見同じに見える不定詞と動名詞の用法もありますが、それらには差異があります。今回は不定と動名詞の用法の差異について学んでいきます。 事前学修：テキストの File 9 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
10 回	授業内容：受動態 日本語と同様であるかに見える英語の受動態の特徴について学びます。 事前学修：テキストの File 10 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
11 回	授業内容：分詞 今回は現在分詞と過去分詞の特性について学びます。 事前学修：テキストの File 11 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
12 回	授業内容：分詞構文 現在分詞を用いる分詞構文の様々な用法について学びます。 事前学修：テキストの File 12 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
13 回	授業内容：名詞節 文において主語や補語になることのできる that 節を用いた表現について学びます。 事前学修：テキストの File 13 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
14 回	授業内容：形容詞 同じ意味になる形容詞の使い分けを中心に、英語の形容詞について学んでいきます。 事前学修：テキストの File 14 の部分に解答しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること
15 回	授業内容：学習内容のまとめ及び最終試験 事前学修：File 1 から File 14 までの内容を復習しておくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、該当箇所の解答及び内容を確認し、理解すること

◆**教科書** 丸沼『Basic Reading for the TOEIC test』 SEIBIDO 972 円（税込）（送料 215 円）

◆**参考書** 英和辞典を毎回持参してください。

◆**成績評価基準** 授業参加度（10%）、最終試験（90%）\* 毎回出席していることを前提に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔体育実技 I・II〕

高橋 正則

- ◆**授業概要** 現代の高齢社会において、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の必要性について認識を高める。そして、年齢や体力に応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践を通して、他者とコミュニケーションを図る能力を養う。そのためにも、日頃より 1 日 20 分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、コンディションの維持が大切である。
- ◆**学修到達目標** この授業では、多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや具体的方法を学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識する。また、スポーツを通して、他者とのコミュニケーションを深め、社会的スキルを向上させることができることを習得する。
- ◆**授業方法** 原則、天候に左右されない体育館内での授業とし、いくつかの小グループに分かれ、体力測定をはじめとする様々な運動やネット型スポーツを中心としたスポーツを体験する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンス：集中授業における運動の効果とリスク・施設の使用法・注意事項の説明、グループ分けと準備体操の実施。
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
2 回	授業内容	体力測定の実施と評価：5 種目（閉眼片足立ち、握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び）、具体的な説明の実施。測定後、各測定項目の基準値と比較照合し、自己評価する。
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
3 回	授業内容	卓球：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、サーブ、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
4 回	授業内容	卓球：ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
5 回	授業内容	卓球：ルール理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
6 回	授業内容	バドミントン：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
7 回	授業内容	バドミントン：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
8 回	授業内容	バドミントン：ルール理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
9 回	授業内容	ミニテニス：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
10 回	授業内容	ミニテニス：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
11 回	授業内容	ミニテニス：ルール理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
12 回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
13 回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
14 回	授業内容	ソフトバレーボール：ルール理解、試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
15 回	授業内容	グループ別対抗ソフトバレーボール大会（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディションの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後は、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。

- ◆**教科書** 使用しない。
- ◆**参考書** 丸沼『健康・スポーツ教育論』日本大学文理学部体育学研究室編 八千代出版 1,836 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔民法V〕

矢田 尚子

◆**授業概要** この授業では、民法の中でも、親族・相続（家族法）とよばれる分野を学習する。ここで扱う内容は、身近な法律問題ではありますが、近時、新たな動きが生まれ、検討すべき事柄の多い領域でもある。そこで、この授業では、生殖補助医療、特別養子、遺言、家族信託など新たなトピックにも言及しつつ、家族の今について考えていく。

◆**学習到達目標** この授業では、民法の中でも家族法と呼ばれる分野の基礎的・体系的な理解を身に付けてもらうことを目的とし、家族法の基礎的概念を正確に修得することを目標とする。特に、先ごろ大改正された相続法領域については、その改正内容およびその趣旨などについても修得することを目指す。

◆**授業方法** レジュメを配布し、講義形式で進めていく。

◆**履修条件** 授業には必ず出席し、最新の六法を持参すること。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：授業の進め方、オリエンテーション、家族法とは何か？ 事前学修：テキストを購入し、目次に目を通しておくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
2 回	授業内容：夫婦関係（1）婚姻の成立、婚姻の一般的効果、財産的効果 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
3 回	授業内容：夫婦関係（2）離婚の成立、効果 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
4 回	授業内容：婚外関係（内縁・事実婚）、無戸籍児問題 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
5 回	授業内容：親子関係（1）実親子関係 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
6 回	授業内容：親子関係（2）非嫡出子、準正 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
7 回	授業内容：親子関係（3）養親子関係 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
8 回	授業内容：親子関係（4）生殖補助医療、児童虐待 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所を読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
9 回	授業内容：後見、扶養 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
10 回	授業内容：相続法総論（意義・開始原因と場所・指定相続人の地位・祭祀承継） 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
11 回	授業内容：相続人と相続分（意義・相続人の種類と順位・欠格・廃除・特別受益） 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
12 回	授業内容：配偶者居住権、寄与分、相続の効果 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
13 回	授業内容：遺産分割、相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をレジュメで整理し、テキストの該当部分を読み、授業内容を確認しておくこと
14 回	授業内容：遺言、遺留分、その他 事前学修：前回のレジュメを確認し、テキストの該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修：授業内で指摘した要点箇所につき、テキスト等を用いて再確認し、試験の準備をしておくこと
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：レジュメ及び教科書の該当箇所を復習しておくこと 事後学修：授業内で十分に扱えなかったテキスト該当箇所を読んでおくこと

◆**教科書** 教材『民法V K30400』通信教育教材（教材コード 00059）2,750 円（送料込）

〔当日資料配布〕

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** テスト（100%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学講義Ⅵ（現代）〕

竹田 志保

◆**授業概要** 「通俗小説」とは、狭義には大正から昭和にかけて勃興した、大衆向けの現代小説を指す。これらは文壇の力学のなかで周縁化されて、芸術的に劣ったもの、精緻な読解には耐えないものとみなされてきたが、本講義では、「通俗小説」を、社会的言説と物語との拮抗する場として読み解いていくことを試みる。〈メロドラマ〉論を参照しつつ、小説の読解を通じて、その時代のイデオロギーと、人々の欲望のあり方を考察する。

◆**学修到達目標** ・小説テキストの読解・分析の方法を学び、自ら考察できるようになる。  
・小説の物語内容と、歴史的・社会的背景とを関連づけて考察し、それぞれについての理解を深める。

◆**授業方法** 基本的にプリントを用いて講義を進める。なお、授業では適宜映画などの視覚資料も参照する。各日でコメントシートなどの提出を求める。最終日には授業の内容理解を確認する小論文の提出を求める。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容 授業の進め方・オリエンテーション・「通俗小説」について まずは、本授業の進め方を説明する。次に、「通俗小説」の歴史について概観する	事前学修 対象テキストを確認しておくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、「通俗小説」について理解すること
2 回	授業内容 〈メロドラマ〉という視座について 「通俗小説」を読むアプローチとして、〈メロドラマ〉の概念を参照する	事前学修 対象テキストを確認しておくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、〈メロドラマ〉の概念について理解すること
3 回	授業内容 徳富蘆花「不如帰」解説① メロドラマの枠組み 「不如帰」を用いて、メロドラマの構図を確認する	事前学修 徳富蘆花「不如帰」を読んでおくこと（文庫他、青空文庫でも読むことができる）	事後学修 当日配付資料を読んで、「不如帰」の基本的構図を理解すること
4 回	授業内容 徳富蘆花「不如帰」解説② 男同士の物語として読む 男女の悲恋を描いたメロドラマである「不如帰」を別の角度から読む	事前学修 徳富蘆花「不如帰」を読んでおくこと（文庫他、青空文庫でも読むことができる）	事後学修 当日配付資料を読んで、「不如帰」の読解を確認すること
5 回	授業内容 尾崎紅葉「金色夜叉」解説① テキストの展開 後年定着したイメージと、原作テキストとの相違について確認する	事前学修 尾崎紅葉「金色夜叉」を読んでおくこと（文庫他、青空文庫でも読むことができる）	事後学修 当日配付資料を読んで、「金色夜叉」の展開について理解すること
6 回	授業内容 尾崎紅葉「金色夜叉」解説② 宮の造形について メロドラマ的なヒロインの枠に収まりにくい宮の欲望のあり方について考察する	事前学修 尾崎紅葉「金色夜叉」を読んでおくこと（文庫他、青空文庫でも読むことができる）	事後学修 当日配付資料を読んで、宮という女性像について理解すること
7 回	授業内容 菊池寛「真珠夫人」解説① 瑠璃子の造形について 瑠璃子という特殊なキャラクター造形について、特に語りの視点を意識しながら考察する	事前学修 菊池寛「真珠夫人」を読んでおくこと（文庫他、青空文庫でも読むことができる）	事後学修 当日配付資料を読んで、瑠璃子という女性像について理解すること
8 回	授業内容 菊池寛「真珠夫人」解説② 美奈子の存在について 娘・美奈子が「真珠夫人」後半の語りの視点人物となることの意味を考察する	事前学修 菊池寛「真珠夫人」を読んでおくこと（文庫他、青空文庫でも読むことができる）	事後学修 当日配付資料を読んで、瑠璃子と美奈子という二人の女性の配置について理解すること
9 回	授業内容 吉屋信子「良人の貞操」解説① 社会現象的なブームについて 大ヒットした「良人の貞操」の受容の背景にどのような文脈があるのかを考察する	事前学修 事前に配布したテキストを読んでおくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、「良人の貞操」の基本的な内容を理解すること
10 回	授業内容 吉屋信子「良人の貞操」解説② 当時の良妻賢母規範について 主人公・邦子の判断について、そこにどのような社会的背景があるのかを考察する	事前学修 事前に配布したテキストを読んでおくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、「良人の貞操」の物語と当時の社会的言説との関係を理解する
11 回	授業内容 石坂洋次郎原作映画「青い山脈」前編を見る	事前学修 石坂洋次郎「青い山脈」を読んでおくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、「青い山脈」の基本的な内容を理解すること
12 回	授業内容 石坂洋次郎原作映画「青い山脈」後編を見る	事前学修 石坂洋次郎「青い山脈」を読んでおくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、映画版「青い山脈」と、原作の違いを確認しておくこと
13 回	授業内容 石坂洋次郎「青い山脈」解説① 民主主義の描き方について 「戦後民主主義の教科書」として記憶される「青い山脈」で、民主主義がどのように描かれているのか、その「新しさ」とはどのようなものだったのかを確認する	事前学修 石坂洋次郎「青い山脈」を読んでおくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、「青い山脈」の基本的内容を確認しておくこと
14 回	授業内容 石坂洋次郎「青い山脈」解説② 新しい時代の女性像について 新子や島崎先生などの女性表象の問題点について考察する	事前学修 石坂洋次郎「青い山脈」を読んでおくこと	事後学修 当日配付資料を読んで、「青い山脈」との女性表象と時代の関係を理解すること
15 回	授業内容 小論文	事前学修 これまでの授業内容を確認しておくこと	事後学修 授業内容を振り返って、自分の考えを整理すること

◆**教科書** 丸沼『不如帰』徳富蘆花 岩波文庫他 799 円（税込）（送料 215 円）  
丸沼『金色夜叉』尾崎紅葉 新潮文庫他 810 円（税込）（送料 215 円）  
丸沼『真珠夫人』菊池寛 文春文庫他 874 円（税込）（送料 215 円）  
『青い山脈』石坂洋次郎 新潮文庫他  
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください〉  
〔当日資料配布〕『良人の貞操』吉屋信子 部分

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（コメントシートなど）：50%、小論文：50%

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英文法A〕

真野 一雄

◆**授業概要** 準動詞 形容詞 名詞句と文構造の多様性 代用表現 関係詞 特殊構文 について、テキストの解説、練習問題を通して英文構造を深く理解する。

◆**学修到達目標** 英文学専攻の学生として必要な英文法知識を基礎的及び全般的に修得し、正確な英語の文法解釈ができるようにする。

◆**授業方法** テキスト本文の解説、補足説明を行います。設問、練習問題も行います。必要に応じて別途、練習問題を行うこともあります。章末の応用問題は時間の関係で割愛します(解答はポータルに掲載します)。

### ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 第 7 章 準動詞 7.1-3 準動詞の定義・形態・用法 事前学修: テキスト p.105-p.111 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
2 回	授業内容: 第 7 章 準動詞 7.4 準動詞の意味上の主語 7.5 準動詞の表す「時」 事前学修: テキスト p.111-p.117 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
3 回	授業内容: 第 7 章 準動詞 7.6 準動詞の形容詞的用法 7.7 不定詞と動名詞の意味の相違 事前学修: テキスト p.117-p.122 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
4 回	授業内容: 第 8 章 形容詞 8.1 形容詞の定義 8.2-3 形容詞の意味的特性 事前学修: テキスト p.124-p.132 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
5 回	授業内容: 第 8 章 形容詞 8.4 形容詞を含む複雑な構造 8.5 比較構文 事前学修: テキスト p.132-p.137 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
6 回	授業内容: 第 8 章 形容詞 8.6 形容詞に相当する表現 8.7 「形容詞」の全体像 事前学修: テキスト p.137-p.138 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
7 回	授業内容: 第 9 章 名詞句と文構造の多様性 9.1 名詞句の主要部 9.2 同格 9.3 文名詞句 事前学修: テキスト p.140-p.144 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
8 回	授業内容: 第 9 章 名詞句と文構造の多様性 9.4 間接疑問と潜在疑問 9.5 話法 9.6 句読法 事前学修: テキスト p.145-p.150 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
9 回	授業内容: 第 10 章 代用表現 10.1 代名詞 10.2 代用形 事前学修: テキスト p.151-p.160 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
10 回	授業内容: 第 10 章 代用表現 10.3 省略 事前学修: テキスト p.160-p.162 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
11 回	授業内容: 第 11 章 関係詞 11.1-5 関係詞の機能と種類 など 事前学修: テキスト p.164-p.172 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
12 回	授業内容: 第 11 章 関係詞 11.6-10 独立関係節 など 事前学修: テキスト p.172-p.179 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
13 回	授業内容: 第 12 章 特殊構文 12.1 特殊構文とは 12.2 文法的な仕組みとしての特殊構文 事前学修: テキスト p.181-p.189 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
14 回	授業内容: 第 12 章 特殊構文 12.3 音声的な仕組み 12.4 特殊構文の存在理由 事前学修: テキスト p.189-p.190 の問題点を整理し、練習問題の解答を用意しておく 事後学修: 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
15 回	授業内容: 試験とその解説 事前学修: 第 7～12 章の総復習をし、重要事項を正確に理解しておく 事後学修: 第 7～12 章の総まとめをし、英文構造の理解を徹底させる

◆**教科書** 丸沼『大学生のための現代英文法』開拓社 2,376 円(税込)(送料 300 円)

◆**参考書** 丸沼『現代英文法講義』安藤貞雄 開拓社 7,128 円(税込)(送料 500 円)

丸沼『英文法解説』江川泰一郎 金子書房 1,836 円(税込)(送料 500 円)

丸沼『ジーニアス総合英語』大修館書店 1,620 円(税込)(送料 350 円)

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験 100%で評価の予定。(試験は途中退出なしです)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英米事情 I〕

石川 勝

- ◆**授業概要** アメリカの経済、金融の知識を得たうえで、それが歴史と文化にどのような影響を及ぼしたかを学ぶ。特に中央銀行設立をめぐる英米の攻防が中心となる。
- ◆**学修到達目標** アメリカが経済的にどのように形成されていったかを理解し、それが文化（特に文学）にどのような影響を及ぼしたかを理解できるようになることを目的とする。
- ◆**授業方法** 講義形式で授業を行う。しっかりとノートを取り、積極的に質問してほしい。スクーリングの前に英米の文学作品を一つ（翻訳でよい）を読んでおくこと。最終日に講義内容と自分が読んだ作品を結びつけて論じてもらう。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 資本主義の成立 事前学修: 英米の文学作品を読んでおく。 事後学修: ノートの整理
2回	授業内容: 独立戦争の背景 事前学修: 独立戦争に関する基本的な知識は得ておく。 事後学修: ノートの整理
3回	授業内容: フランス革命の背景 事前学修: フランス革命に関する基本的な知識を得ておく。 事後学修: ノートの整理
4回	授業内容: 英米戦争の意味 事前学修: 英米戦争におけるアメリカの立場を理解しておくことが望ましい。 事後学修: ノートの整理、講義内容と文学作品との関係を考察する。
5回	授業内容: 合衆国銀行の設立をめぐるって 事前学修: 文学作品を読んでいない学生は読んでおく。 事後学修: ノートの整理
6回	授業内容: アメリカンルネサンス 事前学修: この時代の文学作品を読んでおくことが望ましい。 事後学修: 文学作品とこれまでの講義内容とのかかわりについて考察する。
7回	授業内容: 南北戦争の背景 事前学修: 南北戦争の概要は知っておく。 事後学修: ノートの整理
8回	授業内容: ゴールドラッシュの影響 事前学修: ゴールドラッシュの概要は知っておく。 事後学修: ノートの整理
9回	授業内容: 金本位制の意味 事前学修: これまでの講義の内容を復習しておく。 事後学修: ノートの整理
10回	授業内容: リアリズム 事前学修: Henry James について調べておく。 事後学修: この時代の文学と講義内容とのかかわりについて考察する。
11回	授業内容: 独占禁止法成立の意味 事前学修: これまでの授業の復習 事後学修: ノートの整理
12回	授業内容: 第一次大戦 事前学修: 大雑把でもいいので第一次大戦について調べておく。 事後学修: ノートの整理
13回	授業内容: ロストジェネレーション 事前学修: この時代の作品を読んでおくのが望ましい。 事後学修: 時代背景と作品との関係について考察する。
14回	授業内容: 第二次大戦 事前学修: 第二次大戦の概要を把握しておく。 事後学修: ノートの整理
15回	授業内容: 冷戦について 事前学修: 試験の準備 事後学修: 講義全体の復習

- ◆**教科書** 使用しない
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 皆出席を前提とし最終日に行う試験で評価をつける。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英米文学演習 B〕 オープン受講：不可

野口 肇

- ◆**授業概要** 単に英文を読んで日本語にするだけではなく、感性や想像力、人生経験などを働かせながら行間を読み、小説の楽しさ、面白さを味わってもらえたらと思います。
- ◆**学修到達目標** アメリカ南部作家のフラナリー・オコナーの“A Goodman Is Hard to Find”を読みますが、作品を通して英語の読み方を学ぶと同時に、合わせて南部の歴史や宗教、風土などについて学んで、異質な世界があることを知って欲しいと思います。
- ◆**授業方法** 予習を前提として、授業を進めていきます。受講生の数にもよりますが、テキストを音読して訳してもらった場合があります。
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：フラナリー・オコナーについて 事前学修：アメリカ文学について、予め調べておくこと 事後学修：フラナリー・オコナーについて思ったことをまとめておくこと
2 回	授業内容：アメリカ南部について（1） 作品講読 事前学修：アメリカ南部について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 アメリカ南部の特殊性について、予め調べておくこと
3 回	授業内容：アメリカ南部について（2） 作品講読 事前学修：アメリカ南部の文学について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 アメリカ南部について、考えをまとめておくこと
4 回	授業内容：フラナリー・オコナーが伝える聖書のイメージ（1） 作品講読 事前学修：アメリカ南部の宗教風土について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 アメリカ南部の宗教風土について、考えをまとめておくこと
5 回	授業内容：オコナーが伝える聖書のイメージ（2） 作品講読 事前学修：聖書について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 聖書について、考えをまとめておくこと
6 回	授業内容：アメリカ南部の宗教風土について（1） 作品講読 事前学修：アメリカ南部の宗教について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 アメリカ南部の宗教について、考えておくこと
7 回	授業内容：作品に見られる音楽について 作品講読 事前学修：オコナーと音楽について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 作品と音楽との関係について、考えをまとめておくこと
8 回	授業内容：作品に見られる南部の貴族社会について 作品講読 事前学修：南部社会の貴族性について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 南部の貴族社会について、考えをまとめておくこと
9 回	授業内容：作品に見られる人種差別（1） 作品講読 事前学修：南部の人種差別について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 南部の人種差別について、考えをまとめておくこと
10 回	授業内容：作品に見られる人種差別（2） 作品講読 事前学修：人種差別の具体例について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 新聞等から、人種差別の具体例を調べておくこと
11 回	授業内容：作品にみられる南部英語（1） 作品講読 事前学修：南部英語について、予め調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 南部英語の例を、フラナリー・オコナーの他の作品から探してみる
12 回	授業内容：作品に見られる南部英語（2） 作品講読 事前学修：南部英語の源流の源流について、予め調べておくこと 作品講読 事後学修：講読部分の復習 他の南部作家から、南部英語を探してみる
13 回	授業内容：南部文学とフラナリー・オコナー 作品講読 事前学修：南部文学について、調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 南部文芸復興について、まとめておくこと
14 回	授業内容：南部文芸復興について 作品講読 事前学修：南部文芸復興の作家について、調べておくこと 事後学修：講読部分の復習 南部文芸復興の作家の作品の一つ読んでおくこと
15 回	授業内容：まとめ・筆記試験 事前学修：14 回までの内容を復習しておく。 事後学修：試験についての解説をもとに足りない部分を復習する。

- ◆**教科書** 丸沼『Contemporary American Southern Writers（現代アメリカ南部作家選）』中島時哉・小倉太一・田中保他編注 南雲堂 1,944 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**参考書** 丸沼『フラナリー・オコナーの南部』文化書房博文社 3,456 円（税込）（送料 350 円）  
丸沼『アメリカ南部の宗教風土』文化書房博文社 4,536 円（税込）（送料 300 円）  
丸沼『見えるものから見えざるものへ——フラナリー・オコナーの小説世界』文化書房博文社 3,456 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 筆記試験の成績（70%）、予習及び授業への取り組み（30%）などにより、総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔倫理学概論〕

江川 晃

◆**授業概要** まず、古代ギリシアから現代に至る倫理学の基本的思想を学ぶ。さらに、現代の倫理的問題へと応用・発展させて、現代において何が問題であるのか、また、それはどこから生じているのか、そして、国連のいう SDGs（持続可能な開発目標）との関連について、深く、議論しながら皆さんと考察していく。

◆**学修到達目標** 科学・技術と人間社会との間に生じた摩擦が、新たな倫理的問題を惹き起こしている。そこで、現代の応用倫理である環境倫理、生命倫理と優性思想、脳神経倫理における意識の問題等について具体的に考察・議論することで、「技術と社会の間に生じてきた倫理的問題」を深く洞察する批判的能力を養うことができる。

◆**授業方法** 毎回、皆さんの質問・感想・意見等を書いていただきます。次の授業で、それについてコメントし、討論をしましょう。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容 ガイダンス 1 倫理学とは何か	事前学修 シラバスと教科書の該当箇所をよく読んでおくこと。	事後学修 配布プリントの倫理学の意味について復習すること。
2 回	授業内容 2 倫理学の基本思想 (1) 古代ギリシア倫理学 ①ソクラテスの徳の定義	事前学修 配布プリントのソクラテスをよく読んでおくこと。	事後学修 ソクラテスの徳の定義について復習しておくこと。
3 回	授業内容 ②プラトンの正義論	事前学修 配布プリントのプラトンの正義論をよく読んでおくこと。	事後学修 国家と個人における正義について説明できるようにしておくこと。
4 回	授業内容 ③アリストテレスの倫理的徳	事前学修 配布プリントのアリストテレスの倫理的徳をよく読んでおくこと。	事後学修 倫理的徳と中庸との関係を理解しておくこと。
5 回	授業内容 (2) 近世倫理学 ①ベンサム功利主義	事前学修 「功利主義のトロッコ問題」について考えておこう。	事後学修 功利主義の問題点を理解しておこう。
6 回	授業内容 ②カントの義務倫理	事前学修 配布プリントの動機と善なる行為をよく理解しておくこと。	事後学修 配布プリントの具体的問題を復習すること。
7 回	授業内容 (3) 現代倫理学 ロールズとノージック	事前学修 配布プリントの該当箇所をよく読んでおくこと。	事後学修 リバタリアニズムのどこが問題か説明できるようにしておくこと。
8 回	授業内容 3 環境倫理 (1) シネマ「不都合なる真実」から学ぶ	事前学修 地球温暖化について調べておこう。	事後学修 この映画の重要点をもう一度思い出してみよう。
9 回	授業内容 (2) 環境破壊の思想的背景	事前学修 配布プリントの該当箇所をよく読んでおくこと。	事後学修 ベーコンとデカルトの環境に対する思想をまとめること。
10 回	授業内容 (3) 世代間倫理と自然の権利	事前学修 配布プリントの該当箇所をよく読んでおくこと。	事後学修 自然の権利訴訟を復習すること。
11 回	授業内容 4 生命倫理 (1) 生命倫理と優性思想	事前学修 ヒトゲノム、AID、代理母について読んでおこう。	事後学修 どのように優性思想が関係するのかまとめておこう。
12 回	授業内容 (2) 脳死・臓器移植 (3) 安楽死と緩和医療	事前学修 教科書の該当箇所をよく読んでおくこと。	事後学修 配布プリントの該当箇所をよく復習しておくこと。
13 回	授業内容 (4) 脳神経倫理学 ①意識の終焉はありうるのか（認知症の倫理学）	事前学修 教科書と配布プリントの該当箇所をよく読んでおくこと。	事後学修 重度の認知症は意識の終焉といえるのか考えてみよう。
14 回	授業内容 ②自由意志は存在するのか	事前学修 行動の前に脳過程が勝手に生じるとは、どういうことか考えておこう。	事後学修 配布プリントの該当箇所をよく復習しておくこと。
15 回	授業内容 試験と解説	事前学修 今までの重要箇所をまとめておくこと。	事後学修 試験に出た箇所について復習しよう。

◆**教科書** 丸沼『生命倫理について考える』江川晃・嘉吉純夫・葭田光三著 文真堂 1,782 円（税込）（送料 300 円）  
 〔当日資料配布〕その他に、パワポプリントを配布します。

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験（50%）、授業状況（50%）

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史入門〕

小川 雄

◆**授業概要** 日本史の流れを通観する「日本史入門」に対して、日本史を学修・研究するために必要な知識・技能を修得することを目指します。

◆**学修到達目標** 1 日本史の学修と研究について、自己の関心に沿い、情報を収集・分析できるようになる。  
2 日本史について、実証的な論証をおこなうために、史料・研究を精査できるようになる。

◆**授業方法** 講義形式を基本として、日本史研究の方法論を解説して、各自のイメージを形成してもらいます。プリント配布と板書を中心に授業を進めていきますが、区切りごとに質問も受け付けます。場合によっては、受動的に聴講するだけでなく、実習もおこないます。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス 事前学修：日本史に関する概説書を任意に講読して、自分なりのイメージをつくる。 事後学修：配布資料・板書の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
2 回	授業内容：日本史の時代区分 事前学修：ガイダンスの配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
3 回	授業内容：日本史の研究分野 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
4 回	授業内容：論文と書籍 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
5 回	授業内容：専門書と一般書 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
6 回	授業内容：先行研究の調べ方 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
7 回	授業内容：辞書の使用 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
8 回	授業内容：日本史研究におけるインターネットの活用 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
9 回	授業内容：日本史の史料（1）同時代史料 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
10 回	授業内容：日本史の史料（2）編纂史料 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
11 回	授業内容：日本史の史料（3）外国語史料 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
12 回	授業内容：史料に向き合う（1）史料の分析 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
13 回	授業内容：史料に向き合う（2）史料の引用 事前学修：前回の授業のプリント・ノートを確認しつつ、配布資料をよく読んでおく。 事後学修：授業の内容をノートに整理して、自己の方法論をイメージする。
14 回	授業内容：知識の整理 事前学修：一連の授業のプリント・ノートを熟読する。 事後学修：日本史研究のあり方について、これまでの授業の内容をノートに整理する。
15 回	授業内容：試験と解説 事前学修：これまでの授業内で説明した日本史研究のあり方を自分なりに整理する。 事後学修：授業内容を振り返り、自分が考える日本史研究の方法論が適切かどうかを再確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕プリントを配布します。

◆**参考書** 『日本の歴史』全 26 巻 講談社〈学術文庫としても刊行〉  
※全冊ではなく、自分が興味のある時代・テーマから、1・2冊ご講読ください。また、購入義務はありませんので、図書館等を利用していただいても大丈夫です。

◆**成績評価基準** 授業内テスト（80%）、授業参画度（20%）  
※全授業に出席した学生にのみ、最終試験の受験資格を認める。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済史総論〕

飯島 正義

- ◆**授業概要** 近代資本主義に先立つ封建社会の構造や特徴、封建制から資本制への移行期の西ヨーロッパ経済について学びます。
- ◆**学修到達目標** 1. 封建社会の構造や特徴について説明することができるようになる。  
2. 封建制の崩壊過程と絶対王政の成立について説明することができるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に進めていくが、各内容の切れ目の時点で内容のポイントを提示するとともに、確認プリントを実施しその提出を求める。
- ◆**履修条件** 平成 30 年度昼間スクーリング (前期)「経済史総論」との積み重ね不可
- ◆**授業計画** (各 90 分)

1回	授業内容: 経済史で何を学ぶのか。 事前学修: シラバスで全体の授業内容を確認しておく。 事後学修: 配布プリントの見直しと教材・参考図書等でさらに授業内容の理解を深める。
2回	授業内容: 古ゲルマン社会 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: ゲルマン民族の大移動前のゲルマン社会の状況をまとめておく。
3回	授業内容: 西欧の封建制社会の成立 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 西欧の封建制社会の成立についてまとめておく。
4回	授業内容: 荘園制 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 中世ヨーロッパの領主と農民、村落共同体についてまとめておく。
5回	授業内容: 中世ヨーロッパの商業 (1) 地中海商業 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 中世の地中海商業についてまとめておく。
6回	授業内容: 中世ヨーロッパの商業 (2) バルト海商業 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 中世のバルト海商業とヨーロッパの商業全体についてまとめておく。
7回	授業内容: 西欧における中世都市の成立 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 中世都市の成立事情についてまとめておく。
8回	授業内容: 中世都市とギルド 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 中世都市の構造についてまとめておく。
9回	授業内容: 封建社会の動揺 (1) 人口減少と領主制の危機 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 14 世紀における「封建的危機」についてまとめておく。
10回	授業内容: 封建社会の動揺 (2) 領主・農民関係の変化 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 「封建的危機」の中で領主・農民関係がどのように変化したのかをまとめておく。
11回	授業内容: 封建社会の動揺 (3) 農村工業の発展 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 封建社会における農村工業の状況と発展についてまとめておく。
12回	授業内容: 大航海時代の幕開け (1) 大西洋貿易 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 大西洋貿易が西ヨーロッパ経済にどのような影響を及ぼしたのかをまとめておく。
13回	授業内容: 大航海時代の幕開け (1) 東インド貿易 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 東インド貿易が西ヨーロッパ経済にどのような影響を及ぼしたのかをまとめておく。
14回	授業内容: 封建社会の崩壊と絶対王政 事前学修: 配布プリントを中心に、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修: 封建社会の崩壊過程と絶対王政の成立についてまとめておく。
15回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: これまでの各内容のポイントをまとめた文章を再確認しておく。 事後学修: 設題に対して、重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうかを確認する。

- ◆**教科書** [当日資料配布] 授業時にプリント資料を配布します。
- ◆**参考書** [教材]『経済史総論 R20300』 通信教育教材 (教材コード 000161) 3,300 円 (送料込)  
[丸沼]『エレメンタル欧米経済史』 馬場哲他著 晃洋書房 2012 年 3,024 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**成績評価基準** 確認プリントの提出 (40%)、試験 (60%)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済学史 / 経済学説史〕

塚本 隆夫

◆**授業概要** 「経済学」は、一見すると時間や場所を超越した普遍性があるよう思われる。しかし経済学には、それが構築された時代や地域から有形・無形の制約を被っている。経済学に様々な「学派」が存在するのは、このためである。本講では、経済学が構築された 17 世紀から 19 世紀前半までのイギリスとフランスを中心に、経済学と時代との関係を解き明かす。経済学者たちがどのように時代の問題に取り組み、経済学を構築していったのかを考察する。

◆**学修到達目標** 経済学とは、経済学者たちが自分の時代の「経済問題」に取り組み、その知的格闘の成果として結実したものであることを、受講者が理解できるようにする。換言すれば、経済学と時代との関係を説明できることを目標とする。これを通して、経済学の「科学性」とはどのような意味なのか、を受講生が考察できることを目指す。

◆**授業方法** 授業の進行に応じ、受講生との討議を行う。この討議を通じて、受講生自身の考察を促し、講義内容の理解を深める。講義資料を配布する。毎回、「課題」等を課す。なお受講生の理解度に応じて、授業の進行を調整する。

◆**履修条件** 平成 30 年度夜間スクーリング（秋期）「経済学史 / 経済学説史」との積み重ねは不可。ミクロ・マクロ経済理論の基礎を学習していること。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容：経済学が成立するための条件とは：市場経済体制の形成とその特質 事前学修：テキストを読了しておく。テキスト 288～295 ページの国民所得決定論を予習。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
2 回	授業内容：重商主義が成立する条件とは：貨幣の機能と 17～18 世紀のイギリスの時代背景 事前学修：テキスト 1～42 ページを再読しておく。貨幣の役割を予習しておくこと。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
3 回	授業内容：重商主義の貿易理論：3つの「貿易差額説」 事前学修：テキスト 43～65 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
4 回	授業内容：重商主義の貿易差額説への批判と反批判 事前学修：参考文献等で「重商主義」を研究しておくこと。「貨幣数量説」を調べておくこと。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
5 回	授業内容：フランス重商主義：コルベール政策の功罪 事前学修：テキスト 66～71 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
6 回	授業内容：フランス啓蒙思想のインパクト：自然法と自然秩序の思想 事前学修：テキスト 71～74 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
7 回	授業内容：フランス重農主義：ケネーの「経済表」を読み解く 事前学修：テキスト 75～84 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
8 回	授業内容：アダム・スミスの時代背景：18 世紀のイギリスの社会経済問題とは 事前学修：テキスト 86～89 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
9 回	授業内容：スミスの富とは：分業論と交換論 事前学修：テキスト 89～93 ページを再読。参考書で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
10 回	授業内容：スミスの労働価値説と価格論 事前学修：テキスト 93～98 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
11 回	授業内容：スミスの経済成長論 事前学修：テキスト 98～106 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
12 回	授業内容：マルサスの「人口原理」 事前学修：テキスト 106～115 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
13 回	授業内容：マルサスとリカードの「穀物法論争」 事前学修：テキスト 115～121 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
14 回	授業内容：リカードの「差額地代」と経済成長論 事前学修：テキスト 121～133 ページを再読。参考文献等で関連事項を研究する。 事後学修：配布された講義資料とノートを整理し、「課題」に答える。
15 回	授業内容：最終試験を実施し、受講生の授業理解度を把握する。 事前学修：これまでの授業内容を整理し、不明な点を授業時質問できるようにしておくこと。 事後学修：全授業内容を整理・確認し、経済学と時代との関係を理解できるようにする。

◆**教科書** 教材 『経済学史 R30100/ 経済学説史 L31300』 通信教育教材（教材コード 000160）2,500 円（税込）  
 （当日資料配布）授業時に講義資料・課題を配布します。

◆**参考書** 丸沼『コア・テキスト 経済学史』 井上義朗著 新世社 2,862 円（税込）（送料 350 円）  
 丸沼『これならわかるよ！ 経済思想史』 坪井賢一著 ダイアモンド社、Kindle 版あり 1,728 円（税込）（送料 300 円）  
 丸沼『経済学のすずめ』 佐和孝光著 岩波新書 842 円（税込）（送料 215 円）

◆**成績評価基準** 授業時の小テスト・課題および最終試験を総合的に判断し、成績を評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

### 〔会計学A〕 オープン受講：不可

壹岐 芳弘

◆**授業概要** 簿記・会計の基礎概念および基本的手続き、企業会計制度、損益計算書・貸借対照表のしくみ、会計の国際化などについて学習する。

◆**学修到達目標** 企業会計の基礎を学び、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を読み解くことができるようになる。

◆**授業方法** 教科書と配布資料をもとにして講義を行う。簿記については、演習も行う。

#### ◆**授業計画（各 90 分）**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	会計の歴史を概説し、現代社会における会計の体系と役割について説明する。 教科書第1章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	簿記・会計の基礎概念と貸借対照表と損益計算書について説明する。 教科書第2章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	複式簿記の基本的手続き（貸借記入原則、仕訳、転記、試算表と貸借平均の原理）について説明する。仕訳と転記、試算表の作成についての演習も行う。 教科書第3章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	決算の意義と手順、決算整理、帳簿決算、財務諸表の作成について説明する。 教科書第4章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	決算整理手続きの1つに減価償却があるが、近年の税制改正に伴う減価償却方法の変更について補足説明する。 配布資料の該当部分をよく読んでおくこと。 配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	企業会計を理解するためには、株式会社についての理解が必要である。企業の諸形態、株式会社の基本的特質、株式の種類、株式と社債の違いなどについて説明する。 教科書第5章（57～64頁）をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	株式会社の分類、株式会社の機関などについて説明する。 教科書第5章（64～73頁）をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	日本の企業会計のトライアングル体制について確認し、会社法に基づく会計について説明する。 教科書第6章（75～81頁）をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	金融商品取引法に基づく会計、および、税法の基づく会計について説明し、トライアングル体制について改めて考察する。 教科書第6章（82～90頁）をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	損益計算書のしくみ（収益・費用の分類と計算区分）と主要論点について説明する。 教科書第7章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	損益計算書の主要論点として、収益の認識基準について補足説明する。 配布資料の該当部分をよく読んでおくこと。 配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	貸借対照表のしくみ（貸借対照表項目の区分と配列、資産・負債・純資産の各部）と主要論点について説明する。 教科書第8章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	貸借対照表の主要論点として資産をいかに評価するかという問題がある。有価証券の評価について補足説明して、この問題を考察する。 配布資料の該当部分をよく読んでおくこと。 配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	財務諸表を利用した収益性の分析と安全性の分析について説明する。 教科書第9章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	近年の企業会計は国際化している。その動向について説明する。 教科書第10章をよく読んでおくこと。 教科書と配布資料の該当部分をよく読み、授業内容を確認し理解に努めること。

◆**教科書** 丸沼『はじめての会計学 [第6版]』 日本大学会計学研究室編 森山書店 2,592円（税込）（送料 350円）  
事前資料送付 事前資料送付

◆**参考書** 特に指定しない

◆**成績評価基準** 最終試験と授業への取組みにより総合的に評する。

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国語科教育法Ⅰ（新法）〕

野澤 拓夫

- ◆**授業概要** 「学習指導要領」の趣旨や構造について学ぶことを通じて、国語科教育の意義と内容を理解する。また、カリキュラム・マネジメントについても理解する。それらの理論をふまえ、どのようにしたらそれを具現化できるか、具体的な教材に即して検討する。具体的事例としては高校 1 年生を対象とした「国語総合」を教材にして、現代文・古文・漢文の模擬授業を演習形式で行い、その適否について質疑と討論を重ねて考察・評価できるようにする。
- ◆**学修到達目標** 「学習指導要領」が求める新しい時代における国語科教育の在り方について、具体的事例を基に考察・討論することで、その理解を自分のものにすることができる。グループによる模擬授業によって疑似トレーニングを積むことで、教育現場で用いられているさまざまな指導法について知ることができる。また、教育実習を想定した具体的な取り組みについても取り上げるので、教育実習に臨む準備ができる。
- ◆**授業方法** 初日の理論を基に 2 日目からグループごとに効果的な授業方法を検討・選択して模擬授業を実施する。その具体的な展開例から全体で討論を重ね、指導法の適否についての考察・評価を行う。ディベート・学習ゲームなどの教育実践例（DVD）を紹介し、これらについても検討を行う。模擬授業・教育実践例に対して、個人に評価シートの提出を求める。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンスとして授業の進め方を説明する。グループを編成し、本シラバスに提示した現代文・古文・漢文の 3 分野 9 教材を用いた模擬授業の分担（グループ・発表者）を決める。よい模擬授業の実現に向けて、「授業評価」の観点を参照しつつ、その条件について討議する。
	事前学修	本シラバスに提示した現代文・古文・漢文の 3 分野 9 教材を読んでおくこと。また「よい授業」の条件について考えておくこと。「評価」の意味について考えておくこと。
	事後学修	討議内容を整理するとともに、授業内容と配布資料とを確認し、理解を深めておくこと。
2 回	授業内容	「国語科教育法Ⅰ」のテキストにより、国語科教育の意義と内容について解説する。また、「学習指導要領」が求める新しい時代の国語科教育の在り方とカリキュラム・マネジメントについて解説する。
	事前学修	テキストと「学習指導要領解説」に目を通しておくこと。
	事後学修	授業内容と配布資料を確認し、国語科教育に求められている事項を理解しておくこと。
3 回	授業内容	教育実践例「伝統的な言語文化を授業する」(DVD)を紹介、解説し、模擬授業展開上の留意点を解説する。グループごとに担当する教材による模擬授業の準備に入り、配布された指導案のフォームを用いて、「よい指導案」づくりに取り組む。
	事前学修	指導案を作成するうえでの留意点をインターネット等であらかじめ調べておくこと。
	事後学修	授業内容をふまえ、各グループごとに担当する模擬授業の指導方法について検討、決定しておくこと。
4 回	授業内容	現代文 詩「わたしが一番きれいだったとき」(75～77 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、適切と思われる指導方法を考え、授業プランを立てておくこと。 ※当該教材による模擬授業を担当するグループについては、発表者を中心に協働して教材のジャンルや性格に適した指導方法・授業形態を選択し、意欲的な授業プランを立てること。それに基づいた学習指導案を作成し、必要に応じてワークシートなどを用意すること。
	事後学修	授業内容を確認し、詩教材の扱い方について整理し、教育現場で求められる指導力について把握しておくこと。 ※模擬授業を担当したグループについては、授業内容をふまえて、ふりかえりを行い、その成果を共有しておくこと。
5 回	授業内容	古文 説話「児のそら寝」(236～237 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、古文・説話という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、古文教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
6 回	授業内容	漢文 故事「蛇足」(308～309 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、漢文・故事という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、漢文教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
7 回	授業内容	現代文 小説「羅生門」(156～172 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、小説という教材の性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、小説の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
8 回	授業内容	古文 俳諧紀行文・奥の細道「旅立ち」(276～277 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、前の古文で学んだ留意点を活かした授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
9 回	授業内容	漢文 史伝「晏子の御者」(314～315 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、前の漢文で学んだ留意点を活かした授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
10 回	授業内容	現代文 評論「水の東西」(126～132 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、評論という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、評論教材の扱い方について整理し、自らの授業プランを評価しておくこと。
11 回	授業内容	アクティブラーニングのひとつである「学習ゲーム」(作文に関するもの)を DVD で紹介し、それを国語科教育に活用する必要性と意義について解説する。
	事前学修	「学習ゲーム」とは何かについて調べ、それがなぜ必要なのかについて考えておくこと。
	事後学修	授業内容をふまえ「学習ゲーム」をどのように授業に活かしたらよいかについて考えておくこと。
12 回	授業内容	古文 伊勢物語「芥川」(288～289 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、古文・物語という性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
13 回	授業内容	漢文 唐詩「江雪・涼洲詩」(321～322 頁)の模擬授業を演習形式で行い、その指導方法等の適否について、質疑と討論を重ねて考察・評価する。
	事前学修	当該教材を読んで、漢詩という教材の性格をふまえた授業プランを立てておくこと。
	事後学修	授業内容を確認し、事前学習で立てた授業プランが当を得ていたかを評価しておくこと。
14 回	授業内容	教育実践例として「ディベートの授業」を DVD で紹介し、解説する。また、「ディベート教育」が日本で進まない理由と現状とを解説し、それが本当に必要な授業形態なのか、また日本に根づいていくものなのかについて検討する。
	事前学修	ディベートとは何かについて調べ、ディスカッションとの違いについて考えておくこと。
	事後学修	授業内容をふまえ、「ディベート」をどのようにしたら授業に活かせるのかを考えておくこと。
15 回	授業内容	試験
	事前学修	14 回の授業のふりかえりを行い、試験のための準備をしておくこと。
	事後学修	試験問題（課題）について、正しい理解と適切な解答ができたかを確認しておくこと。

- ◆**教科書** 〔丸〕『新版 中学校 高等学校国語科教育法』野路潤家・湊吉正 おうふう 2,160 円（税込）（送料 300 円）  
〔丸〕『新編 国語総合』高校 1 年教科書 教育出版 17 教出 国総 343 910 円（税込）（送料 300 円）  
〔丸〕『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編』文部科学省 312 円（税込）（送料 300 円）  
『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編』文部科学省
- ◆**参考書** 国語・古語・漢和の各辞書  
〔丸〕『国語科 重要用語事典』高木まさき他 明治図書 3,197 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**成績評価基準** 授業参程度（30%）、提出物（30%）、試験（40%）により総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔自然地理学概論〕

柴原 俊昭

◆**授業概要** 地理学は自然と人間の関係を探求する学問である。人間を取り巻く自然は人間の生活範囲や生活スタイル、ものの見方、考え方などあらゆる面で人間社会に影響を与えている。しかし、人間も主体的に自然に働きかけ、自然環境を変えてきた。自然と調和した人間生活を営むためには自然の構造や自然の機構を正しく認識する必要がある。本講義では自然を構成している地形・気候・植生・土壌などの中から地形に焦点を当て、地形の形成、地形の変動、日本の地形環境、地図からの地形判読について学んでいく。

◆**学修到達目標**

- 1) 人間の生活舞台としての土地の成り立ちや変化を理解し説明することができる。
- 2) 日本の地形環境の特徴を理解し説明することができる。
- 3) 地形図から地形を読み取る技術を身に付けることができる。
- 4) 身の回りの自然環境に興味・関心を持つことができる。

◆**授業方法** 配布プリントをもとに講義をする。黒板に板書することが多く、ノートは必需品である。前半は地表面の変動について、中期は日本の地形環境についての講義を行う。後半は地形図を使った判読演習を行う。地形図の判読について、地形図に色塗りをするため、色鉛筆（赤色、橙色、黄色、青色）を準備してほしい。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	地理学とは何か、自然地理学の必要性について説明する。また、授業の内容の説明、評価方法について説明する。 身近な自然で、人間への影響を考えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	地表面の変化(1)ープレート運動 地震や火山などの現象が起こる変動帯には3つのタイプに区分され、それぞれの特徴について解説する。更に変動帯に位置する日本列島のプレート分布とその運動について解説する。 プレート運動について、思いつくことをまとめておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。特に世界の中での日本列島の特殊性について理解しておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	地表面の変化(2)ー火山活動 世界の火山活動はプレート運動に規制され、限られた地域に分布する。また、火山噴火はマグマの成分によって噴火様式や火山の形態が決まることを解説する。 最近、日本列島で起こった火山活動について考えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	地表面の変化(3)ー地震現象 地震現象はプレートの沈み込みによるものと、内陸の活断層によるものとに区分される。ここでは内陸の地震のものである活断層の特徴や、日本列島の活断層分布の特徴について解説する。 最近、日本列島で起こった地震について考えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	地表面の変化(4)ー断層地形 断層の種類、構造について解説し、地形図から断層を見つける演習を行う。 活断層の特徴を整理しておくこと。 断層地形についてノートに整理し、理解しておくこと。地形図から断層を読み取れるように練習しておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	地表面の変化(5)ー風化・侵食作用 大気現象による地表面変化について解説する。特に風化作用と侵食作用による地表面変化について解説する。 最近の豪雨災害について知っていることをまとめておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	日本列島の地形環境(1)ー山地 日本列島の山地の役割、日本と大陸との比較による日本列島の山地の特徴について解説する。 身近な山地の風景を頭に描き、その特徴について考えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。特に大陸との違いを理解しておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	日本列島の地形環境(2)ー河川・平野 日本列島の河川・平野の役割、日本と大陸との比較による日本列島の河川・平野の特徴について解説する。 身近な川や平野の風景を頭に描き、その特徴について考えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	日本列島の地形環境(3)ー海岸 日本列島の海岸地形の特徴について解説する。 身近な海岸の風景を頭に描き、その特徴について考えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	日本列島の地形環境(4)ー平野の形成 人間生活の舞台である平野の形成は、第四紀の気候変動によるものであることを解説する。 最近の温暖化の影響について考えておいてほしい。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	地形変化と文化の盛衰 気候変動による海面変動は地形環境を変化させ、更に縄文・弥生の文化の盛衰にも影響を与えることを解説する。 最近の温暖化の影響について考えておいてほしい。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	地形判読(1)ー扇状地 扇状地の形成、特徴について解説する。地形図から扇状地を読み取る方法を学ぶ。地形図の土地利用を色塗りすることで、扇状地を読み取る演習を行う。 今、生活している土地がどのような所か、考えておいてほしい。地図記号田、畑など土地利用に関するものを覚えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。扇状地が地形図から読み取れるように練習しておくこと。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	地形判読(2)ー自然堤防・後背低地・旧河道 地形の形成、特徴について解説する。地形図の土地利用から自然堤防、後背低地、旧河道を読み取る演習を行う。 地図記号田、畑など土地利用に関するものを覚えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。砂州の地形が地形図から読み取れるように練習しておくこと。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	地形判読(3)ー海岸地形 海岸地形である砂州、砂嘴、浜堤、堤間低地などの形成、特徴について解説する。地形図の土地利用から各地形を読み取る演習を行う。 地図記号の田、畑など土地利用に関するものを覚えておくこと。 授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。海岸地形が地形図から読み取れるように練習しておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験および解説 いままでの授業内容を復習し、まとめておくこと。 試験の内容の確認、整理しておくこと。

◆**教科書** [当日資料配布] 教科書は使用しない。必要に応じてプリントで授業を行う。

◆**参考書** 高等学校地理教科書(新編詳解地理B、二宮)(新詳地理B、帝国書院など)

◆**成績評価基準** 出席していることを前提に試験 80%、地形図判読課題 20%で評価する。出席が 8 割満たない者は採点対象にならない。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

# 東京

# 7月期

日	程	授業時間	備考
6月29日	土	13:00～18:30	※日曜日は時間内に 昼休みを設けます。
6月30日	日	9:00～16:30	
7月6日	土	13:00～18:30	
7月7日	日	9:00～16:00 <試験も含む>	

※以下の7月期開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講	
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年		受 講 条 件
DA01	美術史	森下 和貴子	2	B11400	美術史		1年		
DA02	英語E	アレックス ブラウン	1	C10100	英語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III				
				C10400	英語 IV				
DA03	民法Ⅱ	山川 一陽	2	K30100	民法Ⅱ		2年		
DA04	労働法	新谷 真人	2	K31300	労働法		2年		
DA05	地方自治論	山田 光矢	2	L30800	地方自治論		2年		
DA06	漢文学Ⅰ	青木 隆	2	M31500	漢文学Ⅰ		2年		
DA07	放送英語	マイケル ギロイ	2	N31300	放送英語	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
DA08	新聞英語	桑山 啓子	2	N31400	新聞英語	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
DA09	英語学演習B	青木 克憲	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	×
				N402S0	英語学演習Ⅱ				
				N403S0	英語学演習Ⅲ				
DA0A	東洋思想史Ⅱ	梅川 純代	2	P30700	東洋思想史Ⅱ		2年		
DA0B	考古学入門	浜田 晋介	2	Q20400	考古学入門		条件 参照	・ 史学専攻のみ1学年以上申 込可。 ・ 上記以外は2学年以上申 込可。	
DA0C	経済学概論	続橋 孝行	2	R20300	経済学概論		条件 参照	・ 経済学部のみ1学年以上申 込可。 ・ その他は2学年以上申 込可。	
DA0D	貿易論	松原 聖	2	S30400	貿易論		2年		×
DA0E	英語科教育法Ⅱ	市川 泰弘	2	T21000	英語科教育法Ⅱ	×	2年	・ 英文学専攻のみ申込可。 ・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
DA0F	博物館教育論	岡部 幹彦	2	Y20900	博物館教育論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (美術史)

森下 和貴子

◆**授業概要** 飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術史について学びます。各時代を代表するような彫刻や絵画の名品を取り上げ、作品の技法や様式、作品が生み出された時代背景などを学ぶことにより、日本美術史の流れを理解することを目的とします。

◆**学修到達目標** 飛鳥時代から鎌倉時代までの日本美術史について学びます。各時代を代表するような彫刻や絵画の名品を取り上げ、作品の技法や様式、作品が生み出された時代背景などを学ぶことにより、日本美術史の流れを理解することを目的とします。

◆**授業方法** 講義形式で行います。取り上げた作品が作られた時代の歴史を概説した上で、スクリーンに作品を映写しながら鑑賞のポイントを解説します。各自、作品を注意深く観察することにより、講義で指摘したポイントを自分の目で確認し理解することが重要です。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: 仏像鑑賞の基礎知識 事前学修: 教科書の付録 212 ~ 213, 228 ~ 241 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容: インドにおける仏像の誕生 事前学修: 教科書の学習指導書を読んで、全体を把握しておくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容: 飛鳥時代の歴史と美術 事前学修: 教科書 22 ~ 28 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容: 白鳳時代の歴史と美術 事前学修: 教科書 28 ~ 36 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容: 天平前期の歴史と美術 事前学修: 教科書 38 ~ 41 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容: 天平盛期の歴史と美術 事前学修: 教科書 41 ~ 44, 49 ~ 52 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容: 天平後期の歴史と美術 事前学修: 教科書 44 ~ 45 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容: 平安前期の歴史と美術 事前学修: 教科書 54 ~ 65 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容: 平安後期の歴史と彫刻作品 事前学修: 教科書 70 ~ 75 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容: 平安後期の歴史と絵画作品 事前学修: 教科書 75 ~ 84 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容: 鎌倉時代の歴史と彫刻作品 事前学修: 教科書 86 ~ 90 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容: 鎌倉時代の絵画作品 事前学修: 教科書 90 ~ 100 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容: 南北朝と室町時代の美術 事前学修: 教科書 102 ~ 116 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容: 江戸時代の美術 事前学修: 教科書 118 ~ 127 ページを読んでおくこと。 事後学修: 配布プリントを読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容: 総まとめ 事前学修: 配布プリントを読んで、これまでに受けた授業内容を確認し理解しておくこと。 事後学修: 教科書を一読し、日本美術史の流れをつかむこと。

◆**教科書** **当日資料配布** 当日プリント配布

**教材** 『美術史 B11400』 通信教育教材 (教材コード 000310) 2,900 円 (送料込)  
〈この教材は市販の『カラー版 日本美術史』 辻惟雄監修 (美術出版社) と同一です〉

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 4 日間を通じて出席することを前提とし、平常点と筆記試験により総合的に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 E〕

アレックス ブラウン

- ◆ **授業概要** In this course we will listen to and comprehend scenes from the movie, School of Rock. Strong focus will be placed on learning new vocabulary and phrasal verb by creating our own role plays using the target language.
- ◆ **学修到達目標** The goals of the course are to improve listening comprehension by following along with the questions related to each scene of the movie. Secondly, students will strive to use the new vocabulary learned and to apply it to role plays that relate to their everyday situations. The teacher will provide examples.
- ◆ **授業方法** Class time will be spent learning new vocabulary, using it in a role play, modeling the speech patterns in the movie. Listening comprehension and cultural discussions as they relate to school life and music will be key discussion topics as well.
- ◆ **授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 : Search School of Rock on IMDB before the first class. 事前学修 : Orientation will be given and students will view the first half of the film. 事後学修 : Skim through the first few scenes of the movie in your movie script.
2 回	授業内容 : Prepare to discuss your musical influences growing up. 事前学修 : Students will look at the vocabulary for Scene 1. Listening comprehension questions will be answered in groups and answers will be presented to the class. 事後学修 : Study the teacher's example for the vocab role play for Scene 1.
3 回	授業内容 : Prepare to use the vocabulary in a role play written by you and a partner. 事前学修 : We will conduct Showtime for the first vocabulary role plays. We'll also review scenes of the movie and answer the listening comprehension questions. 事後学修 : Look over the vocabulary matching activity for Scene 2.
4 回	授業内容 : Prepare to share your answers of the vocab-match with the class. 事前学修 : The first part of the class will be a Q/A activity where students discuss their past experiences of school life. We will finish Scene 2 listening comprehension scenes. 事後学修 : Research your favorite pop/rock band.
5 回	授業内容 : Prepare to talk about your favorite band. 事前学修 : The teacher will explain the details of your Song Report. Vocabulary study for Scene 3 will be covered. 事後学修 : Prepare your Song Report Presentation for an audience of 2 students.
6 回	授業内容 : Provide printouts of the lyrics of your song for 2 people for lyric comprehension in your Report. 事前学修 : Song Report Presentations will take place in groups of three students. While we watch the second half of the film, students are expected to fill out notes on their active-listening handouts. 事後学修 : Study the vocabulary printout for Scene 4.
7 回	授業内容 : Have your Scene 4 Vocab-match answers ready to check. 事前学修 : Listening Comprehension for Scenes 4 and 5. Showtime for the role plays of Scene 4. 事後学修 : Research the song, Edge of 17 by Stevie Nicks.
8 回	授業内容 : Prepare to discuss your ideas about the meaning of the song Edge of 17. 事前学修 : Class discussion on the song Edge of 17, followed by vocab study for Scene 5. 事後学修 : In your movie script, read ahead for Scenes 6 and 7.
9 回	授業内容 : Prepare to discuss a school trip that you took in the past. 事前学修 : Scenes 6 and 7 deal with a school trip in the movie. You will answer questions about a school trip that you will suggest to your group members. Relay the information from your handout answers to your group members. 事後学修 : Do the Vocabulary-match for Scenes 6 and 7.
10 回	授業内容 : Prepare your answers for the vocabulary activity. 事前学修 : Groups will prepare role plays using the vocabulary from Scenes 6 and 7. 事後学修 : Prepare for the vocabulary quiz next week by reviewing Scenes 1 to 7.
11 回	授業内容 : Be able to use the vocabulary words and phrases in complete sentences. 事前学修 : Vocab Quiz for Scenes 1 to 7. This class will look at an article on the new CEO of Gibson Guitars. Read aloud and answer the comprehension questions. 事後学修 : Read Scenes 8 and 9 in your script.
12 回	授業内容 : Prepare to work on the vocabulary match for Scenes 8 and 9. 事前学修 : Vocabulary answer check will be followed by the comprehension check for these scenes. 事後学修 : Read ahead of the final scenes in your script.
13 回	授業内容 : Prepare to discuss the comprehension questions in your group. 事前学修 : Final scenes. Describe the different emotions and reactions by the parents and give reasons why they act this way. 事後学修 : Match the vocab meanings for Scene 10.
14 回	授業内容 : Prepare to share your answers for scene 10 vocabulary. 事前学修 : The teacher will provide a worksheet review of all scenes that will help you study for your final exam 事後学修 : Study for the test next class.
15 回	授業内容 : Be familiar with the review worksheet and the selected vocabulary. 事前学修 : Final Test. 事後学修 : Congratulations on completion of the course.

- ◆ **教科書** None
- ◆ **参考書** Printable movie scripts will be provided by the instructor.
- ◆ **成績評価基準** Grades will be based on participation, a final exam and a music related report.

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔民法Ⅱ〕

山川 一陽

- ◆**授業概要** 物権法総論、占有権、所有権、用益物権（地上権、永小作権、地役権、入会権）、法定担保物権（留置権、先取特権）、約定担保物権（質権、抵当権）、非典型担保、のうち、用益物権までを学修する。
- ◆**学修到達目標** ここでは普通物権についての講義がされることになるが、講義を通じて物権とはどのような権利であり、これからどのような各種物権の効力が生じてくるのかについてしっかりと理解されること。また物権の変動を目的とする行為がされた場合にどのようにして物権が変動し、これを第三者に対抗するにはどのようなことが要求されるのかなどについてその周辺の議論を理解することができるまで勉強してほしい。
- ◆**授業方法** 講義形式で行う。なお、このシラバスは予定なので、スクーリング当日に若干の変更がなされる場合がある。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容：物権とは何かを明らかにする 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
2回	授業内容：物権法の性格 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
3回	授業内容：物権法の基本原理 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
4回	授業内容：物権の性格 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
5回	授業内容：物権の効果について 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
6回	授業内容：物権的請求権 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
7回	授業内容：物権の排他的効力 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
8回	授業内容：物権法定主義 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
9回	授業内容：物権変動の基本的構造 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
10回	授業内容：不動産の物権変動 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
11回	授業内容：不動産物権変動と登記 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
12回	授業内容：対抗要件としての登記 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
13回	授業内容：登記制度概論と登記をめぐる諸問題 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
14回	授業内容：動産取引と占有移転 即時取得制度 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認
15回	授業内容：物権各論 事前学修：テキスト該当箇所を一読 事後学修：テキスト該当箇所の再読とノートの確認

- ◆**教科書** 丸沼『物権法講義〔第3版〕』山川一陽著 日本評論社 3,132円（税込）（送料350円）、指定六法を必ず持参
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 講義後に行う試験の結果による。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔労働法〕

新谷 真人

◆**授業概要** 労働基準法、労働組合法を中心に、労働法の基本的知識を学ぶ。近年の働き方改革により、労働基準法は大きく改正される。授業では、新しい動向にも注目していく。

◆**学修到達目標** 賃金、労働時間などの労働条件はどのように決まるのか、最低限の法規制は何かを説明できる。労働組合の活動はどのように保護されているかを理解する。

◆**授業方法** 労働基準法を中心とする個別的労働法と、労働組合法を主体とした集団的労働法の両分野を教科書に沿って講義をする。新聞記事等の資料と DVD 等の映像を活用して理解の手助けとする。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容：第 1 章 労働法の原理 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
2 回	授業内容：第 2 章 労働基準法の理念と労働契約 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
3 回	授業内容：第 3 章 就業規則と労働契約 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
4 回	授業内容：第 4 章 配転・出向・転籍 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
5 回	授業内容：第 5 章 賃金の保護 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
6 回	授業内容：第 6 章 労働時間の規制 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
7 回	授業内容：第 7 章 休憩・休日・年次有給休暇 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
8 回	授業内容：第 8 章 労働災害の予防と災害補償 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
9 回	授業内容：第 9 章 女性・非正規労働者と労働法（セクハラ DVD） 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
10 回	授業内容：第 10 章 雇用の終了 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
11 回	授業内容：第 11 章 団結権保障と労働組合法 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
12 回	授業内容：第 12 章 不当労働行為制度 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
13 回	授業内容：第 13 章 団体交渉と労働協約 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
14 回	授業内容：第 14 章 復習（DVD 鑑賞） 事前学修：教科書の該当箇所を読んでおく。 事後学修：スライド資料で知識を確認する。
15 回	授業内容：試験 事前学修：試験範囲を復習する。 事後学修：自己採点してみる。

◆**教科書** 丸沼『労働法 第 2 版』新谷真人編 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『労働判例百選 第 9 版』ジュリスト増刊 有斐閣 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 最終試験（論述式）によって評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔地方自治論〕

山田 光矢

◆**授業概要** 人類の歴史から、家族や集落や地域組織や国家の誕生と発展、地方自治制度の歴史と現状などを、ヨーロッパ諸国と日本の比較や、主権と自治権と人権の関係と地方自治制度の本質の分析を通じて、明治維新から現在までの日本の地方自治制度の確立と変遷を理解してもらい、日本の地方自治制度改革の歴史、目的、政策の特徴などの分析を通じて、日本の地方分権改革の現状と今後のあり方を解説する。

◆**学修到達目標** 日本の地方自治制度の現状を、明治維新以降の日本の地方自治制度改革の歴史から理解し、現状を維持すべきとするならその理由を、改革すべきとするならどこをどのように改革すべきかについて、自分の考えを確立する。

◆**授業方法** 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、こちらからの質問にはきちんと答えてください。また質問などがある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で受講生の知識を高めるとともに、受講生の理解を深めていくことを目的に講義を進めていきます。そのためにも、積極的な講義への参加を求めながら講義を進めていきます。

◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：地方自治制度を国と地方の関係から理解する 事前学修：国家とはどのようなものか、地方公共団体とはどのようなものなのかを考えてくる 事後学修：国家と地方の関係に関する自分の考えを確認する
2 回	授業内容：自治権の理論を解説する 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：固有権説、伝來說、制度的保障説、団体主権論の相違を理解する
3 回	授業内容：日本とヨーロッパ主要国の地方自治制度の相違 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：日本の地方自治制度の特色をヨーロッパ諸国との比較から理解する
4 回	授業内容：地方政府の形態 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：委員会制、首長制、議院内閣制、市支配人制の相違を理解する
5 回	授業内容：廃藩置県と大区小区制と三新法 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：明治新政府の地方自治制度の特色を廃藩置県と行政村、郡区町村編成法から考える
6 回	授業内容：明治の大合併と地方公共団体の組合 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：市制町村制、府県制郡制の特徴について理解する
7 回	授業内容：日本国憲法と地方自治制度（制限列举方式、概括例示方式） 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる。日本国憲法第 92 条の内容を考えてくる 事後学修：地方自治の本旨に関する自分の考えを確立する。自治権の種類を再確認する
8 回	授業内容：日本国憲法第八章の内容と特徴 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる。日本国憲法第 93・94・95 条の内容を考えてくる 事後学修：独立規制（行政）委員会の種類と特徴と問題点を理解する
9 回	授業内容：地方自治制度改革とシャープ勧告・神戸勧告 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：ドッジ・ライン、シャープ勧告の内容を理解する
10 回	授業内容：地方公共団体の種類 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：普通地方公共団体と特別地方公共団体の種類と特徴を理解する
11 回	授業内容：昭和の大合併と全国総合開発計画と新産都市、新全国総合開発計画と広域市町村圏 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：高度経済成長期の地方自治制度改革の方向性を理解する
12 回	授業内容：地方財政制度の特徴と問題点 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：地方交付税交付金と国庫支出金（補助金）と三位一体の改革を理解する
13 回	授業内容：平成の大合併と国土形成計画と定住自立圏・地域自治組織 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：定住自立圏や地域自治組織の形成と地方自治制度の変質の実態を理解する
14 回	授業内容：新国土形成計画と連携中枢都市圏 事前学修：教科書の関連した部分を読んでくる 事後学修：地域自治組織と連携中枢都市圏の特徴や目的を理解する
15 回	授業内容：これまでの講義の総括 事前学修：これまでの講義の内容を整理してくる 事後学修：日本の地方自治制度改革の歴史を理解する

◆**教科書** 丸沼『地方自治論 第2版』福島康仁編・山田光矢他著 弘文堂 2,160 円（税込）（送料 300 円）  
〔当日資料配布〕山田光矢著「市町村合併と広域行政」『政経研究』（66-3）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験を 60%、平常点を 20%、小テストやレポート等を 20%程度で評価する。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔漢文学Ⅰ〕

青木 隆

◆**授業概要** 本授業が国語教員免許の必修科目であることに鑑み、長編歴史小説『三国志演義』の名場面を講義形式で鑑賞するとともに、訓読漢文から実際に読み下し文を作成する実習形式を組み合わせることにより、漢文訓読の仕組みを学ぶ。本授業では、現代日本語訳として講談社学術文庫版『三国志演義』（全四巻）を用いる。講談社学術文庫版のほか、岩波文庫版『完訳三国志』（全八巻）、平凡社版『三国志演義』（上・下）のいずれかの該当箇所を読んでおいて下さると助かります。

◆**学修到達目標** 1. 漢文訓読法により漢文を読むときに用いる漢和辞典の諸特徴を把握し、その使い方を習得する。  
2. 返り点・送り仮名付き訓読文から書き下し文を作成できる程度に漢文訓読法の基礎を身につける。  
3. 明代成立の長編歴史小説『三国志演義』の本文を楽しく読み、現代中国に通じる近世中国の人々のものの考え方、感じ方を理解する。

◆**授業方法** 1. 漢文訓読法の基礎的事項について、演習をまじえて解説する。  
2. 実際に漢和辞典を駆使して漢文訓読法により読み下し文を作成する。その際、質疑応答を適宜行なう。  
3. 読み下し文作成後は、一文ずつ、出席者に発表を求めつつ、質疑応答を交えながら原文の意味用法及び訓読文法等について講義する。その際、歴代の版画挿絵、現代中国のテレビドラマを用いて、『三国志演義』の魅力を解説する。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：『三国志演義』および漢文訓読法の基礎知識 事前学修：漢和辞典の凡例を熟読し、漢和辞典の引き方や読み方について知っておくこと。 事後学修：授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）①桃園に宴して豪傑三人義を結ぶ一演習と質疑 事前学修：『三国志演義』第 1 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
3 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）①桃園に宴して豪傑三人義を結ぶ一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習の難易度、講義の内容理解度から判断して次回テキストのコースを決定すること。
4 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）②陶恭祖 三度劉備に徐州を譲る一演習と質疑 事前学修：『三国志演義』第 12 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
5 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）②陶恭祖 三度劉備に徐州を譲る一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習の難易度、講義の内容理解度から判断して次回テキストのコースを決定すること。
6 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）③曹操 酒を煮て英雄を論ず一演習と質疑 事前学修：『三国志演義』第 21 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
7 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）③曹操 酒を煮て英雄を論ず一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習の難易度、講義の内容理解度から判断して次回テキストのコースを決定すること。
8 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）④諸葛亮 劉備に三分の計を授く一演習と質疑 事前学修：『三国志演義』第 35 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
9 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）④諸葛亮 劉備に三分の計を授く一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習の難易度、講義の内容理解度から判断して次回テキストのコースを決定すること。
10 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）⑤劉玄德 民を携えて江を渡る一演習と質疑 事前学修：『三国志演義』第 41 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
11 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）⑤劉玄德 民を携えて江を渡る一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習の難易度、講義の内容理解度から判断して次回テキストのコースを決定すること。
12 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）⑥劉玄德 孫夫人と結婚す一演習と質疑 事前学修：『三国志演義』第 54 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
13 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）⑥劉玄德 孫夫人と結婚す一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習の難易度、講義の内容理解度から判断して次回テキストのコースを決定すること。
14 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）⑦劉玄德 孔明に孤を託す一演習（レポート作成）と質疑 事前学修：『三国志演義』第 85 回の現代日本語訳を読んでおくことが望ましい。 事後学修：演習時に感じた疑問点などをノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容：『三国志演義』の名場面（劉備特集）⑦劉玄德 孔明に孤を託す一解説と質疑 事前学修：書き下し文例等の資料に目を通しておくこと。 事後学修：演習・講義を振り返って漢文訓読における漢和辞典の役割を再確認すること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布。難易度の異なる 7 段階の訓読テキストからご自分にあったものをお選びください。

◆**参考書** 教室に必ず漢和辞典をお持ちになつてください。授業では、『漢辞海』（第四版）三省堂刊を用います。参考書としてこれを推薦しますが、ふだんお使いの漢和辞典があれば、それを教室にお持ちください。

◆**成績評価基準** 振り仮名・送り仮名・返り点の有無により難易度の異なる 7 段階のコースを用意しました。漢文読み下しは全く初めてという方にも、かなり自信のある方にも、ご自分にあったコースをお選びいただくことができると思います。場面ごとにどのコースに取り組んだかということと、最終日に作成するレポートとによって成績を評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔放送英語〕

マイケル ギルロイ

◆**授業概要** To be a better student of English

◆**学修到達目標** To build up students' English language skills through active, even passionate learning, enhancing reading, listening comprehension, writing skills, enlarge vocabulary and boost general knowledge and self confidence. Leading towards a final presentation.

◆**授業方法** Students will work individually, in pairs and in groups to complete in-class activities. Exercises include reading, writing, role-plays and discussions.

### ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: Introduction - Getting to know your teacher / each other. 事前学修: Enthusiasm, dictionary, notebook, pens, etc. 事後学修: Be prepared with textbook, dictionary, etc.
2 回	授業内容: "What the World needs now" (Part 1) 事前学修: Text (or photocopy) 事後学修: Review lesson.
3 回	授業内容: "What the Words needs now" (end/review), "Young People Making a Difference" 事前学修: Review this chapter / unit. 事後学修: Review lesson.
4 回	授業内容: "Young People Making a Difference" (cont' d) 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review first three lesson units from textbooks.
5 回	授業内容: "The Horns of a Dilemma" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
6 回	授業内容: "Of Nuke and Minefields" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
7 回	授業内容: "The World's Hottest Issue" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
8 回	授業内容: Consolidation of today's three units. 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review today's three units.
9 回	授業内容: "Smart Roads and Cars" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
10 回	授業内容: "Languages Lost and Found" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
11 回	授業内容: "It's about time" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
12 回	授業内容: Consolidation of today's three units. 事前学修: Pre-read all material. 事後学修: Review today's three units.
13 回	授業内容: "Where would we be without it?" 事前学修: Preview this unit. 事後学修: Review lesson.
14 回	授業内容: Presentation Preparation. 事前学修: Ideas / materials for presentation. 事後学修: Final PREP for presentation.
15 回	授業内容: Presentation. 事前学修: "Poster" and notes for presentation. 事後学修: Enjoy summer.

◆**教科書** 丸沼『Global Concepts』 Jim Knudsen NAN' UN-Do 2,052 円 (税込) (送料 300 円)

〔当日資料配布〕 Supplementary handouts.

◆**参考書** None

◆**成績評価基準** Grades will be allocated on the basis of attendance, participation and completed assignments. Presentation.

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔新聞英語〕

桑山 啓子

- ◆**授業概要** 市販されているテキストを使用して英字新聞の英文を読む。英字新聞の構成や新聞英語の特徴などを説明しながら新聞記事を読んでいく。新聞記事に対する意見を個人、またはグループでまとめて用紙に書いたり発表したりする。また実際の英字新聞の記事を使い、新聞記事の構成、新聞英語の特徴を確認しながら内容をまとめる。
- ◆**学修到達目標** 英字新聞の記事の構造を理解して、英字新聞の英語の特徴を学び、英字新聞の記事を読むことに慣れるのを第一の目的とする。それが達成できた後で記事の内容を把握し、自分の意見を言えるようにするのが第二の目的である。
- ◆**授業方法** テキストの前半、Unit 1 ~ Unit 7 を読む。1 課を 2 回で終わらせる。各 Unit の Words and Phrases と Summary の答え合わせをした後で、本文を Headline, Lead, Body に分け、記事全体の内容を確認した後で英文を和訳する。Exercise は Multiple Choice と True or False を答え合わせする。本文に関しては内容や意見を個人またはグループで発表する。毎回ではないが、何回か授業の最初または終わりに予習をしてあるか、または本文の内容が理解できているかをチェックするための簡単な小テストを行う。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス (授業の進め方等の説明)、英字新聞の特徴と構成などについての説明。 Unit 1: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して英文の和訳や記事の内容に関する重要な点や意見をまとめた後で発表。 Unit 1: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。それから、分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で進んだところの英文をもう一度読み直した後事前学修で間違えたところを復習する。単語、熟語等の復習。記事のポイントを考える。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 1: 1 回目の授業の復習。重要な点を再確認。前回学生が発表した新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文に関する説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。 Unit 1 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 1 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 2: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して英文の和訳、難しい英文の解釈や記事の内容に関する重要な点や意見をまとめた後で発表。 Unit 2: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。その後で分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で進んだところの英文をもう一度読み直す。その上で事前学修で間違えたところを復習する。新聞記事の重要な点を考える。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 2: 前回の授業の復習。重要な点を再確認。新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文の説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。 Unit 2 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 2 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 3: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して難しい英文の解釈の仕方や問題点についてまとめる。意見をまとめた後で発表。 Unit 3: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で学んだところをもう一度読み直して事前学修で間違えたところを復習する。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 3: 前回の授業の復習。重要な点を再確認。新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文の説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。 Unit 3 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 3 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 4: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して英文の和訳や記事の内容に関する重要な点や意見をまとめた後で発表。 Unit 4: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で進んだところの英文をもう一度読み直す。記事の重要なポイント、事前学修したもの比べて間違えたところを再確認する。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 4: 前回の授業の復習。重要な点を再確認。新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文の説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。 Unit 4 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 4 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 5: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して英文の和訳や記事の内容に関する重要な点や意見をまとめた後で発表。 Unit 5: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。それから、分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で進んだところの重要な英文、記事の内容等を確認する。その上で事前学修で間違えたところを復習する。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 5: 前回の授業の復習。重要な点を再確認。新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文の説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。 Unit 5 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 5 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 6: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して英文の和訳や記事の内容に関する重要な点や意見をまとめた後で発表。 Unit 6: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。それから、分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で進んだところの英文をもう一度読み直す。その後事前学修で間違えたところを復習する。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 6: 前回の授業の復習。重要な点を再確認。新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文の説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。 Unit 6 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 6 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 7: Words and Phrases, Summary の答え合わせ、個人またはグループで新聞記事の内容を確認して英文の和訳や記事の内容に関する重要な点や意見をまとめた後で発表。 Unit 7: Words and Phrases, Summary を解く。本文 (新聞記事) は最初に Headline, Lead, Body に分けて全文の内容をまとめる。それから、分からない語 (句) を辞書で調べて英文を和訳する。 本日授業で進んだ新聞記事の英文を読み、構成、重要な語句、難解な英文をもう一度確認する。また記事の内容で重要な点も再確認する。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	Unit 7: 前回の授業の復習。重要な点を再確認。新聞記事の英文の和訳、重要な語 (句) や英文の説明。Exercises: Multiple Choice と True or False の答え合わせ。Unit 1 ~ 7 の総復習 Unit 7 の新聞記事の英文を読み直して、重要な点を確認した上で Exercises: Multiple Choice と True or False を解く。 Unit 7 の復習。授業で行った Summary, Multiple Choice, True or False を復習しながら再度新聞記事の英文の内容を確認する。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 1 ~ 14 回の授業で学んだところを復習して試験に備える。 試験で出題されたところを復習する。

- ◆**教科書** 丸沼 115 章版「ニュースメディアの英語——演習と解説 2019 年度版——」高橋・伊藤・Powell 共著 朝日出版社 1,296 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 丸沼『英字新聞のリーディング』水嶋いづみ編著 研究社 2,268 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**成績評価基準** 4 日間出席をすることを前提として以下の様に評価します。出席することが前提となりますので成績に出席点は入りません。評価——授業内に行う小テストなど 20%、授業時の発表状況 20%、試験 60%

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語学演習 B〕 オープン受講：不可

青木 克憲

- ◆**授業概要** 「イギリス英語とアメリカ英語の違い」「世界語としての英語」「言語獲得」「借用語」「方言」「和声英語」など言語における諸問題を取り上げて、言語に対する理解を深めます。
- ◆**学修到達目標** 授業概要において挙げた言語における諸問題に関して英語理解力を高め自分で説明し、意見を述べる事ができる事を目標とする。
- ◆**授業方法** 受講生に発表してもらった形で授業を行う。本文の英文は 1 行 (短い場合は 2 行) ずつ和訳してもらいその後で説明・補足などを加えて内容を検討する。練習問題は解答を答えてもらう。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 1. The Study of Language 事前学修: テキスト p.7~p.8 の内容を理解し, p.9~p.10 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
2 回	授業内容: 2. British English and American English 事前学修: テキスト p.11~p.12 の内容を理解し, p.13~p.14 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
3 回	授業内容: 3. English as a World Language 事前学修: テキスト p.15~p.16 の内容を理解し, p.17~p.18 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
4 回	授業内容: 4. Linguistics, Language, and Culture 事前学修: テキスト p.19~p.20 の内容を理解し, p.21~p.22 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
5 回	授業内容: 5. Registers 事前学修: テキスト p.23~p.24 の内容を理解し, p.25~p.26 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
6 回	授業内容: 6. Language, Culture, and Categorization 事前学修: テキスト p.27~p.28 の内容を理解し, p.29~p.30 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
7 回	授業内容: 7. First Language Acquisition 事前学修: テキスト p.31~p.32 の内容を理解し, p.33~p.34 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
8 回	授業内容: 8. The Study of the Sounds of Language 事前学修: テキスト p.35~p.36 の内容を理解し, p.37~p.38 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
9 回	授業内容: 9. Names in English 事前学修: テキスト p.39~p.40 の内容を理解し, p.41~p.42 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
10 回	授業内容: 10. Language Contact and Borrowing 事前学修: テキスト p.43~p.44 の内容を理解し, p.45~p.46 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
11 回	授業内容: 11. Language Variation 事前学修: テキスト p.47~p.48 の内容を理解し, p.49~p.50 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
12 回	授業内容: 12. Meaning in Words and Sentences 事前学修: テキスト p.51~p.52 の内容を理解し, p.53~p.54 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
13 回	授業内容: 13. Japanese English 事前学修: テキスト p.55~p.56 の内容を理解し, p.57~p.58 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
14 回	授業内容: 14. Word Formation in English 事前学修: テキスト p.59~p.60 の内容を理解し, p.61~p.62 の Exercises をやっておくこと 事後学修: 授業内容を整理し, Exercises は予習でやっておいた答を確認, 訂正すること
15 回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: これまで学習した事, 及びそのポイントを十分に確認しておく 事後学修: もう一度, 学習した事, ポイントを再確認する

- ◆**教科書** 丸沼『英語についての 26 章』英宝社 2,052 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** なし (但し, 必要に応じて授業中に紹介します。)
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み (予習状況, 練習問題) 30%, 試験 70% で評価します。

**注意** E-mail を送るときは, 必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては, 授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔東洋思想史Ⅱ〕

梅川 純代

- ◆**授業概要** 思想・宗教を縦系に、社会風俗を横系に、東洋文化を紐解いていきます。
- ◆**学修到達目標** 思想、哲学、宗教は崇高なもの。しかし、どんな崇高な思想や宗教を持っていても、表の人間活動は下世話です。また、崇高な思想の根本には、意外と親近感の持てる欲望があったりもします。文化風俗からアプローチすることで、敷居の高そうな思想・哲学を身近に感じてみたいと思います。また、中国を軸としつつも、とある事象が異なる風土を持つ日本へ伝播した後、どのように展開していったのかを比較検討することで、文化形成の重層性と多様性に触れたいと思います。
- ◆**授業方法** 基本的には講義形式で行います。部分的に、討論、グループワーク的な形式をとります。最終授業はレポート執筆にあてます。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：イントロダクション 講義の進め方の説明およびレポートの書き方解説 事前学修：特になし 事後学修：レポートの書き方を確認する。
2 回	授業内容：シャーマニズムと儒家 事前学修：特になし 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
3 回	授業内容：儒教から宋代理学へ 事前学修：特になし 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
4 回	授業内容：宋理学の苦悩（春宮画と春画）——作品鑑賞と比較 日中の美術作品を通じ、その背景にある思想的な違いを考える。 事前学修：特になし 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
5 回	授業内容：神仙とは何か——『列仙伝』に見える神仙を概観する 事前学修：神仙が登場する物語に触れておく。小説、漫画、アニメの別は問わない。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
6 回	授業内容：神仙とは何か——『神仙伝』に見える神仙を概観し、中国における神仙イメージの推移を検討する。 事前学修：神仙が登場する物語に触れておく。小説、漫画、アニメの別は問わない。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
7 回	授業内容：「道教＝餃子」論——道教発生から内丹道教登場までを概観する 事前学修：幽玄道士、靈玄道士等のDVDに触れておく。来來！キョンシーズも可。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
8 回	授業内容：「浦島」伝説——日中の仙境訪問譚を比較検討し、巷間に流布した神仙思想や道教思想の在り様を探る。 事前学修：童謡「うらしま太郎」に馴染んでおく。できれば歌えるように。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
9 回	授業内容：陰陽思想と房中術——養生技法、神仙技法としての房中術の理論を概説する 事前学修：指定参考書に目を通しておくことが望ましい。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
10 回	授業内容：五行思想と内丹思想——五行思想と内丹思想の概説 事前学修：特になし。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
11 回	授業内容：『西遊記』解説——小説『西遊記』を玄典として読解する 事前学修：『西遊記』のあらすじを理解しておく。小説、漫画、アニメ、ドラマの別は問わない。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
12 回	授業内容：『繁華麗錦』和解 解説——後期房中書の日本人による解説を読み解きながら、文化の伝播における思想・社会背景の違いを考える 事前学修：簡単な漢文の読み方をさらっておくことが望ましい。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
13 回	授業内容：日中の花柳界——風俗の発展を人間の交流・文学の発展という視点から考える 事前学修：特になし 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
14 回	授業内容：纏足——纏足の流行を女性心理から考える。 事前学修：特になし。 事後学修：講義内容を各自整理する。興味を持った内容の参考文献にあたる。
15 回	授業内容：レポート執筆 事前学修：レポート執筆に必要な資料等を収集・閲覧しておくことが望ましい。 事後学修：特になし。

- ◆**教科書** 当日資料配布
- ◆**参考書** 丸沼『「気」の思想からみる道教の房中術』五曜書房 2,570 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 出席とレポートで評価いたします。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔考古学入門〕

浜田 晋介

- ◆**授業概要** 考古学とはどのようなものを対象にし、どのような研究方法によって、何を明らかにする学問なのかについて、日本における研究の具体的な事例を取り上げて解説する。また、自然科学的研究の応用についても解説を加える。さらに、考古学が現代社会とどのような繋がりと役割を果たしているのかについても説明し、考古学の現代的意義についても、理解が深まるように心がける。
- ◆**学修到達目標** 考古学が隣接する諸学問（文献史学・人類学・民俗学・古生物学など）とどのように異なるのか、考古学で年代が導き出す方法にはどのようなものがあるのか、発掘とはどのような方法と目的をもっているのか、などについて、考古学の学問内容と、どのような方法で現在の考古学的成果が提出されているのかを、理解することができる。
- ◆**授業方法** 毎回配布（あるいはまとめて配布）するプリントと、プロジェクターに写す発掘調査や出土遺物などの画像・動画をもとに、プロジェクターに出す説明文をノートに書き取りながら、説明を加えていく授業形態をとる。受講者数が少ない場合は毎回配る出席票の裏面に、質問を記入してもらう方式をとる。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 考古学とは何か？ 考古学と隣接諸学のなかで、古生物学・文献史学・文化（社会）人類学・自然（形質）人類学・民族学・民族学との違いを説明する。
	事前学修 考古学はどのような学問かを調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
2 回	授業内容 時代区分論 考古学で用いる時代区分は、どのような基準をもっているのか。ヨーロッパと日本の事例を紹介する。
	事前学修 事前に配布した、第 2 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
3 回	授業内容 研究方法とその変化 考古学が開始された明治期から現代までの、日本における研究方法の変化を解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 3 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
4 回	授業内容 発掘調査の目的と方法 発掘調査はどのような目的を方法をもっているのかについて説明する。
	事前学修 事前に配布した、第 4 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
5 回	授業内容 考古学資料の特性 発掘調査で出土する遺物や遺構は、何故残ったのか？何故そこから出土するのか？について解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 5 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
6 回	授業内容 年代を知る（層位論） 考古学で年代を導き出す方法である、出土層位に基づいた方法を解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 6 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
7 回	授業内容 年代を知る（伴伴遺物と交差年代論） 考古学で年代を導き出す方法である、伴伴遺物と交差年代の方法を解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 7 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
8 回	授業内容 年代を知る（放射性炭素年代法） 出土資料の年代を知る理化学的方法である、放射性炭素年代測定法を解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 8 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
9 回	授業内容 資料の用途 出土した資料がどのような目的で使用されたのか？発掘調査の事例を基に解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 9 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
10 回	授業内容 資料の解釈論 発掘調査で確認できる出土状況から、何がわかるのか。そしてそこから何を導き出せるのか、を解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 10 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
11 回	授業内容 論争と事件（ミネルヴァ論争） 昭和戦前に行われた、縄文文化と弥生文化に時間的な差が存在するのか、という論争について解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 11 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
12 回	授業内容 論争と事件（陵墓治定論） 現在宮内庁によって古代天皇陵として治定されている古墳の、治定にいたる経緯と問題点について解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 12 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
13 回	授業内容 論争と事件（前期旧石器遺跡捏造事件） 1970 年代から行われ 2000 年 11 月に発覚した、前期旧石器遺跡捏造事件について解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 13 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
14 回	授業内容 現代と考古学（遺跡は誰のものか） 遺跡保存の歴史と開発に伴う遺跡破壊に対するこれまでの官民の対応を解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 14 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
15 回	授業内容 現代と考古学（過去の災害をさぐる） 遺跡の発掘調査で確認できる・温暖化・地震・津波・火山噴火などの痕跡から、何がわかり現在にいかされるのか、について解説する。
	事前学修 事前に配布した、第 15 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
	事後学修 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日配布する。
- ◆**参考書** 丸沼『弥生文化読本』 六一書房 3,240 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**成績評価基準** 試験（100%）。毎回出席することを前提として評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済学概論〕

続橋 孝行

- ◆**授業概要** この授業は、ミクロ経済学の分析要具を用いて現実に身の回りで起きている経済事象を分析し、理解することにあります。経済事象としては、AI（人工知能）が経済社会に与える影響、所得格差問題、環境問題などを取り上げます。
- ◆**学修到達目標** 経済主体の合理的行動をしっかりと理解し、ミクロ経済学の分析要具を適切に使い、経済事象を分析することができる。
- ◆**授業方法** 板書を中心とした授業になりますが、教員が一方的に説明し続けるということは避けたいと思っております。ときおり、学生から質問を受けますし、逆に教員のほうから学生に質問をいたします。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：経済の仕組みを説明する。具体的には、家計、企業、政府を取り上げる。 事前学修：テキスト 1-5 ページを読んでおくこと。 事後学修：各経済主体の合理的行動を覚え、理解しておくこと。
2 回	授業内容：市場とは何かを説明する。具体的には、財市場、労働市場、金融市場を取り上げる。 事前学修：テキスト 6-12 ページを読んでおくこと。 事後学修：各マーケットの特徴を理解しておくこと。
3 回	授業内容：需要曲線について学ぶ。 事前学修：テキスト 54 ページを読んでおくこと。 事後学修：需要曲線が、なぜ右下がりの曲線になるのかを理解しておくこと。
4 回	授業内容：供給曲線について学ぶ。 事前学修：テキスト 55-56 ページを読んでおくこと。 事後学修：供給曲線が、なぜ右上がりの曲線になるのかを理解しておくこと。
5 回	授業内容：市場価格および完全競争市場について説明する。 事前学修：テキスト 56-59 ページを読んでおくこと。 事後学修：市場価格で取引が行われると、パレート最適が実現するということを理解しておくこと。
6 回	授業内容：消費者行動理論について説明する。 事前学修：前回の授業を確認し、配布資料に目を通しておくこと。 事後学修：基数的効用の特徴について理解しておくこと。
7 回	授業内容：基数的効用を使って所得格差問題を考察する。 事前学修：配布資料に目を通しておくこと。 事後学修：期待所得および期待効用について理解しておくこと。
8 回	授業内容：人工知能（AI）と所得格差問題を説明する。 事前学修：配布資料に目を通しておくこと。 事後学修：労働生産性について理解しておくこと。
9 回	授業内容：生産者行動理論について学ぶ。 事前学修：テキスト 43-44 ページを読んでおくこと。 事後学修：生産者の合理的行動について理解しておくこと。
10 回	授業内容：「費用」について学ぶ。 事前学修：テキスト 44-46 ページを読んでおくこと。 事後学修：「総費用」は「固定費用」と「変動費用」で構成されるということ覚え、理解しておくこと。
11 回	授業内容：「利益の最大化」について考察する。 事前学修：テキスト 46-47 ページを読んでおくこと。 事後学修：限界収入と限界費用が一致したとき、生産者の利益が最大になる、ということを理解しておくこと。
12 回	授業内容：損益分岐点について学ぶ。 事前学修：テキスト 47 ページを読んでおくこと。 事後学修：損益分岐点では企業の利潤がゼロになるということを理解しておくこと。
13 回	授業内容：企業「倒産」について考察する。 事前学修：配布資料に目を通しておくこと。 事後学修：「債務超過」になれば倒産の確率が高まるということを理解しておくこと。
14 回	授業内容：環境問題について考える。 事前学修：配布資料に目を通しておくこと。 事後学修：環境問題を解決する際、政府が重要な役割を果たすということを理解しておくこと。
15 回	授業内容：これまでの授業のまとめと理解度の確認 事前学修：自筆のノートの整理をしておくこと。 事後学修：分析の要具、専門用語をしっかりと覚え、理解しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『Next 教科書シリーズ経済学入門』山口正春・楠谷清編 弘文堂 2019 2,160 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 資料を必要に応じて配布します。
- ◆**成績評価基準** 筆記試験 90%、「授業への取り組み」10% で評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【貿易論】 オープン受講：不可

松原 聖

◆**授業概要** 国際貿易、国際収支、外国為替に関する問題を中心とする日本経済・世界経済の諸問題について、履修者が基礎的な知識を得て、同時に分析能力を養うことを狙いとします。主なトピックは以下の通りです：(1) 日本の対外取引の現状、(2) 貿易の利益と国内問題、(3) 貿易実務の基礎、(4) 国際収支、(5) 外国為替市場と為替レート、(6) 海外直接投資と貿易構造。

◆**学修到達目標** 1. 日本の貿易構造をデータ・理論両面から理解し、比較優位および保護主義の観点からこれらを説明できる。  
2. 日本の国際収支および直接投資を理解し、国際経済・マクロ経済の観点からこれらを説明できる。  
3. 外国為替市場および為替レートの日本経済への影響を理解し、関連する(貿易)実務の基礎を身に着ける。

◆**授業方法** 講義においては理論の説明だけでなく、統計データや日本経済新聞の記事などを元に、学習到達目標に掲げた点を重視しながら、授業概要に挙げた諸問題を説明します。講義当日の日本経済新聞朝刊を持参すると良いでしょう。教科書と共に、配布資料を適宜使用します。時間が許せば各講義日の最後にその日の講義のまとめなどを行う予定です。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容 イントロダクション (講義の概観)：講義の進め方・成績評価の仕方などを説明する。続いて財務省「貿易統計」(資料配布)を参照しながら、日本の貿易の概要(全体的傾向、主な貿易相手国・地域、主な輸出品・輸入品など)を確認する。
	事前学修 教科書第 1 章を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容 比較優位の原理 I：リカードの貿易理論を説明する。
	事前学修 教科書第 2 章 (20 ページまで) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容 (ミクロ) 経済学の基礎である「需要・供給分析」を説明する。
	事前学修 教科書第 2 章補論を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容 比較優位の原理 II：ヘクシャー・オリーンの貿易理論 (その 1) を説明する。
	事前学修 教科書第 3 章 (39 ページまで) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容 比較優位の原理 II：ヘクシャー・オリーンの貿易理論 (その 2) を説明する。
	事前学修 教科書第 3 章 (39 ~ 44 ページ) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容 保護主義に関するいくつかの議論を説明する。
	事前学修 教科書第 4 章を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容 貿易実務の基礎的な内容 (その 1) を説明する。
	事前学修 教科書第 5 章 (62 ページまで) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容 貿易実務の基礎的な内容 (その 2) を説明する。
	事前学修 教科書第 5 章 (62 ~ 70 ページ) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容 国際収支表について説明する。
	事前学修 事前配布資料 (国際収支統計及び補足資料) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容 日本の国際収支の長期的傾向と、マクロ経済との関係について説明する。
	事前学修 教科書第 6 章 (81 ~ 90 ページ) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容 外国為替市場について説明する。
	事前学修 為替リスクに関する事前配布資料を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容 為替レートと日本経済の関係について説明する。
	事前学修 教科書第 7 章 (98 ~ 107 ページ) を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容 海外直接投資について説明する。
	事前学修 教科書第 8 章を読んでおくこと。
	事後学修 講義内容を整理し、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容 理解度の確認
	事前学修 教科書：ノートを読み、特に重要な点を事前にノートにまとめておくこと。
	事後学修 要点項目として講義で挙げたものを再確認し、授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容 試験及び解説
	事前学修 講義内容を偏りなく復習しておくこと。
	事後学修 試験略解を確認・理解して、自身の解答が適切かどうかを再確認すること。

◆**教科書** 教材『貿易論 S30400』通信教育教材(教材コード 000439) 2,700 円 (送料込)

◆**参考書** 丸沼『マンキュー入門経済学 (第 2 版)』N. グレゴリー・マンキュー著 足立ほか訳 東洋経済新報社 2014 年 3,456 円 (税込) (送料 500 円)

丸沼『徹底解説 国際金融～理論から実践まで』清水順子・大野早苗・松原聖・川崎健太郎著 日本評論社 2016 年 2,808 円 (税込) (送料 350 円)

◆**成績評価基準** 授業への取組(発言等)・試験により、総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔英語科教育法Ⅱ〕

市川 泰弘

◆**授業概要** 本講義では英語を教える目的を見据え、日本の英語教育の現状を踏まえながら5つの領域（Reading, Listening, Writing, Speaking, Debating）をどのように指導していくか実際の現場の状況をとらえながら理解し、また新たに築き上げるための能力を身につけ、さらに今後の英語教育のあり方について対象となる生徒・学生の能力・取り組む意識を心にとめながら考察していく。

◆**学修到達目標** 本講義の目標は、1）5つの領域（Reading, Listening, Writing, Speaking, Debating）についてそれぞれの具体的なポイントを理解し、2）各領域の指導方法を理解し、3）今求められている英語教育の具体的な内容を把握することである。さらに個々の内容は当然学生・生徒のモチベーション・能力の違いによって変化していくものであるから、その変化に対応できる能力および対応の基盤となる英語力を修得し、様々な教えるための方策を作成できるようにすることを旨とする。

◆**授業方法** テーマを設定し、グループディスカッションを行い、発表をしてもらいます。テーマに関する資料は事前あるいは当日配布し、決められた時間で内容をまとめ、議論へを進めていきます。各テーマごとにその日の最後にレポートを作成、提出してもらいます。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	オリエンテーション、5つの領域（Speaking, Listening, Writing, Reading, Presentation）と今までの英語教育、従来どのような教育方法を行ってきたかを概観し、長所・短所を明らかにする。テーマディスカッションを行い、最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
2 回	授業内容	Input としての領域（Listening とその指導概要）について、教える対象（小学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
3 回	授業内容	Input としての領域（Listening とその指導概要）について、教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
4 回	授業内容	Input としての領域（Listening とその指導概要）について、教える対象（高等学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
5 回	授業内容	Input としての領域（Reading とその指導概要）について、教える対象（小学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
6 回	授業内容	Input としての領域（Reading とその指導概要）について、教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
7 回	授業内容	Input としての領域（Reading とその指導概要）について、教える対象（高等学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
8 回	授業内容	Output としての領域（Writing とその指導概要）について教える対象（小学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
9 回	授業内容	Output としての領域（Writing とその指導概要）について教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
10 回	授業内容	Output としての領域（Paragraph Writing とその指導概要）について教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
11 回	授業内容	Output としての領域（Writing とその指導概要）について教える対象（高等学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
12 回	授業内容	Output としての領域（Paragraph Writing とその指導概要）について教える対象（高等学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
13 回	授業内容	Output としての領域（Speaking とその指導概要, Presentation とその指導概要）について教える対象（小学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
14 回	授業内容	Output としての領域（Speaking とその指導概要, Presentation とその指導概要）について教える対象（中学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。
15 回	授業内容	Output としての領域（Speaking とその指導概要, Presentation とその指導概要）について教える対象（高等学校）に関して具体的に考え、テーマディスカッションを行う。最後にレポートを作成し、提出する。
	事前学修	参考文献の授業内容に関わる部分を読む。
	事後学修	配付資料を復習する。

◆**教科書** 資料を作成し、配布します。

◆**参考書** **通材** 『英語科教育法Ⅱ TS2100』 通信教育教材（教材コード 000490）3,600 円（送料込）

**丸沼** 『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』 金谷憲著 大修館書店  
1,944 円（税込）（送料 300 円）

**丸沼** 『Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (4th Edition)』 Brown, H.D. Longman 5,389 円（税込）（送料 500 円）

◆**成績評価基準** 講義内でのディスカッション、発表、レポートなどで総合的に判断します。詳細は第 1 回目の講義で説明します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔博物館教育論〕

岡部 幹彦

◆**授業概要** 博物館教育の目的とともにその特質を理解し、基本となる理念と実践方法に関する知識を修得する。これにより《学びの契機》《学びのサポート》《学びのサイクルの創出》に必要な知識・能力を養う。また、博物館教育と生涯学習や学校教育との関係を理解する。内外の優れた事例を通じて博物館でのさまざまな教育事業について学修し、教育事業の企画力・実践力を身につける。

◆**学修到達目標** 1. 博物館教育に携わる学芸員として多様で魅力的な教育事業を企画する視点を身につけることができるとともに、あらゆる博物館事業を教育的観点から捉えることができる。2. 市民の学びをサポートするために必要なコミュニケーション能力について理解し育むことができる。3. 他の機関や組織、市民グループ等と連携して地域の学びをサポートすることを理解できる。

◆**授業方法** 毎回の授業時に資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進行することを基本とするが、積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求める。博物館教育に係る映像資料や実物資料を用いて多様な視点を提供するとともに、教育事業の企画書の作成を体験する。また、各授業終了時に必要に応じ要点確認レポートの提出を求める。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 《オリエンテーション》授業の進め方と留意点、博物館の定義・機能と博物館教育 事前学修: 博物館の教育事業についてどのような事業が実施されているか各館のウェブサイトで調べておくこと 事後学修: 博物館法・ICOM の定義を理解し、博物館教育の目的等について整理しておくこと
2 回	授業内容: 博物館教育の特質、博物館ならではの教育とは、教育・学習と自由な学び 事前学修: 社会教育について調べ理解しておくこと 事後学修: 博物館ならではの教育事業の事例を調べ、その概要をまとめておくこと
3 回	授業内容: モノから学ぶこと、モノの意味、歴史的価値・学術的価値・芸術的価値、観察と鑑賞 事前学修: 観察という行為について調べておくこと 事後学修: 1 点の有形の文化遺産を例として、これに係るモノ・コト・ヒト・環境などの要素を書き出して理解を深めること
4 回	授業内容: 展示と教育、展示テーマと学び、展示と資料情報の提供—海外の事例から 事前学修: 博物館の展示を観覧しどのようなかたちで資料情報が提供されているか調べておくこと 事後学修: 1 点の資料・作品を選び、講義内容を踏まえた解説を作成すること
5 回	授業内容: 学びの契機の提供と学びのサポートから学びのサイクルの創出へ 事前学修: 博物館のウェブサイトで継続的な学習活動について調べ、その概要をノートに整理しておくこと 事後学修: 博物館のサポートを受けて活動している市民学習グループ等について身近な事例を調べ、概要を整理しておくこと
6 回	授業内容: 学びの手法、ワークショップ本来の意味から学びの手法を考える、主体的な学びとファシリテーターの役割、気づきと気づきの共有を通じて学ぶ 事前学修: ワークショップの歴史と本来の意味を調べ理解しておくこと 事後学修: ワークショップを企画・立案し、企画書を作成すること
7 回	授業内容: 事例に学ぶ (1) 教育事業の企画と実践 事前学修: 博物館のウェブサイト等で子ども向けの教育事業について調べておくこと 事後学修: 教育事業を企画する際に考慮すべき点について整理して理解すること
8 回	授業内容: 事例に学ぶ (2) 多様な博物館教育、ICT ツールと博物館教育 事前学修: 博物館のウェブサイトを開覧し、ウェブ学習コンテンツを調べておくこと 事後学修: 事前学修で調べた学習コンテンツについて講義を踏まえて評価すること
9 回	授業内容: 博物館を学ぶ、博物館を学ぶプログラム、博物館リテラシー、人材育成 事前学修: 博物館リテラシーについて調べておくこと 事後学修: 博物館を学ぶプログラムの事例を調べ博物館機能との関係を整理し理解すること
10 回	授業内容: 学びのサポートとコミュニケーション能力、知識・情報の伝達から理解の共有へ 事前学修: 「コミュニケーション能力」とは一般にどのようなものとされているか調べておくこと 事後学修: 興味・関心の深化を促すためのコミュニケーションについて整理しておくこと
11 回	授業内容: 博物館と学校教育 (1) 学校教育と博物館教育、総合的な学習の時間と博学連携 事前学修: 総合的な学習の時間について各自の体験を整理し、評価しておくこと 事後学修: 総合的な学習の時間のねらい・目的と博物館教育について整理し理解しておくこと
12 回	授業内容: 博物館と学校教育 (2) 博学連携事業の現状と課題、授業科目と博物館利用 事前学修: 博学連携事業について各自の経験を整理しておくこと 事後学修: 講義の事例以外の優れた博学連携事業を調べ評価すること
13 回	授業内容: 市民の学習活動と博物館、生涯学習と博物館、ボランティアと学び 事前学修: 生涯学習の理念について調べておくこと 事後学修: 学習要素の強いボランティア活動の事例を調べその概要を整理し、評価すること
14 回	授業内容: 海外の博物館教育、社会の課題と博物館教育 事前学修: 配付資料を再読し、主要項目のインデックスを作成しておくこと 事後学修: 1960 年のユネスコ勧告について要点を整理しておくこと
15 回	授業内容: まとめ、博物館教育の可能性と学芸員の果たすべき役割 【試験】 事前学修: 博物館の各種事業における教育・学習要素を整理しておくこと 事後学修: 講義を踏まえ博物館教育に求められる学芸員像を整理しておくこと

◆**教科書** 当日資料配布

◆**参考書** 教材『博物館概論 Y20300』通信教育教材 (教材コード 000492) 2,850 円 (送料込)  
〈この教材は市販の『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会著 (芙蓉書房出版) と同一です。〉

◆**成績評価基準** 授業への取り組み (20%)、要点確認レポート (20%)、試験 (60%)

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# Ⅲ 地方スクーリング

## 1 開催地及び開講日程

開講期	開催地	日程	授業時間
6月期	札幌	6月 15日(土)	10:00～18:30
		16日(日)	9:00～18:30
		17日(月)	9:00～16:30 <試験も含む>
	大阪	6月 15日(土)	9:30～18:30
		16日(日)	9:00～18:30
		17日(月)	9:00～16:00 <試験も含む>
7月期	名古屋 福岡	7月 13日(土)	9:30～18:30
		14日(日)	9:00～18:30
		15日(月)	9:00～16:00 <試験も含む>

※いずれの日程も授業時間内に休憩時間を設けます。

※各期から1開催地1講座のみの申込みです。

## 2 実施会場

開催地別の会場は下表のとおりです。

会場における具体的な授業講堂は、受講生あてに通知にて事前にお知らせするとともに、授業開始初日に会場にて掲示します。

なお、各会場の使用にあたって、以下の事項に注意してください。

### 【注意事項】

- ・自家用車・バイクの通学を禁止します。
- ・指定された場所以外での喫煙を禁止します。
- ・各自、ゴミは持ち帰ってください。
- その他、会場の使用上の注意を守ってください。

開講期	開催地	会場	会場案内
6月期	札幌	かでの 2.7	85 ページ
	大阪	近畿大学東大阪キャンパス	89 ページ
7月期	名古屋	中産連ビルディング株式会社	93 ページ
	福岡	リファレンス駅東ビル	97 ページ

※「会場」は後掲の「開講講座表、会場及び講座内容（シラバス）」に開催地別に掲載。

## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

# 地方 6月期 札幌

日	程	授業時間	備考
6月15日	土	10:00～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月16日	日	9:00～18:30	
6月17日	月	9:00～16:30 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時50分から行いますので、参加してください。

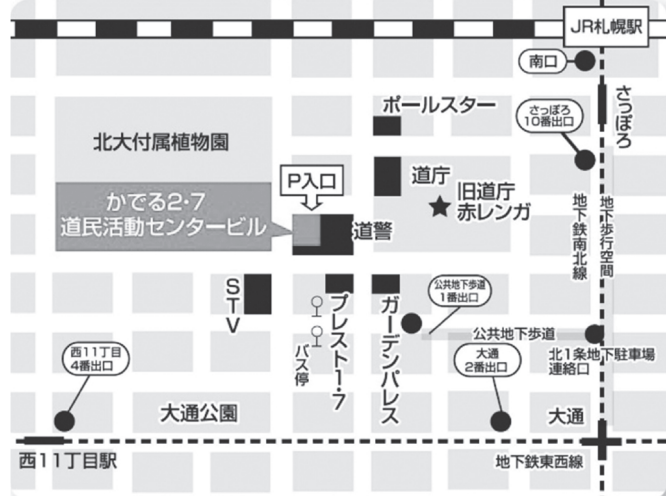
※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位数	充当科目		制限・注意		受オープン
				科目コード	科目名	併用	配当学年	
F8A1	歴史学	林 亮	2	B11100	歴史学		1年	
F8A2	イギリス文学史I	前島 洋平	2	N20100	イギリス文学史I		条件参照	・英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
F8A3	経済開発論	前野 高章	2	R31400	経済開発論		2年	

### 札幌

かでの2.7  
北海道立道民活動センター  
札幌市中央区北2条西7丁目  
道民活動センタービル

- ・ JR札幌駅南口：徒歩13分
- ・ 地下鉄  
さっぽろ駅（10番出口）：徒歩9分  
大通駅（2番出口）：徒歩11分  
西11丁目駅（4番出口）：徒歩11分
- ・ JRバス北1条西7丁目（停留所）：徒歩4分  
・ 中央バス北1条西7丁目（停留所）：徒歩4分  
・ 公共地下歩道  
(地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口をお通りください)



### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔歴史学〕

林 亮

◆**授業概要** 本講義では、フランス共和国の首都パリが、古代にその地に初めて集落が出来てから、中世フランス王国の首都となり、やがてフランス大革命の舞台となって近代ヨーロッパ社会の幕開けを告げた後にも、常にヨーロッパ社会の中心であり続けて今日に至るまでの大きな歴史の流れを追っていきます。この都市の歴史を学ぶことは、ヨーロッパの歴史を知ることにつながり、ヨーロッパの人々の社会と文化を知る手がかりとなります。

◆**学修到達目標** 1) 都市パリが、フランス、ひいてはヨーロッパ社会に対して果たした役割と位置付けを説明できるようにする。  
2) ヨーロッパ史の文脈で社会の位置付けを検討し、都市と社会との関係、文化のあり方を考えられるようにする。  
3) 古代・中世パリの歴史を通して、都市パリの特殊性を考えられるようにする。

◆**授業方法** 講義形式で行います。毎回、パワーポイントを用いたトピックや要点の提示と、教科書や当日配布プリントをもとに解説します。事前学修の理解を確認しながら、各回のテーマに沿ってより深く考察を行います。3 日目に試験を行い、学修の到達度を確認します。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干変更することがあります。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容	ガイダンス 授業のテーマや到達目標について、授業の進め方や事前学修・事後学修の方法について、また評価の方針について説明します
	事前学修	シラバスをよく読み、授業概要や授業計画について概要を把握しておくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
2 回	授業内容	イントロダクション 都市パリの案内、ヨーロッパ史概要
	事前学修	教科書 iv 頁の次頁にあるフランスの地図の概要を把握しておくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
3 回	授業内容	古代・フランク時代のパリ パリの歴史：古代編 (パリの始まり、古代ローマ都市ルテティアの歴史、フランク王国時代のパリ)
	事前学修	教科書 1 ~ 22 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
4 回	授業内容	Topic: パリ包囲戦 ノルマン人 (ヴァイキング) の襲撃から、いかにパリの町を防衛したかを解説します
	事前学修	教科書 1 ~ 22 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
5 回	授業内容	中世のパリ パリの歴史：中世編 1 (カペー家による首都構築、真の王都として生まれ変わったパリ)
	事前学修	教科書 23 ~ 46 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
6 回	授業内容	Topic: パリの橋の上からみる中世都市文化 写本挿絵に描かれた、セヌ川にかかる橋を通る人々の姿から、中世に生きる人々の生活を紹介します
	事前学修	教科書 23 ~ 46 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
7 回	授業内容	百年戦争とパリ パリの歴史：中世編 2 (英仏百年戦争におけるパリ市の立ち位置、ジャンヌ・ダルクとパリ)
	事前学修	教科書 47 ~ 66 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
8 回	授業内容	Topic: 『パリ一住人の日記』 百年戦争時代に記録されたある日記の生き生きとした描写から、時代の転換期の様子を紹介します
	事前学修	教科書 47 ~ 66 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
9 回	授業内容	絶対王政の都パリ パリの歴史：近世編 (宗教戦争の舞台、宮廷人と民衆、アンジャン・レジーム)
	事前学修	教科書 67 ~ 112 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
10 回	授業内容	Topic: 革命の都パリ パリ市がフランス革命の舞台として、どのように出来事が展開されていったのか、革命家たちがどのように活動したのか、解説します
	事前学修	教科書 113 ~ 137 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
11 回	授業内容	19 世紀のパリ パリの歴史：近代編 1 (オースマンの都市計画、ロマン主義と社会主義)
	事前学修	教科書 139 ~ 182 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
12 回	授業内容	Topic: 万博都市パリ 19 世紀に 5 回、パリで開催された万国博覧会を通じて、この時代にパリから発信された文明・文化の活気を紹介します
	事前学修	教科書 139 ~ 182 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
13 回	授業内容	二つの世界大戦とパリ パリの歴史：近代編 2 (総力戦体制と工業化および女性の社会進出、ヴィシー政権下のナチス協力)
	事前学修	教科書 183 ~ 204 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
14 回	授業内容	Topic: 世界とつながるパリ パリに住む様々な人種、民族、文化を背景とする人々、またパリで体験する様々な世界の文化について解説します
	事前学修	教科書 205 ~ 226 頁の部分をよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
15 回	授業内容	試験および解説
	事前学修	14 回までの授業の内容をノートに整理し、配布資料を読んで授業内容を確認し理解しておくこと
	事後学修	試験内容やその解説を通じ、授業全体の内容について改めて整理し、理解すること

◆**教科書** 丸沼『フランス史 10 講』(岩波新書) 柴田三千雄著 岩波書店 2006 年 885 円 (税込) (送料 215 円)

〔当日資料配布〕 レジューメとして、授業内容の、個別のテーマに沿った概要や要点、参考図表などをまとめたペーパーを随時配布します。これを元に、講義内容を適宜メモしたりノートを作成するなどして自分なりにまとめて下さい。

◆**参考書** 指定しない

◆**成績評価基準** 試験 (70%)、平常点 (30%) 3 日目の試験、および 1・2 日目のリアクションペーパー等による授業参画度に応じて、総合的に評価します。毎回出席することが前提となります。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【イギリス文学史 I】

前島 洋平

◆**授業概要** イギリス文学史は無機質な作品群の集合体ではなく、多くの場合、当時の社会や作家自身のドラマに満ちあふれた刺激的な内容を備えている。本講義では、英文学に興味を持ち専門的に学ぼうとする学生だけでなく、将来の英語科教員を目指す方にも関心をもって受講できるように、グループ発表を一部取り入れながら、十八世紀までのイギリス文化の一面を理解できるよう心掛ける。

◆**学修到達目標** 1. 作家、作品の特徴を理解し、当時のイギリス社会における存在意義を説明できる  
2. 同時代または他の時代の作家、作品と比較することで、当該作家、作品の文学史上の意義を説明できる

◆**授業方法** 1. 指定テキストを基にしなが、担当教員が個々の作家と作品、当時の社会状況について説明する。  
2. 事前に配布したプリント（個々の作家の代表作の一部）を音読・吟味しながら理解を深める。この作品鑑賞は、初回の授業時に決定するグループでの発表形式を採用するで、予習は必須である。  
また、原作に目を通したのちに該当箇所を映像で鑑賞し、受講者の皆さんと意見交換を行う。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: 授業の進め方、古期から中世へ (2-10 頁): 『ベオウルフ』とチョーサー『カンタベリー物語』 事前学修: テキスト 10 頁までを読んでおくこと。プリント 1 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
2 回	授業内容: ルネサンスが花ひらく (11-22 頁): モア、ワイアット、シドニー、スペンサーなど 事前学修: テキスト 22 頁までを読んでおくこと。プリント 2 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
3 回	授業内容: 演劇時代の到来 (23-31 頁): キッド、マローウなど 事前学修: テキスト 31 頁までを読んでおくこと。プリント 3 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
4 回	授業内容: そしてシェイクスピア登場 (32-38 頁): 歴史劇と喜劇、映像鑑賞と意見交換含む 事前学修: テキスト 38 頁までを読んでおくこと。プリント 4 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
5 回	授業内容: そしてシェイクスピア登場 (39-43 頁): 悲劇とロマンス劇、映像鑑賞と意見交換含む、課題提示 (小論文) 事前学修: テキスト 43 頁までを読んでおくこと。プリント 5 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
6 回	授業内容: 時代は清教徒革命に向かう (44-52 頁): ベイコン、欽定英訳聖書、ベン・ジョンソンなど 事前学修: テキスト 52 頁までを読んでおくこと。プリント 6 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
7 回	授業内容: 時代は清教徒革命に向かう (52-56 頁): ジョン・ダン、アンドリュー・マーヴェルなど 事前学修: テキスト 56 頁までを読んでおくこと。プリント 7 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
8 回	授業内容: 清教徒革命の後 (57-66 頁): ジョン・ミルトンなど 事前学修: テキスト 66 頁までを読んでおくこと。プリント 8 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
9 回	授業内容: 清教徒革命の後 (66-71 頁): ジョン・バニヤン、ジョン・ドライデン 事前学修: テキスト 71 頁までを読んでおくこと。プリント 9 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
10 回	授業内容: 十八世紀の散文、詩、そして劇 (78-81 頁): アレグザンダー・ポープ、サムエル・ジョンソン、課題提示 (小論文) 事前学修: テキスト 81 頁までを読んでおくこと。プリント 10 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
11 回	授業内容: 十八世紀の散文、詩、そして劇 (81-84 頁): ゴールドスミス、シェリダン、ゴシック小説 事前学修: テキスト 84 頁までを読んでおくこと。プリント 11 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
12 回	授業内容: 小説時代の到来 (72-7&85-7 頁): ダニエル・デフォーとジャーナリズム、ジョナサン・スウィフトなど 事前学修: テキスト 72-7、85-7 頁を読んでおくこと。プリント 12 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
13 回	授業内容: 小説時代の到来 (87-92 頁): サミュエル・リチャードソン、ヘンリー・フィールディングなど 事前学修: テキスト 92 頁までを読んでおくこと。プリント 13 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
14 回	授業内容: 小説時代の到来 (92-98 頁): 悪漢小説、ジェイン・オースティン、映像鑑賞と意見交換含む 事前学修: テキスト 98 頁までを読んでおくこと。プリント 14 の内容を辞書等を使って調べておくこと。 事後学修: 授業内容をノートにまとめ、理解を深めること。
15 回	授業内容: 総復習と試験 事前学修: これまでの授業内容を理解し、それを説明できるようにしておくこと。 事後学修: 授業で扱った作家について調べ、その代表的な作品を翻訳で読んでみる。

◆**教科書** 丸沼『イギリス文学史入門』川崎寿彦著 研究社 1986 年 2,484 円 (税込) (送料 300 円)  
事前資料送付 事前にプリント配布 (作品からの抜粋。授業時にグループ発表する資料)

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 試験 (60%)、小論文 (20%)、授業参画度 (20%)

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済開発論〕

前野 高章

◆**授業概要** 新興国や途上国の経済発展はいまや世界経済に強い影響を与えており、先進国と新興国や途上国との経済的結びつきは深まっている。本講義では経済発展の基礎理論と経済発展の源泉に関する主要論点を学ぶことから、新興国および途上国の経済発展を歴史的側面、理論的側面、政策的側面から理解し、グローバル化による経済的影響について考えていく。

◆**学修到達目標** 発展途上国の経済開発がどのように変遷してきたのか、という点を歴史的側面、理論的側面、政策的側面から学ぶことにより、アジア地域の新興国や発展途上国の経済開発の現状や直面している課題について理解・説明できるようになることを目的とする。

◆**授業方法** 授業は講義形式を基本とする。教科書および配布資料にもとづき、板書とパワーポイントで講義を行う。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：講義の進め方、オリエンテーション、経済発展とは何か？ 事前学修：教科書、参考書などから経済発展とは何かを把握する。 事後学修：講義の内容を整理し、配布資料を読んで、講義内容を理解する。
2 回	授業内容：経済開発論の位置づけ 事前学修：前回の配布資料の要点を確認する。 事後学修：配布資料をもとに講義内容をまとめる。
3 回	授業内容：開発問題の歴史的展開－南北問題の発生－ 事前学修：教科書、参考書、配布資料などから南北問題の意味について確認する。 事後学修：講義内容をもとに南北問題の発生経緯について整理する。
4 回	授業内容：開発問題の歴史的展開－南北問題の変容と新興国の台頭－ 事前学修：教科書、参考書、配布資料などから途上国と新興国の格差問題について確認する。 事後学修：講義内容をもとに南北問題について整理する。
5 回	授業内容：アジアの開発経験 事前学修：配布資料と第 1 章の 1－2 と 1－3 を読む。 事後学修：講義内容をもとにアジア地域の経済開発について整理する。
6 回	授業内容：経済発展と工業化－開発戦略について－ 事前学修：配布資料と第 1 章の 1－4 を読む。 事後学修：講義内容をもとにアジア地域の工業化について整理する。
7 回	授業内容：経済発展と工業化－輸入代替工業化と輸出志向工業化について－ 事前学修：配布資料と第 1 章を読み、要点を確認する。 事後学修：講義内容をもとに工業化政策について整理する。
8 回	授業内容：経済成長の持続可能性 事前学修：配布資料と第 2 章を読み、アジアの持続可能性について確認する。 事後学修：講義内容をもとに経済開発における課題について整理する。
9 回	授業内容：経済発展の源泉－貿易と FDI－ 事前学修：配布資料などから貿易・FDI と経済発展の関係性について確認する。 事後学修：講義内容をもとに貿易と FDI の役割について整理する。
10 回	授業内容：経済発展の源泉－情報通信技術と経済発展－ 事前学修：配布資料と第 3 章を読み、経済発展と情報通信技術の関係性を確認する。 事後学修：講義内容をもとに情報通信技術産業と経済発展の関係性について整理する。
11 回	授業内容：経済発展と経済統合 事前学修：配布資料と第 6 章を読み、アジア地域における地域協力について確認する。 事後学修：講義内容をもとに経済統合の意義について整理する。
12 回	授業内容：経済発展と開発援助 事前学修：配布資料および第 5 章および第 7 章 7－1 を読む。 事後学修：講義内容をもとに途上国の開発援助について整理しておく。
13 回	授業内容：アジアの経済発展と国際機関の役割 事前学修：配布資料および第 7 章 7－2 を読む。 事後学修：国際機関の役割について整理する。
14 回	授業内容：理解度の確認 事前学修：これまで配布した資料を熟読し、要点をノートにまとめる。 事後学修：講義内容の要点項目を再確認し、講義内容をノートに整理する。
15 回	授業内容：試験および総まとめ 事前学修：全配布資料から講義の要点をまとめる。 事後学修：講義および試験をふまえ、新興国・途上国の経済発展について再確認する。

◆**教科書** 丸沼『アジア開発経済論』セイジ・F・ナヤ著 文真堂 2013 年 2,916 円（税込）（送料 300 円）  
〔当日資料配布〕講義資料は当日に配布する。

◆**参考書** 題材『経済開発論 R31400』通信教育教材（教材コード 000577）3,050 円（送料込）  
〈この教材は市販の『経済開発のエッセンス』加藤義喜・辻忠博（創成社）と同一です。〉

◆**成績評価基準** 試験 80%、平常点 20%。毎回出席することを前提として評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

# 地方 6月期 大阪

日	程	授業時間	備考
6月15日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
6月16日	日	9:00～18:30	
6月17日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位数	充当科目		制限・注意		受オープン
				科目コード	科目名	併用	配当学年	
F8B1	英語学概説B	真野 一雄	2	N30700	英語学概説		2年	
F8B2	日本史概説A / 日本史概論A	鍋本 由徳	2	Q30200	日本史概説		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。
				K32200	日本史概論			・法学部のみ申込可。
F8B3	広告論	雨宮 史卓	2	S30900	広告論		2年	

大阪

近畿大学東大阪キャンパス

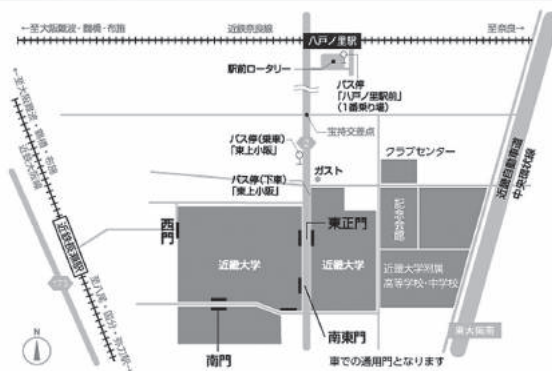
東大阪小若江3-4-1

- ・JR・近鉄大阪線「長瀬」駅から徒歩約10分
- ・近鉄奈良線「八戸ノ里」駅から徒歩約20分

近鉄大阪線・長瀬駅からの経路



近鉄奈良線・八戸ノ里駅からの経路



### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語学概説 B〕

真野 一雄

- ◆**授業概要** 英語学の根幹をなす音韻論・形態論・統語論について基礎的・一般的な分野から専門的な事項まで幅広く概観します。
- ◆**学修到達目標** 英文学専攻の学生として必要な英語学の知識を修得し、英語学とは何か、音韻論・形態論・統語論とは何か、詳細に説明できるようになる。
- ◆**授業方法** テキスト本文の解説、補足説明を行います。「設問」の解答は事前に準備しておいてください。また、必要に応じて担当講師が用意する練習問題もを行います。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：第 1 章 音韻論 1 母音と母音体系 2 子音と子音体系 事前学修：テキスト p. 1-p. 10 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
2 回	授業内容：第 1 章 音韻論 3 形態音素交替 4 音節とモーラ 事前学修：テキスト p. 10-p. 17 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
3 回	授業内容：第 1 章 音韻論 5 アクセント 6 文アクセントとイントネーション 事前学修：テキスト p. 17-p. 28 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
4 回	授業内容：第 2 章 形態論 1 形態論とは 2 派生形態論の主な仕組み 事前学修：テキスト p. 32-p. 41 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
5 回	授業内容：第 2 章 形態論 3 派生形態論のその他の仕組み 4 派生と複合に課される一般的な条件 事前学修：テキスト p. 41-p. 56 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
6 回	授業内容：第 2 章 形態論 5 複合名詞の意味について 事前学修：テキスト p. 56-p. 59 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
7 回	授業内容：第 3 章 統語論 生成文法 1 句構造 事前学修：テキスト p. 62-p. 72 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
8 回	授業内容：第 3 章 統語論 生成文法 2 名詞句 事前学修：テキスト p. 72-p. 78 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
9 回	授業内容：第 3 章 統語論 生成文法 3 移動 事前学修：テキスト p. 78-p. 85 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
10 回	授業内容：第 3 章 統語論 生成文法 4 生成文法の企て 事前学修：テキスト p. 85-p. 87 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
11 回	授業内容：第 4 章 統語論 機能的構文論 1 はじめに 事前学修：テキスト p. 90 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
12 回	授業内容：第 4 章 統語論 機能的構文論 2 文の情報構造（1） 事前学修：テキスト p. 90-p. 97 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
13 回	授業内容：第 4 章 統語論 機能的構文論 2 文の情報構造（2） 事前学修：テキスト p. 97-p. 103 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
14 回	授業内容：第 4 章 統語論 機能的構文論 3 視点 事前学修：テキスト p. 103-p. 115 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
15 回	授業内容：試験とその解説 事前学修：1 章～4 章の総復習をしておく 事後学修：1 章～4 章のまとめをし、理解を完璧にする

- ◆**教科書** **【教材】**『英語学概説 N30700』通信教育教材（教材コード 000567）2,750 円（送料込）  
〈この教材は市販の『日英対照英語学の基礎』（くろしお出版）と同一です。〉
- ◆**参考書** **【丸沼】**『明解言語学辞典』三省堂 2,376 円（税込）（送料 350 円）  
**【丸沼】**『最新英語学・言語学用語辞典』開拓社 4,968 円（税込）（送料 500 円）  
その他の英語学入門書、概説書なら何でも結構です。
- ◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験 100% で評価の予定。（試験は途中退出なしです）

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史概説 A / 日本史概論 A〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学びます。政治や経済の内容を中心に据えながら、社会や文化の背景への理解を深めていきます。

◆**学修到達目標**

1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。
2. 各時代の主なできごとの背景や意義、着眼点について説明できるようにする。
3. 将来教壇に立つ者として必要な知識と学修姿勢を身につける。

◆**授業方法** 当日の授業は下記計画をベースにして、教科書・スクリーン投影資料を併用し、積極的な質疑応答を交えます。受講人数により、2日目午後後に外部施設の見学など、実物による学修をおこないます（実費受講生負担）。

### ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容 旧石器時代から飛鳥時代の概要 ～倭王権の成立と展開～ 集落のあり方や、「クニ」の成立・拡大、律令国家の前提について学びます。
	事前学修 教科書「古代国家の成立」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、倭国の発展について再整理する。
2 回	授業内容 奈良時代・平安時代初期の概要 ～律令国家の成立と展開～ 律令体制の制度、奈良時代の政変、都城の変遷などについて学びます。
	事前学修 教科書「律令国家の形成と展開」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、都、制度について再整理する。
3 回	授業内容 摂関政治と武士団の誕生 ～藤原氏の栄華・荘園公領制～
	事前学修 教科書「摂関政治と地方社会」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、藤原氏と天皇家の関係について再整理する。
4 回	授業内容 平氏政権と鎌倉幕府の展開 ～前期封建社会～
	事前学修 教科書「中世社会の成立と展開」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、平氏と源氏との相違点について再整理する。
5 回	授業内容 南北朝内乱と室町時代 ～建武新政から戦国時代まで～
	事前学修 教科書「内乱と一揆の時代」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、室町時代の社会変動について再整理する。
6 回	授業内容 中世文化 ～鎌倉・北山・東山～
	事前学修 教科書「中世文化の展開」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、各文化の階層的特徴を再整理する。
7 回	授業内容 織豊政権から幕藩制の確立まで ～天下統一と統一政権～
	事前学修 教科書「幕藩体制の確立」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、統一政権としての特徴について再整理する。
8 回	授業内容 幕府政治の動揺と社会変容 ～内憂外患から倒幕へ～
	事前学修 教科書「幕藩体制の動揺と解体」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、内憂外患の社会への影響にて再整理する。
9 回	授業内容 明治政府と近代国家 ～公議世論～
	事前学修 教科書「近代国家の成立」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、自由民権運動の流れについて再整理する。
10 回	授業内容 日清・日露戦争とデモクラシー運動 ～大正政変・普選運動～
	事前学修 教科書「政党政治の発展と社会運動」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、普通選挙法成立までの動向について再整理する。
11 回	授業内容 太平洋戦争と敗戦 ～対英米政策と大日本帝国の矛盾～
	事前学修 教科書「アジア太平洋戦争」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、対英米政策をめぐる動揺について再整理する。
12 回	授業内容 戦後改革と政治 ～民主主義国家への道～
	事前学修 教科書「戦後改革」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、サンフランシスコ平和条約前後の動向について再整理する。
13 回	授業内容 高度経済成長と国民生活 ～オイルショック～
	事前学修 教科書「復興と高度経済成長」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、「もはや戦後でない」の真意について再整理する。
14 回	授業内容 現代の日本 ～政党の混乱～
	事前学修 教科書「現代の世界と日本」を読み、時代概要を把握する。
	事後学修 教科書とノートを見直し、「五五体制」の歩みを再整理する。
15 回	授業内容 講義総括 試験
	事前学修 第 1 回から第 14 回までの授業内容を整理する。
	事後学修 日本史概説の教科書を読み直し、時代の流れを整理・確認する。

◆**教科書** 教材 『日本史概説 / 日本史概論 Q30200/K32200』 通信教育教材（教材コード 000382）2,850 円（送料込）  
〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介（吉川弘文館）と同一です。〉

◆**参考書** 授業時に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※全出席を前提とした評価です。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔広告論〕

雨宮 史卓

◆**授業概要** 広告及び宣伝、PR、プロモーション等の意義を理解し、マーケティング戦略の中でいかにこれらが機能しているかを学ぶ。また、広告戦略及び、ブランド戦略についても考察し、広告が様々な企業組織や生活者の間に存在するコミュニケーション活動であることを理解する。

◆**学修到達目標** 1. 広告及び宣伝、PR、プロモーション等の意義を理解し、マーケティング戦略の中でこれらが、どのように機能しているかを説明できる。  
2. 広告が様々な企業、組織、及び個人の中に存在するコミュニケーション活動であることを理解できる。  
3. ブランド力を強化し、当該ブランドを拡張する場合、どのような広告戦略を行うべきかを企画・検討できるようになる。

◆**授業方法** 初日はテキストに沿いながら広告の基本機能を解説し、二日目以降は、必要に応じて資料を配布して企業の戦略事例を織り交せて広告理論を解説する。また、二日目の後半は、テストの解答方法を解説し、質問を受け付ける。そして、最終日は簡単なテストを実施する。

◆**履修条件** 2019 年度履修スクーリング（前期）及び（後期）「広告論」との積み重ね不可

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：授業の進め方 オリエンテーション 広告とは何か？ ブランド概念とは？ 事前学修：テキストの序章の部分を予め読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容：広告の基本的機能と役割 事前学修：テキスト 31～34 頁の広告コミュニケーションの基本的考え方をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容：マーケティング戦略とプロモーション戦略 事前学修：テキスト 36 頁の図表を見て、マーケティングとプロモーションの関係を把握しておくこと。 事後学修：テキストの図表と配布資料の図表を見比べて、その内容をノートに整理しておくこと。
4 回	授業内容：プロモーション戦略と広告 事前学修：授業のノートと配布資料を確認し、テキスト 36～38 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配布資料を読んで、プロモーション戦略の種類とその内容を確認しておくこと。
5 回	授業内容：ブランドの基本的概念と役割 事前学修：テキスト 1～13 頁をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容：ブランドを軸とした広告戦略の展開 事前学修：授業のノートを確認し、テキスト 15～20 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキスト 20 頁の表におけるブランドの 9 項目を理解しておくこと。
7 回	授業内容：ブランド拡張と広告コミュニケーション 事前学修：授業のノートを確認し、配布資料に目を通した上で、テキスト 24～27 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、配布資料の「ブランド拡張概念図」をノートに書き写しておくこと。
8 回	授業内容：高価格製品の広告戦略 事前学修：授業のノートを確認し、テキスト 39～46 頁をよく読んでおくこと 事後学修：授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容：日用品の広告戦略 事前学修：授業のノートを確認し、テキスト 49～57 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、コモディティ製品の特徴を理解し、配布資料の事例を確認しておくこと。
10 回	授業内容：経験価値とブランド概念 事前学修：テキスト 68～73 頁を熟読し、73 頁の図が意味する内容を把握しておくこと。 事後学修：経済価値としての経験価値を認識した上で、経済価値の変遷をテキスト 68 頁の表を参照して理解しておくこと。
11 回	授業内容：消費者行動と広告 事前学修：授業のノートを確認し、テキスト 99～107 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキスト 101 頁の図をノートに書き写し、その内容を理解しておくこと。
12 回	授業内容：サービス産業における広告戦略 事前学修：授業のノートを確認し、テキスト 108～114 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキスト 109 頁の図と 110 頁の図をノートに書き写し、内容を企画検討しておくこと。
13 回	授業内容：商品ベネフィットと広告 事前学修：授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、配布資料における「消費者シグナル」の概念を整理しておくこと。
14 回	授業内容：広告の効果測定 事前学修：前もって配布資料を確認しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理した上で、理解しておくこと。
15 回	授業内容：授業の内容のまとめ 事前学修：配布資料の項目をテキスト、ノートで前もって確認しておくこと。 事後学修：テキスト全体を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、広告理論・戦略、ブランド概念を理解すること。

◆**教科書** 教材『広告論 S30900』通信教育教材（教材コード 000538）2,450 円（送料込）※学修指導書付き。  
この教材は市販の『ブランド・コミュニケーションと広告』雨宮史卓著（八千代出版）と同一です。  
〔当日資料配布〕必要に応じて資料を配布する

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として評価します。テスト（70%）、平常点（30%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## ◆ 開講講座表、会場案内及び講座内容（シラバス）

# 地方 7月期 名古屋

日	程	授 業 時 間	備 考
7月13日	土	9:30～18:30	※時間内に昼休みを設けます。
7月14日	日	9:00～18:30	
7月15日	月	9:00～16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担 当 講 師 名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	
F9A1	民 法 I	藤 村 和 夫	2	K20200	民 法 I		条件参照 ・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
F9A2	アメリカ文学史B	堀 切 大 史	2	N30200	アメリカ文学史		2年	
F9A3	哲学概論B	江 川 晃	2	P30300	哲 学 概 論		2年	

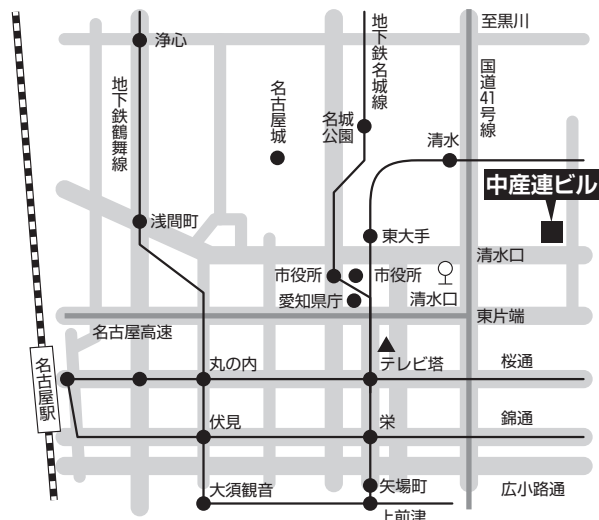
名古屋

中産連ビルディング株式会社

名古屋市中区白壁3-12-13

名鉄瀬戸線「清水駅」徒歩7分

市バス「清水口」徒歩5分



### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔民法 I〕

藤村 和夫

◆**授業概要** 私たちが意識するとなしに関わらず、民法は日常生活と密接に関わっている。その民法の基礎をなしているのが民法総則である。その民法総則の凡その概要を弁護士の実務経験をふまえて通覧する。

◆**学修到達目標** 民法、財産法の基礎である民法総則の凡その内容を理解する。

◆**授業方法** 講義形式であるが、随時質問をまじえて受講者の理解度を確認する。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：基本的事項（民法の意義、原則等） 事前学修：教科書の 1 頁～ 22 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら、記憶を確かに行うこと
2 回	授業内容：権利主体（自然人） 事前学修：教科書の 25 頁～ 30 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら、記憶を確かに行うこと
3 回	授業内容：制限行為能力者 事前学修：教科書の 30 頁～ 59 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら、記憶を確かに行うこと
4 回	授業内容：失踪宣告、権利の客体 事前学修：教科書の 60 頁～ 75 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
5 回	授業内容：法律行為 事前学修：教科書の 77 頁～ 85 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
6 回	授業内容：意思表示 事前学修：教科書の 86 頁～ 110 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
7 回	授業内容：意思表示 事前学修：教科書の 110 頁～ 139 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
8 回	授業内容：代理 事前学修：教科書の 139 頁～ 164 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
9 回	授業内容：代理 事前学修：教科書の 164 頁～ 192 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
10 回	授業内容：無効、取消し 事前学修：教科書の 192 頁～ 206 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
11 回	授業内容：条件、期限、期間 事前学修：教科書の 206 頁～ 220 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
12 回	授業内容：時効 事前学修：教科書の 221 頁～ 242 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
13 回	授業内容：時効 事前学修：教科書の 242 頁～ 279 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
14 回	授業内容：時効 事前学修：279 頁～ 302 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと
15 回	授業内容：法人 事前学修：教科書の 303 頁～ 356 頁を熟読すること 事後学修：講義ノートを整理しながら記憶を確かに行うこと

◆**教科書** 〔丸〕『民法総則』 藤村和夫 信山社 4,536 円（税込）（送料 350 円）  
六法全書（必携・種類は問わない）

◆**参考書** なし。

◆**成績評価基準** 授業でやったことがどの程度理解できているかをみる。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔アメリカ文学史B〕

堀切 大史

◆**授業概要** アメリカ文学史（20世紀前半編）。アメリカの代表的な文学作品における多様な英語表現を学修するとともに、それぞれの時代背景と関連づけながら読むことによって、それぞれの時代の文学作品に描かれているアメリカの多様な文化についても学修します。

◆**学修到達目標** アメリカの代表的な文学作品を、その多様な英語表現に触れながら理解できるようになるとともに、アメリカの多様な文化についても理解できるようになることを目標とします。

◆**授業方法** 講義形式。配付資料に基づいて、各テーマの時代背景および作品読解の方法について講義します。受講生のみなさんには、輪読形式で、配付資料にある英文を音読してもらいます。

◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容：アメリカ文学史とは何か？ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
2回	授業内容：新世紀とユートピア思想①～時代背景～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
3回	授業内容：新世紀とユートピア思想②～作品読解～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
4回	授業内容：スモールタウンとリアリズム①～時代背景～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
5回	授業内容：スモールタウンとリアリズム②～作品読解～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
6回	授業内容：モダニズムとロストジェネレーション①～時代背景～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
7回	授業内容：モダニズムとロストジェネレーション②～作品読解～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
8回	授業内容：大恐慌時代とメイクビリーヴ①～時代背景～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
9回	授業内容：大恐慌時代とメイクビリーヴ②～作品読解～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
10回	授業内容：共産主義とブラックカルチャー①～時代背景～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
11回	授業内容：共産主義とブラックカルチャー②～作品読解～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
12回	授業内容：怒れる若者たちのビートジェネレーション①～時代背景～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
13回	授業内容：怒れる若者たちのビートジェネレーション②～作品読解～ 事前学修：配付資料の精読 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
14回	授業内容：講義全体の理解度の確認 事前学修：配付資料およびノートの確認 事後学修：ノートの整理および講義内容の確認
15回	授業内容：テストおよび講義全体の振り返り 事前学修：配付資料およびノートの確認 事後学修：アメリカ文学作品を実際に読むことによって自らの読解力の確認！

◆**教科書** **事前資料送付** 事前配付資料

◆**参考書** 英語辞典その他の事典や辞典など

◆**成績評価基準** テスト（80%）、授業参加（20%） 毎回出席することを前提として評価します。

## 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学概論B〕

江川 晃

◆**授業概要** 私たちの生活世界は、科学・技術により支えられている。問題は、科学・技術が人類の幸福に役立つという本来の目的を忘れ、我が物顔で幅を利かしていることにある。私たちは、経済至上主義に基づく科学・技術崇拝に偏らず、科学・技術を社会的かつ個人的にコントロールする哲学力を養う必要がある。そのためには現代哲学を知ることが重要である。

◆**学修到達目標** 現代哲学の中から4つの哲学、すなわち、実存主義、構造主義、プラグマティズム、分析哲学に焦点を当て、哲学と科学の発展の深い関係を把握し、現代に含まれる問題を考察する。この授業では、AIに依拠する現代文明に振り回されずに、創造的に生き抜く視点（哲学力）を開発することができる。

◆**授業方法** 4つの哲学について、教科書とパワポを使い講義し、現代との関連に言及する。また、適宜リアクションペーパーに意見・感想・質問等を書いて頂き、討論する予定である。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス：哲学とは何か（「哲学」の語源と意味） 事前学修：シラバスをよく読んでおくこと。 事後学修：配布プリントを復習しておくこと。
2 回	授業内容：古代ギリシアから中世の哲学史 事前学修：配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：中世哲学までの流れを把握しておくこと。
3 回	授業内容：近世の哲学（デカルト、カント、ヘーゲル） 事前学修：配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：3人の哲学者の特徴を把握しておくこと。
4 回	授業内容：キルケゴールの実存主義 事前学修：教科書の該当箇所を予習しておくこと。 事後学修：「実存」とは何か把握しておくこと。
5 回	授業内容：実存の三段階と現代的意義 事前学修：教科書の該当箇所を予習しておくこと。 事後学修：「挫折」による発展を理解しておくこと。
6 回	授業内容：パースのプラグマティズム（探究の方法） 事前学修：教科書の該当箇所と配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：「探究」について説明できるようにしておくこと。
7 回	授業内容：信念の4つの固め方 事前学修：教科書の該当箇所を予習しておくこと。 事後学修：固執の方法、権威の方法、先天的方法、科学の方法について把握しておくこと。
8 回	授業内容：プラグマティズムの格率（pragmatic maxim） 事前学修：教科書の該当箇所を予習しておくこと。 事後学修：プラグマティズムの意味論を把握できるようにしておくこと。
9 回	授業内容：バルトの構造主義（メディアの神話作用） 事前学修：教科書の該当箇所と配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：「神話作用」とは何か把握しておくこと。
10 回	授業内容：「衣服の記号論とモードの体系」 事前学修：教科書の該当箇所を予習しておくこと。 事後学修：言語記号と衣服・モードの関係を理解しておくこと。
11 回	授業内容：分析哲学（ウィトゲンシュタインの『論理哲学論考』） 事前学修：教科書の該当箇所と配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：「写像理論」と「真理関数」を理解しておくこと。
12 回	授業内容：論理実証主義 事前学修：教科書の該当箇所を予習しておくこと。 事後学修：カルナップの「意味の検証理論」とポパーの「反証可能性」を理解しておくこと。
13 回	授業内容：日常言語学派（オースティンの言語行為論） 事前学修：教科書の該当箇所と配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：ウィトゲンシュタインの「言語ゲーム」とオースティンの「言語行為論」を把握しておくこと。
14 回	授業内容：心の哲学（心脳同一説と機械の心） 事前学修：教科書の該当箇所と配布プリントを予習しておくこと。 事後学修：「物理主義」と「機能主義」を把握しておくこと。
15 回	授業内容：試験と解説 事前学修：総復習しておくこと。 事後学修：不明確な点を把握しておくこと。

◆**教科書** 丸沼『21世紀の哲学』笠松幸一他著 八千代出版 3,024円（税込）（送料350円）  
〔当日資料配布〕パワポ原稿

◆**参考書** 通材『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード000404）3,650円（送料込）※学修指導書付。  
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・齊藤隆編著（北樹出版）と同一です。〉

◆**成績評価基準** 試験（50%）、授業参画度〔発言・リアクションペーパー等〕（50%）

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## ◆ 開講講座表, 会場案内及び講座内容 (シラバス)

**地方**  
**7月期**  
**福岡**

日	程	授業時間	備考
7月13日	土	9:30 ~ 18:30	※時間内に昼休みを設けます。
7月14日	日	9:00 ~ 18:30	
7月15日	月	9:00 ~ 16:00 <試験も含む>	

※開講式をスクーリング初日の9時20分から行いますので、参加してください。

※以下の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開位 数講	充当科目		制限・注意		受オ ー プ ン 講
				科目 コード	科目 名	併 用	配当 学年	
F9B1	英語 F	秋葉 倫史	1	C10100	英語 I	×	1年	I~IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II			
				C10300	英語 III			
				C10400	英語 IV			
F9B2	英語学特殊講義 B	吉良 文孝	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年	
F9B3	会計学 B	濱本 明	2	S32800	会計学		2年	

**福岡** リファレンス駅東ビル  
福岡市博多区博多駅東1-16-14

JR博多駅(筑紫口)から徒歩5分

リファレンス会議室は博多駅周辺に3ヶ所ございます。お間違えないよう、ご注意ください。

筑紫口  
・リファレンス駅東ビル  
・はかた近代ビル  
博多口  
・大博多ビル

**注意** 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座の  
選定  
5月1期 東京  
5月2期 東京  
6月期 東京  
7月期 東京  
6月期 札幌  
6月期 大阪  
7月期 名古屋  
7月期 福岡  
夜間  
夜間  
夜間  
夜間  
夜間  
夜間  
夜間  
講座の  
申込方法  
許可と許可  
納入  
受講料の  
準備  
試験  
の  
受講期間中  
の  
学生生活  
受  
講  
各  
種  
用  
紙  
付  
録

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 F〕

秋葉 倫史

◆**授業概要** 本授業では、英文読解を中心として授業を行います。様々な英文（日常生活に関するトピックやニュース・会話等）を通して、自分の力で英文を確実に読む能力を養うことを目的とします。主として文型や品詞といった文構造を理解し、英文の構造を分析する方法を学習していきます。併せて英文を読むために必要な基礎知識（語彙・文法等）の導入も行います。また、読解に沿ってリスニングに関する問題演習も行い、基本的な聴解能力の向上を図ることもねらいとします。これから大学で専門の英語を読み始める前の初級～中級レベルの学習者を主な対象として授業を展開していきます。

◆**学修到達目標** 本講座では、受講生が、①文の構造を理解して、自分の力で正確に英文を読むことができるようになる②身近なトピックに関する英語リスニングの内容を把握できるようになる③英語を学習する上での基礎知識（語彙・文法・発音等）の定着を図ることを目標としています。

◆**授業方法** 授業の序盤では、文構造の分析方法について講義し、英文解釈の基礎を学習します。その後、受講者が読解問題の演習、発表を行う形式を取ります。演習問題として、様々な分野の内容に関する単文から 300～400 語程度の英文を扱っていく予定です。また、プリントやアクティビティ等を用いて基礎知識の導入やリスニング演習（必要に応じて、ライティング・スピーキングといったアウトプット）も適宜取り入れていきます。授業内で使用するため、英語辞書は持参してください。なお、状況に応じて進度は調整することもあります。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス 授業概要・目的・成績評価及び授業全体の進め方について説明する。 事前学修: シラバスを確認の上、本授業で中心に扱う内容を確認しておくこと。 事後学修: 配布プリントの内容を整理し、授業の目標や評価基準を理解しておくこと。
2 回	授業内容: 基礎知識の導入① (文型) 読解の基礎知識として、5 文型を確認する。 事前学修: 事前配布プリント「基礎知識の導入① (文型)」を読んでおくこと。 事後学修: プリント内容を整理し、演習問題を再確認すること。
3 回	授業内容: 基礎知識の導入② (品詞の働きと文の構造) 英文読解に必要な品詞の働きと英文の構造 (文のまとまりと働き) について確認する。 事前学修: 事前配布プリント「基礎知識の導入② (品詞の働きと文の構造)」を読んでおくこと。 事後学修: プリント内容を整理し、演習問題を再確認すること。
4 回	授業内容: 基礎知識の導入③ (演習問題) 文構造に関わる問題演習を通して、第 2・3 回の授業内容を復習し、定着させる。 事前学修: 事前配布プリント「基礎知識の導入③ (演習問題)」を読んでおくこと。 事後学修: プリント内容を整理し、間違えた問題等を中心に再確認すること。
5 回	授業内容: 英文読解のための英文法 高校までに学習した英文法をピックアップし確認することで、英文読解の手掛かりとする。 事前学修: 事前配布プリント「英文読解のための英文法」を読んでおくこと。また、扱う文法について、参考文献や他の英文法書の該当箇所を確認しておくこと。 事後学修: プリント内容の整理及び文法書の再確認を行い、既習事項の定着を図ること。
6 回	授業内容: 英文読解の基礎① 第 5 回の内容と関連させて、各文法項目が含まれた短い英文を読む。 事前学修: 事前配布プリント「英文読解の基礎」を読んでおくこと。また、第 5 回の授業内容を復習しておくこと。 事後学修: プリント内容を再確認し、英文の内容及び扱われた文法事項を整理すること。
7 回	授業内容: 英文読解の基礎② 第 5 回の内容と関連させて、各文法項目が含まれた短い英文を読む (第 6 回の続き)。 事前学修: 事前配布プリント「英文読解の基礎」を読んでおくこと。また、第 5 回の授業内容を復習しておくこと。 事後学修: プリント内容を再確認し、英文の内容及び扱われた文法事項を整理すること。
8 回	授業内容: 英文読解の演習① 様々なトピックの英文を読む。 事前学修: 事前配布プリント「英文読解の演習」を読んでおくこと。 事後学修: 英文を再度読み、内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容: 英文読解の演習② 様々なトピックの英文を読む (第 8 回の続き)。 事前学修: 事前配布プリント「英文読解の演習」を読んでおくこと。 事後学修: 英文を再度読み、内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容: 英文読解の演習③ 様々なトピックの英文を読む。授業内で配布された英文をその場で読解し、その後内容の確認を行う。 事前学修: これまでの学習内容を確認し、初見の英文に対して取り組む基礎知識を整理しておくこと。 事後学修: 英文を再度読み、内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容: 英語発音記号の導入 発音のメカニズムについての知識を導入し、発音記号とその発音について学習する。 事前学修: 参考書等で英語発音記号について確認しておくこと。 事後学修: 授業内配布プリントを整理し、それぞれの発音記号と発音方法について確認すること。
12 回	授業内容: 英語聴解及び読解の演習① 授業内で配布するプリントを用いて、リスニング問題演習を行い、その後読解を通して内容を確認する。 事前学修: 第 10 回までに確認してきた読解の知識・問題を再確認しておくこと。 事後学修: 授業内で扱ったプリントの内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容: 英語聴解及び読解の演習② 授業内で配布するプリントを用いて、リスニング問題演習を行い、その後読解を通して内容を確認する。 事前学修: 第 10 回までに確認してきた読解の知識・問題を再確認しておくこと。 事後学修: 授業内で扱ったプリントの内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容: 英語聴解及び読解の演習③ 授業内で配布するプリントを用いて、リスニング問題演習を行い、その後読解を通して内容を確認する。 事前学修: 第 10 回までに確認してきた読解の知識・問題を再確認しておくこと。 事後学修: 授業内で扱ったプリントの内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容: 試験及び解説 授業内試験を行い、これまでの学習内容の確認をする。 事前学修: これまでの学習内容を確認しておくこと。 事後学修: 問題を再度解きなおし、間違えたところがあれば、そこを中心に再確認すること。

◆**教科書** 事前資料送付 (当日資料配布) 事前及び当日にプリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『英文法解説 (改訂三版)』江川泰一郎著 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 500 円)  
丸沼『改訂新版 初級英語音声学』竹林滋ほか著 大修館書店 2,592 円 (税込) (送料 300 円)  
※上記の参考書は授業内で直接使用するものではありません。

◆**成績評価基準** 試験 (40%)、小テスト (10%)、授業への取り組み (50%) を総合的に評価する。ただし、全出席を前提とします。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語学特殊講義 B】

吉良 文孝

- ◆**授業概要** 「相」(Aspect) に関する基礎的な知識を身につけ、そこからさらに一步踏み込んだ内容を、具体的な例、そして日本語との比較対照を織り交ぜながら講じます。本講座での講義内容全般を通して、ことばの世界に存在する大原則、すなわち、Bolinger のいう「意味と形 (現形式) の一対一の対応関係」を実感することとなります。
- ◆**学修到達目標** 英語学の専攻学生が当然身につけていなければならない「相 (アスペクト)」, ならびにその関連領域についての素養・知識を学修するとともに、英語の文献をしっかりと読みこなす力を養成すること、それを本講座の学習到達目標とします。
- ◆**授業方法** 講義形式ですが、「時制」に関連する重要な論文・著書の原書 (の一部) を演習形式で受講者の皆さんも読むこととなります。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 授業の進め方・オリエンテーション。 事前学修: 教科書の「はしがき」に記した「ことばの世界の大原則」について、その意味するところは何かを具体的に考えておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、「意味と形の一対一の対応関係」の意味合いについて理解する。
2 回	授業内容: 「時制」と「相」(Aspect) の関係を論じます。 事前学修: 教科書の第 1 章 (2 頁から 11 頁まで) を熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
3 回	授業内容: 「相」(Aspect) とは何かを論じます。 事前学修: 教科書の第 5 章 (176 頁から 177 頁まで) を熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
4 回	授業内容: 語彙アスペクトと文アスペクト (その 1: Vendler (1967) の分類) について講じます。 事前学修: 教科書の 178 頁から 182 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
5 回	授業内容: 語彙アスペクトと文アスペクト (その 2: Quirk et al. (1985) から安藤 (2005) の分類) について講じます。 事前学修: 教科書の 182 頁から 188 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
6 回	授業内容: 状態動詞の進行形 (その 1: quality/state) について講じます。 事前学修: 教科書の 188 頁から 191 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
7 回	授業内容: 状態動詞の進行形 (その 2: stance) について講じます。 事前学修: 教科書の 191 頁から 195 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
8 回	授業内容: 状態動詞の進行形 (その 3: 五官動詞, 認識動詞, ほか) について講じます。 事前学修: 教科書の 195 頁から 198 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
9 回	授業内容: 進行相の意味特徴 (その 1: 「時間枠効果」) について講じます。 事前学修: 教科書の 199 頁から 201 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
10 回	授業内容: 進行相の意味特徴 (その 2: 「前段階性」) について講じます。 事前学修: 教科書の 201 頁から 205 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
11 回	授業内容: 現在進行形の注意すべき用法 (その 1: 「動作の反復」(感情的色彩)) について論じます。 事前学修: 教科書の 205 頁から 207 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
12 回	授業内容: 現在進行形の注意すべき用法 (その 2: 「丁寧用法」) について論じます。 事前学修: 教科書の 207 頁から 208 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
13 回	授業内容: 完了相 (その 1: 現在完了形の中核的意味) について論じます。 事前学修: 教科書の 210 頁から 214 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
14 回	授業内容: 完了相 (その 2: 現在完了形の基本的な意味用法とその意味特徴 (「経験用法」, 「創造動詞との共起」, 「主語制約」)) について論じます。 事前学修: 教科書の 214 頁から 223 頁までを熟読しておくこと。 事後学修: 講義内容を整理し、自らのことばでそれを説明解説できるようにする。
15 回	授業内容: 試験, およびその解説。 事前学修: 講義内容全体を整理・暗記し, 試験に備える。 事後学修: 試験解説による自身の学修度の再確認。

- ◆**教科書** 丸沼『ことばを彩る 1 テンス・アスペクト』吉良文孝著 研究社 3,024 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**参考書** 丸沼『英文法解説 (改訂三版)』江川泰一郎著 金子書房 1,836 円 (税込) (送料 500 円)
- ◆**成績評価基準** 試験 (80%), 授業参画度 (20%) により総合的に判断します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔会計学B〕

濱本 明

◆**授業概要** 簿記を知らない又は簿記力に自信が無くても財務諸表（決算書）を読解する方法を習得するための授業です。株式投資に財務諸表を利用する視点で必要な情報の入手・活用方法について学んでいきます。

◆**学修到達目標** 財務諸表の内容を理解・分析して投資意思決定に役立てることができることを目標とします。併せてビジネス会計検定試験3級合格も目指します。ビジネス会計検定試験は、毎年3月、9月に実施されますが、9月受験を希望される方は、6月下旬から7月下旬までの申込期間内に申込みを済ませておくことをおすすめします。

◆**授業方法** ビジネス会計検定試験3級の試験範囲に沿いながら Power Point や板書を用いて解説を行い、必要に応じて問題演習を行います。後半では企業情報の入手・活用方法について解説します。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：オリエンテーション、財務諸表の利用、財務諸表の種類 事前学修：電卓を毎回持参すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで財務諸表について理解しておくこと。
2 回	授業内容：貸借対照表のしくみ、資産総論、流動資産 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで貸借対照表について理解しておくこと。
3 回	授業内容：固定資産、繰延資産、負債総論、流動負債、固定負債 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで資産・負債について理解しておくこと。
4 回	授業内容：株式会社の仕組み、純資産総論、株主資本、評価・換算差額等、新株予約権 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで純資産について理解しておくこと。
5 回	授業内容：損益計算書の仕組み、損益計算のルール、売上総利益、営業利益 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで損益計算書について理解しておくこと。
6 回	授業内容：経常利益、税引前当期純利益、当期純利益 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで各種利益について理解しておくこと。
7 回	授業内容：キャッシュ・フロー計算書 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んでキャッシュ・フロー計算書について理解しておくこと。
8 回	授業内容：財務諸表分析①分析の基礎、百分比財務諸表分析 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで分析の基本について理解しておくこと。
9 回	授業内容：財務諸表分析②成長性分析、安全性分析、キャッシュ・フロー分析 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで安全性分析などについて理解しておくこと。
10 回	授業内容：財務諸表分析③収益性分析、一株当たり情報の分析、一人当たり情報の分析他 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで収益性分析などについて理解しておくこと。
11 回	授業内容：会計制度、連結財務諸表 事前学修：前回の授業内容について問題演習によって理解度を確認すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで会計制度などについて理解しておくこと。
12 回	授業内容：企業情報の入手と活用① 事前学修：配付資料、教科書を熟読し、授業内で解説した内容を理解すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで企業情報について理解しておくこと。
13 回	授業内容：企業情報の入手と活用② 事前学修：配付資料、教科書を熟読し、授業内で解説した内容を理解すること。 事後学修：配付資料と授業の内容を読んで企業情報について理解しておくこと。
14 回	授業内容：理解度の確認 事前学修：配付資料、教科書を熟読し、授業内で解説した内容を理解すること。 事後学修：授業内で解説した内容について問題演習等で理解度を確認すること。
15 回	授業内容：試験（電卓持込可、但し携帯電話、スマートフォンの電卓としての利用は不可） 事前学修：前回までの授業内で解説した内容を十分に復習すること。 事後学修：授業内容を確認・理解して、これを今後活かす方法を検討すること。

◆**教科書** **事前資料送付** 事前（または授業内）に解説プリントを配付します。

〔丸沼〕『ビジネス会計検定試験公式問題集3級』 大阪商工会議所編 中央経済社 3月改訂 価格未定

◆**参考書** 〔丸沼〕『ビジネス会計検定試験公式テキスト3級』 大阪商工会議所編 中央経済社 3月改訂 価格未定

〔丸沼〕『基礎財務会計 第18版』 五十嵐邦正 森山書店 3,456円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 試験（100%）により評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# IV 夜間スクーリング

## 1 開講日程

開講期間	5月13日(月)～7月5日(金)					
授業時間	18:30～21:25					
受講形態	月曜日から金曜日までの各曜日に開講される講座から1講座を選び、同じ曜日の8回の授業を経て、最終日に試験を受けます。 また、すべての講義に出席が求められます。					
授業日程	月	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
①: 1回目	5月	① 13	① 14	① 15	① 16	① 17
②: 2回目		② 20	② 21	② 22	② 23	② 24
③: 3回目		③ 27	③ 28	③ 29	③ 30	③ 31
④: 4回目	6月	④ 3	④ 4	④ 5	④ 6	④ 7
⑤: 5回目		⑤ 10	⑤ 11	⑤ 12	⑤ 13	⑤ 14
⑥: 6回目		⑥ 17	⑥ 18	⑥ 19	⑥ 20	⑥ 21
⑦: 7回目	7月	⑦ 24	⑦ 25	⑦ 26	⑦ 27	⑦ 28
⑧: 8回目		⑧ 1	⑧ 2	⑧ 3	⑧ 4	⑧ 5

※各曜日から1講座のみの申込みで、最多合計5講座まで受講できます。

## 2 実施会場

授業は主として通信教育部校舎で行います。

名 称	日本大学通信教育部1号館
所 在 地	東京都千代田区九段南4-8-28
交 通 案 内	市ヶ谷駅から徒歩3分

※授業講堂は、ポータルサイトにて事前にお知らせします。



### 3 開講講座

月	講座名	担当講師名
	文 学	渡 邊 重 人
	英 米 文 学 演 習 C	岩 城 久 哲
	宗 教 学 基 礎 講 読	興 津 香 織
	社 会 政 策 論 / 社 会 政 策	藤 本 知 彦
	商 法	酒 巻 俊 之
	博 物 館 資 料 論	平 野 卓 治

火	講座名	担当講師名
	経 済 学	大 塚 友 美
	英 語 G	石 川 勝
	英 語 H	ダレル ハーディ
	刑 法 II	上 野 幸 彦
	英 作 文 I	パトリック マッコイ
	西 洋 思 想 史 II	石 井 友 人
	工 業 経 済 論 教 育 制 度 論	小 林 世 治 高 木 加 奈 絵

水	講座名	担当講師名
	英 語 V	小 田 井 勝 彦
	英 語 基 礎	賀 美 真 之 介
	民 法 III	長 谷 川 貞 之
	国 文 学 講 義 III (中 世)	鹿 野 し の ぶ
	日 本 史 概 説 A / 日 本 史 概 論 A	鍋 本 由 徳
	教 育 の 方 法 ・ 技 術 論 博 物 館 展 示 論	古 賀 徹 岡 部 幹 彦

木	講座名	担当講師名
	英 語 J	北 原 安 治
	知 的 財 産 権 法	三 村 淳 一
	英 文 法 B	小 澤 賢 司
	日 本 経 済 史	飯 島 正 義
	教 育 原 論 B / 教 育 の 思 想 B 博 物 館 概 論	渡 辺 典 子 中 野 照 男

金	講座名	担当講師名
	英 語 K	常 名 朗 央
	行 政 法 II	西 原 雄 二
	国 文 学 基 礎 講 義	榎 本 正 樹
	英 語 学 演 習 C	田 中 竹 史
	西 洋 史 概 説 / 西 洋 史 概 論	荒 木 洋 育
	交 通 論 道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法 / 道 徳 教 育 の 研 究	針 谷 莊 司 李 吉 魯

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 月曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1

※以下の月曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
B1A1	文 学	渡 邊 重 人	2	B11300	文 学		1年		
B1A2	英米文学演習C	岩 城 久 哲	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
B1A3	宗教学基礎講読	興 津 香 織	2	P30100	宗教学基礎講読		2年		
B1A4	社会政策論/ 社会政策	藤 本 知 彦	2	R32100	社会政策論		2年	・法学部のみ申込可。 ・文理・経済・商学部のみ 申込可。	×
				L31600	社会政策				
B1A5	商 法	酒 巻 俊 之	2	S30200	商 法		2年		
B1A6	博物館資料論	平 野 卓 治	2	Y20600	博物館資料論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	×

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (文学)

渡邊 重人

◆**授業概要** 文学ジャンルは多岐にわたりますが、端的に言えば、言語芸術であるということになります。そこで、この授業では言語芸術のなかでも書記言語による小説に焦点を絞り、学修します。具体的には、小説を読むという行為の前景化を通して、日本における近代小説の成立と小説文体の模索、小説と代替歴史的想像力の関係性、小説ジャンルの多様性などさまざまな角度から文学について考察します。

◆**学修到達目標** 1. 日本における近代小説の成立、小説ジャンルの多様性を説明することができる。  
2. 小説を読むという行為について具体例を挙げながら説明することができる。  
3. 代替歴史的想像力について具体例を挙げながら説明することができる。

◆**授業方法** 文学作品をただ読むのではなく、さまざまな角度から分析・考察することで幅広い教養を身に付けることを目指します。授業方法は、講読と解説、履修者間の意見交流を図るピア・ワークやグループ・ワークとなります。また、レスポンス・ペーパーを用いて、担当者と履修者の意見交流も実施する予定です。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容 履修者自身の小説を読むという行為について検討し、前景化を図ります。 事前学修 どのように小説を読んでいるかを想起し、整理しておきます。 事後学修 授業計画を再読し、学修の見直しを持ちます。
2回	授業内容 坪内逍遙『小説神髓』を読む：逍遙の唱えた novel としての「小説」、「ローマンス」と「ノベル」の対立などを踏まえて、日本における近代小説の成立について考察します。 事前学修 文学史・文学年表で、日本における近代小説の成立のおおまかな流れを確認しておきます。 事後学修 『小説神髓』を再読し、坪内逍遙の小説概念を整理しておきます。
3回	授業内容 近代小説の成立と言文一致体の模索：戯作の改良から近代小説の成立までを言文一致体の模索という観点から考察します。 事前学修 文学史・文学年表で、坪内逍遙や二葉亭四迷の模索した言文一致体についての概略を調べます。 事後学修 配布資料を再読し、戯作の文体と言文一致体の違いについて整理しておきます。
4回	授業内容 二葉亭四迷『あひゞき』を読む：言文一致体の模索について考察します。 事前学修 配布された『あひゞき』を読み、現代の小説文体と比較します。 事後学修 言文一致体が普及した背景について整理しておきます。
5回	授業内容 清水紫琴『こわれ指環』を読む：小説の語り手とはどのような存在であるかについて考察します。 事前学修 配布された『こわれ指環』を読み、小説における語り手の概念について想起しておきます。 事後学修 『こわれ指環』を再読し、小説における人称と視点の関係性について整理しておきます。
6回	授業内容 小説における人称と視点：小説における人称と視点、語り手の概念について考察します。 事前学修 履修者がこれまでに読んだ小説における人称と視点の関係性について想起しておきます。 事後学修 人称と視点の関係性、語り手の概念について整理し、理解を深めます。
7回	授業内容 谷崎潤一郎『途上』を読む：『途上』を読むことを通して、小説技法について考察します。 事前学修 配布された『途上』を読み、小説技法=小説の語り方について整理しておきます。 事後学修 履修者自身の抱く、ミステリに対するイメージについて整理しておきます。
8回	授業内容 ジャンルの逸脱：ジャンルの認識とジャンルの逸脱という観点から、『途上』について考察します。 事前学修 ミステリに対する、一般的なジャンルの認識について整理しておきます。 事後学修 ジャンルの逸脱から生まれる、小説ジャンルの多様性についてのサンプルを探し、理解を深めます。
9回	授業内容 川端康成『片腕』を読む：小説を読む際の異化と自動化という観点から、『片腕』について考察します。 事前学修 履修者自身の抱く、SF や幻想文学に対するイメージについて整理しておきます。 事後学修 『片腕』を再読し、小説を読む際、読者に何が起きているかについて整理しておきます。
10回	授業内容 小説を読むという行為と物語を消費するという行為：小説を読むという行為と物語を消費するという行為はどのような関係にあるのでしょうか。この点に着目し、あらためて小説という文学ジャンルについて考察します。 事前学修 小説技法と読者の「読み」の関係について想起しておきます。 事後学修 文学ジャンルにおける小説の位置付けについて整理しておきます。
11回	授業内容 歴史小説における人物表象：歴史上の人物に対するイメージと歴史小説における人物表象の相互連関性について考察します。 事前学修 履修者自身が抱く、歴史上の人物のイメージについて整理しておきます。 事後学修 履修者自身が抱く、歴史上の人物のイメージがどのように形成されたかを整理しておきます。
12回	授業内容 司馬遼太郎『燃えよ剣』を読む：新選組の人物表象を素材として、その定着と変奏について考察します。 事前学修 履修者自身が抱く、新選組とそれに関する人物のイメージを想起し、整理しておきます。 事後学修 授業内でのケース以外についてのサンプルを探し、分析します。
13回	授業内容 柳広司『ジョーカーゲーム』を読む：架空の組織が活躍する小説を読み、代替歴史的想像力について考察します。 事前学修 日本史年表で昭和初年代の出来事を確認しておきます。 事後学修 架空の設定であることから見えてくる史実との関係性について理解を深めます。
14回	授業内容 代替歴史的想像力：小説における代替歴史的想像力についての概要を把握します。 事前学修 履修者の想定する代替歴史的想像力について整理しておきます。 事後学修 代替歴史的想像力と現実の関係性について整理し、理解を深めます。
15回	授業内容 試験及び解説 事前学修 第1回～第14回の授業内容を整理しておきます。 事後学修 授業で学修したことを踏まえて、小説ジャンルの多様性について探究します。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日と次回に使用するプリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『超入門！現代文学理論講座』亀井秀雄監修・夢沼正美著 筑摩書房 928円(税込) (送料215円)

◆**成績評価基準** 試験(40%)、提出物(40%)、授業に対する積極性(20%)を総合して評価します。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

選 講 座 の 定 期  
5月1期 東京  
5月2期 東京  
6月期 東京  
7月期 東京  
6月期 札幌  
6月期 大阪  
7月期 名古屋  
7月期 福岡  
月曜日 夜間  
火曜日 夜間  
水曜日 夜間  
木曜日 夜間  
金曜日 夜間  
申込方法 講座の  
許可/不許可  
納入 受講料の  
受講準備  
試験 受講及び  
の 受講期間中  
学生生活  
受講 オープン  
各種用紙  
付 録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英米文学演習 C〕

岩城 久哲

- ◆**授業概要** 辞書などの様々なツールを使用しながら英米文学作品（18-20 世紀）の一部を読む。今回は J オースティンから DH ローレンスまでの作品である。
- ◆**学修到達目標** 英米文学作品を読み理解すると共に、それを表現した作家世界に迫り、日本語と英語でのプレゼンテーションができるようになる。
- ◆**授業方法** 輪番制で担当してもらう。時には映像などの媒体を使用することもある。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	授業内容	概要 C ディキンズ（サミュエル・ピクウィックの冒険）の一部（一章：That punctual servant of all work...）を読む
	事前学修	C ディキンズについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
2 回	授業内容	C ディキンズ（サミュエル・ピクウィック）の続き（Mr.Pickwick entered every word of this...）を読む。
	事前学修	C ディキンズについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
3 回	授業内容	J コンラッド（ロード・ジム）の一部（He was an inch, perhaps two, under six...）を読む。
	事前学修	J コンラッドについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
4 回	授業内容	J コンラッド（ロード・ジム）の続き（Originally he came from a personage. Many commanders...）を読む。
	事前学修	J コンラッドについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
5 回	授業内容	H ジェームズ（ロデリック・ハドソン）の一部（Rowland Mallet had made his arrangements to sail...）を読む。
	事前学修	H ジェームズについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
6 回	授業内容	H ジェームズ（ロデリック・ハドソン）の続き（Rowland, not knowing Mr Hudson, could not half...）を読む。
	事前学修	H ジェームズについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
7 回	授業内容	J オースティン（ノーサンガー・アベイ）の一部（No one who had ever seen Catherine Morland in her infancy...）を読む。
	事前学修	J オースティンについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
8 回	授業内容	J オースティン（ノーサンガー・アベイ）の続き（The morrow brought a very sober looking morning; the sun making...）を読む。
	事前学修	J オースティンについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
9 回	授業内容	G エリオット（サイラス・マーナー）の一部（In the days when the spinning-wheels hummed busily in the farmhouses...）を読む。
	事前学修	G エリオットについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
10 回	授業内容	G エリオット（サイラス・マーナー）の続き（When Dunstan Cass turned his back on the cottage, Silas Marnar was not more than...）を読む。
	事前学修	G エリオットについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
11 回	授業内容	V ウルフ（自分だけの部屋）の一部（But, You May say, we asked you to speak about women and fiction - what has that got to...）を読む。
	事前学修	V ウルフについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
12 回	授業内容	V ウルフ（自分だけの部屋）の続き（The Scene, if I may ask you to follow me, was now changed. The leaves were still falling...）を読む。
	事前学修	V ウルフについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
13 回	授業内容	T S エリオット（荒地）の一部（April is the cruelest month, breeding Lilacs out of the dead land, mixing...）を読む。
	事前学修	T S エリオットについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
14 回	授業内容	T S エリオット（荒地）の続き（Under City, Under the brown fog of a winter dawn, A crowd flowed over London...）を読む。
	事前学修	T S エリオットについて更に調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておく。
15 回	授業内容	DH ローレンス（ロスト・ガール）の一部（Take a mining townlet like Woodhouse, with a population of ten thousand people...）を読む。総括
	事前学修	DH ローレンスについて調べておく。
	事後学修	今日の内容に関してチェックしておくと共に、卒業論文を視野に入れて準備をする。

- ◆**教科書** 担当者もプリント教材などを準備するが、各自もペーパーバックなどの教材を入手することを望む。特に、初回の作品は各自準備することが望ましい。2 回目以降の分は担当者が前もって準備し配布する。
- ◆**参考書** 丸沼『イギリス文学史入門』川崎寿彦 研究社 2,484 円（税込）（送料 300 円）  
『イギリス文学史』平井正穂他 明治書院  
上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。
- ◆**成績評価基準** 自分の担当したところの成果（50%）、小テスト（25%）、プレゼンテーション（25%）

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔宗教学基礎講読〕

興津 香織

◆**授業概要** 紀元前に行われたとされるインド人の学僧とギリシア人の王との仏教対話である『ミリンダ王の問い』は、仏陀の教えを記録した「経典」ではないものの、内容の面白さ故に仏教の各部派が取り上げたといわれる異色の文献である。この書の講読を通して、仏教の根底にある基本的な考え方や専門用語を学び、仏教理解に役立たせる。

◆**学修到達目標** 発祥の地であるインドにおける仏教とは本来どのようなものであったかを理解し、今日では様々な国で多様な仏教が見られるが、その根底となる考え方は不変であることを確認し説明できるようにする。インド思想を全体的に把握することにより、インドにおける仏教の位置付けを把握できる。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で、専門用語や背景、要点などを解説しながら教科書を読み進める。理解のために資料を配付することもある。受講生にも分担して読んでもらう（発表）。担当者以外にもコメントを求める。

### ◆ 授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容 講義概要、講義の進め方、使用するテキストと参考文献の紹介「『ミリンダ王の問い』とは何か」 事前学修 テキストの解説（308～311）を読んでおく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
2 回	授業内容 インド思想史の流れとテキストをめぐる基本情報や位置付けの解説“インド思想における仏教の位置付け” 事前学修 テキストの解説（312～314）を読んでおく 事後学修 配付資料を読み返し、内容を整理・確認する
3 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』序話：テキストをめぐる細かい背景と読む上で必要な専門用語を説明する 事前学修 『ミリンダ王の問い』序話を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
4 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第一章：無我とギリシア的な靈魂観との対比 無我とは何か、ギリシア人の理解の仕方などについて検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第一章を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 配付資料を読み返し、無我について整理・確認し説明できるようにする
5 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第二章：輪廻についての対話 輪廻とは何か、無我説は輪廻の観念と矛盾するのかについて検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第二章前半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
6 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第二章：輪廻と解脱、時間についての対話 輪廻の主体の探求や時間との関係性について検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第二章後半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 配付資料を読み返し、輪廻について整理・確認し説明できるようにする
7 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第三章：時間の根本とその始まり、靈魂についての対話 十二因縁、輪廻と時間について検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第三章前半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
8 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第三章：識別作用と形成力についての対話 靈魂の捉え方、精神における識別作用などについて検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第三章後半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 配付資料を読み返し、十二因縁について整理・確認し説明できるようにする
9 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第四章：認識の主体と個体における精神作用についての対話 認識主体の探求について検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第四章前半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
10 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第四章：涅槃についての対話 人間個人にある感覚作用と認識主体との関係性や涅槃について検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第四章後半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 配付資料を読み返し、涅槃について整理・確認し説明できるようにする
11 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第五章：仏陀観についての対話 仏陀の実在の証明について検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第五章前半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
12 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第五章：業、主体の転移についての対話 業とは何か、輪廻における主体の転移の探求などについて検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第五章後半を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 配付資料を読み返し、業について整理・確認し説明できるようにする
13 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第六章：仏陀の身体観についての対話 仏陀の身体的特徴（三十二相）について検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第六章を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 授業の内容をノートに整理し、教科書の該当部分と配付資料を読んで、授業内容を確認する
14 回	授業内容 『ミリンダ王の問い』第七章：記憶、神通力についての対話 人間の記憶、靈魂と精神作用との区別、死後の再生などについて検討する 事前学修 『ミリンダ王の問い』第七章を読み、読み方や意味を調べておく 事後学修 配付資料を読み返し、三十二相について整理・確認し説明できるようにする
15 回	授業内容 試験および解説 事前学修 14 回までに学んだ内容を全体的に整理し、不明な言葉や項目などは調べる 事後学修 授業内容を確認・理解し、定着させる

◆**教科書** 丸沼『ミリンダ王の問い1 インドとギリシアの対決』中村元・早島鏡正訳 平凡社 2,916 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 講義内において指示

◆**成績評価基準** 試験（50%）、授業への取り組み（発表、コメントなど 50%）発表やコメント状況など授業参加の姿勢と最終回に実施する試験による総合評価。一定以上の出席回数（回数は公表しない）がなければ評価はつけない。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔社会政策論 / 社会政策〕 オープン受講：不可

藤本 知彦

◆**授業概要** 社会政策は、労働政策、社会保障等を対象領域としています。中でも社会保障は、少子高齢化の進行等を背景として大きな転換期を迎えており、将来に向けた制度改革が最重要政策課題の一つとなっています。本講義では、社会政策と社会保障の基礎概念の理解を踏まえ、社会保障の意義と基本構造について社会保険（医療保険、介護保険等）を中心に学習します。

◆**学修到達目標** 1. 社会保障の目的と機能、社会保障財政の現状について説明できる。  
2. 社会保険の仕組みや特徴を公的扶助、民間保険との対比において説明できる。  
3. 医療保険制度や介護保険制度の基本的な仕組みを説明できる。

◆**授業方法** 基本的に講義形式で行います。指定テキストを参照しながら授業を進めますので、毎回持参してください。

◆**履修条件** 2018 年度夜間スクーリング（春期）「社会政策論 / 社会政策」との積み重ね不可

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス、社会政策の概要（社会政策の意義、対象領域） 事前学修：シラバスを読んで授業の概要を理解しておくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
2 回	授業内容：労働政策の基礎：労働基準（賃金・労働時間等）、雇用保障、労働組合 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
3 回	授業内容：社会保障の基礎 1：社会保障と社会保険との関係、医療保険・介護保険の基礎概念 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
4 回	授業内容：社会保障の基礎 2：年金保険・労災保険・雇用保険の基礎概念 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
5 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 1：社会保障の概念と体系 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
6 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 2：社会保障の目的と機能 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
7 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 3：社会保障の保障方法、社会保障の主要制度（社会保険、公的扶助、社会福祉、社会手当） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
8 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 4：社会保険の仕組みと原理 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
9 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 5：社会保険の特徴、メリット・デメリット 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
10 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 6：社会保険の費用負担、行政機構 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
11 回	授業内容：社会保障の意義と基本構造 7：社会保障の財政（社会保障給付費、社会保障関係費等の現状） 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
12 回	授業内容：医療保険制度の概要 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
13 回	授業内容：介護保険制度の概要 事前学修：テキスト・参考書等の該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
14 回	授業内容：まとめ 事前学修：テキスト・参考書等のこれまでの該当箇所を読んでおくこと。 事後学修：授業で学んだ内容をまとめ、理解を深める。
15 回	授業内容：試験・解説 事前学修：これまでの学習内容の整理・定着を図ること。 事後学修：本講義を通して学んだ内容の理解を深める。

◆**教科書** 丸沼『社会保障法令便覧 2019』 社会保障法令便覧編集委員会編 労働調査会 1,944 円（税込）（送料 500 円）

◆**参考書** 授業時に適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、授業参加度と試験により総合的に評価します。評価に関する詳細は初回授業時に説明します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔商法〕

酒巻 俊之

- ◆**授業概要** 会社法の規定を中心に株式会社の機関・新株予約権・社債・非訟・訴訟・組織再編を講義する。2018年講義で扱った設立・株式の講義は原則として2019年度講義では行わない（リクエストは可能）。
- ◆**学修到達目標** 会社法は経済活動と密接に関わり、厳しすぎる規制は企業減少・倒産増加・企業の移転等により、緩すぎる規制は悪徳事業の蔓延・企業不祥事・労働環境悪化等により、ともに経済衰退や社会不安をもたらす。こうした観点を見つけ会社法の規制を捉え、例外規定にも留意し、合法的かつ合理的に適用・リスクマネジメントができるようになる。
- ◆**授業方法** 教科書・板書・パワーポイントによる重点整理、現物・条文・資料・検索エンジン等の検索の実施をスクリーンに投射して授業をする。携帯・モバイル端末等の写真撮影や自身による検索実施を推奨している。
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	各法の関係・名称・検索方法・会社法入門（板書・ネット等）。 法学・民法・刑法などの受講者はその内容を勉強・復習しておく。 2回目と合わせた授業内容の整理。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	会社の種類、株式会社の機関変遷・株式会社の状態（公開・非公開・上場等）（パワーポイント使用）。平成26年改正を反映。 自分の知識を整理しておく。 1回目と合わせて自分の知識が正しいか確認。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	会社の機関（株主総会以外の会社の機関）、平成26年改正を反映。 自分の知識を整理しておく。 各機関の機能を整理しておく。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	コーポレートガバナンス・コード及びCSR（企業の社会的責任）。 機関設計の講義内容を踏まえ、教科書の機関部分を読んでおく。 授業内容の整理及びレポート課題に取り組む。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	社債と新株予約権（板書・パワーポイント使用）。 教科書の該当部分を整理しておく。 授業内容の整理及びレポート課題に取り組む。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	罰則、レポート課題のフィードバック 自分の知識を整理しておく。 授業内容の整理。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	計算（配当可能利益・剰余金の配当・自己株式の取得） 該当箇所の整理。 授業内容と教科書との対比・整理。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	会社役員の責任（まとめ） 該当箇所の整理。 授業内容と教科書との対比・整理。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	役員等の機能、監査役・監査役会・監査等委員会・監査委員会の責務 会社の機関設計を整理。 授業内容と教科書との対比・整理。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	違法行為差し止め請求権、役員等の会社に対する責任の追及権。 会社の機関設計を整理。 授業内容と教科書との対比・整理。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	株主代表訴訟。 9回・10回の講義内容を確認。 授業内容と教科書との対比・整理。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	組織再編（組織変更・合併・分割・株式交換・株式移転の概説）、（パワーポイント使用）。レポート提出期限。 該当箇所の整理。親子会社の復習。 授業内容と教科書との対比・整理。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	事業譲渡・組織再編（事業譲渡・略式組織再編・簡易組織再編）、リクエスト講義。 12回の講義内容を整理。 事業譲渡及び12回の講義内容とともに整理。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	試験内容の整理、試験前の解答方法解説。リクエスト講義。 今までの講義内容を振り返る。 試験範囲及び解答方法の確認。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び試験内容のフィードバック 試験範囲及び解答方法の確認。 間違え箇所及び講義全体の振り返り。

- ◆**教科書** 後日ポータルサイトにて掲載予定。
- ◆**参考書** 平成30年度又は31年度六法（任意使用、授業時はネット検索可）、関連する民法、刑法、金融商品取引法などを参照する。
- ◆**成績評価基準** 最終テスト（70%）、出席確認小テスト及びレポート（30%）、テストは書籍・ノート参照可だが、電子機器、著作権的に問題がある教科書・参考書コピー・ネット記事のプリントアウト使用不可。

## 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔博物館資料論〕 オープン受講：不可

平野 卓治

◆**授業概要** 本講座では、資料は博物館活動の根幹となるものであるという認識をふまえ、モノの博物館資料化へのプロセスについて、博物館資料の運用について、博物館資料の調査研究について、の3つを核として、人文系博物館の事例を中心に、実例をふまえながら理解を深めていく。

◆**学習到達目標** モノが博物館の資料へ転化していくプロセス、博物館資料の収集・整理・保存、調査研究、展示・活用に関して、基礎的知識を理解し、習得する。同時に、資料という側面から博物館の様々な活動と全体像に関する現状と課題に関する理解を深めていく。

◆**授業方法** 講義を中心に授業を進めていく。実際の博物館の活動にもふれながら進めていく。また、課題に関しての報告や意見交換なども行っていく。

◆**履修条件** 学芸員資格の取得を目指す者。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：オリエンテーション、博物館資料とは何か？ 事前学修：関心のある博物館・美術館が所蔵している資料の概要について調べておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
2 回	授業内容：一次資料と二次資料、コレクションなどに関して理解する。 事前学修：関心のある博物館・美術館が所蔵している資料の概要について調べておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
3 回	授業内容：博物館資料の種類と形態。 事前学修：配布資料に目を通し、資料の多様性を確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
4 回	授業内容：様々な博物館資料（人文系・自然系）の様相についてみていく。 事前学修：配布資料に目を通し、資料の多様性を確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
5 回	授業内容：博物館資料の収集と整理・保存。 事前学修：配布資料に目を通し、資料化のプロセスを確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
6 回	授業内容：集められた「モノ」が博物館資料となり、収蔵されていくプロセスについて考える。 事前学修：配布資料に目を通し、資料化のプロセスを確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
7 回	授業内容：博物館資料の調査研究。 事前学修：配布資料に目を通し、資料の調査研究の概要を確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
8 回	授業内容：博物館の諸活動の基礎となる資料の調査研究のあり方、調査研究への姿勢や資料への配慮、成果の還元について考える。 事前学修：配布資料に目を通し、資料の調査研究の概要を確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
9 回	授業内容：博物館資料の活用。 事前学修：配布資料に目を通し、資料化のプロセスを確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
10 回	授業内容：展示、特別利用、教育的活用など、博物館資料の多様な活用についてみていく。 事前学修：配布資料に目を通し、資料化のプロセスを確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
11 回	授業内容：博物館資料の情動的活用と資料収納の実際。 事前学修：配布資料に目を通し、資料のデジタル・アーカイブスに関して確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
12 回	授業内容：資料のデジタル・アーカイブス化を中心に情動的活用をみていく。同時に博物館資料の収納の実際について、具体的な事例をふまえて考えていく。 事前学修：配布資料に目を通し、資料のデジタル・アーカイブスに関して確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。
13 回	授業内容：博物館資料の保存・修復。 事前学修：配布資料に目を通し、資料の修理・保存に関して確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。同時に、講義全体の内容を振り返る。
14 回	授業内容：修理・保存処理の歩みをたどると同時に、修理・保存処理にかかわる基礎的な知識を得る。同時に複製・模型の製作についても考える。 事前学修：配布資料に目を通し、資料の修理・保存に関して確認しておく。 事後学修：配布資料を基に、ノートを整理し、授業内容を確認する。同時に、講義全体の内容を振り返る。
15 回	授業内容：試験及び解説。博物館資料に関する課題についての報告と意見交換も行う。 事前学修：試験に備えると同時に、課題に関するレポートを用意する。 事後学修：博物館資料に関する諸知識を確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 授業時に必要に応じて関連資料を配布する。

◆**参考書** 授業時に指示する

◆**成績評価基準** 授業参画度 20%、小レポート 30%、試験 50% を基準として、総合的に評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間  火曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 〈試験を含む〉
		5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2

※以下の火曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
B1B1	経 済 学	大塚 友美	2	B11800	経 済 学		1年		
B1B2	英 語 G	石川 勝	1	C10100	英 語 I		1年	・I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
B1B3	英 語 H	ダ レ ル イ ハ ー デ イ	1	C10100	英 語 I		1年	・I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	×
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III				
				C10400	英 語 IV				
B1B4	刑 法 II	上野 幸彦	2	K30800	刑 法 II		2年		
B1B5	英 作 文 I	パ ト リ ッ ク マ ッ コ イ	2	N30400	英 作 文 I	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
B1B6	西洋思想史II	石井 友人	2	P30600	西洋思想史II		2年		
B1B7	工業経済論	小林 世治	2	R30900	工業経済論		2年		
B1B8	教育制度論	高木 加奈絵	2	T20200	教育制度論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済学〕

大塚 友美

◆**授業概要** 本講義では、経済学の歴史的発展にそってミクロ経済理論とマクロ経済理論を概説すると同時に、各時代の経済状況や経済政策などを概観することを通じて、経済理論とその背後にある時代背景との関係性を浮き彫りにすることによって経済学の大枠を把握し、これに依拠して各自が経済問題を自ら考える力を涵養する。

◆**学修到達目標** 本授業は、ミクロ経済学・マクロ経済学などの基本的な理論に関する講義を通して、①人間の経済活動に関する理解を深め、②経済学の発展に関する基本的な潮流を理解し、そして、③これらに基づいて、現実の経済問題を自ら考えることができる、の3点を目標としている。

◆**授業方法** 授業は原則として講義形式を中心に行うが、必要に応じて、①現実の経済問題に関する事例研究、②シミュレーション（模擬実験）、③ディスカッションなどを行い、現実の経済活動への理解を深めることを目指す。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：市場の仕組・働きと市場経済；市場経済の中核を理解する。 事前学修：指定した教科書の第 1 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：以上を踏まえた上で、市場の仕組と働きについて各自見解をまとめること。
2 回	授業内容：市場経済の問題点；市場経済の問題点を理解する。 事前学修：指定した教科書の第 1 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：講義内容を理解した上で、第 1 章の実験編のプログラムを動かすこと。
3 回	授業内容：家計の消費行動；家計の消費行動について概説する。 事前学修：指定した教科書の第 2 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：以上を踏まえた上で、第 2 章の家計の消費行動のプログラムを動かすこと。
4 回	授業内容：家計の労働供給；家計の労働供給について概説する。 事前学修：指定した教科書の第 2 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：以上を踏まえた上で、第 2 章の家計の労働供給のプログラムを動かすこと。
5 回	授業内容：完全競争企業の行動；完全競争企業の行動を概観する。 事前学修：指定した教科書の第 3 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：以上を踏まえ、第 3 章の完全競争企業の行動のプログラムを動かすこと。
6 回	授業内容：独占企業の行動；独占企業の行動を概観する。 事前学修：指定した教科書の第 4 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：以上を踏まえ、第 4 章の独占企業の行動のプログラムを動かすこと。
7 回	授業内容：景気変動；市場経済についてまわる景気変動の要因を考察する。 事前学修：指定した教科書の第 7 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：以上を踏まえ、第 7 章の実験編のプログラムを動かすこと。
8 回	授業内容：有効需要の原理；不況対策として出発したケインズ理論を概観する。 事前学修：指定した教科書の第 5 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：講義内容を理解した上で、第 5 章の実験編のプログラムを動かすこと。
9 回	授業内容：有効需要の原理の得失；ケインズ理論の問題点等を紹介する。 事前学修：指定した教科書の第 5 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：日本経済の現状を、講義内容に基づいて自ら考察してみる。
10 回	授業内容：有効需要の原理の効果；近年、この政策的効果が弱まった要因を概観する。 事前学修：指定した教科書の第 5 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：サプライサイド・エコノミクスの台頭との関連を考慮しておくこと。
11 回	授業内容：サプライサイド・エコノミクス；サプライサイド・エコノミクスの原理を概観する。 事前学修：サプライサイド・エコノミクスに関して、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：サプライサイド・エコノミクスに対する、日本と欧米の対応の違いを考察する。
12 回	授業内容：経済の成長と発展；経済の成長と発展の原動力を考察する。 事前学修：指定した教科書の第 8 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：講義内容を理解した上で、第 8 章の実験編のプログラムを動かすこと。
13 回	授業内容：経済変動と人口変動；人口転換理論の概要を論ずる。 事前学修：指定した教科書の第 9 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：講義内容を理解した上で、第 9 章の実験編のプログラムを動かすこと。
14 回	授業内容：人口と経済発展；ヘーゲン・モデルを用いて、人口と発展の関係を論ずる。 事前学修：指定した教科書の第 9 章を読み、疑問点などをまとめておくこと。 事後学修：日本の現状を、講義内容に基づいて自ら考察してみる。
15 回	授業内容：日本経済の将来像；これまでの講義を踏まえて、日本経済の将来を考える。 事前学修：これまでの講義内容に基づいて、各自、日本経済の将来像を考えること。 事後学修：各自が考えた、日本経済の将来像の精緻化を図ること。

◆**教科書** 丸沼『実験で学ぶ経済学』大塚友美 創成社（2005）2,808 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として評価する。最低限、総講義回数の 3 分の 2（すなわち、5 回）は出席すること。これ以下の場合、失格とする（ただし、出席状況は、評価には含まない）。評価は、平常点（20%）、レポート等（80%）とする。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語G〕

石川 勝

- ◆**授業概要** 初級レベルだが、あくまで大学レベルである。文法の知識をもとに英文の理解を深めていく。テキストは大学生がヨーロッパを旅行する話である。
- ◆**学修到達目標** 基本的な文法を理解した上でそれを活用し比較的容易な英文を訳せるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 文法の説明を行ったあとで、テキストを読む。アトランダムに指名して訳してもらうので、必ず予習をしておくこと。予習していないと単位は与えない。
- ◆**授業計画〔各90分〕**

1回	授業内容: 五文型とテキストの訳 事前学修: Unit 1 の Introductory reading と Culture reading を全訳しておくこと。 事後学修: 訳の修正
2回	授業内容: 五文型とテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
3回	授業内容: 不定詞とテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
4回	授業内容: 仮定法とテキストの訳, 小テスト 事前学修: テキストの予習 事後学修: 試験の復習
5回	授業内容: 関係代名詞テキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の復習
6回	授業内容: That 節とテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
7回	授業内容: ing とテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
8回	授業内容: テキストの訳, 小テスト 事前学修: 試験勉強 事後学修: 試験の復習
9回	授業内容: 可算名詞と不可算名詞, テキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
10回	授業内容: 五文型の復習とテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
11回	授業内容: 五文型の復習とテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
12回	授業内容: 文法のおさらいとテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
13回	授業内容: 文法のおさらいとテキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
14回	授業内容: テキストの訳 事前学修: テキストの予習 事後学修: 訳の修正
15回	授業内容: テキストの訳, 小テスト 事前学修: 試験勉強 事後学修: 試験の復習

- ◆**教科書** 丸沼『ジローのヨーロッパ旅行』金星堂 1,944円(税込)(送料300円)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 2回の小テストの結果で決める。2回欠席した場合は不可である。

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語H〕 オープン受講：不可

ダレル ハーディ

- ◆**授業概要** In this course we will study and practice authentic English from scenes from a popular movie.
- ◆**学修到達目標** The goals of this course are as follows:
  1. To improve listening comprehension, both general listening and listening for details
  2. To study vocabulary and colloquial expressions commonly used in American English
  3. To study and compare cultural differences as they are presented in the movie
- ◆**授業方法** We will use the movie, "Back to the Future" for listening comprehension and for speaking practice. We will study some common idioms and expressions as presented in the movie. Students will be able to practice authentic English from the movie by role-playing scenes from the movie.
- ◆**履修条件** Students are required to attend all of the classes, write a midterm test, and give a group presentation.
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容 : Orientation and scene 1 事前学修 : None required 事後学修 : Review the vocabulary and dialogue in scene 1.
2 回	授業内容 : Scene 2 vocabulary, and listening comprehension. 事前学修 : Preview vocabulary in scene 2 事後学修 : Review the dialogue in scene 2 and look up any unknown words or phrases
3 回	授業内容 : Scene 2 dialogue practice and scene 3. 事前学修 : Review the vocabulary and dialogue in scene 2. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 3.
4 回	授業内容 : Scene 3 dialogue practice and scene 4 part A. 事前学修 : Review the vocabulary in scene 3. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 4 part A.
5 回	授業内容 : Scene 4 part B. 事前学修 : Review the vocabulary in scene 4 part A. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 4 part B.
6 回	授業内容 : Scene 4 part C, and review for midterm test. 事前学修 : Review the vocabulary in scene 4 part B. 事後学修 : Review scenes 1 to 4, and use test preparation guide to prepare for midterm test.
7 回	授業内容 : Midterm test (scenes 1 to 4) , scene 5 part A. 事前学修 : Review for midterm test. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 5 part A.
8 回	授業内容 : Scene 5 part B and C. 事前学修 : Review vocabulary and dialogue in scene 5 part A. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 5 part B and C.
9 回	授業内容 : Scene 6 part A. 事前学修 : Review vocabulary and dialogues in scene 5. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 6 part A.
10 回	授業内容 : Scene 6 part B. 事前学修 : Review vocabulary and dialogues in scene 6 part B. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 6 part B.
11 回	授業内容 : Scene 7 part A. 事前学修 : Review vocabulary and dialogues in scene 6 part B. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 7 part A.
12 回	授業内容 : Scene 7 part B. 事前学修 : Review vocabulary and dialogues in scene 7 part A. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 7 part B.
13 回	授業内容 : Scene 8 事前学修 : Review vocabulary and dialogues in scene 7 part B. 事後学修 : Look up any unknown words or phrases in scene 8.
14 回	授業内容 : Scene 8 continued, preparation and practice for final presentation. 事前学修 : Review vocabulary and dialogues in scene 8. 事後学修 : Memorize and rehearse role for final presentation.
15 回	授業内容 : Final presentations. 事前学修 : Memorize and rehearse role for final presentation. 事後学修 : End of course.

- ◆**教科書** Students will be provided with handouts.
- ◆**参考書** A dictionary may be useful.
- ◆**成績評価基準** Midterm test = 40%; Final presentation = 40%; Participation = 20%

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔刑法Ⅱ〕

上野 幸彦

- ◆**授業概要** 法治国家・法の支配のもとで、社会に生起する様々な出来事に対して、法律に基づき刑事責任を問う場面において、個々の刑罰法規の解釈を通じてその適用が図られる。本講義では、実際の裁判例を素材としながら、刑罰法規の具体的な解釈・適用を検討し、妥当性のある合理的な法の運用について理解できることを目指す。
- ◆**学修到達目標** 刑法典中の基本的な犯罪に関して、基礎的な概念について学ぶとともに、実際の具体的な裁判例を検討することを通じて、社会の実態に即した刑罰法規の解釈・適用の在り方を知り、社会の出来事について自ら基本的な刑法の解釈・適用を行えるようになる。
- ◆**授業方法** テキストに基づきながら、パワーポイントのスライドを使用して授業を行う。毎回、裁判例を取り上げるので、各自事前に内容を把握して、意見を述べるようにして欲しい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 刑法各則が定める犯罪類型：刑法典が定めている最も基本的で重要な犯罪を概観し、法益に基づいて犯罪を分類・整理する。
	事前学修 テキスト 59～64 頁を読み、刑法典中の「罪」を概観しておく。
	事後学修 法益に基づく犯罪の分類について整理する。
2 回	授業内容 日本の犯罪情勢：統計に基づいて犯罪情勢を分析する。
	事前学修 平成 30 年の「犯罪白書」（法務省）を閲覧しておく。
	事後学修 現在の日本の犯罪情勢の特徴や傾向をまとめる。
3 回	授業内容 生命の保護：「人」の意義、生命保護の在り方を学ぶ。
	事前学修 最決平成 21 年 12 月 7 日の事案概要、争点、判旨をまとめる（要提出）。
	事後学修 終末期医療・尊厳死と刑法上の課題について考える。
4 回	授業内容 身体の保護：「暴行」「傷害」の概念や両者の関係について学ぶ。
	事前学修 テキスト 67～69 頁を読む。
	事後学修 暴行概念を確認し、暴行によらない傷害の事例をまとめる。
5 回	授業内容 過失による人身被害：刑法上の「過失」とは何かを学ぶ。
	事前学修 最決昭和 63 年 2 月 29 日の事案概要、争点、判旨をまとめる（要提出）
	事後学修 企業経営トップの過失刑事責任が問われた主要な事例を整理する。
6 回	授業内容 自由の保護：身体的活動や自律的決定の自由の規定を中心に学ぶ。
	事前学修 テキスト 70～73 頁を読む。
	事後学修 2017 年の強制性交等罪に関する規定の特徴を整理する。
7 回	授業内容 プライバシー・名誉の保護：刑法における保護の在り方について学ぶ。
	事前学修 テキスト 73～76 頁を読む。
	事後学修 名誉の保護と表現の自由の保障との調整についてまとめる。
8 回	授業内容 財産の保護（1）：財産罪の一般的な分類、整理について学ぶ。
	事前学修 最決平成元年 7 月 7 日の事案の概要、争点、判旨をまとめる（要提出）。
	事後学修 財産犯の保護法益、不法領得の意思の内容を整理する。
9 回	授業内容 財産の保護（2）：窃盗・強盗、詐欺、横領・背任を中心に学ぶ。
	事前学修 各種財産罪の成否に関する演習問題（事前配布）を検討しておく。
	事後学修 演習問題の解答をチェックして、誤答について見直す。
10 回	授業内容 公共の安全の保護：騒乱罪と放火罪を中心に学ぶ。
	事前学修 放火罪の成否に関する演習問題（事前配布）を検討しておく。
	事後学修 演習問題の解答をチェックして、誤答について見直す。
11 回	授業内容 取引等の安全の保護：文書偽造罪を中心に学ぶ。
	事前学修 テキスト 89～92 頁を読む。
	事後学修 電磁的記録不正作出罪の特徴をまとめる。
12 回	授業内容 国家の存立の保護：内乱罪と外患罪を中心に学ぶ。
	事前学修 テキスト 95～96 頁を読む。
	事後学修 内乱罪と騒乱罪との違いを確認する。
13 回	授業内容 国家の作用の保護：公務執行妨害罪を中心に学ぶ。
	事前学修 最決平成元年 9 月 26 日の事案の概要、争点、判旨をまとめる（要提出）。
	事後学修 職務の適法性に関連する裁判例を整理する。
14 回	授業内容 国家の作用に対する国民の信頼の保護：汚職の罪について学ぶ。
	事前学修 最決平成 22 年 9 月 7 日の事案概要、争点、判旨をまとめる（要提出）。
	事後学修 保護法益と「賄賂」概念との関連性を確認する。
15 回	授業内容 試験および解説：授業のまとめとしての試験とその解説を行う。
	事前学修 これまでの授業の復習をする。
	事後学修 誤答をチェックし、各自見直しを行う。

- ◆**教科書** 関沼『刑事法入門』上野幸彦・太田茂 成文堂 2,376 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**参考書** 使用しない
- ◆**成績評価基準** 提出レポート（5 回）：35%、リアクションペーパー（5 回）：20%、試験：45%

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔英作文 I〕

パトリック マッコイ

◆**授業概要** 'Process Writing' involves a lot of group work and your first essay will be a group effort. An important part of 'Process Writing' is group feedback, editing and revising of your draft copies. Unfortunately some students dislike group work and prefer to work alone. In this course you will have the opportunity to do both.

◆**学修到達目標** 1. To review paragraph and essay structure and to learn ways of writing effective essays.  
2. To learn and use the concept of 'Process Writing' to generate and organize ideas.  
3. To improve writing fluency, accuracy and expressing thoughts and opinions in English.

◆**授業方法** Students will be completing a number of exercises from the textbook and be responsible for writing multiple drafts of a group and an individual essay.

### ◆授業計画 [各 90 分]

1 回	授業内容 : Orientation; introduction essay on your partner (Getting To Know you) ; 事前学修 : None 事後学修 : Revise partner essay.
2 回	授業内容 : Review of paragraph and essay structure; introduction to the writing process 事前学修 : revise partner essay. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
3 回	授業内容 : Ready To Write More! Chapter 1 : Introduction (part one) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
4 回	授業内容 : Ready To Write More! Chapter 1 : Introduction (part two) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
5 回	授業内容 : Chapter 2: Writing Paragraphs (part one) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
6 回	授業内容 : Chapter 2: Writing Paragraphs (part two) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
7 回	授業内容 : Chapter 4: Writing An Essay (part one) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
8 回	授業内容 : Chapter 4: Writing An Essay (part one) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson-start brainstorming group essay travel topic essay.
9 回	授業内容 : Grading WS, Analysis: Read 2 SAMPLE Essays 事前学修 : Review previous chapter. 事後学修 : Write first group essay.
10 回	授業内容 : Peer Edit: Revising WS and Edit WS 事前学修 : Prepare to write first essay. 事後学修 : Revise first draft. Preview next chapter.
11 回	授業内容 : First Essay Due / Chapter 8: Comparison and Contrast Essay 事前学修 : Prepare to write first individual essay. 事後学修 : Write Comparison and Contrast essay first draft.
12 回	授業内容 : C & C Essay 1st draft due, Peer Edit, Student-Teacher Writing Conferences 事前学修 : Write Comparison and Contrast essay first draft 事後学修 : Revise first draft essay for final draft. Preview next chapter.
13 回	授業内容 : C & C Essay due / Comparison and Contrast Essay Due/ Chapter 11:Expressing Your Opinion (part one) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Preview next chapter.
14 回	授業内容 : Comparison and Contrast Essay Due/ Chapter 11:Expressing Your Opinion (part two)(part one) 事前学修 : Preview this chapter. 事後学修 : Review today's lesson. Write portfolio response and prepare revised portfolio for submission.
15 回	授業内容 : Unit Review 事前学修 : Write portfolio response and prepare revised portfolio for submission. 事後学修 : None.

◆**教科書** 丸沼 『Ready to Write 3: From Paragraph to Essay』 Blanchard & Root, Pearsons ISBN10:0131363344 2,905 円 (税込) (送料 350 円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** participation 30% Essays 70%

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (西洋思想史Ⅱ)

石井 友人

◆**授業概要** 17 世紀から 18 世紀にかけての近代形成期の哲学の展開を追っていきます。主要な哲学者の学説を紹介しながら、どのような問題意識のもとで、彼らが自らの思想をつくり上げていったのかを考えます。科学革命と宗教革命により引き起こされた混乱に対して、方法的懐疑や、所有権、抵抗権といった新しい権利の構築によって、人々が対処しようとした姿を追うと共に、近代的理性とは何かを考えていきます。

◆**学修到達目標** 哲学の基本用語を確認しながら、近代哲学についての基礎的な理解を得る事を目的とします。あわせて、後には「理性の時代」とまで言われることになった近代的理性が、その黎明期にどのような可能性を持っていたのか、また、その展開の中に、どのような問題を隠していたのかを考えていきます。

◆**授業方法** 配布プリントと教科書(辞書的・資料集的な副読本扱いになります)を用いて講義形式で行いますが、質疑応答を取り入れ、受講生からの積極的な参加を期待します(講義の進度により、扱う思想家の範囲を変更することもある)。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容	デカルトの何が新しかったのか? アリストテレスとデカルトの学問観の違いを『精神指導の規則』冒頭部分によって確認する。
	事前学修	『精神指導の規則』第一節を読んでおくこと。翻訳はどれでも構いません。
	事後学修	配布プリントを読み直し、アリストテレスとデカルトの学問観の違いを確認しておくこと
2 回	授業内容	デカルトの著書『省察』は第一哲学についての書物であるが、第一哲学とはなにかを、アリストテレスの『形而上学』の部分を読みながら確認する。
	事前学修	教科書第二章の宗教革命・科学革命についての記載を確認しておくこと。ここに記されているような科学革命等の歴史的背景については、講義で直接論じることはいないので、各自、教科書で確認しておくことが望ましい。
	事後学修	配布プリントで、形而上学という用語についておおよその理解を得ておく。
3 回	授業内容	デカルトの懐疑や「われ思う故に我あり」というテーゼについて考える。
	事前学修	教科書のデカルトの項目に目を通しておくこと
	事後学修	配布プリントを中心に、デカルトの基本テーゼを確認しておくこと
4 回	授業内容	ライプニッツの个体論/可能世界論について。ライプニッツはデカルトのように意識の存在から始めるだけではなく、形而上学として不完全であると考へた。彼の議論の基盤がどのようなものであるのかについて考える。
	事前学修	教科書のライプニッツの項目は簡潔すぎるので、熊野純彦『西洋哲学史Ⅱ』岩波新書など(これ以外の本でも構いません)、各自で資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	ライプニッツの形而上学の基本アイデアについてまとめておくこと。
5 回	授業内容	モナドロジーとは何か?
	事前学修	モナドロジーは、様々なアイデアを含んでいるが、それらがお互いにどのように関係しあっているのかを考えておいて欲しい。
	事後学修	モナドロジーの要になっている問題は何かを、配布プリントなどを参考に、説明できるようにしておくこと。
6 回	授業内容	ロックの所有権について。所有権を人間のあらゆる権利の根拠とすることは妥当なのか。
	事前学修	教科書第二章第三節のロックの項目に目を通しておくこと。
	事後学修	上記の妥当性について各人で考えてみて欲しい。
7 回	授業内容	所有権についての議論の続き。またロックの抵抗権について。
	事前学修	教科書第二章第三節のホブズスの項目などで、契約説について大枠を確認しておくこと。
	事後学修	抵抗権は権利たり得るのか、各自で考えてみて欲しい。
8 回	授業内容	スピノザは存在するすべては神の力の表現であると考へた。
	事前学修	教科書のスピノザの項目は簡潔すぎるので、各自で資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
	事後学修	表現という言葉について、理解しておくこと。
9 回	授業内容	スピノザの人間の感情についての分析を見ていく。
	事前学修	スピノザの言う自由について考えておくこと。
	事後学修	彼の言う能動、受動とはどのようなものかまとめておくこと。
10 回	授業内容	ヒュームの懐疑論について。デカルトは理性による懐疑を通して第一哲学(形而上学)の立て直しを図ったが、ヒュームは懐疑によって何をなしたのかを考察していく。因果について疑う。
	事前学修	デカルトにおける懐疑がどのようなものであったか確認しておくこと。
	事後学修	因果律を疑うとはどのような事か、形而上学との関係で理解しておくこと。
11 回	授業内容	ヒュームの懐疑論について。実体について疑う。形而上学は可能か? ヒュームの道徳論。
	事前学修	教科書のヒュームの項目に目を通しておくこと。
	事後学修	デカルトからヒュームに至る流れを、形而上学という観点からまとめられるようにしておくこと。
12 回	授業内容	カントの理性の批判。カントにおける判断の三分類。感性と知性。
	事前学修	教科書のカントの項目に目を通しておくこと。
	事後学修	コペルニクスの転回についてまとめておくこと。
13 回	授業内容	仮象について。理性は形而上学の再建に失敗したのだろうか? 理性には何が可能なのかを、改めて考え直す。
	事前学修	仮象については教科書の記述は短い。形而上学が判断の三分類のどの判断であるのかを確認しておくこと。
	事後学修	形而上学の可能性について、ヒュームの議論と比較し、各自で考えてみる事。
14 回	授業内容	まとめ
	事前学修	講義で分からなかった部分を洗い出しておくこと。
	事後学修	カントから見た時、それまでの近代思想がどのように見えるのか、自分なりの観点からまとめてみるのが望ましい。
15 回	授業内容	試験(レポートに変えることもあります)
	事前学修	試験は記述式で行い、範囲、問題はあらかじめ告知する。ノートに要点をあらかじめまとめておくことが望ましい。
	事後学修	実際に哲学の古典を読んでいくこと。これ以上の学習方法はありません。

### ◆教科書 [当日資料配布] 当日配布プリント

選材『西洋思想史Ⅱ P30600』通信教育教材新教材(教材コード 000570) 2,400 円(送料込)  
 <この教材は市販の『もういちど読む山川倫理』小寺聡著(山川出版社)と同一です。>

選材『西洋思想史Ⅱ P30600』通信教育教材旧教材(教材コード 000134)(所持学生のみ)

### ◆参考書 講義の中で紹介します。

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、試験(80%)と授業への参加度(20%)により総合的に評価する、尚、試験はレポートへ変更の場合もある。全出席の困難な人はあらかじめ申し出て下さい。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔工業経済論〕

小林 世治

- ◆**授業概要** 工業生産の原理とくに「規模の経済」に関して、今日の大量生産システムとそれが市場の変化と技術の発展によって、どのように展開しているかを考えます。対象は、その中心にある機械とその部品を製作する、機械工業です。
- ◆**学修到達目標** 1. ミクロ経済学における「生産」に関する理論を踏まえつつ、現実の「産業」を理解するのに必要な理論枠組みを学べる。2. 従来の「産業組織論」アプローチで欠けている、垂直分業と企業間関係など「企業経済」的視点を理解できる。3. 各種産業を比較分析する力を養い、ひいては「市場の現実」に迫ることができる。
- ◆**授業方法** 主としてパワーポイント、補足的に板書によって解説します。配布されたハンドアウトにメモを取り、理解を深めてください。開講日ごとに、リアクション・ペーパーに質問・意見を記入・提出してもらいます。
- ◆**履修条件** 経済学概論・経済原論のいずれかを履修していることが望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：初めに、産業組織論と本講のアプローチの違いを説明します。 事前学修：参考書 1 などから「産業組織論」の概略を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
2 回	授業内容：「産業」とは何か、また産業分類と産業構造の基本的考え方を基に、「工業」の特質を明らかにします。 事前学修：「日本標準産業分類」を Web 検索し、概略を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
3 回	授業内容：技術とは何か、そして労働手段の道具から機械への発展、機械の集合・連鎖・自動体系について説明します。 事前学修：「技術」の定義には様々ある。Web 等で調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
4 回	授業内容：機械工業の位置と構造を統計によって確認し、中心となる工作機械やサポーティング・インダストリーなど関連する分野を見ていきます。 事前学修：最新の「工業統計調査」を Web 検索し、概略を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
5 回	授業内容：英・米の産業革命をたどり、今日の大量生産を支える技術的基礎と、結果としての「大企業体制」を確認します。 事前学修：参考書 2（第 2 章）などから「産業革命」の概略を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
6 回	授業内容：ミクロ経済学による生産理論から、「規模の経済」の内容を復習します。 事前学修：経済学概論／経済原論の該当箇所を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
7 回	授業内容：企業による諸生産段階の垂直統合と諸産業への多角化、そして「範囲の経済」等の基礎概念を学びます。 事前学修：参考書 1（第 9 章）などから諸概念の内容を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
8 回	授業内容：「規模の経済」から「範囲の経済」へという理論枠組みで、アメリカ自動車工業の寡占体制（フォード vs GM）の確立を見ていきます。 事前学修：参考書 2（第 3 章）などから諸概念の内容を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
9 回	授業内容：ME（マイクロ・エレクトロニクス）技術によって引き起こされた、生産革命の仕組みを解説します。 事前学修：「ME 革命」を Web 検索してみよう。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
10 回	授業内容：ME 技術だけでなく手の労働によっても、フレキシブルで複合的な今日の生産システムが発展していることを見ていきます。 事前学修：フレキシブルな生産システムが何故必要とされるか考えてみよう。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
11 回	授業内容：日本型生産システムの代表とされる「トヨタ生産システム」の特徴を解説します。 事前学修：参考書 2（第 4 章）などから「トヨタ生産システム」について調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
12 回	授業内容：電子機器組立工程で広がったセル生産方式と、自動車工業にも普及し始めたモジュール化の動きを見ていきます。 事前学修：Web 検索によって諸概念の内容を調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
13 回	授業内容：日本型サプライヤー・システムを代表する「系列」と「下請」の概念を説明します。 事前学修：それぞれの概念の内容を Web 等で調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
14 回	授業内容：こんごの学習のために応用ミクロ経済学、とくに「取引コスト論」の概要を紹介します。 事前学修：「取引コスト」とは何か Web 等で調べておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回の授業内で示した重要項目や注意点に従い試験準備すること。 事後学修：自らの答案と解説を比較検討し、こんごの課題を明らかにすること。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 〔丸沼〕『産業経済論』安喜博彦著 新泉社 3,780 円（税込）（送料 350 円）  
〔丸沼〕『エッセンシャル 経営史』中瀬哲史著 中央経済社 2,700 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 平常点（発言・課題提出など）40%、最終日試験 60%。毎回の出席を前提とします。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔教育制度論〕

高木 加奈絵

◆**授業概要** 学校での教育活動には、意外にも多くの法律や制度が関わっている。そこで教員を目指す皆さんが知っておくべき「教育制度」や法的知識を、法令や判例、ケーススタディを通して習得することを目指す。

◆**学修到達目標** 1. 教育制度や教育法に関する基礎的知識を理解し、説明することができる。  
2. 学校制度や教育行政・学校経営の仕組みを理解できる。  
3. 学校と地域との連携のあり方を考察できる。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で行うが、場合によってはグループディスカッションを行う。

### ◆授業計画（各 90 分）

1 回	授業内容: <b>ガイダンス—なぜ教育制度を学ぶ必要があるのか？—</b> 事前学修: シラバスをよく読み、かつ持参すること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
2 回	授業内容: <b>法令や判例の重要性と基礎的語句の習得</b> 事前学修: 前回の授業ノートを確認し、出て来た法を一読しておくこと。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
3 回	授業内容: <b>教育基本法の制定</b> 事前学修: 「必携教職六法」にある旧教育基本法を一読しておくこと。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
4 回	授業内容: <b>教育基本法の改正</b> 事前学修: 「必携教職六法」にある現行の教育基本法を一読しておくこと。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
5 回	授業内容: <b>教育委員会制度</b> 事前学修: 何らかの形で教育委員会について調べ、何となくのイメージをもってくること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
6 回	授業内容: <b>変わる教育委員会制度</b> 事前学修: 何らかの形で教育委員会について調べ、何となくのイメージをもってくること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
7 回	授業内容: <b>教科書検定制度</b> 事前学修: 「必携教職六法」にある「教科用図書検定規則」を一読してくること。 事後学修: どの法規に何が書かれているのかをまとめておくこと。
8 回	授業内容: <b>教育課程行政と教科書検定に関する諸判例</b> 事前学修: 「必携教職六法」にある「伝習館高校事件最高裁判決」を一読してくること。 事後学修: 諸判例の論点をまとめておくこと。
9 回	授業内容: <b>教員の資格・選考と教育法</b> 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
10 回	授業内容: <b>教員の身分と教育法</b> 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
11 回	授業内容: <b>教員の分限・懲戒・服務と教育法（1）</b> 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をきちんとまとめておくこと。
12 回	授業内容: <b>教員の分限・懲戒・服務と教育法（2）</b> 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
13 回	授業内容: <b>変わる学校経営—PDCA サイクルに着目して—</b> 事前学修: PDCA サイクルについて何らかの形で調べてくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
14 回	授業内容: <b>変わる学校—学校選択制度・開かれた学校づくりに着目して—</b> 事前学修: 学校選択制度、開かれた学校づくりについて、何らかの形で調べてくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。
15 回	授業内容: <b>学校安全と教育法</b> 事前学修: 「教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法」の該当ページを一読してくること。 事後学修: 配布資料をまとめておくこと。

◆**教科書** 当日資料配布

◆**参考書** 丸沼『法学シリーズ 職場最前線⑤ 教育のための法学 子ども・親の権利を守る教育法』篠原清昭  
ミネルヴァ書房 2013 年 3,024 円（税込）（送料 350 円）  
丸沼『必携教職六法（2019 年度版）』高見茂他 共同出版 2018 年 2,376 円（税込）（送料 500 円）

◆**成績評価基準** 1. 授業後の小レポート（毎回）（30%）  
2. 授業での積極的な発表・発言（20%）  
3. 最終レポート（50%）  
による総合成績で評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

<b>夜 間</b>  <b>水曜日</b>	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 <試験を含む>
		5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3

※以下の水曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数	充 当 科 目		制 限・注 意		受オ ー プ ン 講	
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年		受 講 条 件
B1C1	英 語 V	小田井 勝彦	1	C10500	英 語 V		2年	・英文学専攻のみ申込可。	
B1C2	英 語 基 礎	賀美 真之介	1	C10600	英 語 基 礎		1年	・英文学専攻は申込不可。	
B1C3	民 法 Ⅲ	長谷川 貞之	2	K30200	民 法 Ⅲ		2年		×
B1C4	国文学講義Ⅲ ( 中 世 )	鹿野 しのぶ	2	M30700	国文学講義Ⅲ ( 中 世 )		2年		
B1C5	日本史概説A / 日本史概論A	鍋本 由徳	2	Q30200	日本史概説		2年	・法学部のみ申込可。	
				K32200	日本史概論			・文理・経済・商学部のみ申込可。	
B1C6	教育の方法・技術論	古賀 徹	2	T21700	教育の方法・技術論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
B1C7	博物館展示論	岡部 幹彦	2	Y20800	博物館展示論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語Ⅴ〕

小田井 勝彦

◆**授業概要** 英語Ⅴは英文学専攻の学生を対象とした、専門科目で必要となる英語力の完成を目指す授業です。下記に記載のテキストを使用して、ファッション、食文化、経済など様々なジャンルを扱った新聞や雑誌、インターネットの記事を読むことで、英語の読解力を培うとともに、世界各国の様相を体感し、国際教養を身につけることを目指します。

◆**学修到達目標**

1. 英語の語彙力を高める
2. 新聞記事などのやや難解な英文を正確に理解する力を身につける
3. 国際社会の様々なトレンドを理解する

◆**授業方法** 事前に本文を読んできて下さい。授業では、1文1文学生を指名し、日本語に和訳していただきます。また、章末にある Questions も答え合わせをしますので、事前に解答して下さい。(要約は作成しなくて結構です)

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: ガイダンス, Unit 1 A 20th-century hero and icon 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
2回	授業内容: Unit 1 A 20th-century hero and icon 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
3回	授業内容: Unit 2 From Seaspeak to Singlish 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
4回	授業内容: Unit 2 From Seaspeak to Singlish 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
5回	授業内容: Unit 3 There's more to the Isle of Man than motor racing and tax breaks 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
6回	授業内容: Unit 3 There's more to the Isle of Man than motor racing and tax breaks 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
7回	授業内容: Unit 4 Future Predictions for Artificial Intelligence and Automation 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
8回	授業内容: Unit 4 Future Predictions for Artificial Intelligence and Automation 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
9回	授業内容: Unit 5 Take more proactive climate action 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
10回	授業内容: Unit 5 Take more proactive climate action 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
11回	授業内容: Unit 6 UNESCO "Japanese Food: Intangible Cultural Heritage" 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
12回	授業内容: Unit 6 UNESCO "Japanese Food: Intangible Cultural Heritage" 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
13回	授業内容: Unit 7 The Origins of Bathhouse culture around the World 前半 事前学修: 本文前半の読解 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
14回	授業内容: Unit 7 The Origins of Bathhouse culture around the World 後半 事前学修: 本文後半の読解, Questions を解答 事後学修: 語彙, 英文構造の確認, 内容の確認
15回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 授業の総復習 事後学修: 授業の総復習

◆**教科書** 丸沼『世界を読み解く 15 の扉』河原真也・伊藤健一郎 朝日出版社 2019 1,944 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 試験 70%, 平常点 (予習の有無, 発表など) 30% で評価します。  
※すべて出席することを前提とします。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語基礎〕

賀美 真之介

◆**授業概要** 英語の4技能について、種々のアクティビティやアクティブ・ラーニングに取り組みながら、さらに、外国語学習に対する意欲や心構え、ことばに対する感性なども向上させながら、総合的な英語学習を行います。大学生としてはレポートや卒業論文で、社会人としては職場や海外旅行など、様々な場面で要求される英語に、どうかこうにかであっても対応できるようになるためにも、少しずつ事前学修と事後学修をすすめていきましょう。

◆**学修到達目標** 1. Comprehension と Listening Focus に解答できる。また、場面ごとの大意をつかみ、要約して説明できる。  
2. Words & Phrases や Interaction の表現を正確に聞きとり、発音ができる。  
3. Scanning の文章を読解したうえで、その内容を問う質問に解答できる。  
4. 上記項目の学習内容を Exercise のアクティビティなどにおいて応用できる。

◆**授業方法** 受講者のみなさんの事前学修の成果を確認するかたちで進めます。たくさん発言してもらおうので、しっかりと予習してください。また、出席課題や、ペアワーク、グループワーク、スキットといったアクティビティにも積極的に取り組んでください。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 : Orientation: 発音や品詞や文法などのおさらい 事前学修 : 各自の辞書で、発音、品詞、意味などの調べ方を確認すること 事後学修 : 2回から8回にわたる学修計画をたてること
2 回	授業内容 : Unit 1: She Gets a Royal Welcome 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
3 回	授業内容 : Unit 2: Where Do You Live? 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
4 回	授業内容 : Unit 3: Is This the Elevator? 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
5 回	授業内容 : Unit 4: Is This the Princess? 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
6 回	授業内容 : Unit 5: So I've Spent the Night Here with You? 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
7 回	授業内容 : Unit 6: It's Just What I Wanted 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
8 回	授業内容 : Summary 1: 1回から7回までのまとめ 事前学修 : 1回から7回までの学修をふりかえること 事後学修 : 9回から15回にわたる学修計画をたてること
9 回	授業内容 : Unit 7: Today's Gonna Be a Holiday 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
10 回	授業内容 : Unit 8: "The Mouth of Truth" 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
11 回	授業内容 : Unit 9: Hit Him Again, Smitty! 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
12 回	授業内容 : Unit 10: I Don't Know How to Say Goodbye 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
13 回	授業内容 : Unit 11: Is That a Shot, Joe? 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
14 回	授業内容 : Unit 12: By All Means, Rome 事前学修 : 未知の単語や表現について、発音、品詞、意味などを辞書で調べること 事後学修 : DVD を視聴して Listening Focus に挑戦すること
15 回	授業内容 : Summary 2: 1回から14回までのまとめ、及び試験 事前学修 : 1回から14回までの学修をふりかえること 事後学修 : 授業(試験を含む)を通して、その内容を十分理解しているかどうかを再確認すること

◆**教科書** 〔丸〕『Roman Holiday: Shining and Natural English』 濱田真由美・穂本浩美 マクミラン ランゲージハウス 2,700 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 出席課題 (15%)、アクティビティ (30%)、試験 (55%) を総合的に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔民法Ⅲ〕 オープン受講：不可

長谷川 貞之

- ◆**授業概要** 人はその誕生から死亡に至るまで様々な権利を取得するが、売買や賃貸借などの契約や不法行為などを主たる原因として発生する債権は、取引社会の中ではきわめて重要な権利である。本講義では、弁護士の実務経験をもとに授業を行い、債権の発生から存続・効力、そして消滅に至るまでのプロセスを民法典の規定に即して学ぶとともに、これを通じて民法における債権法の基本構造を体系的に理解する能力を養うことを目標とする。
- ◆**学修到達目標**
  1. 民法典における「債権」の意義・性質を「物権」との対比で明らかにし、社会の中でどのように機能しているかを債権の一生（発生、存続・効力、消滅）の大きな流れの中で理解できるようになることを目的とする。
  2. 債権の内容を「給付」概念を通じて債権の種類を明らかにすることにより、その意味するところを具体的に説明できるようにする。
  3. 債権は債務者以外にも第三者に対して効力が及ぶ場合があるが、それがどのような場合であるかを、責任財産の保全、多数当事者の債権債務関係などの観点から把握できるような能力を身に付ける。
- ◆**授業方法** 授業計画に沿って、教科書に即しながら講義形式で行う。適宜、ソクラテス・メソッド（問答方式）を用いる。できる限り具体例を挙げながら、考える授業としたい。六法は必携。
- ◆**履修条件** 2018年東京スクーリング（2月期）第2期「民法Ⅲ」との積み重ね不可
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1回	授業内容 民法の体系と債権法：債権法をまなぶ意義、債権法総則と各論、近時の債権法改正
事前学修	1. 教科書を事前に購入し、開講前までに2・3回程度全体を通読しておくこと。その際、教科書の余白に記載のある★（重要度に応じて3段階）に留意し、問題点の把握に心掛ける。 2. 教科書の序章の部分については、とくに丁寧に予め読んでおくこと。 3. 民法典第3編債権（399条-724条）を音読し、債権総論の規定条の配置（399条-548条）を確認しておくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。
2回	授業内容 債権の意義：債権の意義と性質：債権の発生原因、物権と区別される債権の意義・性質
事前学修	1. 教科書の序章の部分を読み込んでおくこと。 2. 民法典第3編債権総論の規定条の配置（399条-548条）を確認し、音読しておくこと。
事後学修	債権の基本的性質を確認し、配布資料の例題を検討する。
3回	授業内容 債権の目的（1）：債権の目的・種類 給付の概念を通じた分類
事前学修	教科書の第2章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。給付の目的物の違いに応じて、各種の債権が定物債権・種類債権・金銭債権・選択債権などに区別され、弁済方法などの点で違いがあることを具体的に把握する。
4回	授業内容 債権の目的（2）：特定物債権・種類債権・金銭債権・選択債権など
事前学修	教科書の第2章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。
5回	授業内容 債権の効力（1）：履行請求、債権・債務と責任、第三者による債権侵害
事前学修	教科書の第3章を事前によく読み、債権の区別を対内関係と対外関係に区分して把握しておくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解すること。債権が請求力以外にも、訴求力、強制力、および給付保持力を持つことを確認しておく。配布資料の「例題」を検討する。
6回	授業内容 債権の効力（2）：債務不履行（履行遅滞・履行不能・不完全履行）、受領遅滞
事前学修	教科書の第3章を事前によく読み、債権の対内関係の中心をなす債務不履行の具体例を通じて把握しておくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解すること。債務不履行の三類型を区別できるように理解する。
7回	授業内容 債権の効力（3）：責任財産の保全—債権者代位権、債権者取消権
事前学修	教科書の第4章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。76頁の「例題」、91頁以下の「債権者代位権の転用」事例を検討する。
8回	授業内容 債権の効力（4）：（統）債権者代位権・債権者取消権
事前学修	教科書の第4章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	96頁の「例題」を検討する。配布資料の「例題」を検討する。
9回	授業内容 債権の効力（5）：多数当事者の債権・債務関係—債権の共有と原則ルール（分割債権・債務、不可分債権・債務）
事前学修	教科書の第5章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。
10回	授業内容 債権の効力（6）：多数当事者の債権・債務関係—連帯債権・債務、保証債務
事前学修	教科書の第5章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。連帯保証、根保証などは重要なので、しっかりまとめて整理する。
11回	授業内容 債権の効力（7）：（統）保証債務
事前学修	教科書の第5章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。
12回	授業内容 債権の効力（8）：債権譲渡
事前学修	教科書の第5章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。債権譲渡の意義・目的を確認し、配布資料の「例題」を検討する。
13回	授業内容 債権の効力（9）：債務引受、契約上の地位の移転（契約譲渡）、 <sup>⑭</sup>
事前学修	教科書の第6章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。債権法改正により新たに規定が設けられた部分なので注意する。
14回	授業内容 債権の消滅（1）：総論—7つの消滅原因、弁済とその周辺（弁済の方法・場所・費用など）、代物弁済、供託、相殺など
事前学修	教科書の第7章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。債権特有の消滅原因7種類について、条文を参照し、確認しておくこと。
15回	授業内容 債権の消滅（2）：相殺の担保的機能／まとめ&試験
事前学修	教科書の第7章を事前によく読んでおくこと。
事後学修	配布資料を確認し、授業の内容をノートに整理して、その内容を理解しておくこと。相殺の担保的機能にとて、配布資料の「例題」を検討する。

- ◆**教科書** 丸沼『民法Ⅲ—債権総論 [第4版]』〈有斐閣Sシリーズ〉野村豊弘ほか 有斐閣 2018年 2,052円（税込）（送料 300円）
- ◆**参考書** 丸沼『民法（債権関係）改正法新旧対照条文』商事法務編 商事法務 2017年 1,080円（税込）（送料 300円）
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、平常点（20%）と試験（80%）により総合的に評価する。

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学講義Ⅲ（中世）〕

鹿野 しのぶ

- ◆**授業概要** 小倉百人一首を取り上げ、一首が詠まれた背景を学び、作品内における配列構成を考えます。さらに、室町時代の注釈書（百人一首宗祇抄）を取り上げ、その享受について考えます。
- ◆**学修到達目標** ○中世文学における美意識や思想を学び、自らのことばで説明できるようにします。  
○作品の注釈書を丁寧に読解することにより、中世の学問の在り方について理解します。
- ◆**授業方法** 講義形式での授業を中心にを行います。テーマによっては質疑や感想・意見を述べるなど受講生が発言をする時間を設けます。詳細は第 1 回目の講義で説明します。
- ◆**授業計画（各 90 分）**

1 回	授業内容：『百人一首』の撰者と成立について学びます。 事前学修：『秀歌選』『藤原定家』『後鳥羽院』を和歌文学辞典などでひいておこう。 事後学修：テキスト 122～126 頁を読んで、授業の内容をノートにまとめよう。
2 回	授業内容：『百人一首宗祇抄』について考えます。 事前学修：テキスト 113～120 頁の解題を読んでおくと良いでしょう。 事後学修：138 頁のくずし字一覧を参照し、8～11 頁の序文を読んでみよう。
3 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について①喜撰法師 事前学修：テキスト 20 頁の 8 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、喜撰法師の和歌の特徴を確認しておこう。
4 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について②僧正遍照 事前学修：テキスト 24 頁の 12 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、僧正遍照の和歌の特徴を確認しておこう。
5 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について③素性法師 事前学修：テキスト 30 頁の 21 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、素性法師の和歌の特徴を確認しておこう。
6 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について④恵慶法師 事前学修：テキスト 50 頁の 47 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、恵慶法師の和歌の特徴を確認しておこう。
7 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑤大僧正行尊 事前学修：テキスト 66 頁の 66 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、行尊の和歌の特徴を確認しておこう。
8 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑥能因法師 事前学修：テキスト 70 頁の 69 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、能因の和歌の特徴を確認しておこう。
9 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑦良運法師 事前学修：テキスト 71 頁の 70 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、良運法師の和歌の特徴を確認しておこう。
10 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑧道因法師 事前学修：テキスト 80 頁の 82 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、道因法師の和歌の特徴を確認しておこう。
11 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑨俊恵法師 事前学修：テキスト 82 頁の 85 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、俊恵法師の和歌の特徴を確認しておこう。
12 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑩西行法師 事前学修：テキスト 84 頁の 86 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、西行の和歌の特徴を確認しておこう。
13 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑪寂蓮法師 事前学修：テキスト 85 頁の 87 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめ、寂蓮法師の和歌の特徴を確認しておこう。
14 回	授業内容：小倉百人一首における僧侶歌人について⑫慈円、および理解度の確認。 事前学修：テキスト 92 頁の 95 番歌と注釈を翻字してみよう。 事後学修：授業の内容をノートにまとめておこう。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回までの授業内容を各歌人毎に特徴をまとめておこう。 事後学修：百人一首と日本の文化について考えてみよう。

- ◆**教科書** 丸沼『百人一首宗祇抄：姉小路基綱筆』小川剛生編 三弥井書店 1,296 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 丸沼『百人一首 全訳注』有吉保 講談社学術文庫 1,533 円（税込）（送料 300 円）  
丸沼『和歌のルール』渡部泰明編 笠間書院 1,296 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**成績評価基準** 試験（60%）、平常点（レビューシート、積極的な発言など）（40%）、毎回出席することを前提としています。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史概説A / 日本史概論A〕

鍋本 由徳

- ◆ **授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学びます。政治や経済の内容を中心に据えながら、社会や文化の背景への理解を深めていきます。
- ◆ **学修到達目標**
  1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。
  2. 各時代の主なできごとと背景や意義、着眼点について説明できるようにする。
  3. 将来教壇に立つ者として必要な知識と学修姿勢を身につける。
- ◆ **授業方法** 事前に教科書で時代概要を把握していることを前提に講義します。当日の授業はプリント・スクリーン投影資料を併用しながら教科書の内容を補足し、適宜思考を促す発議をします。
- ◆ **履修条件** 2018年度昼間前期「日本史概説」修得済学生、2019年度昼間前期「日本史概説」の受講生は履修不可
- ◆ **授業計画 (各90分)**

1回	授業内容 日本史概説の特性と学びの意味 「日本史概説」の目的と意義、戦後の「日本史学修」を概観します。
事前学修	シラバスを熟読し、講義全体の流れをおさえておく。
事後学修	各回の意図を振り返り、今後の自身の学修目標を立てる。
2回	授業内容 先史時代の特徴 旧石器時代からおおよそ弥生時代までの時代の特徴を学びます。
事前学修	教科書の先史時代の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
3回	授業内容 ヤマト王権 ～倭王武から推古朝～ 古墳時代から推古朝までの特質について学びます。
事前学修	教科書の古墳～飛鳥時代の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
4回	授業内容 奈良時代の政治 ～政争～ 主に政争と遷都の問題について学びます。
事前学修	教科書の奈良時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
5回	授業内容 平安時代の政治 ～遷都と聖俗～ 主に平安京遷都、摂関政治と天皇との関わりについて学びます。
事前学修	教科書の平安時代政治史を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
6回	授業内容 鎌倉幕府の成立 ～東国王権と西国王権～ 鎌倉幕府の誕生と、朝廷勢力との関係について学びます。
事前学修	教科書の鎌倉時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
7回	授業内容 室町幕府の特徴 ～建武新政から観応の擾乱～ 建武新政から観応の擾乱、幕府政治体制の特徴について学びます。
事前学修	教科書の室町時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
8回	授業内容 戦国時代の様相 ～統一政権への布石～ 戦国時代から織田政権までの政治的特徴について学びます。
事前学修	教科書の戦国・織田政権の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
9回	授業内容 天下統一と徳川政権 ～朝廷との関係～ 豊臣政権から徳川政権における朝廷の位置付けについて学びます。
事前学修	教科書の近世朝廷に関する範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
10回	授業内容 明治新政府の施政方針 ～江戸幕府の遺制～ 幕末・維新期における政治動向の特徴について学びます。
事前学修	教科書の幕末維新期の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
11回	授業内容 条約改正問題と帝国議会 ～成果と課題～ 条約改正の流れから、日本の外交方針について学びます。
事前学修	教科書の幕末開国と条約改正の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
12回	授業内容 大正デモクラシー ～政変と普選～ 普通選挙運動をめぐる政界の動向と運動の意義を学びます。
事前学修	教科書の大正政変に関する範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
13回	授業内容 太平洋戦争と国際関係 ～日本の対米英意識～ 日露戦争頃から太平洋戦争までの日米関係の特徴を学びます。
事前学修	教科書の昭和外交と太平洋戦争の範囲を読み、事前シートに取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
14回	授業内容 戦後日本の歩み ～戦後改革と歴史学～ 戦後の歩み、戦後歴史学と冷戦との関わりについて学びます。
事前学修	教科書の戦後改革の範囲を読み、事前シートの課題に取り組み。
事後学修	ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
15回	授業内容 講義総括 レポート作成 日本史概説の振り返りと今後の課題 第1回から第14回を総括して、自己理解度を改めて振り返ります。
事前学修	第1回から第14回の学修内容の要点をまとめておく。
事後学修	当日配付されたプリントから自身の弱点を知り、重点復習箇所を確認する。

- ◆ **教科書** 教材『日本史概説 / 日本史概論 Q30200/K32200』 通信教育教材 (教材コード 000382) 2,850円 (送料込)  
(この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介 (吉川弘文館) と同一です。)  
〔当日資料配布〕 参照プリントを1～2枚配付
- ◆ **参考書** 配布プリントで適宜紹介する
- ◆ **成績評価基準** 授業内提出レポート (70%)、授業内小テスト (30%) の総合評価 ※全ての授業を出席することが前提です。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

選 講 座 の 定 期  
5月1期 東京  
5月2期 東京  
6月期 東京  
7月期 東京  
6月期 札幌  
6月期 大阪  
7月期 名古屋  
7月期 福岡  
月曜日 夜間  
火曜日 夜間  
水曜日 夜間  
木曜日 夜間  
金曜日 夜間  
申込方法 講座の  
許可/不許可 申込講座の  
納 入 料 受講料の  
受 講 準備 受講準備  
試 験 受講及び  
の 学生生活 受講期間中  
受 講 オープン  
各 種 用 紙  
付 録

## 〔教育の方法・技術論〕

古賀 徹

◆**授業概要** この授業は、教員としての授業実践力を修得することを目的としています。授業が成り立つ条件を理解するために、先ず歴史や諸外国の実践例を学ぶことから始めます。次には「読む・書く・きく・話す」等の技能を伸ばすための技術・指導法を学び、実際に活用できるレベルへ高めていく。カリキュラム構成の基礎を身につけ、指導計画をデザインできるようになるまでがゴールです。ICT 活用の学習形態についても考え深めていきます。

◆**学習到達目標** 次の事項について理解を深め、技能・指導技術を身につける。①教授法の歴史の変遷を理解する。②ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」等の最新の学習概念を理解する。③アクティブ・ラーニング形式の学習について理解し、実践するアイデアを出す。④カリキュラム構成の基礎を身につけ、学習目標に沿って学習内容・活動を展開するイメージをまとめることができる。⑤ ICT 活用や e ラーニング等の学習形態について、その課題や可能性も含めて把握することができる。⑥教育評価の方法を身につける。

◆**授業方法** 講義形式に加えて、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブ・ラーニング型の方式をとり入れる。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：「教育方法」とは何か？「教える」と「学ぶ」こと。 事前学修：教職課程における学習内容（各科目）について意味を調べておく。 事後学修：新学習指導要領の「ねらい」について調べ、説明文としてまとめる。
2 回	授業内容：教育方法論の歴史（西洋教育方法史）。 事前学修：コメニウス、ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイについて文献を読む。 事後学修：本日の学修内容についてレポート作成（次回提出）。
3 回	授業内容：新しい「学習」概念（ヴィゴツキーの活動理論と現在の学習）。 事前学修：「PISA 型学力」等の新しい学力観について資料を通読しておく。 事後学修：講義で体験的学習により学んだ内容を言語化して説明文としてまとめる。
4 回	授業内容：問題解決学習と系統学習。 事前学修：自身の体験的な学びについて具体例をあげ、その効果について記す。 事後学修：自身の担当科目における能動的な学習を設計する。
5 回	授業内容：指導技術：「はなす」ことと「きく」こと。 事前学修：自身のキャリア教育体験について他者に説明できるようまとめておく。 事後学修：ウェビング、KJ 法等の可視化技能を高めるよう自身で練習する。
6 回	授業内容：「はなす・きく・かく・まとめる」。 事前学修：各科目において必須とされる技能について調べ、まとめる。 事後学修：本を数冊読み、その内容をウェビングで記す。
7 回	授業内容：授業形態を個別化に対応させる（バズ学習、T.T、完全習得学習）。 事前学修：個別の差（個人）への対応という難しさについて意見をまとめておく。 事後学修：世界各国の地域差からくる教育観の違いについて説明文を書く。
8 回	授業内容：カリキュラム構成の方法（「ねらい」のある学習をつくる）。 事前学修：学習指導要領でカリキュラムマネージメントの箇所を読んでメモしておく。 事後学修：カリキュラム構成方法を応用して「ある学校」のプランをつくる。
9 回	授業内容：シミュレーション学習、プロジェクト学習。 事前学修：学校数校のホームページ等をみてカリキュラム構成を確認しておく。 事後学修：自身の科目においてどのようにプロジェクト学習が組めるか構想する。
10 回	授業内容：一時間の学習指導案を構成する。 事前学修：自身の科目ごとに自由に範囲を選び、授業を構想しておく。 事後学修：指導案（学習指導計画）を複数構想する（次回提出）。
11 回	授業内容：学習実践のロールプレイ。 事前学修：一冊以上の本を読み「朝読書」指導案を考案する。 事後学修：既習のウェビング、カリキュラム、指導案を組み合わせる授業設計を行う。
12 回	授業内容：ICT 機器を活用した新しい学習法。 事前学修：メディア授業を試聴しレポートを用意する。 事後学修：新しい時代のメディア教材や、その功罪についてレポートをまとめる。
13 回	授業内容：日本の学習方法を歴史的にふり返り、今後の展開を構想する。 事前学修：日本特有の教育方法について、イメージすることを複数メモしておく。 事後学修：日本と西洋の「近代化」の関係性について、短い文章でまとめる。
14 回	授業内容：教材研究・教育評価の方法。 事前学修：これまでの授業内容について、自身でまとめる（授業で使用する）。 事後学修：逆向きの設計から「自身の科目で習得する力」を設定。
15 回	授業内容：「主体的・対話的で深い学び」の構成方法。 事前学修：最終講義の課題について、自身で資料を集め、まとめておく。 事後学修：様々な授業形態により授業をデザインできるようトレーニングを継続する。

◆**教科書** 資料、レジュメを作成し、配布する。

◆**参考書** 『学習指導要領』（中学校・高等学校）

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。課題未提出の場合は評価を行わない。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔博物館展示論〕

岡部 幹彦

- ◆**授業概要** 博物館の主要な機能である展示について、ICOMの博物館定義にある「有形、無形の人類の遺産とその環境」をキーワードに、モノ、ヒト、コトと環境、時間軸、空間軸の間に成立する関係性を示すことの意味を学ぶ。また、内外の事例を通じて展示の手法および展示準備プロセスの実際を学び、展示に係る基礎的な知識と能力を身につける。
- ◆**学修到達目標** 1. 展示テーマとこれを成立させる資料構成を企画立案することができ、観覧者の主体的で積極的な“観る”行為を引き出す展示計画を立案できる。2. 企画立案から展示・撤去までの具体的な準備作業とその手順を理解し、これを計画することができる。3. モノの展示と情報の提供との関係を理解した解説資料を作成することができる。
- ◆**授業方法** 毎回の授業時に資料プリントを配布し、スライドを用いて講義形式で進行することを基本とするが、積極的な学修姿勢と理解を促すため、適宜テーマを設けて意見を求める。展示に係る内外の映像資料や実物資料を用いて多様な視点を提供するとともに、展示企画書の作成を体験する。また、各授業終了時に必要に応じ要点確認レポートの提出を求める。
- ◆**授業計画（各90分）**

1回	授業内容 事前学修 事後学修	《オリエンテーション》授業の進め方と留意点、博物館の定義・機能と展示 博物館法とICOMの定義 海外の展示事例 博物館の主要な機能について、博物館法がどのように記載しているか調べておくこと ICOMの博物館定義の新旧の差異を整理しておくこと
2回	授業内容 事前学修 事後学修	博物館の館種と展示の形式・種類 博物館の館種について調べノートに整理しておくこと フィールドミュージアムの事例を調べ理解すること
3回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の理念と意義 モノを観ることと情報の提供、観察と鑑賞 美術館と文学館の展示を観る行為に差異があるか、その理由を考えておくこと 学術的価値・歴史的価値・芸術的価値について整理しておくこと
4回	授業内容 事前学修 事後学修	主体的・積極的な観覧を促す展示手法 海外の事例に観る様々な手法 海外の博物館のウェブサイトを開覧し、展示の様子を調べておくこと 1点の資料（作品）を選び積極的・主体的な観覧を促す解説を作成すること
5回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の構成 モノ・コト・ヒトとその環境／時間軸・空間軸 資料構成と展示テーマ 展覧会カタログを見て、展示テーマと資料構成を時間軸・空間軸で把握してみる 実際の展覧会に出品された資料についてそのモノ・コト・ヒト・環境を整理し図示すること
6回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の企画立案とテーマ・サブテーマ 企画決定プロセス 展示企画書作成実習 各自の関心に応じた展示企画書を作成しておくこと 講義を踏まえ、事前学修で作成した展示企画書を修正完成させること
7回	授業内容 事前学修 事後学修	展示環境 展示と資料保存 展示環境と展示施設・設備・用具 ファシリティーレポート 相対湿度と絶対湿度の違いを理解しておくこと 国指定文化財（美術工芸品）の展示について理解しておくこと
8回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の方法と技術 展示と演出 展示用具 ユニバーサルデザイン バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解しておくこと 博物館を実際に訪問し、展示の方法と技術について観察しノートに整理しておくこと
9回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の実際（1）企画展・特別展の開催形態 日本の特殊性 経費と収益 大正期に開催された各種博覧会について調べておくこと 過去のいくつかの企画展・特別展について、その主催・共催・後援・協賛・協力等を調べ整理すること
10回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の実際（2）開催要項 借用交渉と借用 輸送と展示 学芸員が輸送に同行する意味・理由を考えておくこと 実際の展覧会カタログから開催要項を再現し作成すること
11回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の実際（3）カタログ・各種印刷物の作成と学芸員の役割 広報 展示の評価 展覧会ポスターやチラシを写真撮影し、主要な記載項目を調べる 実際の展覧会カタログについて、その構成（項目）を一覧表に整理しておくこと
12回	授業内容 事前学修 事後学修	展示と博物館教育 資料と情報 キャプション・解説パネル・情報機器 チラシやウェブサイトなどで企画展示に係る教育事業について調べておくこと 授業を踏まえ、資料や作品の解説文を作成してみる
13回	授業内容 事前学修 事後学修	展示のリスクマネジメント 保険と国家補償 展示と関連法規 動産保険の仕組みについて調べ理解しておくこと 展示と関連法規を一覧表に整理して理解すること
14回	授業内容 事前学修 事後学修	展示の課題 モノの展示と映像情報の展示 海外の事例に学ぶ 映像資料と文字資料の共通点もしくは相違点について考えておくこと 映像資料を扱う場合の原則について整理して理解すること
15回	授業内容 事前学修 事後学修	《まとめ》博物館の現状と展示の可能性 学芸員の果たす役割 【試験】 独立行政法人、指定管理者制度、法人改革について調べておくこと 全回の配付資料を再読し、主要項目のインデックスを作成する

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 当日プリント配布
- ◆**参考書** **〔教材〕**『博物館概論 Y20300』通信教育教材（教材コード000492）2,850円（送料込）  
〈この教材は市販の『新時代の博物館学』全国大学博物館学講座協議会西日本部会著（芙蓉書房出版）と同一です。〉
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（20%）、要点確認レポート（20%）、試験（60%）

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

選 講 座 の 定 東 京 大 学 5 月 1 期 東 京 大 学 5 月 2 期 東 京 大 学 6 月 期 東 京 大 学 7 月 期 京 大 学 6 月 期 名 古 屋 大 学 7 月 期 福 岡 大 学 月 曜 日 夜 間 京 大 学 火 曜 日 夜 間 京 大 学 水 曜 日 夜 間 京 大 学 木 曜 日 夜 間 京 大 学 金 曜 日 夜 間 京 大 学 申 込 方 法 講 座 の 申 込 方 法 許 可 不 可 奇 納 入 受 講 料 の 納 入 受 講 準 備 試 験 受 講 及 び 受 講 期 間 中 の 学 生 生 活 オ ー プ ン 講 義 各 種 用 紙 付 録

## ◆ 開講講座表及び講座内容（シラバス）

夜 間 木曜日	時間	18:30～21:25							
	授業日	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目 〈試験を含む〉
		5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4

※以下の木曜日開講の講座から1講座を選択してください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
B1D1	英 語 J	北 原 安 治	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2年		
				C10400	英 語 IV				
B1D2	知的財産権法	三 村 淳 一	2	K31400	知的財産権法		2年		
B1D3	英 文 法 B	小 澤 賢 司	2	N20200	英 文 法		条件 参照	・英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
B1D4	日 本 経 済 史	飯 島 正 義	2	R30500	日 本 経 済 史		2年		
B1D5	教育原論B/ 教育の思想B	渡 辺 典 子	2	T10200	教 育 原 論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				T10300	教 育 の 思 想				
B1D6	博 物 館 概 論	中 野 照 男	2	Y20300	博 物 館 概 論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 J〕

北原 安治

◆**授業概要** 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**学修到達目標** 全体的に英文の構造が理解できるようになり、文の構造に基づいた正しい和訳ができるようになることを目的とする。五文型の基本理解、自動詞と他動詞の区別、目的語と補語の区別、完了形の理解、仮定法の理解など基本文法が理解できるようになることを目的とする。

◆**授業方法** 講義の最初に映像教材を使い口語英語や英米中心に文化について学ぶ。テキストについては本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ルーズリーフでもよいが必ず書いたものすべてを毎回持ってくること。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。予習段階で英文を 8 行ほどの間隔でノートに写す。板書のときは英文の下に訳を書くが、ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてくること。和訳小テストをするので辞書を持ってくること。教科書を毎回持ってくること。15 回目の試験は辞書やノートの持ち込み不可。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：講義の進め方の説明。映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳 事前学修：英文をノートに書き写す（8 行ほど）。単語を調べて自分なりの和訳をする。 事後学修：予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。
2 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。5 文型の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。5 文型の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。5 文型の復習。
3 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。文の種類の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。文の種類の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。文の種類の復習。
4 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。句と節の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。句と節の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。句と節の復習。
5 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。動詞の種類の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。動詞の種類の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。動詞の種類の復習。
6 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。目的語と補語の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。目的語と補語の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。目的語と補語の復習。
7 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。群動詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。群動詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。群動詞の復習。
8 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。前置詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。前置詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。前置詞の復習。
9 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。二重前置詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。二重前置詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。二重前置詞の復習。
10 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。関係代名詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。関係代名詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。関係代名詞の復習。
11 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。前置詞＋関係代名詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。前置詞＋関係代名詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。前置詞＋関係代名詞の復習。
12 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。複合関係代名詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。複合関係代名詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。複合関係代名詞の復習。
13 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。関係副詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。関係副詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。関係副詞の復習。
14 回	授業内容：映像資料。第 8 章（中国）の英文構造と和訳。関係詞の確認。 事前学修：英文をノートに書き写す。和訳をする。関係詞の予習。 事後学修：和訳を比べてどこが間違ったか確認する。関係詞の復習。
15 回	授業内容：持ち込み不可の試験および解説 事前学修：学習した範囲の単語を覚えて、和訳ができるようにする。 事後学修：学んだ文法事項を参考書などで再確認する。

◆**教科書** 丸沼『Major Countries in the World ～世界の主要国～』小泉和弘編 鳳書房（Tel/Fax (03)3483-3723）1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』旺文社 1,944 円（税込）（送料 500 円）  
この本は講義では使わない。辞書は使い慣れたものでよいので毎回持ってくること。電子辞書でもよい。

◆**成績評価基準** 試験、小テストなどの総合評価。皆出席を望むが、夜間は突然の出張が入ったり遠距離からくる学生もいたので、休む時や退出時間についてなど相談してもらいたい。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るの は当然のことだからである。抜き打ちの実力テストを行う場合がある。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。テキストを買っていないものも不可とする。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔知的財産権法〕

三村 淳一

- ◆**授業概要** 知的財産権法（特許・実用新案・意匠・商標・著作権）及び関連条約に関する基礎的講義を行う。具体的には、各権利の成立要件やその権利内容を講義する。
- ◆**学修到達目標** 知的財産権は、企業の運命を左右する重要な財産である。本講義は、知的財産権の中でも中核をなす特許法・実用新案法を中心に、概要及び制度を理解することを目的とし、また意匠法・商標法・著作権法・関連条約についても基礎的な知識の習得を行うことを目的とする。さらに、知的財産権を巡り、どのような争いがなされているのかを理解する
- ◆**授業方法** 講義形式による授業を行う。講義では、各法毎に、法目的などの基本的な解説から始め、さらに、PPT を用いることにより視覚を通じて法律の理解を深めるような工夫をしている。一方で、扱う法が多岐に渡るため、事前の学習準備は必須である。授業では条文を参照することが多いので、工業所有権法令集（アプリでも可）を持参すること
- ◆**履修条件** 知財を勉強したい気持ちがあれば、その他の条件はありません。2018 年度夜間スクーリング（秋期）「知的財産権法」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画**〔各 90 分〕

1 回	<p>授業内容：知的財産権法の概要</p> <p>事前学修：参考書 P 1-36 を事前に読んでおく。知的財産権にはどのような法律があるのか理解する。</p> <p>事後学修：今まで自分が考えてきた無体財産はどのような法律で守られているのか認識する。また、知財の現状を理解し、今後、日本はどのような方向に進むべきかを考える。尚、以下、特に重要な部分については特記しているが、基本的には、教科書にて対応する講義主題を確認する。</p>
2 回	<p>授業内容：特許法（1）：特許法の目的及び特許権成立までの概略</p> <p>事前学修：参考書 P41-42 を事前に読んでおく。なぜ特許法が制定されたのか理解する。特許法が無かった場合の世界を想像する。参考書 P86-89 を事前に読んでおく。特許成立までの流れの概略を理解する</p> <p>事後学修：特許法 1 条の各用語の意味を再確認する。特許成立までの流れにおいて、各段階での手続きの内容を教科書で確認する。</p>
3 回	<p>授業内容：特許法（2）：特許要件（発明性、産業上の利用可能性）</p> <p>事前学修：参考書 P43-45、66 を事前に読んでおく。一般的に使用されている「発明」と特許法で規定する「発明」の意味の相違を理解する。特許成立に必要な「産業上の利用性」を理解する。</p> <p>事後学修：授業内で、特定分野において、特許庁に出願されているアイデアが、法上の発明にあたるか否かをレポートする宿題を実施する。</p>
4 回	<p>授業内容：特許法（3）：特許要件（新規性、進歩性）</p> <p>事前学修：参考書 P67-69 を事前に読んでおく。新規であるという状況をいうのか理解する。また、新しい発明をしても、従来のものから容易に発明できるものは特許とはならないという進歩性の判断基準を理解する。</p> <p>事後学修：新しさの時間的・地域的基準や公然の意味など、教科書で確認する。</p>
5 回	<p>授業内容：特許法（4）：新規性喪失の例外及び不特許事由</p> <p>事前学修：参考書 P68 を事前に読んでおく。新規ではない状態となっても一定条件のもと、新規性を失わない場合はどのような場合であるか、理解しておく。</p> <p>事後学修：参考書 P71 を事前に読んでおく。上記の要件を満足しても、特許化すべきではない発明がある。どのような発明が、特許化すべきではないのか、またその理由は何であるか、学習しておく</p> <p>事後学修：通常、新規性を喪失した発明は特許化が不可能であることは、研究者は知っているはずであるが、どのような場合に、この規定の適用を受けることになるのか、考えてみる。授業で取り上げていない事例なども、自己で考えて、結論を導く。</p>
6 回	<p>授業内容：特許法（5）：先願主義と拡大された先願の地位</p> <p>事前学修：参考書 P70 を事前に読んでおく。先願主義とは何かを理解する。同一の発明が同日に時間を異にして出願された場合の取り扱いは、異日出願の場合と異なる点を十分に理解しておく。同ページのコラム内の説明も事前に読んでおく。特に、「拡大された先願の地位」は、理解が難しい規定であるため、繰り返し読み、規定の内容を理解する。</p> <p>事後学修：先願主義と先発明主義に比べ、日本が採用する先願主義には、どのような利点があるかを考える。また、先発明主義を採用していた国の制度を教科書で確認する。本規定の条文である 29 条の 2 について、授業後の再度読み返し、規定の内容と条文の文言を確認する。</p>
7 回	<p>授業内容：特許法（6）：出願公開制度と補償金請求権</p> <p>事前学修：参考書 P93 を事前に読んでおく。出願公開の要件及び補償金請求権の要件及び内容を理解する。</p> <p>事後学修：教科書にて講義内容を確認する</p>
8 回	<p>授業内容：特許法（7）：特許権の効力と効力が及ばない範囲</p> <p>事前学修：参考書 P92、169 を事前に読んでおく。特に特許権者はどのようなことを独占排他的に行えるのか理解する。特許法 69 条（効力制限）、間接侵害規定（101 条）を事前に読んでおく。どのような規定であるか、理解しておく。</p> <p>事後学修：特に、消尽説を教科書を利用して理解する。「グアニジノ安息香酸誘導体 III 上告審」平成 10（受）153 を読み、69 条 1 項の理解を深める。</p>
9 回	<p>授業内容：特許法（8）：職務発明</p> <p>事前学修：参考書 P83 を事前に読んでおく。現行法下での権利の原始的帰属や使用者の権利を理解する。</p> <p>事後学修：旧法との比較を行い、改正点を整理するとともに、改正法の課題を考える。</p>
10 回	<p>授業内容：実用新案法：権利取得までの概略、技術評価書、特許法との相違</p> <p>事前学修：参考書 P98-101 を事前に読んでおく。特に、権利行使に必要である技術評価書はどのようなものであるか理解する。</p> <p>事後学修：教科書を利用して、特許制度との相違を理解する。</p>
11 回	<p>授業内容：条約：パリ条約と特許協力条約</p> <p>事前学修：参考書 P94-102 を事前に読んでおく。外国で特許を取得する意義、取得方法について理解する。</p> <p>事後学修：教科書にて講義内容を確認する</p>
12 回	<p>授業内容：意匠法：概要、登録要件、特殊な意匠</p> <p>事前学修：参考書 P103-124 を事前に読んでおく。意匠法の保護対象、取得要件、意匠権の効力などを理解しておく。</p> <p>事後学修：教科書にて講義内容を確認する</p>
13 回	<p>授業内容：商標法：概要、登録制度、マドリッドプロトコル</p> <p>事前学修：参考書 P125-153 を事前に読んでおく。商標法の保護対象、取得要件、商標権の効力などを理解しておく。</p> <p>事後学修：教科書にて講義内容を確認する</p>
14 回	<p>授業内容：著作権法：概要、著作権、著作権の制限、著作隣接権、二次的著作物</p> <p>事前学修：参考書 P174-185 を事前に読んでおく。著作権の種類、支分権を理解した上で、著作権が及ばない範囲を理解する。また、著作隣接権の内容についても、理解する。</p> <p>事後学修：教科書にて講義内容を確認する。特に著作権に関しては、新聞等で取り上げることが多いので、その様な記事に触れた際は、法的な観点から記事を読んでみる。</p>
15 回	<p>授業内容：知的財産権の活用：ライセンス、訴訟</p> <p>事前学修：参考書 P154-173 を事前に読んでおく。特許権の行使の手法について理解する。</p> <p>事後学修：講義資料を読んで、授業内容を確認する。</p>

- ◆**教科書** 丸沼『知的財産法入門第二版』茶園成樹 有斐閣 2,808 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 『産業財産権標準テキスト（総合編）第 4 版』工業所有権情報 研修館 ※極めて初級用（上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい。）
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、試験（60%）、授業への参加や貢献による平常点（40%）により行う。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英文法B〕

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、英文法の無味乾燥な暗記から脱却し、「使える英文法」の修得を目指します。

◆**学修到達目標** 本授業の学修目標は以下の通りです。

- ①これまで学習してきた（暗記してきたであろう）英文法項目のいくつかに焦点を当て、その働きと有機的な関連性を適切に理解すること。
- ②理解した知識をできるようにすること。
- ③「英文学（英語学）」を専攻するものとして、知っておかなければいけない英文法の知識・素養を身につけること。

◆**授業方法** 本授業では、最終回を除いて、講義と演習の2つから構成されています。講義パートでは導入および理解を主として行い、演習パートではそれを実際使用する（練習する）ことを主として行います。8日間のスクーリングですので、全 15 回の授業計画は、1日で約2回分進むとお考え下さい。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 「品詞と文法」、「4大品詞」、「類」(相当語句) 事前学修: 本授業のシラバス全体を一読しておくこと。 事後学修: 「品詞」と「文法」の違い、「4大品詞」と「相当語句」を正しく理解しておくこと。
2回	授業内容: 「4大品詞」と「類」(相当語句)の活用、「辞書」の使い方 事前学修: 第1回で学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「4大品詞」と「類」(相当語句)を日々使ってみること。
3回	授業内容: 「形容詞」の種類と機能 事前学修: 第2回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「形容詞」の種類と機能を正しく理解しておくこと。
4回	授業内容: 「形容詞類 その1」(前置詞) 事前学修: 第3回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「形容詞類 (前置詞)」を正しく理解しておくこと。
5回	授業内容: 「形容詞類 その2」(不定詞、分詞) 事前学修: 第4回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「形容詞類 (不定詞、分詞)」を正しく理解しておくこと。
6回	授業内容: 「形容詞類 その3」(関係代名詞) 事前学修: 第5回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「形容詞類 (関係代名詞)」を正しく理解しておくこと。
7回	授業内容: 「形容詞類」の総復習 事前学修: 第6回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「形容詞類」を日々使ってみること。
8回	授業内容: 「未来表現 その1」(will と be going to) 事前学修: 第7回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「未来表現 (will と be going to)」を正しく理解しておくこと。
9回	授業内容: 「未来表現 その2」(will と be going と進行形) 事前学修: 第8回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「未来表現 (will と be going to と進行形)」を正しく理解しておくこと。
10回	授業内容: 「未来表現 その3」(will と be going と進行形と単純形) 事前学修: 第9回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「未来表現 (will と be going to と進行形と単純形)」を正しく理解しておくこと。
11回	授業内容: 「未来表現」の総復習 事前学修: 第10回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「未来表現」を日々使ってみること。
12回	授業内容: 「現在完了」の種類と機能 事前学修: 第11回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「現在完了」の種類と機能を正しく理解しておくこと。
13回	授業内容: 「現在完了」の活用 事前学修: 第12回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「現在完了」の活用を正しく理解しておくこと。
14回	授業内容: 予備日 事前学修: 第13回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 知識に漏れのある学修項目を確認しておくこと。
15回	授業内容: まとめ及び試験 事前学修: 第14回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 本授業で学んだ文法を日々使ってみること。

◆**教科書** 教材『英文法 N20200』通信教育教材(教材コード000270) 2,100円(送料込)  
〔当日資料配布〕適宜、プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『英文法ビフォー&アフター(普及版)』豊永彰 南雲堂 1,512円(税込)(送料350円)  
丸沼『英文法解説』江川泰一郎 金子書房 1,836円(税込)(送料500円)  
特に指定はしませんが、大学生・社会人向けの辞書は必ず持参してください。

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよびテストにより総合的に評価します。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本経済史〕

飯島 正義

◆**授業概要** 第2次大戦後の経済復興からバブル経済の崩壊に至る期間の日本経済のあゆみの理解を深めることで日本がどのように経済発展して今日に至ったのかを学びます。

◆**学修到達目標** 1. 戦後の経済復興からバブル経済の崩壊に至る期間の日本経済の全体像を説明できるようになる。  
2. 各時期の経済的な特徴とその時期の課題（問題）について説明できるようになる。

◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に進めていくが、各時期の終わりの時点で内容のポイントを提示するとともに、確認プリントを実施しその提出を求める。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：経済復興期（1）敗戦と占領統治 事前学修：シラバスで全体の授業内容を確認しておく。 事後学修：アメリカの占領統治政策（統治方法・方針など）についてまとめておく。
2 回	授業内容：経済復興期（2）生産復興 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：終戦直後の日本経済の状況（課題）と生産復興（傾斜生産方式）についてまとめておく。
3 回	授業内容：経済復興期（3）日本の独立 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：経済復興期全般のポイントを確認しまとめておく。
4 回	授業内容：高度経済成長期（1）成長のメカニズム 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：高度経済成長の要因についてまとめておく。
5 回	授業内容：高度経済成長期（2）大型景気（神武・岩戸・いざなぎ） 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：大型景気（神武・岩戸・いざなぎ）のそれぞれの特徴をまとめておく。
6 回	授業内容：高度経済成長期（3）開放体制への移行 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：欧米からの自由化要求に対して政府・企業がどのように対応したのかをまとめておく。
7 回	授業内容：高度経済成長期（4）経済成長と国民生活 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：高度経済成長期全般のポイントを確認しておく。
8 回	授業内容：安定成長期（1）2度のオイルショックと日本経済 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：日本はスタグフレーションの状況にどのように対応したのかをまとめておく。
9 回	授業内容：安定成長期（2）サービス経済化の進展 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：日本の産業構造の転換についてまとめておく。
10 回	授業内容：安定成長期（3）レーガノミクスと日本経済 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：安定成長期全般のポイントを確認しまとめておく。
11 回	授業内容：バブル経済期（1）金融の自由化とバブル経済 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：バブル経済とは何か、その要因についてまとめておく。
12 回	授業内容：バブル経済期（2）プラザ合意と円高不況 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：プラザ合意後の円高不況に対して、政府・企業はどのように対応したのかをまとめておく。
13 回	授業内容：バブル経済期（3）日本のバブル経済の形成 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：日本のバブル経済はどのように形成されたのかをまとめておく。
14 回	授業内容：バブル経済期（4）日本のバブル経済の崩壊 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：バブル経済期全般のポイントを確認し、バブル経済の崩壊過程をまとめておく。
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでの各時期のポイントをまとめたものを再確認しておく。 事後学修：設題に対して、重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうか確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕授業時にプリント資料を配布します。

◆**参考書** 〔丸沼〕『日本経済史』石井里枝・橋口勝利編著 ミネルヴァ書房 2017年 3,024円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 確認プリントの提出（40%）、試験（60%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」[学生番号] および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔教育原論B / 教育の思想B〕

渡辺 典子

◆**授業概要** 過去から現在に至るまでの学校の変遷とそれを支えている教育理念を理解し、歴史認識を培うことで、現在の教育に対する視点を持つことを目的とする。

◆**学修到達目標** 近代の教育を支えている理念や思想に関する基礎的な知識を身につける。  
現代社会における教育課題を考える際の歴史的視点を身につける。  
人間の育ちとジェンダーとのかかわりを理解する。

◆**授業方法** 主な授業方法は教科書に沿った講義形式であるが、できるだけ視聴覚教材を用い、またグループワークも取り入れる予定である。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容: イントロダクション—教育とは何か— 事前学修: テキスト p. 1-2 を読んでおくこと 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容: 近世の子どもと教育 事前学修: テキスト p.41-55 の太字の項目内容に目を通すこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容: 近代教育の成立 事前学修: テキスト p.64-68 の太字の項目内容に目を通すこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容: 天皇制教育体制の確立と展開 事前学修: テキスト p.85-88 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
5回	授業内容: 良妻賢母教育の成立 事前学修: テキスト p.99, 101-102 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
6回	授業内容: 教員養成と教科書 事前学修: テキスト p.70, 103-104 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
7回	授業内容: 大正デモクラシー期における社会と教育の再編 事前学修: テキスト p.115-120 の太字の項目内容に目を通すこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
8回	授業内容: 児童中心主義の教育 事前学修: テキスト p.127-128, 130-131 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容: 教育を受ける権利 事前学修: テキスト p.128-129 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
10回	授業内容: 大正期の女性と教育 事前学修: テキスト p.106-107 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容: 大正期の社会教育 事前学修: テキスト p.115-116 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
12回	授業内容: 戦時下の教育と子ども 事前学修: テキスト p.138, p.141-142, p.149-153 の太字の項目内容に目を通すこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
13回	授業内容: 昭和前期の女性の教育 事前学修: テキスト p.150 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
14回	授業内容: 昭和前期の男性の教育 事前学修: テキスト p.151 を読んでおくこと。 事後学修: 授業内容を確認し理解しておくこと。
15回	授業内容: まとめ 事前学修: これまでの授業内容を確認しておくこと。 事後学修: これまで学んだことを現在の教育に対する視点につなげること。

◆**教科書** 丸沼『教育から見る日本の社会と歴史 第2版』片桐芳雄他 八千代出版 2017.3 2,592円(税込)(送料350円)

◆**参考書** 授業中適宜紹介

◆**成績評価基準** 試験(50%)、適宜課す感想文などの課題(30%)、授業参加における発言や貢献度(20%)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔博物館概論〕

中野 照男

◆**授業概要** 現代日本の博物館・美術館は多くの問題を抱えている。特にこの数年、国立博物館の独立行政法人化、公立博物館の指定管理者制度導入などに見られる通り、その運営の形態が変わりつつある。存続すら危ぶまれる博物館も出てきている。この講義では、博物館・美術館に関する基本的な知識の習得を図るとともに、現代の博物館・美術館が抱えている問題について理解を深め、博物館学芸員としての能力を身につける。

◆**学修到達目標** 履修者は、学芸員となるための基礎的な知識を習得し、また現代日本の博物館が抱える問題点を理解することによって、学芸員として仕事をしていく上で必要となる能力と技術を身につけることができる。

◆**授業方法** 講義形式で行う。適宜、画像や映像を上映する。講義資料はデータの形で渡す。授業中に、受講生に対し、発言や討論を求めることがある。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス—博物館学とはどういう学問か 事前学修：好きな美術館・博物館を訪れ、その展示や設備を観察する 事後学修：渡された資料に基づき、内容を復習して、ノートを整理する
2 回	授業内容：博物館法と博物館法施行規則を読む 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
3 回	授業内容：今日の博物館・美術館が抱える問題 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
4 回	授業内容：日本における文化財保護の歴史—文化財保護法の理念 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
5 回	授業内容：ユネスコの世界遺産条約は文化財保護法と何が違うのか 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
6 回	授業内容：博物館の職員とその仕事 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
7 回	授業内容：学芸員はどのような仕事をするのか 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
8 回	授業内容：博物館資料の収集に関わる仕事 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
9 回	授業内容：展示の企画と運営 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
10 回	授業内容：モノの取り扱い者として、学芸員が心得ておくべきこと 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
11 回	授業内容：博物館資料を保管・展示する空間の環境設定 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
12 回	授業内容：博物館資料の修理・保存において果たすべき役割 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
13 回	授業内容：博物館における教育活動 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
14 回	授業内容：博物館における普及広報活動 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する
15 回	授業内容：学芸員の研究活動と成果の公開手法 事前学修：事前に渡された資料の該当部分を確認し、事前に質問を用意する 事後学修：資料に基づき、講義内容を復習し、ノートを整理する

◆**教科書** 教科書は使用しない。講義資料を初回の講義の折にデータの形で渡すので、USB を持参すること。

◆**参考書** 丸沼『現代に生きる博物館』君塚仁彦・名児耶明編 有斐閣 2012 年 12 月  
ISBN 978-4-641-18342-1 C1337, 2,268 円 (税込) (送料 300 円)

◆**成績評価基準** 講義の最終時に試験を行う。試験を 70%、講義への参加・貢献度を 30%として、総合的に評価する。  
試験は、回答が明快な論理を持っているかどうか、参加・貢献度は、積極的に質疑応答をしたかどうかを主に評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。





# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

【英語K】 オープン受講：不可

常名 朗央

◆**授業概要** 正確な英文読解には英文法の理解が不可欠です。本講義では「品詞」(名詞、形容詞、動詞等)の重要性を再確認していただきます。文法のベースとなっている「品詞」の理解を通じて正確な文章読解力を身に付けていただきたいと思います(特に「副詞」と「接続詞」には時間を掛けます)。その上で英文の雑誌、新聞記事、散文作品等を毎回の講義で読んでいきます。

◆**学修到達目標** 英文法を品詞毎(名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞・接続詞)に学習し、英作文作成の演習を通じて、英語の運用能力を身につけることを目標とします。外国語学習には、S(主語)とV(動詞)の位置づけが重要です。講義では、英文読解と英作文作成を交互に行います。常にSVの運用を意識しながら授業に取り組むようにしてください。

◆**授業方法** 授業前半では、指定した文法・品詞の説明を、文章読解を行いながら理解していただきます。事前にプリントを配布する場合がありますので、忘れずに持参するようにしてください。授業後半では、新聞記事、雑誌記事、イギリス小説・詩の読解を行います。授業内で分からない項目を減らせるように、辞書は必ず持参してください。

◆**履修条件** 2018 年度夜間スクーリング(春期)「英語 I ~IV」との積み重ね不可

◆**授業計画** [各 90 分]

1 回	<b>授業内容</b> 名詞 (n) の 6 つの使い方について。1 ~ 5 文型の構造とその役割、特に 5 文型 (SVOC) の変化形 (特に受動態) への対応に関して。 <b>事前学修</b> 名詞の役割について考えてきてください。 <b>事後学修</b> 5 つの文型については各自しっかりと確認しておくようにしてください。
2 回	<b>授業内容</b> 形容詞 (a) の役割と 2 つの用法について。動詞 (v) から分詞・動名詞への変化に対応できるようにします。 <b>事前学修</b> 形容詞の役割について考えてきてください。 <b>事後学修</b> プリント記載の宿題をしてきてください (構造としての接続詞について)。
3 回	<b>授業内容</b> 副詞 (ad) の使い方とその多様性について。 <b>事前学修</b> 副詞が何を修飾するか考えてきてください。 <b>事後学修</b> 副詞が SVOC どれにも当てはまらないことを確認してください。
4 回	<b>授業内容</b> 接続詞 (conj) の正しい使い方を学びます。 <b>事前学修</b> and, but 以外の接続詞とその使い方を調べてください。 <b>事後学修</b> プリント記載の宿題をしてきてください (名詞構文について)。
5 回	<b>授業内容</b> 助動詞 (aux) 使い分け、例えば (must, shall, have to, should) の違いなどを理解します。 <b>事前学修</b> must と have to の違いを調べておくようにしてください。 <b>事後学修</b> 助動詞の違いで生じる「スタイル」の変化を理解してください。
6 回	<b>授業内容</b> 前置詞 (pre) の役割。正確な使い方を覚えましょう。 <b>事前学修</b> プリント記載の「前置詞クイズ」を解いてきてください。 <b>事後学修</b> プリント記載の宿題をしてきてください (品詞の変化について)。
7 回	<b>授業内容</b> 定冠詞 (the)、不定冠詞 (a)、無冠詞の違いを理解します。日本語にはない文法事項なので、多くの例文を使って時間をかけて解説します。 <b>事前学修</b> モーム「サミング・アップ」(抜粋)を訳してきてください。 <b>事後学修</b> 学習した英文を繰り返し読んでください。
8 回	<b>授業内容</b> 冠詞のまとめ。 <b>事前学修</b> プリント記載の「冠詞クイズ」を解いてきてください。 <b>事後学修</b> プリント記載の宿題をしてきてください (関係代名詞の基本について)。
9 回	<b>授業内容</b> 関係代名詞について <b>事前学修</b> 関係代名詞を使った英文を作成してください。 <b>事後学修</b> 文法事項を繰り返しチェックするようにしてください。
10 回	<b>授業内容</b> 従属接続詞と関係代名詞の that。 <b>事前学修</b> that の関係代名詞以外の使い方を考えてきてください。 <b>事後学修</b> プリント記載の宿題をしてきてください (強調構文について)。
11 回	<b>授業内容</b> 倒置表現、強調構文などの特殊構文を、例文を用いて学びます。 <b>事前学修</b> プリント記載の英文を和訳してもらいます。 <b>事後学修</b> 学習した英文に対しては、すべて文法的説明が出来るようにしてください。
12 回	<b>授業内容</b> これまで学んだ文法事項の総まとめを行います。 <b>事前学修</b> 模擬テスト (成績には関係なし) を行うので、総復習してください。 <b>事後学修</b> 配布したプリントをすべてチェックしてください。
13 回	<b>授業内容</b> ToEIC の英文を読みます。 <b>事前学修</b> 文法問題、読解問題を精読してきてください。 <b>事後学修</b> 学習した英文を繰り返し読んで理解してください。
14 回	<b>授業内容</b> 簡単な英作文作成 <b>事前学修</b> SVOC を意識して英文を作ってもらいます。 <b>事後学修</b> いかなる文型にも対応できるようになってください。
15 回	<b>授業内容</b> 定期考査：文法事項の理解度をテストします。 <b>事前学修</b> 辞書持参ですが、文法などを詳しくチェックします。 <b>事後学修</b> 全ての授業内容を確認、理解するようにしてください。

◆**教科書** [当日資料配布] 当日プリントを配布します。

◆**参考書** [丸沼]『英文法総覧』安井稔著 開拓社 2,674 円 (税込) (送料 500 円)

◆**成績評価基準** 授業への取り組み (発表等)、最終日に実施する定期考査により総合的に判断します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (行政法Ⅱ)

西原 雄二

◆**授業概要** 行政活動に対する国民の救済手段である「行政救済法」について、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法、損失補償などを中心に解説する。

◆**学修到達目標** 本授業では、現代行政における活動形式の多様化に対応した国民の権利救済制度について、できる限り具体的な事例を取り上げて解説する。行政救済法は、行政作用のあり方を考える上でも重要である。そこで、国や地方公共団体等の活動から、何らかの不利益を我々が被った場合に、その不利益を解消する手段を理解することを目標とする。

◆**授業方法** 講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。板書しながら、簡潔に説明する。

◆**履修条件** 六法を持参すること。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: <b>ガイダンス</b> 事前学修: 教科書の行政救済に関する箇所をざっと目を通してみること。 事後学修: 教科書をざっと目を通して、これから学ぶことを理解してみること。
2 回	授業内容: <b>行政救済法とは何か</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
3 回	授業内容: <b>行政争訟とは何か</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
4 回	授業内容: <b>行政不服審査法の概説</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
5 回	授業内容: <b>行政不服審査の意義と目的</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
6 回	授業内容: <b>行政不服審査の種類と要件</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
7 回	授業内容: <b>行政事件訴訟法の概説</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
8 回	授業内容: <b>行政事件訴訟の意義と目的</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
9 回	授業内容: <b>行政事件訴訟の種類と要件</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
10 回	授業内容: <b>国家賠償法の概説</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
11 回	授業内容: <b>国家賠償の意義と目的</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
12 回	授業内容: <b>国家賠償の種類と要件</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
13 回	授業内容: <b>損失補償の概説</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
14 回	授業内容: <b>国家補償の谷間の問題</b> 事前学修: 教科書の当該箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を教科書とつき合わせて、さらに理解を深めること。
15 回	授業内容: <b>試験と解説</b> 事前学修: これまで授業で学んだ内容を復習しておくこと。 事後学修: 授業内容を再確認すること。

◆**教科書** **【教材】**『行政法Ⅱ K31000』通信教育教材 (教材コード 000565) 3,800 円 (送料込)  
〈この教材は市販の『行政法 (第3版)』池村正道編 (弘文堂) と同一です。〉

◆**参考書** 授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 授業内テスト (80%) と授業参画度 (20%) により総合的に評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学基礎講義〕

榎本 正樹

◆**授業概要** 新海誠作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。繊細なコミュニケーションを丁寧に描くその筆致は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能です。古事記や和歌のような国文学の知見を動員することで理解される作品をあります。新海作品を通して、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海監督の主要作品を分析的に解説する経験を通して、作品批評の技術を獲得します。今年公開予定の『天気の子』にもつないでいきたいと思えます。

◆**学修到達目標** アニメーション作品を分析的に解説し、表現や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるようになります。関連資料を参照し、他者のコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所について考えを深め、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について考察することを目的とします。

◆**授業方法** 講義形式です。新海誠作品について、過去作から最近作まで順を追って観賞した上で、解説と考察を加えていきます。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：イントロダクション 新海誠、その人と作品 事前学修：新海誠監督について調べてみましょう 事後学修：新海監督の主要作品をリストアップしてみましょう
2 回	授業内容：最初期作品を概観する（デビュー前の掌編群） 事前学修：新海誠監督について調べてみましょう 事後学修：新海監督の主要作品をリストアップしてみましょう
3 回	授業内容：『彼女と彼女の猫』—精神的な「距離」と断絶について— 事前学修：フルデジタルアニメーションとは何なのか、調べてみましょう 事後学修：本作における「距離」の意味について考えてみましょう
4 回	授業内容：『ほしのこえ』—物理的な「距離」と断絶について— 事前学修：新海作品の演出の特徴について考えてみましょう 事後学修：新海作品におけるモノロークの効果について考えてみましょう
5 回	授業内容：『雲のむこう、約束の場所』（1）—SF という趣向— 事前学修：これまでに読んだ（観た）SF 作品についてまとめてみましょう 事後学修：物語の主人公である三人の関係について考えてみましょう
6 回	授業内容：『雲のむこう、約束の場所』（2）—夢という通路— 事前学修：物語の舞台に設定されている場所について調べてみましょう 事後学修：『君の名は。』の元となったと思われる設定やイメージやシーンを抽出してみましょう
7 回	授業内容：『秒速 5 センチメートル』（1）—速度をめぐる物語— 事前学修：連作短編という形式について調べてみましょう 事後学修：各短編で描かれる「速度」を伴う事物についてリストアップしてみましょう
8 回	授業内容：『秒速 5 センチメートル』（2）—人物化する風景、風景化する人物— 事前学修：主人公タカキの半生について振り返ってきましょう 事後学修：どのような風景の中で、どのような人物の、どのようなシチュエーションが描かれた作品であったのか、まとめてみましょう
9 回	授業内容：『星を追う子ども』（1）—ジブリという資産— 事前学修：宮崎駿監督作品『天空の城ラピュタ』を観ておきましょう 事後学修：本作がどのような点で「ジブリ的」であるのか、まとめてみましょう
10 回	授業内容：『星を追う子ども』（2）—異界に移動し帰還する「子ども」たち— 事前学修：主人公たちの「移動の経路」についてまとめてみましょう 事後学修：「ファンタジーという枠組み」で新海監督が描こうとしたものは何だったのか、考えてみましょう
11 回	授業内容：『言の葉の庭』（1）—都市と自然— 事前学修：作品の舞台となった新宿御苑を訪れてみましょう 事後学修：作品で描かれる都市と自然の対照について考えてみましょう
12 回	授業内容：『言の葉の庭』（2）—精緻な映像美学を支える文学性— 事前学修：万葉集の短歌が、作品にどのような効果をもたらしているのか考えてみましょう 事後学修：新海監督自身による『小説 言の葉の庭』（角川文庫）を読み、作品の奥行きを確認しましょう
13 回	授業内容：『君の名は。』（1）—すれ違いと入れ替わりの物語— 事前学修：『君の名は。』がなぜヒットした理由について考えてみましょう 事後学修：新海作品における「すれ違い」の趣向を改めて振り返ってきましょう
14 回	授業内容：『君の名は。』（2）—共苦する魂のゆくえ— 事前学修：作品の複雑な時間継起について整理しておきましょう 事後学修：新海作品に共通するテーマとモチーフを書き出して、最新作『天気の子』の公開に備えましょう
15 回	授業内容：まとめ&『天気の子』（7月 19 日公開予定）に備える 事前学修：最新作『天気の子』がどのような作品になるのか、事前情報から予測してみましょう 事後学修：映画館で『天気の子』を観賞しましょう

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配付

◆**参考書** 新海誠展図録『「ほしのこえ」から「君の名は。」まで』（美術出版社）。その他、教場でその都度、指示します

◆**成績評価基準** 授業への参加度とレポート提出により、総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語学演習 C】

田中 竹史

◆**授業概要** ヒトは誰でも母語を獲得することができますが、その獲得は特別な勉強や訓練なしに子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまいます。これは、たとえば計算の仕方や交通規則を身につけるためには勉強しなければならないということや、ピアノやバイオリンを弾いたりあるいは泳いだり車を運転したりするためには特別な訓練が必要になる、といったことは対照的です。また、通常大人が外国語を身につけるのには意識的な努力が必要であるということも対照的です。それでは、なぜ子供は特別な勉強や訓練をせずとも母語を身につけられるのでしょうか。なぜ大人は勉強や訓練なしには外国語を身につけることができないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより、極めて複雑で豊かな内容を持つ言語を身につけているのでしょうか。本講座では、上記のような事柄を通じて生物種としてのヒトの特徴について考えます。

◆**学修到達目標** 全ての生物種の中でヒト科ヒト属のみが持つと考えられている特殊な知識体系であることばに内在する性質、そして幼児による言語獲得の過程に触れることにより、ことばの分析方法や言語学・英語学の方法論を学ぶことを目標とします。

◆**授業方法** はじめにヒトのことばに関する基礎的知識 (母語話者の持つ言語知識、言語獲得の過程、言語障害、類人猿などヒト以外の生物のコミュニケーション体系など) を講義形式により確認します。その後、テキストを題材に、受講者による担当部分の内容説明・質疑応答、教員による補足説明、という演習形式で授業を進めます。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 母語と外国語 (1) 事前学修: 参考書に挙げられてる大津 (2004, 2008) を読んでおくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
2 回	授業内容: 母語と外国語 (2) 事前学修: 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
3 回	授業内容: 言語の研究 (1) 事前学修: 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
4 回	授業内容: 言語の研究 (2) 事前学修: 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
5 回	授業内容: ヒトの言語獲得 (1) 事前学修: 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
6 回	授業内容: ヒトの言語獲得 (2) 事前学修: 配布された資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。
7 回	授業内容: Part II Constituent Structure: Introduction, An Outline of the Grammar 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
8 回	授業内容: 8 Phrase Structure: Introduction 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
9 回	授業内容: 1 Phrase Marker 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
10 回	授業内容: 2 The Structure of Sentences: IP and CP 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
11 回	授業内容: Conclusion 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
12 回	授業内容: 9 Phrase Structure Rules and X'-Theory: Introduction 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
13 回	授業内容: 1 How to Derive Phrase Markers 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
14 回	授業内容: 2 X'-Theory 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。
15 回	授業内容: 10 Setting the X'-Parameters: Introduction 事前学修: 配布された資料を読み、和訳をしておくこと。わからない語彙がある場合には、辞書で調べておくこと。 事後学修: 授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図ること。難しいと感じた英文の解析を復習すること。

◆**教科書** 『An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition』 Crain & Lillo-Martin (1999) Blackwell (該当箇所 (73-111 頁) を配布します)  
【当日資料配布】 その他資料はオンラインストレージ経由で配布します。

◆**参考書** 丸沼『探検! ことばの世界』大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円 (税込) (送料 300 円)  
丸沼『ことばに魅せられて 対話編』大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728 円 (税込) (送料 300 円)  
丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』中島平三著 ひつじ書房 1,512 円 (税込) (送料 300 円)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、発表や質疑応答などの授業に対する取り組みと授業終了後に提出のレポートにより総合的に評価します。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔西洋史概説 / 西洋史概論〕

荒木 洋育

- ◆**授業概要** 西洋地域は、現在の政治・経済の「世界標準」のほとんどの起源を持ち、同時に現在世界で最も激動の時代を迎えつつある地域でもある。このような状況に対処する上で、この地域の歴史（学習の際手薄になりがちな現代史を含む）を把握することが重要である。本講義はこの問題意識に基づき、中世の始まりから現在（21 世紀前半）までの西洋地域の歴史を一通り概観する。
- ◆**学修到達目標** 中世から現代（21 世紀前半）に至る西洋（ヨーロッパにくわえてアメリカ等の地域を含む）の歴史の全体像をとらえることにより、自身が関心を持つ個別の地域・時代についてもより大きな視野からの理解を深めることができる。また学問として「西洋史」を研究する際に、その出発点として最低限必要となる程度の基本的知識を、授業を通じて一通り身につけることができる。
- ◆**授業方法** 下記のように時代区分を設定し、各回の中で更に細かく時期を区分して西洋諸地域の歴史を全体論、各地域の動向の二つの面から概観する。毎回配布するプリントに基づいて授業を行うが、双方向的な授業を求める立場から、受講者の方々とコミュニケーションをとる時間を毎回設定するので、受講者の方々には能動的な受講姿勢を求めたい。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 ガイダンス・中世西洋世界の成立 全体の授業の流れを一通り説明し、続いて古代から中世にかけての流れを簡単に概観する。
	事前学修 参考書の「古代」相当箇所を読んでおくこと。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
2 回	授業内容 西洋世界の再編成：封建社会と諸王国の形成 フランク王国の解体から封建社会の形成、教皇・皇帝を軸とした秩序の形成をまとめる。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
3 回	授業内容 中世盛期の西洋世界：英仏独の発展 「中世盛期」とされる 13 世紀西洋世界について、英仏の「集権化」と独の「分権化」を軸に説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
4 回	授業内容 中世末期の展開：百年戦争と黒死病の流行 「中世末の変動」について、英仏抗争、中欧の隆盛、黒死病による社会の変化を中心に説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
5 回	授業内容 ルネサンスの隆盛と宗教改革の開始 大航海時代の始まりとルネサンス、およびそれに連なる「宗教改革」について説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
6 回	授業内容 大航海時代と宗教戦争 「スペインの時代」を、「西洋世界の拡大」と「新旧両宗派の抗争」の二つの側面から説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
7 回	授業内容 17 世紀の西洋地域：三十年戦争と英国市民革命 ウェストファリア条約（1648 年）による「主権国家体制」の成立、英国市民革命について説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
8 回	授業内容 絶対王政と啓蒙思想の時代 英仏植民地抗争と「新興列強」プロイセン、ロシアの発展を軸に「ロココの時代」を説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
9 回	授業内容 西洋近代の始まり：大西洋二重革命 アメリカ独立戦争、産業革命、フランス革命からナポレオン体制への流れについて説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
10 回	授業内容 工業化の開始とウィーン体制 産業革命、資本主義とそれによる社会変化を、列強の協調体制＝ウィーン体制とあわせて説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
11 回	授業内容 市民革命と民族主義の時代：1848 年の革命と独伊の成立 「1848 年の革命」から国民国家が一通り出そろった 1870 年ころまでの流れを説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
12 回	授業内容 西洋の全盛期：ベル・エポックと帝国主義 1870 年から 1914 年の「ベル・エポック」について、帝国主義、米国の発展、第二次産業革命とあわせて説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
13 回	授業内容 第一次世界大戦：ヴェルサイユ体制と「米国の時代」の始まり 第一次世界大戦について、「ヴェルサイユ体制」「超大国アメリカの出現」「ロシア革命」を軸に説明する。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
14 回	授業内容 第二次世界大戦と冷戦体制：自由主義と全体主義の競合 第二次世界大戦への流れと「西洋主導の世界」の最終形態＝冷戦体制の盛衰をまとめる。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。
15 回	授業内容 現代の西洋世界：統合と変容、情報革命 冷戦後、現在（2019 年）までの西洋世界の流れをとらえ、今後の見通しについても触れる。
	事前学修 参考書のあらかじめ指定する箇所について読む。また担当する場合は口頭発表の準備をすること。
	事後学修 配布教材の内容を復習し、指定した語句について検索・調査すること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布

◆**参考書** 〔丸沼〕『西洋世界の歴史』近藤和彦編 山川出版社 3,456 円（税込）（送料 350 円）

〔丸沼〕『悪の歴史 西洋編（下）』堀越孝一編 清水書院 2,592 円（税込）（送料 500 円）

◆**成績評価基準** 平常点（50%）、試験（50%）。平常点については 2/3 以上の出席を前提とし、口頭発表、小レポート（1 回）を対象として評価を行う。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔交通論〕

針谷 莊司

- ◆**授業概要** 交通について立地論を踏まえ考えていきます。また、地域社会との結びつき、業態の変化と交通という視点から講義をすすめます。
- ◆**学修到達目標** 交通の役割を考え、経済構造の変化に対応した考え方ができる能力をつけることを目標とする。日常生活の中での諸現象を交通の立場から考察できる知識を養成する。
- ◆**授業方法** この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考えを積極的に表現できる能力を習得することを目標とする。日常の起こっている現象を常に経済的思考をもとに分析し、授業では積極的に意見を発表する講義をめざす。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: 交通論の勉強のすすめ方 事前学修: テキストを一読し、内容について把握しておく 事後学修: 授業の関連事項について資料収集・理解をすすめる
2 回	授業内容: 参考資料・図書を紹介 事前学修: 交通関連の資料を収集する 事後学修: 紹介した資料を学習する
3 回	授業内容: 経済現象と交通の関わり 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容を自分の体験との関連でまとめる
4 回	授業内容: 立地論の考え方 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解に努める
5 回	授業内容: 立地論の歴史的背景 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解に努める
6 回	授業内容: 立地論と交通のもつ位置づけ 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解に努める
7 回	授業内容: 地域における交通との関わり① 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解に努める
8 回	授業内容: 地域における交通との関わり② 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容を自分の体験との関連でまとめる
9 回	授業内容: 産業構造の変化と交通① 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解につとめる
10 回	授業内容: 産業構造の変化と交通② 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容を自分の体験との関連でまとめる
11 回	授業内容: 商業の変化と交通① 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解につとめる
12 回	授業内容: 商業の変化と交通② 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容を自分の体験との関連でまとめる
13 回	授業内容: 観光と交通 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容の理解につとめる
14 回	授業内容: 観光のもつ位置づけ 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: 内容を自分の体験との関連でまとめる
15 回	授業内容: 時代の変化と交通の役割 事前学修: この項目に関する資料を広く収集する 事後学修: この講座の理解をすすめ、疑問点などはメールで講師に質問する

- ◆**教科書** 教材『交通論 S30700』通信教育教材 (教材コード 000184) 2,250 円 (送料込)
- ◆**参考書** 講義時、指示致します。
- ◆**成績評価基準** 毎回、授業時課題を課します。意見発表 体験発表 試験を総合的に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

選 講 座 の 定 東 京 大 学 5 月 1 期 東 京 大 学 5 月 2 期 東 京 大 学 6 月 期 東 京 大 学 7 月 期 東 京 大 学 7 月 期 札 幌 大 学 6 月 期 大 阪 大 学 6 月 期 名 古 屋 大 学 7 月 期 福 岡 大 学 7 月 期 夜 間 大 学 月 曜 日 夜 間 大 学 火 曜 日 夜 間 大 学 水 曜 日 夜 間 大 学 木 曜 日 夜 間 大 学 金 曜 日 夜 間 大 学 申 込 方 法 講 座 の 申 込 方 法 許 可 不 可 奇 申 込 講 座 の 納 入 受 講 料 の 受 講 準 備 試 験 受 講 及 び 受 講 期 間 中 の 学 生 生 活 オ ー プ ン 講 義 各 種 用 紙 付 録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔道徳教育の理論と方法 / 道徳教育の研究〕 オープン受講：不可

李 吉 魯

◆**授業概要** この授業では、道徳の意義や原理などを踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法などを幅広く理解する。さらに、授業中に配布する資料や各種のデータ・映像などを用いて教育の問題に対する理解を深めるとともに、受講生どうしの「話し合い」を通じて、多様な考え方を共有する場としたい。

◆**学習到達目標** 1. 道徳及び道徳教育、道徳性、道徳科の指導、評価等の意義を理解し、学校教育の中でこれらが、どのように位置づけられているのかを説明できる。  
2. 学習指導要領に基づいて道徳に関する諸概念の検討、道徳教育の歴史的背景、道徳教育の指導計画など、道徳の授業実践に役立つ基本的な事項について理解できる。  
3. 学習指導案の作成を通して、教師としての求められる資質・能力を養うことができる。

◆**授業方法** 授業方法は講義形式による説明と、模擬授業・グループワークで行う。模擬授業は 30 分程度で全員必ず行う。また授業時に作成したリアクションペーパーを含め、課題やレポートについてはフィードバックを行う。そのため、受講生には積極的な意見や考え方を求める。受講者は教職への強い志をもって受講してほしい。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス（授業の進め方・道徳や道徳教育とは何か） まずは、授業の進め方を説明する。次に、道徳や道徳教育とは何かを整理し、学校における道徳教育の重要性について解説する。 シラバスをよく読んでおくこと。 授業の復習。配布資料を読んで、道徳教育の目標と内容を理解しておくこと。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳教育の必要性 教育の役割を踏まえて、道徳性とは何か、人間が道徳性の涵養によって何ができるか、どう生きるべきかを考える。 道徳と学校教育との関係について把握しておくこと。 授業の復習。道徳性と人間発達との関連性について整理しておくこと。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳性の発達理論 ピアジェ(Piaget, Jean 1896-1980)やコールバーグ(Kohlberg, Lawrence 1927-1987)などの道徳性発達理論について解説する。 道徳性の発達理論について、その意義と内容を把握しておくこと。 授業の復習。コールバーグと日本の道徳教育との関係について整理しておくこと。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳教育の指導計画と実践 教育基本法と学校教育法に基づく道徳教育の役割を説明するとともに、道徳教育の全体計画と年間指導計画等を解説する。 教育基本法と学校教育法の内容を把握しておくこと。 授業の復習。学校教育における道徳教育の意義及び位置づけについて整理しておくこと。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦前の道徳教育 道徳教育を担った「修身」が天皇制国家主義にもとづいた戦前の教育を根底から支えるに至った過程について解説する。 特設された「道徳の時間」の内容を把握しておくこと。 授業の復習。天皇制公教育と修身との関係について理解しておくこと。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦後の道徳教育 「道徳の時間」が特設された経緯や、道徳教育を積極的に推進することをめぐる見解の対立等について解説する。 学習指導要領の変遷と道徳教育の位置づけについて把握しておくこと。 授業の復習。道徳教育の改革と「道徳の時間」の設置との関連について整理しておくこと。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」へ 近年、道徳教育は日本国憲法や教育基本法の理念に基づく新しいあり方が模索され、「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」へと変更された。ここでは、その背景と経緯、そして内容について解説する。 学習指導要領（道徳）の改正点について把握しておくこと。 授業の復習。「特別の教科 道徳」の意義について整理しておくこと。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳科の指導案① 道徳科の指導案の内容や作成、その留意事項などを解説する。 道徳科の指導案の作成例について参考資料等をよく読んで、確認しておくこと。 授業の復習。道徳科の指導案作成にあたって、その基本的な枠組みと要点を整理しておくこと。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳科の指導案② 道徳科とは何をやる時間なのか、作成された指導案の見直し、指導方法の問題点などを解説する。 道徳科の指導方法と改善について把握しておくこと。 授業の復習。道徳科と他の教育活動との関連について理解しておくこと。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳科の評価について、以下のように解説する。①道徳科における評価の意義と基本的な考え方（数値による評価ではなく、記述式であること等）、②評価の方法（ポートフォリオ評価、パフォーマンス評価、エピソード評価等）。 道徳授業改善の方向性について、一部改正の学習指導要領及び解説における評価の内容を確認しておくこと。 授業の復習。学校教育における道徳科の位置づけについて整理しておくこと。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳教育の実践① 模擬授業と検討会（グループによる発表及び質疑応答） どうしたら良い授業ができるか、をお互いに情報交換しておくこと。 授業の復習。模擬授業の感想及び評価
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳教育の実践② 模擬授業と検討会（グループによる発表及び質疑応答） 前回の模擬授業の内容を確認し、学習指導案に目を通しておくこと。 授業の復習。模擬授業の感想及び評価
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	道徳教育の実践③ 模擬授業と検討会（グループによる発表及び質疑応答） 前回の模擬授業の内容を確認し、学習指導案に目を通しておくこと。 授業の復習。模擬授業の感想及び評価
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	授業のまとめ 本当に「道徳に答えはない」のか、教師はどのように道徳教育をすべきか。これまでの学習内容を確認し、道徳科の評価のあり方を含む道徳教育の具体的な授業改善の方向性について総括する。 配布資料や参考資料などを熟読し、該当する内容を事前にまとめておくこと。 授業の復習。要点項目として配布された資料などを、再確認し授業内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 前回の授業内で指摘した、教師はどのように道徳教育をすべきかを考えておくこと。 授業（試験を含む）を通して、その内容を十分理解しているかどうかを再確認すること。

◆**教科書** 丸沼『中学校学習指導要領解説 道徳編』文部科学省 日本文教出版 2008 年 9 月 142 円（税込）（送料 300 円）  
丸沼『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別の教科 道徳編』文部科学省 教育出版 2017 年 7 月 168 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『道徳教育の理論と方法』羽田積男・関川悦雄編 弘文堂 2016 年 9 月 2,160 円（税込）（送料 300 円）  
丸沼『教科化された道徳への向き合い方』碓井敏正著 かもがわ出版 2017 年 9 月 1,080 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 試験（40%）、模擬授業（40%）、授業参画度（20%）により総合的に評価する。授業参画度は出席状況や授業への取り組み状況などを考慮する（但し、出席率が 3 分の 2 に達しないものは評価の対象にしない）。欠席の場合、必ず「欠席届」を提出すること（任意の様式で構わない）。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# MEMO

Lined writing area for notes, consisting of horizontal dashed lines.

選  
定  
の  
講  
座  
の

5月1期 東京

5月2期 東京

6月期 東京

7月期 東京

6月期 札幌

6月期 大阪

7月期 名古屋

7月期 福岡

月曜日 夜間

火曜日 夜間

水曜日 夜間

木曜日 夜間

金曜日 夜間

申込方法 講座の

許可と許可 申込講座の

納入 受講料の

受講準備

試験 受講及び

の学生生活 受講期間中

受講 オープン

各種用紙

付録

# V 講座の申込方法

## 1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項 目		手 続 内 容
『手引』 入手 受講科目選択		・『手引』を読み、受講講座を決定する。
受講講座 科目の単位修得方式決定		・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。
↓		
履修登録		・単位修得を希望する科目の履修登録をする。 以下の2通りのいずれかで登録。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙（本誌巻末付録）
↓		
スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	レポート提出	・レポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません。
↓		
受講希望の講座を申し込む		・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
↓		
スクーリング受講許可講座の確認		・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認する。 ※「受講届」のみで申込みを行った場合、「スクーリング受講資格審査結果通知」を郵送します。
振込用紙の受け取り		・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】		・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入		・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。 ※受講料未納者は受講できません。また、期限を超過した受講料の納入は認めません。
使用教材の入手		・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓		
授業開始		・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
↓		
スクーリング結果確認		・「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する。 （「受講届」のみで申込みを行った場合、結果を郵送。発送日程は表紙記載）

## 2 履修登録をする

履修登録上の注意事項	
「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。	


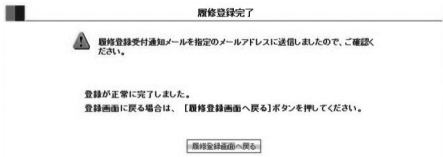
### ① 「ポータルサイト」による申込み

#### ●履修登録の前に


1	履修登録には、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード=自分の西暦生年月日（半角数字 8 桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、メールアドレス及びメール送り先区分を事前に登録してください。

#### ●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL:http://www.dld.nihon-u.ac.jp) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	


4	履修登録する科目を確認し、 <b>登録実行</b> ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

### ●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	

### ●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、 <b>登録確認</b> ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	

## ② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

履 修 届

履修登録年度 2019 年度 (1)      提出年月日 2019 年 4 月 1 日 (2)

学生番号	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">12199999</span>	フリガナ 氏名	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ニチダイ ハナコ 日大 花子</span>	電話番号	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">090-0000-0000</span> <small>(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)</small>
科目コード	科目名	単位	科目コード	科目名	単位
1	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B10700</span> 哲学	4	14	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
2	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C10100</span> 英語 I	2	15	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
3	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C10200</span> 英語 II	2	16	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
4	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">H10100</span> 保健体育講義 I	1	17	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
<del>5</del>	<del><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">L30100</span> 行政学</del>	<del>4</del>	18	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
6	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">K20100</span> 憲法	4	19	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
7	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">K20200</span> 民法 I	4	20	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
8	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">K20300</span> 刑法 I	4	21	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	(4)
9	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">J10150</span> 体育実技 I	1	22	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
10	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B11700</span> 政治学	4	23	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
11	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">T10100</span> 現代教職論	2	24	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
12	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>		25	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>	
13	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□□□□□□</span>				

合計 **28** 単位 ← 年間48単位まで登録できます。  
教職生および2学年以上の教職コース登録者は年間48単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。  
訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

### (1) 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、「2019 年度」と記入してください。

### (2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

### (3) 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し（ポータルサイトにも掲載）、科目コード（6ケタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

### (4) 単位

各科目の所定単位を記入してください。

### (5) 合計単位

必ず合計単位数を記入してください。

### 【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を2 学年で「履修届」に記入する。）  
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。  
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「教育実習」、「教育実践指導」、「教育実習前・事後指導」及び「教育実践演習②」、「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」は、履修登録する必要がありません。従って履修届には記載しないでください。  
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目の記入  
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
- ・スクーリング等で所定単位が4単位の科目で、2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済みと同様の扱いとなります。  
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- ・単位修得済み科目の記入  
単位修得済み科目の登録はできません。  
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過  
年間 48 単位（教職生及び2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。  
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

### ③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験やスクーリングの申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（レポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。
- ・履修登録を行っただけでは、スクーリングの申込みとなりません。149 ページ以降の『3 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず、受講料納入していない場合、受講は認めません。

### 3 講座を申し込む

**申し込み上の注意事項**

「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。また、両方で申込みをした場合、「スクーリング受講資格審査結果通知」及び「スクーリング結果通知」の発送をいたしません。

#### ① 「ポータルサイト」による申込み

##### ●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアドレスアカウント）の利用方法」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。履修登録を行っていない科目は表示されません。 145 ページ参照

##### ●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: <a href="http://www.dld.nihon-u.ac.jp">http://www.dld.nihon-u.ac.jp</a> ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。																						
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。																						
<p><b>【各スクーリングのポータルサイト申込期間】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>スクーリング名</th> <th colspan="2">ポータルサイトによる申込期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京スクーリング(5月期) 第1・2期</td> <td>2019年 3月 1日(金) 10:00 ~</td> <td>2019年 3月 15日(金) 24:00</td> </tr> <tr> <td>夜間スクーリング(春期)</td> <td>2019年 3月 22日(金) 10:00 ~</td> <td>2019年 4月 5日(金) 24:00</td> </tr> <tr> <td>東京スクーリング(6月期)</td> <td>2019年 4月 12日(金) 10:00 ~</td> <td>2019年 4月 26日(金) 24:00</td> </tr> <tr> <td>地方スクーリング(6月期)</td> <td>2019年 4月 12日(金) 10:00 ~</td> <td>2019年 4月 26日(金) 24:00</td> </tr> <tr> <td>東京スクーリング(7月期)</td> <td>2019年 5月 10日(金) 10:00 ~</td> <td>2019年 5月 24日(金) 24:00</td> </tr> <tr> <td>地方スクーリング(7月期)</td> <td>2019年 5月 10日(金) 10:00 ~</td> <td>2019年 5月 24日(金) 24:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※申込開始日にならないと、各スクーリングの講座は表示されません。</p>			スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間		東京スクーリング(5月期) 第1・2期	2019年 3月 1日(金) 10:00 ~	2019年 3月 15日(金) 24:00	夜間スクーリング(春期)	2019年 3月 22日(金) 10:00 ~	2019年 4月 5日(金) 24:00	東京スクーリング(6月期)	2019年 4月 12日(金) 10:00 ~	2019年 4月 26日(金) 24:00	地方スクーリング(6月期)	2019年 4月 12日(金) 10:00 ~	2019年 4月 26日(金) 24:00	東京スクーリング(7月期)	2019年 5月 10日(金) 10:00 ~	2019年 5月 24日(金) 24:00	地方スクーリング(7月期)	2019年 5月 10日(金) 10:00 ~	2019年 5月 24日(金) 24:00
スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間																						
東京スクーリング(5月期) 第1・2期	2019年 3月 1日(金) 10:00 ~	2019年 3月 15日(金) 24:00																					
夜間スクーリング(春期)	2019年 3月 22日(金) 10:00 ~	2019年 4月 5日(金) 24:00																					
東京スクーリング(6月期)	2019年 4月 12日(金) 10:00 ~	2019年 4月 26日(金) 24:00																					
地方スクーリング(6月期)	2019年 4月 12日(金) 10:00 ~	2019年 4月 26日(金) 24:00																					
東京スクーリング(7月期)	2019年 5月 10日(金) 10:00 ~	2019年 5月 24日(金) 24:00																					
地方スクーリング(7月期)	2019年 5月 10日(金) 10:00 ~	2019年 5月 24日(金) 24:00																					

<p>3 「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、「申請」ボタンをクリックしてください。</p>	
--	--

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

<p>1 申込方法の1の手順で、ログインしてください。</p>	
<p>2 「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。</p>	
<p>3 申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。</p>	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

<p>1 申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。</p>	
<p>2 「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、「取消」ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。</p>	

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。



② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

ア 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

イ 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

ウ 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

エ 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

**夜間 S (春期)**

年 月 日作成

2019年度夜間スクーリング(春期) 受講届

曜日	講座コード	講座名	充当科目コード
月			
火			
水	ア	イ	ウ
木			
金			

■ 提出締切日 (2019年4月5日(金)) 窓口提出：事務取扱時間内 郵送提出：必着

■ 郵送又は窓口にて、提出してください。

■ これは、夜間スクーリング(春期)の受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

■ 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

■ 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。

■ スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号 コ リ ガ ナ 氏 名 日 本 電 話 番 号 緊急時電話番号	教務課受付印 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
---	---

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

《記入例》(講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合)

講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 コー ド	科 目 名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

イ ▲▲▲▲      ア 英語 C      エ C10300      ウ 英語 III

- ア 希望する講座として「英語 C」を選択。  
 イ 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。  
 ウ その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。  
 エ 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。  
 オ 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。  
 ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

### 記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
  - ・乱雑な記入
  - ・記入誤り、記入漏れ
  - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

### (3) 「受講届」を提出する(提出締切日は表紙を参照)

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

#### ア 教務課窓口へ直接提出

教務課前に設置のポスト(白色)に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

#### イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日の必着】

### 郵送提出についての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講資格審査結果通知」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

## 4 受講講座の変更・追加（用紙で変更を行う場合）

### ① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、本紙巻末にある「スクーリング受講講座変更届」を受講申込期間中に提出してください。なお、ポータルサイトを利用することで、変更届を出さずに受講講座の変更・追加が可能です。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

また、変更届はスクーリング毎に用紙を分けてください。

### ② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」を明記してください。また、自己の学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

### ③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

### ④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日必着です。

#### 《記入例》

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

**2019年度スクーリング受講講座変更届**

標記のことに付いて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード
夜間(春期) 火曜	B1B2	英語G	C10100
夜間(春期) 木曜	B1D3	英文法B	N20200

(変更後の受講講座)

スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード
夜間(春期) 火曜	B1B1	経済学	B11800
夜間(春期) 水曜	B1C6	教育の方法・技術論	T21700
夜間(春期) 木曜	B1D3	英文法B	N20200

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号	2	2	1	9	9	9	9	9
フリガナ	ニチ ダイ タ ロウ							
氏 名	日 大 太 郎							
自宅電話番号	03-5275-8911							
緊急時電話番号	090-●●●●-●●●●							

教務課受付印



③ **スクーリング併用試験方式の確認**

併用試験方式の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	スクーリングを併用方式で受講できます。
—	不許可もしくは併用必要なし	スクーリング積み重ね方式で受講もしくはスクーリング 1 回のみで修得できる講座です。

※受講許可後は、一切の変更ができません。

**【主な不備理由一覧】**

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。**スクーリングの受講はできません。**

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。**スクーリングの受講は可能です。**

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。**スクーリングの受講はできません。**

○修得済み

既に単位修得をしている科目の申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。なお、この不備は受講届から申込みを行った場合にのみ発生します。  
(ポータルサイトから申込みの場合、修得済の科目は表示されません)

**2 講座振り分け及び受講不許可について**

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① **超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける**

② **新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける**

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ **超過した人数分の学生を受講不許可にする**

※希望した講座が受講できないこととなります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続きを行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

### 3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

**ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。**

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

#### ① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 振込用紙
- (3) 362 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

#### ② 手続期限 **いかなる場合でも期限後は手続できません。**

スクーリング名		受講申込辞退の手続期限
東京	5月期 第1・2期	4月17日(水)
	6月期	5月22日(水)
	7月期	6月19日(水)
夜間(春期)		4月23日(火) 《事務取扱時間内必着》
地方	6月期	6月3日(月)
	7月期	7月1日(月)

#### ③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo, spanning the width of the page.

講座の  
選定の

東京  
5月1期

東京  
5月2期

東京  
6月期

東京  
7月期

札幌  
6月期

大阪  
6月期

名古屋  
7月期

福岡  
7月期

夜間  
月曜日

夜間  
火曜日

夜間  
水曜日

夜間  
木曜日

夜間  
金曜日

講座の  
申込方法

申込講座の  
許可と許可

受講料の  
納入

受講準備

受講及び  
試験

受講期間中  
の学生生活

オープン  
受講

各種用紙

付録

# VII 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。  
納入がない場合、いかなる理由があっても受講はできず、成績も反映されません。

## 1 受講料

スクーリング名			受講料
東 京	5月期	第1・2期	1講座 10,000円×受講講座数
	6月期		
	7月期		
夜 間 (春期)			1講座 10,000円×受講講座数
地 方	6月期・7月期		1講座 13,000円×受講講座数

## 2 振込用紙発送予定日

スクーリング名			在学生	2019年度新生(4月生)
東 京	5月期	第1・2期	4月10日(水)	4月18日(木)
	6月期		5月15日(水)	5月23日(木)
	7月期		6月12日(水)	6月20日(木)
夜 間 (春期)			4月16日(火)	4月24日(水)
地 方	6月期		5月27日(月)	6月4日(火)
	7月期		6月24日(月)	7月2日(火)

発送予定日から5日を経過しても通知が届かない場合は、至急、会計課(電話 03-5275-8925)に連絡してください。

## 3 納入期限

スクーリング名			納入期限
東 京	5月期	第1・2期	4月24日(水)
	6月期		5月29日(水)
	7月期		6月26日(水)
夜 間 (春期)			5月8日(水)
地 方	6月期		6月10日(月)
	7月期		7月8日(月)



## 4 納入方法

2018年7月より、ATM・インターネットバンキングからも納入ができるようになりました。

大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から納入、または、ATM・インターネットバンキングで納入してください。

### 注 意 事 項

#### ① 納入に際しての注意事項

- (1) ゆうちょ銀行窓口、会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 振込用紙に記載された事項（納入金額等）を修正した納入は受け付けません。
- (3) ATM・インターネットバンキングで納入する場合は、160～161ページの「三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて」及び「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

#### ② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。なおATM・インターネットバンキングからの納入については、ATMから発行される「明細書」、インターネットバンキング上の振込完了画面を印刷したものをもって領収書に代えます。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

# 三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて

スクーリング受講料及び年度授業料については、三菱UFJ銀行ATMでのキャッシュカード（振込金額100万円以下）および現金（振込金額10万円以下）による振込が可能となります。

大学から送付された振込用紙を持参し、以下の手順に従い振込を行ってください。

なお、三菱UFJ銀行ATMから納入いただいた場合は振込手数料が無料となります。

ATM利用手数料については、注意事項をご覧ください。

## 【振込手順】

### 1. 振込方法の選択

「お振り込み」より、現金またはキャッシュカードを選択し、キャッシュカードの場合は暗証番号を入力してください。

### 2. 振込先口座の選択・入力

振込用紙に記載の口座情報を選択・入力し、確認してください。

### 3. お振込金額の入力

今回納入する金額を入力してください。

### 4. 依頼人番号=管理番号（10桁）の入力

振込用紙に記載の管理番号（10桁）を入力してください。

なお、管理番号（10桁）は振込用紙ごとに毎回異なります。

### 5. 依頼人名の確認及び振込実行

キャッシュカード名義が学生本人でない場合、学生氏名に変更してください。

銀行キャッシュカードが学生本人の名義でない場合、「いいえ」を選択

学生氏名(カナ)を入力

「依頼人名」が、学生氏名であることを確認

### 6. 明細票の受取

銀行の出納印は不要です。「明細票」をもって領収書に代えますので、振込用紙とともに、大切に保管してください。

#### ※注意事項

- ①ATM指定時間外（8:45～21:00 外）のお手続や、他の金融機関のキャッシュカードによるお手続には「ATM利用手数料」がかかります。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は、1件ごとに送金してください。
- ④やむを得ずコンビニATMや三菱UFJ銀行以外の金融機関のATM及びインターネットバンキングを利用する場合は、別途「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課（電話）03-5275-8925



## 1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材入手方法の見分け方」を参照してください。

### 注 意 事 項

既に所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

### ① 使用教材が『通信教育教材』の場合

**通材**印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請又は「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材配本申請書」又は「教材購入願」によって入手する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

### ② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（224ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記宛に郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記宛に郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。



## 2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

### ① 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勸奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課宛てに申し込んでください。

### ② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「資料・申請書」からのダウンロード又は本誌巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課宛てに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約10日間の日数を要します（手数料は1通につき300円）。

## 3 通学定期券の購入（通学証明書の発行）

通学定期券は、正科生（教職生含む）がスクーリング受講を目的とし、スクーリング期間中、乗車券にて通学するより、定期券で通学する方が安価な場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	①「学生番号」、「氏名」、「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ②「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。 また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。
必要書類 学生課窓口にて記入	①通学定期乗車券発行控<全員必要> ②通学証明書<都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要>
対象区間	自宅（又は滞在先）の最寄駅から以下「通信教育部最寄駅」までの最短経路
購入手続き	①学生証及び「スクーリング受講許可通知書」持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて、所定の用紙に記入の上、「経路確認」印の押印を受けてください。 ②通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他 注意事項	①通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。 ②年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。 ③「経路確認」印は、スクーリング期間内に限り有効です。 ④科目履修生は対象外です。

### <通信教育部最寄り駅>

鉄道会社	最寄り駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄り駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅（新宿線）	水道橋駅（三田線） 神保町駅（三田線・新宿線）
東京メトロ	市ヶ谷駅（有楽町線・南北線）	後楽園駅（丸の内・南北線） 神保町駅（半蔵門線）

※最短経路とは所要の時間が最短，交通費が最安，乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

#### 注意事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると，鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また，大学自体も通学定期券発行の指定から外され，他の学生に多大な迷惑をかけることとなります。不正使用は絶対に行わないでください。

#### 【不正使用例】

①通学以外の目的で使用すること。	③記名人以外が使用すること。
②現住所及び通学区間を偽ること。	④他人に譲渡・貸与すること。

## 4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は，科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席するため，片道101kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り，使用することができます。

申込方法	巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し，学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。郵送の場合は，返信用封筒（82円切手貼付，宛名明記）を同封してください。
発行条件	以下の全項目に該当すること ①正科生（教職生含む）であること。 ※科目履修生は対象外 ②科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。 ③JR各社の鉄道又はバスを使用すること。 ※JR以外の会社における学割証の適応の可否は，当該会社に各自で問い合わせてください。 ④乗車距離が片道101km以上であること。
割引額	普通乗車券運賃の2割（特急券・指定券は割引対象外）
乗車日（有効期間）	乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間で選択できます。学割証には交付願に記載された乗車日が「有効期間」として記載されますが，この「有効期間」とは乗車券を購入できる期間のことです。その期間内でなければ，乗車券は購入できません。
発行枚数	原則として1枚（1枚で往復が購入できます）。 ただし，毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

	片道の距離(km)	200km まで	400km まで	600km まで	800km まで	1000km まで
	有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間
<b>往復乗車券 有効期間</b>	※学割証の申請枚数は、目的地までの距離と滞在期間によります。例えば、名古屋在住の方が、東京で開講されるスクーリング（3日間）を受講するのに、東京～名古屋間（366km）の学割を申請する場合、有効期間は6日間となり、往復1枚の申請で済みますが、有効期間を越えて乗車する場合は片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。					
<b>発行所要期間</b>	各行事ごとに定められた発行開始日以降、「学割証交付願」を受理してから2日後（事務取扱休業日を除く）に発行します（即日発行はできません）。郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。 ※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。					
<b>購入方法</b>	JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、学生割引の切符（乗車券）が購入できます。					

### <発行開始日>

スクーリング名	日 程
東京スクーリング（5月期）第1・2期	4月10日（水）
東京スクーリング（6月期）	5月15日（水）
東京スクーリング（7月期）	6月12日（水）
夜間スクーリング（春期）	4月16日（火）
地方スクーリング（6月期）	5月27日（月）
地方スクーリング（7月期）	6月24日（月）

### 注意事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることになるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

#### 【不正使用例】

①記載事項を改変すること。	④購入した乗車券を他人に譲渡すること。
②記名人以外が使用すること。	⑤鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③有効期間外に使用すること。	⑥その他、不正に使用すること。



## ◆よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？  
→A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（4月30日～5月2日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？  
→A 2. 乗車日欄に行4月30日, 帰5月2日と記入し, 必要枚数欄に3枚, 理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

# Ⅸ 受講及び試験

## 1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」を必ず携帯してください。

## 2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

### 「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下端、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

### 3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、2019年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込みを「受講届」のみで行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

スクーリング名			結果発送時期
東 京	5月期	第1・2期	6月上旬
	6月期		7月中旬
	7月期		8月中旬
夜 間（春期）			8月中旬
地 方	6月期		7月下旬
	7月期		8月中旬

#### ① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

#### ② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたレポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示（記載）されます。

#### 例) 政治学をスクーリング併用方式で修得した場合

授業コード	科目名	評価	単位数	スクーリング 単位数	登録時期	学修状況		
						年度	区分	評価
S202000	経営学	S	4	2	2017秋	2017	レポート(分冊1)	合格
						2018	レポート(分冊2)	合格
						2018	メディア授業[メデ前]	合格

スクーリングによって修得した単位

全体では4単位修得していることを示している。

# X 受講期間中の学生生活

## 1 受講にあたっての諸注意

### ① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯している必要があります。スクーリング受講の際は、必ず携帯してください。なお、学生証を紛失した場合は必ず再発行手続きをしてください。

### ② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」(又は「保険証」に代わる「資格証明書」)を必ず携帯してください。

### ③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

### ④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

### ⑤ 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落とし物を拾得した場合には、速やかに学生課まで届け出てください。届けられたものは学生課で保管します。

### ⑥ 自動車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

### ⑦ インフルエンザ等感染症予防について

大学では、様々な地域・年齢層の学生が出入りしており、インフルエンザ等の集団感染が危惧されま

す。学生の皆さんは、日常生活での手洗いの励行、うがい等の予防策を徹底し、互いに感染を予防する気構え、行動が必要です。万が一感染してしまった場合、感染症の種類によっては出校停止となる場合がありますので、速やかに学生課へ連絡し、状況に応じて病院での受診や自宅療養をとる等の対策を講じてください。

### ⑧ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙(教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等)は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。  
なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室(開室時間や場所は掲示板で確認)へ申し出ること。

## 2 「千代田区生活環境条例」について

通信教育部の所在地である千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR市ヶ谷、JR水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

## 3 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおりの対応について行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

### ① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

### ② 避難について

#### (1) 地震発生時

ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。

イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

#### (2) 避難時

ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。

イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。

ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。

※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」

—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

#### (3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

#### (4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

# XI オープン受講

通信教育部の在學生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項目	手続内容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
↓	
受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
↓	
受講資格審査	・各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行う。 ・在學生は、受講予定の科目を現学籍で修得済みでない場合、オープン受講は許可されません。
↓	
許可通知書兼納金票の受け取り	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 なお、受講学生の調整等により、「受講許可通知書兼納金票」の発送は納入期限の1週間前頃になります。あらかじめご了承ください。
↓	
受講料の納入	①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
↓	
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓	
授業開始	・各スクーリング会場で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。

- ・履修届
- ・＜受講届＞
  - ・東京スクーリング（5月期） 第1・2期
  - ・東京スクーリング（6月期）
  - ・東京スクーリング（7月期）
  - ・地方スクーリング（6月期）
  - ・地方スクーリング（7月期）
  - ・夜間スクーリング（春期）
- ・オープン受講届（在学生用）
- ・オープン受講届（社会人等（卒業生用））
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・＜受講申込辞退願＞
  - ・東京スクーリング（5月期） 第1・2期
  - ・東京スクーリング（6月期）
  - ・東京スクーリング（7月期）
  - ・地方スクーリング（6月期）
  - ・地方スクーリング（7月期）
  - ・夜間スクーリング（春期）
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・証明書交付願
- ・教員免許状取得見込証明書用確認書
- ・休暇依頼状（勸奨状）申込書

## 「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

**注意事項①**  
「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

<b>見本表</b>	<b>定額小為替証書</b>	<b>定額小為替払渡票</b>
	01234-567890	01234-567890
	指定受取人 おなまえ	300円
	おとこ おなまえ	300円
	発行日付印	発行日付印

**注意事項②**  
これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

**注意事項④**  
この欄には何も記入しないでください。

**注意事項③**  
為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

<b>見本裏</b>	ご 注 意
	<ol style="list-style-type: none"> <li>この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証券の持受人に為替金をお支払いすることとし、これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社が発注した者を含みます）は責任を負いません。</li> <li>この証書は、他の銀行等の銀行が発行する金融機関以外の銀行に限り発行することができません。</li> <li>当行または当行と同一の系統交換所に参加している他の銀行等の金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同日中の振込への入金等を行うことができます。なお、証券の発行日から一定期間経過後は、この取扱いができなくなる場合がありますのでご注意ください。</li> <li>為替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄におとこ、おなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。</li> <li>為替金をお受け取りを代理の方に委任される場合は、委任欄に代理の方のおなまえと委任者（お受取人）のおとこ、おなまえを記入し、押印を押してください。</li> <li>代理の方がお替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄に「〇〇〇〇代理人」のように肩書をつけて、代理の方のおとこ、おなまえを記入し、押印を押してください。</li> <li>ゆうちょ銀行または郵便局内では、お替金をお支払いする際、お受取人ご本人であることを確認させていただくため、運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすることや、お受取人と代理の方両方の書類のご提示をお願いすることがあります。</li> <li>発行の日から6か月以内にお替金をお受け取りにならないときは、お申出により証券を再交付いたします。なお、発行の日から5年間が過ぎた場合は、証券の再交付を請求する権利及び為替金を受け取る権利がなくなります。</li> </ol>
	委任欄
	(代理人) おなまえ 上記の者を代理人としてこの証券の金額を受け取ることを委任します。 (委任者) おとこ 干 おなまえ

**注意事項⑤**  
右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

<b>見本表</b>	<b>定額小為替金受領証書</b>
	01234-567890
	300円
	料金 100円
	発行日付印

(お客さま控)

(お客さま控)





提出年月日 年 月 日

# 履修届

履修登録年度 年度

学生番号	フリガナ氏名	電話番号 <small>(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)</small>
------	--------	--

	科目コード	科目名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

合計 単位 ← 年間 48 単位まで登録できます。  
教職生および2 学年以上の教職コース登録者は  
年間 60 単位まで登録できます。



□内をすべて記入してください。

年 月 日作成

## 2019年度東京スクーリング（5月期）第1・2期受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
第1期			
第2期			

- 提出締切日 〔2019年3月15日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内  
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（5月期）第1・2期の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印



□内をすべて記入してください。

年 月 日作成

## 2019年度東京スクーリング（6月期）受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
6月期			

- 提出締切日 〔2019年4月26日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内  
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（6月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。  
必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--



□内をすべて記入してください。

年 月 日作成

## 2019年度東京スクーリング（7月期）受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
7月期			

- 提出締切日 〔2019年5月24日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内  
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、東京スクーリング（7月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。  
必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--





# 地方S（6月期）

□内をすべて記入してください。

年 月 日作成

## 2019年度地方スクーリング（6月期）受講届

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード
札幌 大阪			



開催地を○で囲んでください。

- 提出締切日 〔2019年4月26日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内  
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、地方スクーリング（6月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--



# 地方S（7月期）

内をすべて記入してください。

年 月 日作成

## 2019年度地方スクーリング（7月期）受講届

開催地	講座コード	講座名	充当科目コード
名古屋 福岡			



開催地を○で囲んでください。

- 提出締切日 〔2019年5月24日（金）〕 窓口提出：事務取扱時間内  
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、地方スクーリング（7月期）の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

--



# 夜間 S (春期)

□内をすべて記入してください。

年 月 日作成

## 2019 年度夜間スクーリング (春期) 受講届

曜日	講座コード	講座名	充当科目コード
月			
火			
水			
木			
金			



- 提出締切日 〔2019年4月5日(金)〕 窓口提出：事務取扱時間内  
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、夜間スクーリング (春期) の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。
- スクーリング併用試験方式は条件を満たしている場合、自動でスクーリング併用試験方式となります。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印



### スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻（ ）
学 年	年	学生番号
フリガナ		
氏 名		

#### 【希望スクーリング】

スクーリング種別	開催地	
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

学生証コピー貼付欄

#### 【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

教務課受付印





## スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻 (            )	学 外
住所等	〒            -		
フリガナ	Tel:            -		
氏 名			

### 【希望スクーリング】

スクーリング種別		開催地
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

身分証明書コピー貼付欄

#### 【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 身分証明書コピー

教務課受付印

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。



年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フリガナ	-----						
氏 名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

教務課受付印

--



併せて提出するもの	
全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙 返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度東京スクーリング（5月期）第1・2期受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

- 4 辞 退 内 容 全講座辞退  
 (□にチェック) ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合  
一部講座辞退  
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを  
 以下へ記入

期	講座コード	講座名
1期		
2期		

5 辞退理由（詳述）

---



---



---

- ※ 提出期限【教務課必着】4月17日（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。
- ※ 振込用紙と一緒に送付すること。
- ※ この「辞退願」は「2019年度東京スクーリング（5月期）第1・2期」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので，各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。
- ※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。
- ※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印





併せて提出するもの

振込用紙

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度東京スクーリング（6月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
6月期		

5 辞退理由（詳述）

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

※ 提出期限【教務課必着】5月22日（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「2019年度東京スクーリング（6月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印





併せて提出するもの

振込用紙

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度東京スクーリング（7月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
7月期		

5 辞退理由（詳述）

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

※ 提出期限【教務課必着】6月19日（水） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「2019年度東京スクーリング（7月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印



併せて提出するもの

振込用紙

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度地方スクーリング（6月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
6月期		

5 辞退理由（詳述）

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

※ 提出期限【教務課必着】6月3日（月） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「2019年度地方スクーリング（6月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印



併せて提出するもの

振込用紙

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度地方スクーリング（7月期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容

期	講座コード	講座名
7月期		

5 辞退理由（詳述）

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

※ 提出期限【教務課必着】7月1日（月） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「2019年度地方スクーリング（7月期）」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印



併せて提出するもの

全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙 返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度夜間スクーリング（春期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名（フリガナ） \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

- 4 辞 退 内 容 全講座辞退  
 ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合  
一部講座辞退  
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを  
 以下へ記入

曜日	講座コード	講座名
月		
火		
水		
木		
金		

5 辞退理由（詳述）  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

※ **提出期限【教務課必着】4月23日（火）** ※**提出期限以降の辞退手続きはできません。**

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ **この「辞退願」は「2019年度夜間スクーリング（春期）」専用です。**他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ **辞退手続は1回しかできません。**

教務課受付印	会計課受付印





# 配本申請（無料）

年    月    日
-------------

日本大学通信教育部 御中  
（提出先：研究事務課）

## 教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号	-                      -

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード	教材名	配本 単位数
1			単位
2			単位
3			単位
4			単位
5			単位
6			単位
7			単位
8			単位
9			単位
10			単位
合 計			単位



ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。  
ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

- ※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。
- ※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
- ※消えないボールペンを使用し、記入してください。
- ※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。
- ※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリングの手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
- ※2冊組教材はセットコードを記入してください。
- ※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

## 教材入手の手続き

### 1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。  
一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。  
通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。  
なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

#### ① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。  
所定の「教材配本申請書」で申請してください。  
一度提出した書類の追加・変更はできません。  
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（配本）」からも申請できます。

#### ② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。  
科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。  
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

##### (1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

##### (2) 郵送の場合

スクーリングの手引の「教材発送照会」画面の「登録（購入）」から用紙を作成・出力後、必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれてしまい、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトに掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

### 2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。

**教材購入用紙** (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。  
 詳細は、「使用教材の入手」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

2019年度 スクーリング (4月～7月)			
申 込 日	年 月 日		
科 目 名	書 名	教材費 (税込)	送 料
小 計		円	円
合 計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換    ②定額小為替・郵便為替    ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒                      ー
	氏 名	
	電 話 番 号	(                      )

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。  
 ※不足する場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

## 【購入方法】

(1) ～ (3) の方法での購入も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 250 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

### ※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代 + 送料（実費） + 手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒 101 - 0061

東京都千代田区神田三崎町 2-8-12

（電 話）03 - 3261 - 4540

（F A X）03 - 3261 - 0118

（営業時間）9：00 ～ 20：00（日曜日は10：00 ～ 19：00）

# 通 材

年    月    日
-------------

日本大学通信教育部 御中  
(提出先：会計課)

## 教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号	氏 名	フリガナ
連絡先電話番号		-                      -

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数		合計金額		
_____ 科目		_____ 円		



- ※ボールペンで記入してください。
- ※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』で確認し、必ず記入してください。  
「教材コード(6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。
- ※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。
- ※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

## 「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

### 1 購入手続

#### ① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

#### ② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

##### (1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

##### (2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれてしまい、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトに掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

### 2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。



# 通学定期乗車券発行控

		年 月 日	
学 科	学 年	学 生 番 号	
大 学 院			
フリガナ		性 別	年 齢
氏 名		男・女	才
現 住 所			
電 話	(            )		
通学区間	会社線名	駅～ 駅	經由
	会社線名	駅～ 駅	經由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

## 2019年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は、2019年度 以下のスクーリングを受講する予定です。  
 つきましては、当該スクーリングを受講しなくなった場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。  
 なお、万一、不正使用した場合は、学則に基づき処分を受けることを誓約いたします。  
 また、本件について、大学から呼び出しされた場合は、その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏 名

以 上





日本大学通信教育部長 殿

## 学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

			年 月 日 申請			
学部		学科（専攻）		学生番号		
氏 名					年齢	歳
現住所 〒 -						
TEL ( )						
申請事由（該当箇所に○を記入してください）						
東京スクーリング（ 月期）				卒業論文指導（ 月 日）		
夏期スクーリング（第 期）				総合面接試験		
地方スクーリング（ 月期）			開講地 （ ）	科目修得試験（第 回）		
昼間・夜間スクーリング（ 曜日 時限）				その他（ ）		
乗車区間	自	線 駅		至	線 駅	
乗車日	行	年 月 日		帰	年 月 日	
必要枚数	枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること）					
	※理由					
利用交通機関	鉄道・バス・その他（ ）			受取方法	窓口・郵送	

### 【注意事項】

- ・鉄道会社等の規定により、科目履修生は学割対象外です。
- ・大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ・乗車区間が101kmを超える場合に限り発行します。
- ・郵送で受取希望の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ・1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ・この交付願では通学定期券の購入はできません。
- ・乗車日欄に記載の日程が、「有効期間」として学割証に記載され、乗車券を購入できる期間となりますので、購入日等を踏まえて記入してください。



必ず裏面の注意事項を確認してください。

- 併せて提出するもの
- ・発行手数料(為替又は現金書留)
  - ・在学生:学生証の写し/離籍者:公的身分証明書の写し
  - ・返信用封筒(郵送受領の場合のみ)
  - ・一部証明書発行に必要な書類(裏面参照)

## 証明書交付願

年 月 日申請

所 属	学 部	学 科	学 生 番 号						フリガナ
正 科 生								氏 名	
科目履修生	科目履修生番号							年 月 日 生	
入 学 年 月 日 学年			編入学 年 月 日			再入学		卒業・修了 年 月 日	
						退学・在学中		都道府県	
現 住 所		〒							
		電話番号		携 帯 電 話					
成績証明書 (単位数・成績を表示)			300円	通	※ 2学年修了証明書			300円 通	
単位照合票 (在学生のみ発行)			300円	通	※ 資格試験修了証明 (以下のいずれかに○を付す)			300円 通	
※ 卒業証明書			300円	通	資格試験名	司書教諭・学芸員 その他 ( )			
※ 卒業見込証明書 (平成 年 月)			300円	通	※ スクーリング出席証明書 (以下を記入すること)			300円 通	
※ 在学証明書			300円	通	年度	種別	開講地		
※ 退学証明書			300円	通	※ 人物考査書			300円 通	
注) 教員免許状取得見込証明書 (対象の「証明方法」欄及び右欄に○を付す)				別表第1	注) 教員免許状申請用学力に関する証明書 (対象の「証明方法」欄及び右欄に○を付す)				別表第1
証明方法 新法 ・ 旧法				別表第4	証明方法 新法 ・ 旧法				別表第4
教科	種類	中1種 中2種 高1種	300円	通	教科	種類	中1種 中2種 高1種	300円 通	
【記入上の注意】 ・教科欄に申請希望の教科をすべて記入し(例:「社会・公民・地歴」), 種類欄は希望種類すべてに○を付すこと。 ・当該証明書を請求する場合は, 別紙「教員免許状取得見込証明書用 確認書」を必ず提出すること。					教科	種類	中1種 中2種 高1種	300円 通	
					教科	種類	中1種 中2種 高1種	300円 通	
※ 大学院受験用調査書			300円	通	【記入上の注意】教科欄は1行につき1教科を記入すること。種類欄はいずれかひとつに○を付すこと。				
◎用途 (具体的に) 必ず記入する									
厳 封 要 ・ 不 要 (希望に○をしてください)					合 計 通 円				
受領方法		登 校 ( 月 日 ) ・ 郵 送 (返信用封筒を添付(切手貼付)すること)							
※必ず裏面の注意事項を確認し, 了承されましたら, チェックをお願いします。→								<input type="checkbox"/>	

## 注 意 事 項

- ① 郵送での申し込みによる証明書発行までの日数は、返送するまでに約1週間を要します。また、手数料は、現金書留又は為替にて納入してください。窓口で申し込む場合は、申込時に発行日を確認してください（原則は申込から3日後の発行）。申請時に本学通信教育部HP又はポータルサイトにて事務取扱日時を確認の上、期限内に余裕をもって申請してください。
- ② 郵送での請求の場合、学生証（離籍者は運転免許証・パスポート・健康保険証等の公的身分証明書）のコピーを同封してください（コピーが同封されていない場合は、本人確認をしてから受理することとなりますので、証明書発行に時間がかかります）。また、窓口での手続の場合は、申請時及び受取時に学生証または公的身分証明書を提示してください。
- また、身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、教務課へ確認してください。**
- ③ 「英文証明書」の場合には、この交付願ではなく、所定の用紙にて手続きが必要となります。本学通信教育部HP又はポータルサイトに掲載している「英文証明書作成依頼書」にて請求をしてください。
- ④ ※印の証明書は科目履修生には発行しておりません。また、主な証明書の種類及び発行条件は以下のとおりです。

種類	発行条件
成績証明書	最低1科目は修得済みであること。
単位照合票	在籍中であること。
※卒業証明書	本学を卒業していること。
※退学証明書	大学からの退学許可通知又は除籍通知を受け取っていること。
※在学証明書	請求時に年度授業料等を納入していること（スクーリング受講料ではない）。
教員免許状申請用学力に関する証明書	最低1科目は修得済みであること。
※卒業見込証明書	A) 4学年であること。 B) 3月卒業の場合、前年の4月1日現在で80単位以上、若しくは10月1日現在で90単位以上修得していること。 C) 9月卒業の場合、前年の10月1日現在で80単位以上、若しくは当年の4月1日現在で90単位以上修得していること。 D) 希望する時期の卒業手続を行っていること。
教員免許状取得見込証明書	・4学年であること。 ・別紙「教員免許状取得見込証明書用確認書」を必ず提出すること。
※2学年修了証明書	A) 本学通信教育部に2年以上在籍していること。 B) 総合教育科目20単位、外国語科目いずれか1外国語8単位（文学専攻（英文学）は英語10単位）、保健体育科目2単位（保健体育講義1単位、体育実技1単位）、専門教育科目を含めて合計62単位以上修得済みであること。
※スクーリング出席証明書	該当するスクーリングの受講料を納入済みで、受講が終了していること。
※人物考査書	教員採用試験受験の際、教育委員会から請求があった場合のみ発行します。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に確認してください。
※大学院受験用「調査書」	各大学の所定の用紙を添付してください。発行ができるか確認しますので、申請の際、教務課担当者に事前に確認してください。

- ⑤ 「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合は、別紙「教員免許状取得見込証明書用 確認書」を必ず提出してください。記載内容に不備があった場合、提出がない場合は発行できませんので十分注意してください。
- ⑥ 「教員免許状取得見込証明書」の取得見込年月日は、前期生は3月31日、後期生は9月30日となりますが、後期生で3月31日付けでの取得見込年月日記載を希望する学生は、その旨を明記してください。ただし、その場合は、年度授業料納付後の10月1日以降に発行可能となります。
- ⑦ 「教員免許状申請用学力に関する証明書」を申請する場合、教科（国語・社会など）、種類（中1・高1など）を明記してください（1教科であっても2種類の場合は2通扱いとなります）。
- ⑧ 郵送で証明書を受領する場合は、「返信用切手」を貼付した「返信用封筒」（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）を添付してください。返送料（普通郵便）は下表を目安にしてください。なお、封筒（切手貼付）の添付がない場合は、教務課で保管することとなりますので、注意してください。

	2通まで	3～5通	6～10通	11～20通		4通まで	5～10通	11～20通
厳封あり	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕	205円 〔定形外〕	厳封なし	82円 〔定形〕	92円 〔定形〕	140円 〔定形外〕

注：「教員免許状申請用学力に関する証明書」又は「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合、証明方法欄のいずれかに必ず○印を付し、別表第1（初めての申請）又は別表第4（他教科申請）の区別も必ず○印を付してください。誤って記入した場合、確認に時間を要し、免許状申請等ができない場合がありますので、留意してください。





## 休暇依頼状(勸奨状)申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勸奨状）の発行をお願いいたします。

年 月 日 申請

申 込 者	学 部							学科(専攻)	
	学 生 番 号							学 年	
	氏 名								
	日中連絡先 電 話 番 号								
	勤 務 先 正 式 名 称								
	所 属 部 署								
受 講 す る ス ク ー リ ン グ	種 別							開 催 地	
	受 講 期 間								
提 出 先	勤 務 先 正 式 名 称								
	代 表 者 代 理 者 名								
	代 表 者 氏 名								

【注意事項】

- \*スクーリング受講許可後に発行します。
- \*勤務先に対してのみ発行します。
- \*提出先には勤務先の代表者名を記入してください。
- \*休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- \*送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- \*複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

庶務課受付印





## 交通案内・校舎案内

### ① 交通案内～通信教育部までの交通～

#### 〔東京駅乗継の場合〕

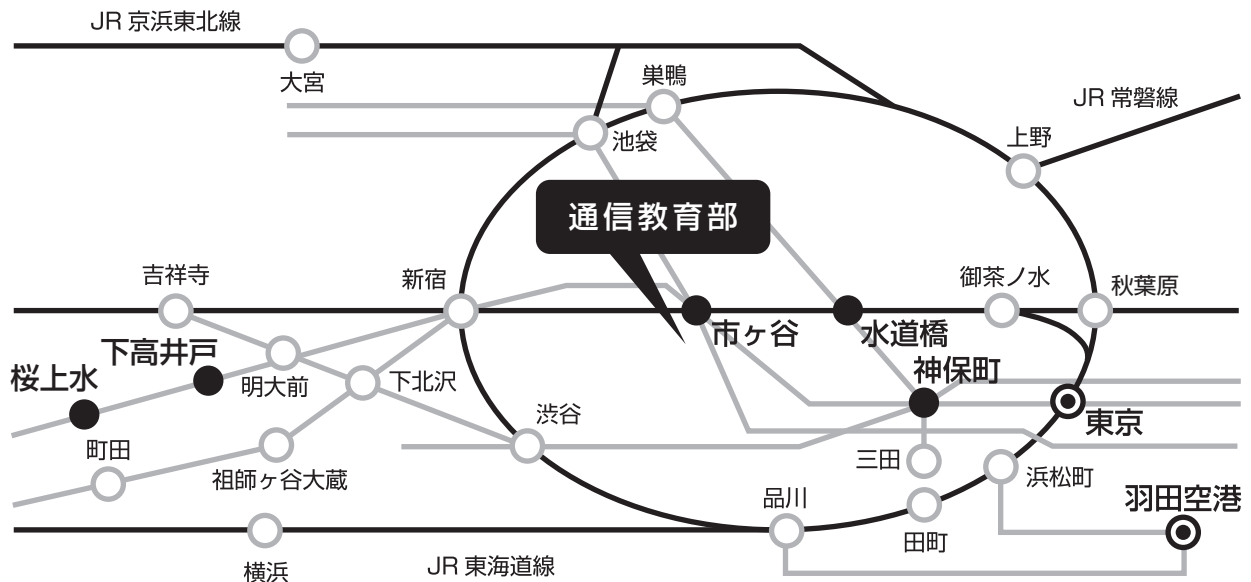
JR 中央線（1・2番線から発車する電車いずれも可）に乗車，御茶ノ水駅で JR 総武・中央線の各駅停車（新宿・中野方面）に乗り換え，市ヶ谷駅下車徒歩約3分。東京駅から約 20 分。

#### 〔上野駅乗継の場合〕

JR 山手線・京浜東北線（東京方面）に乗車，秋葉原駅で JR 総武・中央線各駅停車（新宿・中野方面）に乗り換え，市ヶ谷駅下車徒歩約3分。上野駅から約 20 分。

#### 〔羽田空港乗継の場合〕

東京モノレールで浜松町駅下車，JR 山手線・京浜東北線（東京・上野方面）に乗車，秋葉原駅で JR 総武線・中央線各駅停車（新宿・中野方面）に乗り換え，市ヶ谷駅下車徒歩約3分。羽田空港駅から約 50 分。



#### ■市ヶ谷キャンパス

JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅から 徒歩3分

都営地下鉄新宿線，東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A 2 出口から 徒歩2分

#### ■水道橋キャンパス（日本大学法学部）

JR 中央・総武線（各駅停車），都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A 4 出口から 徒歩5分

#### ■世田谷キャンパス（日本大学文理学部）

京王線 下高井戸駅 又は，桜上水駅から 徒歩 10 分

② 校舎案内

**市ヶ谷キャンパス**

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線，東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

**水道橋キャンパス**

【所在地】〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町 2-3-1

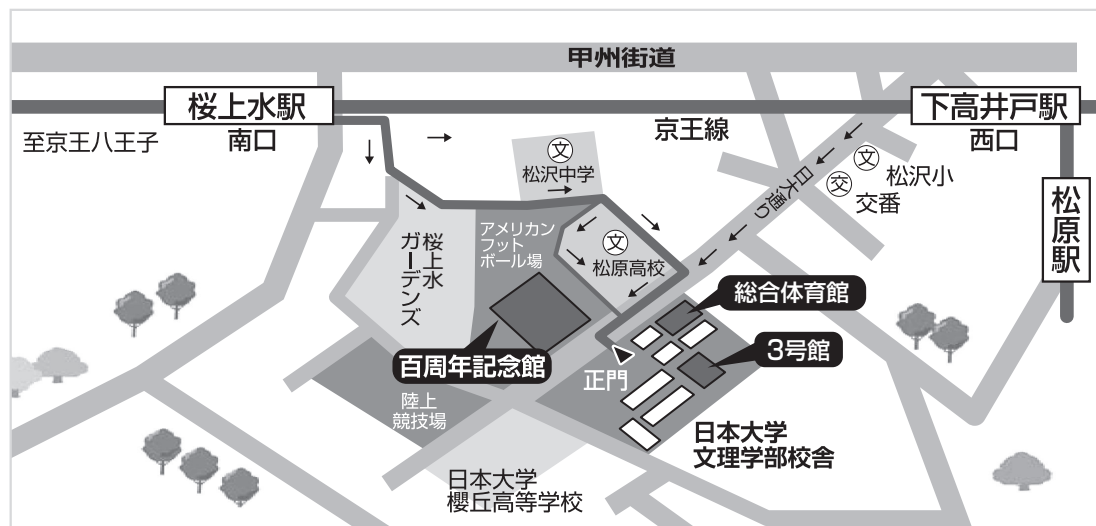


JR 中央・総武線（各駅停車），都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

**世田谷キャンパス**

【所在地】〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40



京王線下高井戸駅 又は、桜上水駅から 徒歩約 10 分

選定の講座
5月1期
5月2期
6月期
7月期
6月札幌
6月大阪
7月名古屋
7月福岡
夜間
夜間
夜間
夜間
夜間
夜間
講座の申込方法
申込講座の許可と不許可
受講料の納入
受講準備
受講及び試験
受講期間中の学生生活
オープン受講
各種用紙
付録



# スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チェック項目	参照
<b>◆受講届の記入</b>	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	V-2 履修登録をする表紙（履修登録締切日）
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	V-3 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	I-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違っていないですか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
<b>◆併用</b>	
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のレポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	V-1 受講手続の流れ表紙（レポート提出締切日）
<b>◆受講届の提出</b>	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日消印有効)	表紙（受講届提出締切日） V-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉申込内容の控えはありますか（受講届のコピー）	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか（ポータルサイトからの申込の場合のみ）	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか	V-3 講座を申し込む
<b>◆受講料の納入</b>	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VI-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VII 受講料の納入



### 各種連絡先

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| ○スクーリングの手續等に関する事項<br>教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項<br>学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項<br>会計課 03-5275-8925     | ○通学定期・学割に関する事項<br>学生課 03-5275-8921     |
| ○教材（教科書）に関する事項<br>研究事務課 03-5275-8890  | ○休暇依頼状（勸奨状）に関する事項<br>庶務課 03-5275-8901  |

**DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY**

〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部